

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

番号	史料名	年代	形態	数量	内容	備考
◆◆◆A-1～A-17◆◆◆						
A-1	寛文八年申三月吉日 庄屋次郎兵衛 備中国浅口郡玉島村田方御検地帳	寛文8. 3.	美・豎	1冊	稲川村左衛門外3名	
A-2	寛文八年申三月吉日 三冊之内上 備中国浅口郡玉島村田方御検地帳	寛文8. 3.	美・豎	1冊		
A-3	寛文八年申三月吉日 三冊内中 備中国浅口郡玉島村田方御検地帳	寛文8. 3.	美・豎	1冊		表紙破損
A-4	寛文八年申三月吉日 三冊之内上 備中国浅口郡玉島村田方御検地帳	寛文8. 3.	美・豎	1冊	稲川村左衛門外3名	表紙不箋あり 弓份済
A-5	寛文八年申三月吉日 三冊之内中 備中国浅口郡玉島村田方御検地帳	寛文8. 3.	美・豎	1冊	稲川村左衛門外3名	
A-6	寛文八年申三月吉日 下 三冊之内下 備中国浅口郡玉島村田方御検地帳	寛文8. 3.	美・豎	1冊	稲川村左衛門外3名	
A-7	寛文八年申三月吉日 三冊之内下 備中国浅口郡玉島村田方御検地帳	寛文8. 3.	美・豎	1冊		
A-8	寛文拾壹年亥三月吉日 庄屋平右衛門 備中国浅口郡玉島村御島溜御検地帳	寛文11. 3.	美・豎	1冊		
A-9	元禄四年未三月吉日 庄屋次郎兵衛 備中国浅口郡玉島村田畑御検地帳	元禄年間 3.	半・豎	1冊		
A-10	元禄八乙亥年四月 三冊之内一 備中国浅口郡玉島村御検地帳 本多中務大輔内藤工善右衛門	元禄8. 4.	美大・豎	1冊		表紙破損
A-11	元禄八乙亥年四月 三冊之内二 備中国浅口郡玉島村御検地写帳 本多中務大輔内藤工善右衛門	元禄8. 4.	美大・豎	1冊		表紙破損で付き挟み込む
A-12	元禄八乙亥年四月 三冊之内三 備中国浅口郡玉島村御検地写帳 本多中務大輔内藤工善右衛門	元禄8. 4.	美大・豎	1冊		
A-13	天明元年丑十二月 玉島村開帳改帳 写	天明元 12.	美・豎	1冊		
A-14	天明元年丑十二月 玉島村開帳改帳	天明元 12.	半・豎	1冊		
A-15	天明八年申十月 玉島村開帳改帳	天明8. 10.	半・豎	1冊		
A-16	寛政十年午八月 玉島村開帳改帳	寛政10. 8.	半・豎	1冊		
A-17	天明二年寅十二月 玉島村開帳改帳	天明2. 12.	半・豎	1冊		
◆◆◆B-1～B-139◆◆◆						
B-1	万次元年 寅ノ二月廿八日 浅口郡之内乙島等五人組の協え	万治2. 2. 28	半・豎	1冊	五人組の編成表 乙島村庄屋左平次一渡部注計・木樽平助	県史よりB-1～30までビニール紐で結ばれていた為、B-1～30をSILテッシュで結ぶ
B-2	寛文七年丁未正月吉日 萬寛帳	寛文7. 正	半・豎	1冊	秘伝醬油出込みの法・秘伝酒の法・酒士込みの法等外47件	
B-3	寛政拾壹年 亥ノ二月吉日 浅口郡之内御奉公人帳少五人組帳 乙島村 次ノ子ノとし〇ニモ仕候	寛文11. 2. 24	美・豎	1冊	組内の家の特高・年齢・名前を記す 乙島村庄屋左平次・細頭与兵衛・与次兵衛一厚木金五郎・新井左伝次	
B-4	延宝三年卯拾霜月廿一日 乙島村指出し帳 貞享元年子ノ年御用達改帳 ひめも御座候	延宝3. 11. 21	美・豎	1冊	貞享元年の御用木改帳の控 乙島村庄屋左平次一發生川兵右衛門	
B-5	貞享三年寅ノ十月吉日 隠居地 五兵衛分田畑分帳 四郎右衛門・弥二兵衛・惣兵衛	貞享3. 10.	美・豎	1冊	四郎右衛門外9名	
B-6	元禄七年戌三月吉日 浅口郡乙島之内井野浦益兵衛出帳	元禄7. 3.	美・豎	1冊		
B-7	元禄十四年巳四月 備中国浅口郡乙島村差出帳	元禄4. 4.	美大・豎	1冊	乙島村の畝数 一反ご付、平均収獲量 子の年の年貢割付について 巳の年の年	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

B-8	元禄十五年午四月 樋橋次帳 備中国浅口郡乙島村 上ル心 かえ	元禄5. 4.	半・豎	1冊	貢書付こつて 浅口郡乙島庄屋千左衛門→平岡四郎左衛門	
B-9	宝永二年十月 浅口郡乙島村小名方角道次帳	宝永2. 10.	美・豎	1冊	乙島村庄屋山右衛門→持田半助	綴じ添附部分に別紙 覚書が結び 付けられている
B-10	定（船中定・異国船・切支丹に関する定）	正徳4. 11.	半・豎	仮1冊		
B-11	当丑六月十七日夜紛失仕候分 御高札 四枚写 扣 備中国 浅口郡乙島村	正徳年間	半・豎	1冊	正徳正年5月の定・正徳4年11月の定こ つて	
B-12	御高札写 備中国浅口郡乙島村 扣	年月日未詳	半・豎	1冊	御成米納の事・伴き連切支丹の事・抜荷 の事・破損の事・天和2年忠孝の事等 高札5枚写	横こ朱書きあり
B-13	御高札写 再書替差上候分写也 備中国浅口郡乙島村	正徳元 5. ～4. 11.	半・豎	1冊	刑罰に関する事（禁止行為）	
B-14	享保三年戌三月 備中国浅口郡乙島村差出帳	享保3. 3.	美・豎	1冊		
B-15	享保十二年戌申十月吉日 万寛帳	享保3. 10.	半・豎	1冊	酒出入みに関する覚	
B-16	享保二十年卯七月 備中国浅口郡乙島村本田・新田・享保五 子より同十九寅迄合五ヶ年之間 残高并取米写帳 上り 帳口老冊	享保20. 7.	美・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村庄屋左平台外3名一役 所	
B-17	延享元年 丑五月 高反別帳 備中国浅口郡乙島村	延享2. 5.	半・豎	1冊	乙島村庄屋左平次→千種青右衛門役所	
B-18	元文二年巳十一月 永帯御今味品取帳 備中国浅口郡乙島村	元文2. 11.	美・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村庄屋左平台・年寄惣 兵衛外2名→平岡彦兵衛役所	
B-19	〔夫食拜借願書〕	元文4. 7.	半・豎	仮1冊	天候不順で作物が採れず、夫食をお借り する事を願う事こつて 署名若助外 184人→庄屋左兵衛・年寄惣兵衛	表紙破損
B-20	寛保四年子二月 半次郎御出銀并質入之道具共立立覚扣 浅 口郡乙島村	寛保4. 2.	半・豎	1冊		
B-21	延享元年子 反別帳空 浅口郡乙島村	延享元	美・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村庄屋左平次	
B-22	延享二年丑 亥迄未立替銀并質田地帯之分書出扣帳 浅口 郡乙島村 願人庄屋左平次	延享2. 11.	半・豎	1冊	乙島村左平次→千種青右衛門役所扣帳	見出し付き
B-23	延享二年丑亥迄未立替銀并質田地帯之分書出 浅口郡乙 島村 願人庄屋左平次	延享2.	半・豎	1冊	乙島村左平次→千種青右衛門役所	見出し付き
B-24	宝暦三年酉十月 浅口郡乙島村新開町御出帳	宝暦3. 10.	美・豎	1冊	浅口郡乙島村庄屋喜三右衛門・文右衛門 →浅井作右衛門役所	（奥書）「子六月廿九日」
B-25	明和五年子三月 御普請取目論見帳のこゝへ 浅口郡乙島村	明和5. 3.	美・豎	1冊	民右衛門外6名→野村彦右衛門役所	
B-26	明和六年丑八月 溜池 樋立通仕替下目論見帳 浅口郡乙島 村	明和6. 8.	美・豎	1冊	浅口郡乙島村庄屋民右衛門・太兵衛外8 名→野村彦右衛門役所	
B-27	安永三年午九月 御普請取目論見帳	安永3. 9.	半・豎	1冊	合銀0貫302匁・人足8596人 太兵衛外 7名→万年七郎右衛門役所	
B-28	安永七戌年六月 三ノ櫃本通仕替帳 守谷太平台	安永7. 6.	半・豎	1冊	守谷太平台	
B-29	天明元年辛巳十月 南瀬谷中津瀬流記	天明元 10. 8	半・豎	1冊	天明元辛巳十月八日写し	表紙で落書きあり
B-30	天明六年午三月 備中国浅口郡乙島村宗門改	天明6. 3.	美・豎	1冊	家数213件人数948人 千手院也→倉敷役 所	
B-31	天明七年未三月 備中国浅口郡乙島村宗門改	天明7. 3.	美・豎	1冊	家数合200軒内寺2軒庵2軒 人数907 人内男486人 女421人 庄屋十左衛門・ 年寄青谷郎→倉敷役所	B-31～50まで県史こよりビニ ール紐で結ばれていた為、S I Lティッシュで結ぶ
B-32	天明七年未四月 諸国御料御見聞合書	天明7. 4.	美・豎	1冊	寺見百太郎 丹後・但馬・播磨・美作・ 石見・隠岐・備後・備中 勘定清水理兵 衛・支西勘定也田介左衛門・御徒目附板 尾原左衛門 美作・播磨・伊予・讃岐・	

B-33	御仕置五人組前書	天明6. 3.	美・豎	1冊	直島・小豆島・塩飽島 勘定田中角左衛門・支配勘定山岡安兵衛・御徒目附後藤重次郎 訴訟・犯罪・宗門のきまりについて 庄屋氏右衛門・年寄代十左右衛門→万七郎右衛門	虫損の為、SILティッシュで包む
B-34	天明八年申三月 備中国浅口郡乙島村宗門御封口	天明8. 3.	美・豎	1冊	家数合199軒内寺2軒庵3件 人数913 内男439人 女411人 庄屋十左衛門・年寄孫太夫→倉敷役所	
B-35	寛政元年酉二月 御巡見藩州間合寛帳	寛政元. 2.	半・豎	1冊	御頃道国々 美作・播磨・備中・讃岐・直島・塩飽島・小豆島・伊予 勘定田中角左衛門・支配勘定山岡安兵衛 御徒目附後藤重次郎	
B-36	寛政元年二月 役用日記 庄屋十左衛門	寛政元. 4.	半・豎	1冊	庄屋十左衛門	
B-37	寛政元年酉九月 諸願書番書口留 庄屋十左衛門	寛政元. 9.	半・豎	1冊	庄屋十左衛門	
B-38	寛政二年戌三月 備中国浅口郡乙島村宗門帳	寛政2. 3.	美・豎	1冊	家数合204軒内寺2軒庵2軒 人数916人 内男495人女421人 庄屋十左衛門・年寄孫太夫→倉敷役所	
B-39	田畑質入直段并林松直段書上帳 浅口郡乙島村	寛政3. 11.	美・豎	1冊	浅口郡乙島村庄屋十左衛門外2名	
B-40	式朱判拜借正文并質地正文 浅口郡乙島村 拜借人庄屋十左衛門	寛政3. 12.	半・豎	1冊	浅口郡乙島村拜借人十左衛門外3名→野口辰之助役所	
B-41	〔年算用覚書〕	寛政5. 10.	小・豎	仮1冊	取米合95石5斗5升2匁十左右衛門組 121石7升3合7匁七組	
B-42	文化五年戊辰六月 水門石切急破御普請上越願上目 論見帳 備中国浅口郡	文化5. 6.	美・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村庄屋龜之丞後見熊太郎同兼帯庄屋半右衛門→大岡久之丞役所	
B-43	文化十年酉二月 急破御普請上越願上目論見帳 備中国浅口郡乙島村	文化10. 2.	美・豎	1冊	浅口郡乙島村庄屋彦右衛門外2名→大原四郎右衛門役所	
B-44	文政四年己十一月 質地書入 裏判留 乙島村	(文政) 4. 11. ~6. 12.	半・豎	1冊	乙島村2冊之内	
B-45	文政六年正月 御貸付金拜借正文 備中国浅口郡乙島村百姓 拜借人庄兵衛外五人	文政6. 正	美・豎	1冊	乙島村百姓庄兵衛外5名→大草太郎右馬役所	
B-46	文政六年未九月 日記 守屋敵 (花押)	文政6. 9 ~9. 12.	美・豎	1冊	守屋敵	
B-47	文政六年未十一月 船増減小前帳空	文政6. 11.	半・豎	1冊	合船数41艘・比積石220石・但100石二付銀20目・比重上銀45匁・外二銀2分去午減 乙島村庄屋彦右衛門・同熊太郎→倉敷役所	
B-48	文政六未年十一月 御貸付金拜借正文 備中国浅口郡乙島村 百姓 拜借人庄兵衛外五人	文政6. 11.	美・豎	1冊	乙島村百姓庄兵衛外5名→大草太郎右馬役所	
B-49	御札座方記録	文政10. 11.	美・豎	1冊		
B-50	文政十一子十一月ヨリ 日記 郡中惣代倉敷仕勤 守谷重左衛門	文政11. 12.	小・豎	1冊	守谷重左衛門	
B-51	文政十三寅年五月 差上候合二冊ノ内高反別位銀法規帳 備中国浅口郡乙島村	文政13. 5.	美・豎	1冊	浅口郡乙島村百姓代長藏年寄四郎兵衛 庄屋重左衛門司熊太郎→古橋新左衛門 倉浦役所	
B-52	文政十三年寅八月 船増減小前帳差上ノ付 備中国浅口郡乙島村	文政13. 8.	半・豎	1冊	船数合48艘・比積石234石・比重上銀46匁8歩・但100石二付銀20目 年寄四郎兵衛外2名→倉敷役所	
B-53	文政十三年寅二月 船御重上帳 備中国浅口郡乙島村庄屋	文政13. 2.	半・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村庄屋	
B-54	御代官古橋新左衛門兼御支配中 御重上船年々増減小前帳	文政13. 8.	半・豎	1冊	船数合44艘・比積石214石・比重上銀42	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

B-55	巴旦漂流記	天保3. 10. 10	半・豎	1冊	欠8歩・但100石二不掬20目 備中浅口郡乙島村 守屋坦度記之 神力丸の漂流記・利八物語を記す	
B-56	天保五年午七月 船増減小前帳 備中国浅口郡乙島村	天保5. 7.	半・豎	1冊	船数49艘・比積石229石・比拾九運上銀45匁8歩・但100石二不掬20目 年寄四郎兵衛外1名一倉敷役所	(裏表紙) 「玉島守屋」 付け紙にて訂正あり
B-57-1	天保五年午七月 船増減小前帳空 備中国浅口郡乙島村	天保5. 7.	半・豎	1冊	船数49艘・比積石229石・比運上銀45匁8歩・但100石二不掬20目 年寄四郎兵衛外1名一倉敷役所	
B-57-2	天保五年午七月 船増減小前帳 備中国浅口郡乙島村	天保5. 7.	半・豎	1冊	船数50艘・比積石242石・比運上銀48匁4歩・但100石二不掬20目 年寄四郎兵衛外1名一倉敷役所	
B-58	天保七年申六月 船増減小前帳	天保6. 7.	半・豎	1冊	船数45艘・比積石214石・比御運上銀42匁8歩・但100石二不掬20目 年寄四郎兵衛外1名一倉敷役所	天保7年の不紙あり 表紙に貼 り紙有り
B-59	天保七年申六月 船増減小前帳 備中国浅口郡乙島村	天保7. 11.	半・豎	1冊	船数52艘・比積石217石・比拾運上銀47匁4歩・但100石二不掬20目 年寄四郎兵衛外2名一倉敷役所	
B-60	天保八年酉正月 備中国去申御年貢米御藏納諸入用帳 納方倉敷	天保8. 正	半・豎	1冊	入用等の明細 (金額とその詳細及び小計) 納名主重左衛門 納方会所一築山茂左衛門役所	
B-61	天保九年戌正月 明細表 備中国浅口郡乙島村	天保9. 1.	半・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村百姓代長蔵外3名一築山茂左衛門倉敷役所	
B-62	天保九戌年正月 御領見二本林明細帳口 乙島村	(天保) 9. 正	半・豎	1冊	惣高900石3斗1升8合6勺 反別14丁6反9畝21歩の元禄8年~天保5年の明細御領地帳5冊の内容について	
B-63	天保十一年庚子年十一月 天保十四卯季迄 田畑質地裏判留	天保1. 11. ~14. 12.	半・豎	1綴	浅口郡乙島村庄屋重左衛門・同見習勝太郎	1綴 (2冊)
B-64	天保十四年卯二月 上納金書上帳 備中国郡浅口郡各村々	天保4. 2.	美・豎	1冊	藤方彦次郎代官所備中国浅口郡片島村百姓道平外41名一桑田歳兵衛	
B-65	天保十五辰年十一月二十八日 松平紀伊守様御領分柳井原村外七ヶ村 板倉周防様 御領分玉島村より乙島村流作場江村懸り水行故郷出入済口書口 乙島村	(天保) 15. 11. 28	半・豎	1冊	倉敷役所藤方彦次郎宛差上済口證文之事と玉島村内川崎原之進・長尾村近蔵宛乙島村庄屋重左衛門	
B-66	(田畑質地裏判留)	天保5. 11. ~弘化4. 8	半・豎	1冊		挟み込みあり (相渡申質地之事)
B-67	(年貢割付状留)	天保4. 10. ~弘化4. 10	半・豎	1冊		
B-68	亥 御年貢可納替附之事	嘉永4. 10.	半・豎	1綴	佐々井半十郎→乙島村庄屋年寄惣百姓	
B-69	乍恐以書奉申上候	嘉永5. 3.	半・豎	1冊	新用形受故郷席公について 乙島村開引請人庄屋勝太郎→倉敷役所	
B-70	嘉永五年 川内拾壹ヶ村より当村流作場江村懸り水行故郷一件書類写	嘉永5. 7.	半・豎	1冊	惣代片島村庄屋後見健蔵外4名一佐々井半十郎倉敷役所	
B-71	嘉永五子年 流作場一件場現熟談御答申上候書付先之分	嘉永5. 4.	半・豎	1冊	浅口郡乙島村流作場小前惣代左衛門外3名一米掬立会役人中	
B-72	嘉永六癸丑年九月ヨリ同七寅八月迄安政二卯八月迄 同三辰八月迄司四巳八月迄 田畑質地裏判留 浅口郡乙島村庄屋勝太郎	嘉永6. 9. ~安政2. 12.	半・豎	1綴		1綴 (3冊)
B-73	嘉永七年寅二月 樋守番書上帳空 浅口郡 []	嘉永7. 2.	半・豎	1冊	浅口郡乙島村役人惣代百姓代長蔵外2名一倉敷役所	虫損あり

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

B-74	安政四丁巳年五月中詰番日記抜粋	安政4. 5.	半・豎	1冊	5月11日龜山領彦太郎差付証物書上等	
B-75	安政四巳年五月 流作場一件二付地改御家役兼御入村一件帳	安政4. 5.	半・豎	1冊	覚等	金預り証券2通（明治7年分） 貸付証文1通夾み込みあり 包紙あり
B-76	備中国支配公事出入其外取斗伺一件	安政4. 8.	半・豎	1冊	守屋写 他見無用	
B-77	午 御年貢可納替附之事	安政5. 10.	半・豎	仮1冊	田中庄次郎→乙島村庄屋年寄惣百姓	
B-78	安政五午年 袴一件記録 乙島村 式冊ノ内甲・安政五午年 袴一件記録式冊ノ内乙	安政5. 4.	美・豎 半・豎	1綴	窪屋郡兵村庄屋留太郎外35名→倉敷役所	1綴（2冊）
B-79	安政六未年九月 船増減小前帳 備中国浅口郡乙島村	安政6. 9.	半・豎	1冊	船数13艘・比重上銀26匁等 備中国浅口郡乙島村年寄四郎兵衛外1名→倉敷役所	
B-80	辰御年貢可納替附之事	安政3. ～万延元 10.	半・豎	1冊	丑年～巳年迄の5年間の定免の内、辰年・巳年の定免について百姓全員が集って甲乙の都合を決める事の通達	
B-81	御代官大竹左馬太郎様御支配中 田畑質地裏判留	万延元9. ～文久元 8.	半・豎	1冊	質地正文を綴ったもの 万延元申九月より文久元酉八月迄 浅口郡乙島村庄屋勝太郎・同見習英三郎	
B-82	万延二歳二月十五日より 二番万池詰番日記控 乙島村岩吉 妙社寺二司書庄兵衛	万延2. 2. 15	美・豎	1冊		
B-83	文久元年 辛酉三月十一日ヨリ 第五番 御合宿 飯泉様 岡本様 高木様 玉嶋様 御旅宿日記	文久元 3. 11～20	半・豎	1冊	片島村法藏寺詰番富右衛門	
B-84	万延二辛酉年正月 第七番 御平定所御出沒様 玉島村嘉右 衛門ヲ諸事日記	万延2. 正 17	美・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村百姓虎吉・富右衛門	
B-85-1	口上書	文久元 5. 19	半・豎	1冊	阿賀崎新田村17ヶ村における作場をめぐる1件付、乙島村前惣中外3名→植田武左衛門	
B-85-2	差上申済御登文之事	文久元 11.	半・豎	1冊	備中国浅口郡阿賀崎新田村外17ヶ村における境界をめぐる1件、大竹左馬太郎代官所備中国浅口郡乙島村庄屋勝太郎外8名→高柳小三郎外2名	
B-86	文久元酉年九月より同口戌八月迄 御代官大竹左馬太郎様支 配中 田畑質地裏判留	文久元 9. ～2. 8.	半・豎	1冊	浅口郡乙島村庄屋勝太郎同見方英三郎	
B-87	文久元辛酉五月十六日ヨリハジマル 第五番 飯泉様 岡本 様 御旅宿日記 篠登詰番富右衛門	文久元 5. 16 ～6. 10	半・豎	1冊		
B-88	文久元辛酉年九月朔日ヨリハジマル 第八番 岡本様御旅日 記 篠登詰番富右衛門	文久元 9. 1～10	半・豎	1冊		
B-89	文久元年辛酉年九月十三日ヨリハジマル 第九番 岡本様御 旅詰番日記	文久元 9. 13～29	半・豎	1冊		
B-90	文久二戌年九月より明治元戌辰年九月迄用いる 御代官大竹 右衛門太郎様御支配中 田畑質地裏判留 浅口郡乙島村 庄屋勝太郎同見習英三郎	文久2. 9. ～明治元 9.	半・豎列	1冊	質地登文	
B-91	御定抗御審正文写為取替書写	文久3. 2.	半・豎	1冊	乙島西浦峠境二付定抗之事 備中国浅口郡阿賀崎新田惣代庄屋安八郎外21名→梅沢九十郎・岡本安喜之助	
B-92	備中国浅口郡玉島湊頼戸内川さらえ普請出願帳下書他見積 表・証文・書	年月日未詳		1袋〔4冊〕		袋内・B-92-1～4
B-92-1	乙島村新開場最初より手続台末書	年月日未詳	半・豎	1冊	乙島村新開場 請人勝太郎→倉敷役所	
B-92-2	文久二年十二月 御新開願書并御審登文写	文久2. 12.	半・豎	1冊	新開願書と受登文の写 新開場 受開発人 浅口郡乙島村庄屋守屋勝太郎→倉敷県役所	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

B-92-3	乙島御新開築立仕積帳写 よノ五	年月日未詳	半・豎	1冊	新開地を築立する為の堤の長さ、坪数・抗の数等記入 新開町歩の見積もり	
B-92-4	備中国浅口郡玉島湊頼戸内川さらえ普請仕積帳下書	天明2.	美・豎	1冊	願人乙島源三郎 川さらえ普請をする事	
B-93	卯子御年貢可納書附之事	元治元 10.	半・豎	仮1冊	亥年～卯年迄の定免の内、百姓全員が集まって甲乙の割合を決める事の通達 大竹右馬太郎→乙島村庄屋・年寄・惣百姓	
B-94	〔御年貢可納書附之事〕	万延元 10. ～元治元 10.	半・豎	1冊	大竹左馬太郎宛 それぞれ申・酉・戌・亥・子分ご付	
B-95	慶応元年六月 御高札紛失仕候二付倉敷御役所江届書并願書共口	慶応元 6.	半・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村高札8枚の内、4枚紛失の事 庄屋勝太郎外数名→倉敷役所	
B-96	慶応二年 与五兵衛記甲ノ巻	慶応2. 3.	半・豎	1冊	金子衛納書付	
B-97	御日延願書口	辰 3. 28	半・豎	1冊	今朝からの持病の喘息の為、役所へ行く事を来月2日迄延ばしてほしい 事の嘆願 浅口郡乙島村庄屋守屋勝太郎外2名→笠岡役所	
B-98	〔御年貢米安石代納入書付之事〕	慶応4. 4.	半・豎	1冊	亥から寅迄の年貢米安石代納入残金を書面のとおりに上納する事 乙島村庄屋見習守屋英三郎庄屋司勝太郎→芸州鎮無方役所	
B-99	慶応四年戊辰夏六月 太政官日誌第廿八	慶応4. 6.	半・豎	1冊	越後攻めについて二本松藩・上田藩・尾張藩・薩摩藩の届書の写 状況・討死人数・手負人数を記す	
B-100	地方集 守屋	天保9. 7. ～12. 2	半・豎	1冊	新田検也条目 讃岐国直島地内海西干潟 新開願目書等	裏ご紙あり
B-101	延享元年及六月五日迄 可差出旨被仰付倉敷御役所江上レ 備中国浅口郡乙島村寅より戌迄九ヶ年御取箇合付一村限帳口	延享元 正	半・豎	1冊	延享之年6月5日迄に差し出すように仰付けられ倉敷役所へ差し上げたもの 備中国浅口郡乙島村庄屋左平台・年寄与三左衛門→千種青右衛門役所	
B-102	明治元辰十一月 難共人其外書上帳 備中国浅口郡村々	(明治) 元 11.	半・豎	1冊	乙島村・阿賀崎村・柏崎村・勇崎村・高・家族名と年齢・説明文 玉島村庄屋吉田八左衛門外7名→倉敷県役所	
B-103	苗字帯刀居屋敷御免除之由緒書上帳 備中国浅口郡乙島村	巳 (明治2) 3.	半・豎	1冊	乙島村庄屋勝太郎→倉敷県役所	
B-104	巳正月 八拾八歳以上御村寺稲取書上控 浅口郡乙島村外四ヶ村	明治2. 正 13.	半・豎	1冊	村々惣代乙島村庄屋守屋勝太郎代兼・柏島村庄屋西山武左衛門→倉敷県会計局 乙島村百姓七三郎母まよ (去徳辰89才) 外1名	
B-105	明治七年甲戌三月 畑書入金子借用証券写 金子借用主守屋勝太郎	明治7. 3.	半・豎	1冊		
B-106	御新開地内井路築郊普処不用井成候二付場所開作致御租税上納願	明治8. 12.	半・豎	仮1冊	御新開地内水面場所へ活魚仕御租税金上納願	
B-107	明治十二年十二月 田畑地書入証	明治2. 12. 20	半・豎	1冊	浅口郡乙島村借用主守屋勝太郎外1名→小田郡笠岡津坂本館夫	
B-108	戌御年貢可納書附之事	年月日未詳	半・豎	仮1冊	乙島村 定免886石2斗6升2合6勺の明細 (天明8～天保3) ・検見取高 (天保5・嘉永元)	
B-109	石垣水門諸首是算通帳長春御普請目論見中 乙島村乍恐口上	年月日未詳 文久4. 5.	美・豎 半・豎	1冊 仮1冊	庄屋共館出入赦免下されたき願 片島村庄屋惣助外8名→岡山役所	
B-111	〔乙島村年貢米減免願上付〕	辰 12.	半・豎	仮1冊	乙島村百姓代長蔵外3名→倉敷縣社役町	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

B-112	仮義定心得書写 □人植田武右衛門	年末詳 6.	半・縦	1冊	田治六 阿賀崎新田村外7ヶ村と乙島村との出入 について倉敷外武右衛門 嚙こて内済の 仕法	
B-113	仮義定之事	年月日未詳	半・縦	仮1冊	阿賀崎新田村外7ヶ村と乙島村との出入 について 倉敷外植田武右衛門嚙こて内 済の仕法	
B-114	乍恐以書付奉申上候	年月日未詳	半・縦	1冊	乙島村流作場水行故章出入について	
B-115	仮義定之事	年月日未詳	半・縦	仮1冊	阿賀崎新田村外7ヶ村と乙島村との出入 について 倉敷外武右衛門嚙こて内済の 仕法	
B-116	仮義定之事	年月日未詳	半・縦	仮1冊	阿賀崎新田村外拾七ヶ村と乙島村との出 入について 倉敷外武右衛門嚙こて内済 の仕法	
B-117	反別帳案	年月日未詳	半・縦	1冊	反別帳書式（記入例）	
B-118	戊五月 旅箱帳 大竹左馬太郎邦孫戸十郎	戊 5.	半・縦	1冊		(表紙 (5月22日～6月12 日) 覚)
B-119	触書	年末詳 3. ～5. 19	半・縦	仮1冊	中山道千曲川川越賃増について外3 件	
B-120	御尋ニ付乍恐以書付奉申上候	年月日未詳	美・縦	仮1冊	乙島村開の経過	
B-121	越中守様御度被成候御書付之写	年月日未詳	半・縦	仮1冊	長谷川平藏を火方加段に命ずるにあつ ての指示	
B-122	触書	年末詳 8.	半・縦	仮1冊	金銀交替のため古金銀亭出について	
B-123	御廻米仕方書	年月日未詳	半・縦	1冊	筑前屋新五兵衛外3名一倉敷役所	
B-124	宝篋印陀羅尼塔功徳記	文政5.	半・縦	1冊		
B-125	規式勤次第書	年月日未詳	半・縦	仮1冊	江戸城での規式	
B-126	備中国倉鋪付公事方取計方司	年月日未詳	半・縦	1冊		
B-127	御系譜 全	文政3. 4.	半・縦	1冊	守屋彦右衛門 徳川家系譜	
B-128	蘭方	年月日未詳	半・縦	1冊		
B-129	諸事留	年月日未詳	半・縦	1冊	溺死人吟味1件、変死吟味1件、首縊人 吟味1件、行倒人吟味1件、男女申合相 果候吟味1件	
B-130	新撰皿屋敷傳録	年月日未詳	半・縦	仮1冊		
B-131	蒸気船	年月日未詳	半・縦	1冊		裏表紙に不紙あり
B-132	蒸気船	年月日未詳	半・縦	1冊		裏表紙に不紙あり
B-133	易書破本綴	年月日未詳	半・縦	仮1冊	鎮宅下、擲錢少巻2	
B-134	書式日用集	年月日未詳	半・縦	1冊		
B-135	本朝百萬遍念佛祈禱由来由	年月日未詳	半・縦	1冊		
B-136	十炷香之記	享和7. 3.	半・縦	仮1冊	阿曾治政の筆蹟	
B-137	備中国古所謂之事	年月日未詳	半・縦	1冊	備中国赤崎村 小原浦山本屋 志方藏	
B-138	通交文極秘巻	年月日未詳	半・縦	仮1冊	澤崎主水入道為庵	SILティッシュで包む SILティッシュで包む
B-139-1	御軍用年賦上納金 右同勘課役 取調書上帳下 大宮御所国 役金	年月日未詳	半・縦	1冊		
B-139-2	御軍用年賦上納金 大宮御所国役金 右同勘課役 取調書上 帳 備中国浅口郡乙島村外六ヶ村	年月日未詳	半・縦	1冊		
◆◆◆C-1～C-99-10 ◆◆◆						
C-1	万治三年 草川御百姓口立帳 乙島村 子ノ九月吉日	万治3. 9.	半・横長	1冊		虫貫あり 県史よりC-1～ 29までビニール紐で結まわっている

C-2	元禄三年午正月吉日同四年未ノ正月吉日控 申ノ年控 御廻 状留帳	元禄3. 正 ~5.	美・横半折	1冊		為、SILティッシュで結び直 す 括り文書あり
C-3	〔御年貢算用覚〕	宝永3. ~享保6.	美・長	1冊		
C-4	〔御年貢算用覚〕	享保9. ~元文2.	美・長	1冊		
C-5	〔御年貢算用覚〕	享保9. ~元文2.	美・横長	1冊		
C-6	〔御年貢高書上〕	元禄5. ~享保6.	美・長	1冊		
C-7	〔御申田年貢米覚〕	享保7. ~享保9.	美・長	1冊		括り文書あり
C-8	寛保元年酉三月日 牛男女相廻帳 年寄惣兵衛司与三衛門	寛保元 3.	半・長	1冊		
C-9	寛保三亥午 繁八作廻二成延享武丑立合勘定 扣帳 此分下 帳一而万帳一認有之	寛保3. ~延享2.	美・横長	1冊	浅口郡乙島村39人分	
C-10	延享三年卯十月 御年貢算用帳并御開田地子帳人子書上帳控 三十九人分 浅口郡乙島村 佐平次	延享3. 10.	美・横折	1冊		
C-11	延享四年卯十一月 扣 三拾三人分 御年貢立替銀切替之算 用書出帳 浅口郡乙島村 佐平次	延享4.	美・横長	1冊	浅口郡乙島村37人	
C-12-1	寛延元年辰十二月 賃田地家屋廻帳代銀并地子利銀未進立 換銀 辰暮算用帳左平次 控 上り帳一立帳一認差上申 候	寛延元 12.	美・横折	1冊		枝番は渠史の番号による
C-12-2	寛延元年辰閏十月 寅年迄御年貢未進帳控 松山江上ノ控 浅口郡乙島村先庄屋左平次	寛延元 閏10.	美・横長	1冊		
C-13	寛延元年辰十二月 浅口郡玉島村御年貢未進帳口 先庄屋左 平次	寛延元 12.	美・横長	1冊	同村庄屋市太夫 先庄屋左平次一倉敷役 所	
C-14	寛延元年辰閏十月 寅より御年貢未進帳 扣 青山因幡守様 御陣屋へ上り扣 浅口郡乙島村先庄屋 佐平次	寛延2. 8.	美・横長	1冊		
C-15	寛延 二巳八月 松平紀伊守様 玉島村御陣屋江上レ 玉島 村より出作 寅迄御年貢未進暮算用詰 控	寛延2. 8.	美・横長	1冊	乙島村庄屋左平次一松平紀伊守	
C-16	寛延 二巳十月 賃田地元銀并地子差另帳 浅口郡乙島村 佐平次	寛延2. 10.	美・横長	1冊	浅口郡乙島村庄屋文右衛門外2名一浅井 作右衛門役所	
C-17	辰年中小入用書賦帳 玉島村文右衛門組	宝曆2. 12. 9	美・横長	1冊		
C-18	宝曆十二年十二月九日 午ノ御年貢大積算用帳 重左衛門	宝曆3. 11.	半・横長	1冊		
C-19	宝曆十三年十一月吉日 御年貢大積り帳 十一月日 庄屋代 重左衛門	宝曆2. 12. 18	美・横長	1冊		
C-20	宝曆十二年午年十二月十八日 午申組立会書帳	宝曆3. 11.	美・横長	1冊	源次郎外7名	
C-21	宝曆十三年未霜月吉日 御年貢納帳					挟み込み有り 〔覚〕有り 損 壊の為、SILティッシュで包 む
C-22	宝曆十三年未三月二十六日 御年貢大積り書出帳 重左衛門 組	宝曆3. 3. 26	美・横長	1冊		
C-23	宝曆十三年未四組 寄賦帳 上紙共拾四枚	宝曆3.	美・横長	1冊		
C-24	明和貳年酉八月 検也小前帳 浅口郡乙島村	明和2. 8.	美・横長	1冊		
C-25	己安永八年亥正月吉日 小作米銀納帳	安永8. 1.	美・横長	1冊		
C-26	庚安永九年子正月吉日 田畠領定帳	安永9. 1.	美・横半折	1冊		

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

C-27	流作場名寄帳 寛政三年亥十二月改	寛政3. 12.	美・横長	1冊	乙島村庄屋原七組	中に破れた頁あり
C-28	寛政四子年両組一組小入用帳 備中国浅口郡乙島村庄屋十左衛門組	寛政4. 12. ~5.	美・横長	1冊	長五郎外146名一村庄屋十左衛門一野口辰之助役所	
C-29	寛政辰巳年四月 流作場女小前帳	寛政9. 4.	美・横長	1冊		
C-30	寛政九年巳正月吉日 田畑銀米定寛帳	寛政9. 1.	美・横長	1冊		県史よりC-30~48までビニール紐で結ばれていた為、SILティッシュで結ぶ
C-31	享和元年酉五月 流作場小前帳 浅口郡乙島村	享和元 5.	美・横長	1冊		
C-32	享和式年戌極月八日晩 流信諸入用書帳	享和2. 12. 8	半・横長	1冊		
C-33	文化式年丑十一月 改三助組 流作名寄帳	文化2. 11.	美・横長	1冊		
C-34	文化七年庚午年正月吉日 村中和合議銀帳	文化7. 正	美・横長	1冊	手当を調達したいので和合講と名付けてこの度村中一同で集めた事五人組帳、宗門帳等の冊数の書上	
C-35	帳面の冊数書き上げ	文化5. 11.	美・横長	仮1冊		
C-36	文化十一年戌御年貢銀納帳 乙島村	文化11.	美・横長	1冊		
C-37	文政三辰年正月 去御年貢書上帳 備中国浅口郡乙島村	文政3. 1.	美・横長	1冊		
C-38	天保三辰	天保三	美・横長	1冊	田高及び租税の書上	
C-39	〔田高及び租税書上〕	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
C-40	天保五年四月 御見取御高入小前筆銀也帳 備中国浅口郡乙島村	天保5. 4.	美・横長	1冊		
C-41	天保六年 来十二月十六日引合 役目人足割	天保6. 12. 16	半・横長	1冊		
C-42	巳酉 通写帳	年月日未詳	半・横長	1冊	買物勘定覚	
C-43	天保八年酉七月 郷宿取代小前取立帳 乙島村	天保8. 7.	美・横長	1冊		
C-44	天保十ノ亥歳九月ヨリ 高入勿帳 乙島村	天保 9.	美・横長	1冊		
C-45	〔品物代金決算帳〕	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
C-46	〔諸事勘定覚〕	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
C-47	天保十二丑年十二月 御廻浦入用銀書帳	天保12. 12.	半・横長	1冊		
C-48	天保十二丑年十二月 御廻浦御役人様御通行諸入用組合村々書帳	天保12. 12.	半・横長	1冊		
C-49	嘉永三戌年十月十九日 役人勤金控 乙島村庄屋勝太郎 同見習英三郎 庄屋勘勘時之助	嘉永3. 10. 19.	半・横長	1冊		県史よりC-49~67までビニール紐で結ばれていた為、SILティッシュで同状態に結ぶ
C-50	戌御廻米御積立諸入用書出帳 乙島村	嘉永3. 12.	半・横長	1冊		
C-51	嘉永四辛年亥七月 町内買物出掛帳 守屋内 権吉	嘉永4. 7.	半・横長	1冊		
C-52	嘉永四亥年極月 町内佛前帳 永田	嘉永4. 12.	半・横長	1冊		
C-53	嘉永四亥年十二月 館中小遣出掛控 永田	嘉永4. 12.	半・横長	1冊		
C-54	嘉永四亥年七月 町方通写帳 守屋永田	嘉永4. 7.	半・横長	1冊		
C-55	嘉永五子十二月 町方諸御帳 永田	嘉永4. 7.	半・横長	1冊		
C-56	嘉永五子年睦月より 日々記	嘉永5. 睦 2	半・横長	1冊		
C-57	嘉永六癸丑年 正月より 郡村廣覚書 永田	嘉永6 正	半・横長	1冊		
C-58	安政二年卯十二月 小前口宿取代取立帳 乙島村	安政2. 12.	半・横長	1冊		虫損甚し
C-59	安政三 [] 辰六月廿九日 鶴新田地先新開場水行改章一件諸入用帳 乙島村	(安政3) 6. 29	半・横長	1冊		
C-60	安政六未年正月吉祥日 日々雑用勘定帳 乙島守屋	安政6. 正	半・横長	1冊		
C-61	万延元申田畑入勿帳 反古也 乙島村	万延元	半・横長	1冊		
C-62	當座帳	万延2. 1.	半・横長	1冊		
C-63	算用場工帳下ヶ小書付入	文久3. 正		1袋 〔23通〕 〔6枚〕		袋内・C-63-1~29 紙背あり

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

C-63-1	覚（窪屋除所村々書上）	年月日未詳	横切紙	1通		SILティッシュで包む
C-63-2	覚（酒売上高書上）	年末詳 12.	横切紙	1通	永田酒屋一村方	
C-63-3	〔付紙断簡〕	年月日未詳	小切紙	1枚	銀三拾目	SILティッシュで包む
C-63-4	〔御城米賣名付林〕	年月日未詳	横切小切	1枚	城米本員金子800積 西之宮志井屋船	SILティッシュで包む
C-63-5	覚（買物覚）	年月日未詳	横切紙	1通		
C-63-6	宗門人別送房形之事	年月日未詳	横切紙	1枚		付紙夾み込みあり
C-63-7	丑十月廿五日 未夫食銀子年々預り之約束二而書上候口	延享2. 10. 15	縦断紙	1通	浅口郡乙島村庄屋左平次→千種青右衛門役所	
C-63-8	覚（米高書上）	年月日未詳	横断紙	1通		
C-63-9	〔書状〕	年月日未詳	横断紙	1通	うめ崎云蔵所有地の御聞きされたき事	宛名・差出人不明
C-63-10	〔炭目方書上〕	戊 11. 22	横切小切	1通		SILティッシュで包む
C-63-11	覚（金銭受取）	戊 12. 16	横切紙	1通	大阪屋平左衛門→玉島喜代郎	
C-63-12	〔覚〕	年末詳 12. 22	横切紙	1通	畳表の代金受取り 深津屋一喜与郎	
C-63-13	〔田高書上〕	年月日未詳	横断紙	1通		
C-63-14	〔神社入用米の断簡〕	年末詳 7. 晦日 ～8. 12	横切小切	1枚		SILティッシュで包む
C-63-15	〔目方書上の断〕	年月日未詳	縦切小切	1通	祭し入用	SILティッシュで包む
C-63-16	〔断簡〕	年末詳 9. 25	横切小切	1枚	淀屋より来り飛脚島吉	SILティッシュで包む
C-63-17	〔断簡〕	亥 10. 6	横切小切	1通	一亥十月六日 中浦三郎600目入水ノ又吉	SILティッシュで包む
C-63-18	〔書状〕	年月日未詳	横切小切	1枚	阿知野七条村栗木 阿部国助判善助 半九郎江絵区積度候	
C-63-19	御札の注文 内訳 覚	年月日未詳	横断紙	1通		
C-63-20	〔神輿当番書状〕	年月日未詳	横切小切	1枚		SILティッシュで包む
C-63-21	覚	年月日未詳	横切小切	1枚	まいら戸・障子等の代金書上	
C-63-22	覚	年月日未詳	横切紙	1通	畳縁・代金書上	
C-63-23	覚	年末詳 8. 26	横切紙	1通	手問賃書上	
C-63-24	〔十月十三日・翌十四日用事之事〕	年月日未詳	横断小切	1通	10月13日 庄屋へ掛合状持参等 同14日 備前役人見送りの事等	SILティッシュで包む
C-63-25	覚（貯穀高書上）	文政11. 5.	横切紙	1通	昨年まで貯穀28石3升5合を貯穀した旨 乙島村百姓代長蔵外3名一倉敷役所	
C-63-26	〔表数書上〕	年月日未詳	横切紙	1通		
C-63-27	〔田高等書上断簡〕	年末詳 10. 6	横切紙	1通	乙島村庄屋十左衛門代見庄屋見習勝太郎一役所	落った付紙あり（流作冊への書換え）
C-63-28	〔田高算用書上〕	年月日未詳	縦切紙	1通		
C-63-29	覚	年月日未詳	横切紙	1通	金銭書上 井木屋一守屋 守屋勝太郎外 乙島村庄屋2名	
C-64	慶応四年辰七月より中間新開共水破財是再善清入用帳	慶応4. 7.	半・横長	1冊		
C-65	明治元戊辰年十二月廿八日 御下金長壽寺印帳	明治元 12. 28	美・横長	1冊		
C-66	明治二年巳九月 沖瀬開堤普請当巳四月割残并外小入用書掛銀納帳	明治2. 9.	半・横長	1冊		
C-67	明治七年丑十一月より供有物費佛代金計算簿付り諸売付入第六小区乙島郷	明治0. 12.	半・横長	1冊		付紙あり
C-68	〔年貢村入用諸事覚〕	寛永16. ～元禄3.	美・横長	1綴	小物成覚・氏神数・面積・漆大木改之覚	県史によりC-68～99までビニール紐で結ばれていた為、SILティッシュで結ぶ 括り文書1通あり
C-69	〔下賜金覚帳〕	（明治2） 2.	美・横長	1冊		
C-70	浅口郡乙島村喜三右衛門組之内在暮十左衛門江組分之百姓村方午ノ高懸り米銀書付 阿賀崎村太兵衛 年寄惣左衛門	年月日未詳	美・横長	1冊		

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

C-71	請冊帳	年月日未詳	半・横長	1冊	阿賀崎新田村他各村々入用書上	水損あり
C-72	浅井作右衛門兼御手代册左太物御吟味二而被印付られ去々 巳ノ御用初先庄屋喜三右衛門作専八と馴合太兵衛盜取百 姓弁納書紙書出し扣	年月日未詳	美・横長	1冊		
C-73	〔宅地証券紛失ごつき証券内容書上〕	年末詳 5. 27	美・横長	仮1冊	証券紛失ごつき松崎戸長・警察処・前田米 治3ヶ所へ紛失届出ス	
C-74	太兵衛江渡ス分斗入帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
C-75	〔金書上〕	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
C-76-1	〔石高書上〕	年月日未詳	半・横長	仮1冊	吉右衛門外39名石高の書上	
C-76-2	覚	年月日未詳	半・横長	1冊	木綿等の金額書上	
C-77	田方由存	年月日未詳	美・横長	仮1冊		括り文書3通あり
C-78	〔乙島村進男合書上〕	卯 11.	美・横長	仮1冊		
C-79	付列御役帳	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
C-80	覚	巳 7. 12	半・横長	1綴	戸田屋寿兵衛→庄屋中 七助→庄屋中	1綴（2通）
C-81	入銀無之分 四文印増之算用	年月日未詳	美・横長	仮1冊	入銀勘定覚	
C-82	貸田地銀添加候共請方并加地子銀差另覚控帳写し 乙島村 佐平治	午 6	美・横長	1冊		
C-83	安政四巳 御年貢米寄附帳 入作 阿賀崎新田村 亀山領玉 島村 松山領玉島村	安政4.	半・横長	1冊		
C-84	覚	卯 10.22	半・横長	仮1冊	船銀支払書上 乙島村佐平治→喜三右衛 門	
C-85	〔尙数書上計帳〕	年月日未詳	半・横長	1冊		
C-86	〔方覚〕	年月日未詳	半・横長	仮1冊	井の浦急ぎ代切口入用等の覚	
C-87	由右衛門方入用	戌～辰	美・横長	仮1冊		
C-88	米収納座	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
C-89	〔村受流付地代納書付〕	年末詳 8. 5 ～11.	美・横長	仮1冊	杉屋重兵衛儀	
C-90	〔田地書上帳〕	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
C-91	午十月 貸田地置合内少入銀事上状 浅口郡乙島村佐兵衛	午 10.	美・横長	1冊	10月25ニ上リ控	
C-92	午六月 貸田地銀添加候共請方并加地子銀差另覚控帳写し 乙島村佐兵衛	午 6.	美・横長	1冊		
C-93	明治参拾五年度 加地子取立帳 在地區新開 永田間屋	明治5.	半・横長	1冊		
C-94	明治三拾六年度 在地區新開 永田間屋 加地子取立帳	明治6.	美・横長	1冊		
C-95	明治三拾七年度 在地區新開 永田間屋 加地子取立帳	明治7.	美・横長	1冊		
C-96	明治三拾八年度 在地區新開 永田間屋 加地子取立帳	明治8.	美・横長	1冊		
C-97	大正九年度 在地區新開 永田間屋 加地子取立帳	大正9.	半・横長	1冊		
C-98	〔検地帳 写〕	年月日未詳	美大・横長	1冊	城渡り外検地	
C-99	〔覚〕					袋こ入って、重なつて折り 畳まれていた、C-99-1がC- 99-2以下を包み、C-99-1～10 をSILティッシュで纏める 金戻の事
C-99-1	覚	文久3. 4. 22	横折紙	1通		
C-99-2	〔上成 なりから上渡し場蔵の足数書上（測量カ）〕	年月日未詳	横折紙	1通		
C-99-3	〔人名書上〕	年月日未詳	横折紙	1通	渡「世助 久介」等の人名書上	
C-99-4	〔廻文〕	年月日未詳	横折紙	1通	舟公積金の事	
C-99-5	覚	年月日未詳	横折紙	1通	香入代銀	
C-99-6	覚	戊 正 20	横折紙	1通	金田出入書付	
C-99-7	〔金返却覚〕	年末詳 正 3	横折紙	1通	金返却	
C-99-8	〔金収支覚〕	戊 12.	横折紙	1通		
C-99-9	覚（借金書付）	酉 10. 3	半・横折	1冊		

C-99-10	〔金収支覚〕	文久2. 正 29	横折紙	1通		
◆◆◆◆D-1~D-70◆◆◆◆						
D-1	〔報告書〕	延享元 8. 8	美・横折	仮1冊	養子縁組の事等役所へ願ひ出た事の報告 浅口郡乙島村滋八守屋左平次	県史の分類こよりD-1~20を SILティッシュで纏める
D-2	婚礼簡法	延享3. 7.	美・横折	1冊	全16ヶ条からなる婚礼の段取りについて の原帖からの写 水島ト也・伊藤甚衛門	
D-3	寛保三年亥十二月 諸日記覚帳 備中国浅口郡乙島村守屋繁 八	寛保3. 12.	半・横折	1冊	繁八家の年齢や差紙空	括り文書1通あり
D-4	出入内済正文写シ 備中国浅口郡乙島村 民兵衛 佐平次	宝暦2. 12. 30	美・横折	1冊	済正文差上との事 民兵衛外3名一役 所	破損甚し
D-5	年々御年貢口口小物成納入用書付過不足仕出し帳 浅口郡乙 島村	天明6. ~寛政9.	半・横折	1冊	銀入用と小物成について	
D-6	寛政十二年申十一月 御廻米羽織係賣上訳	寛政2. 11.	半・横折	1冊	御廻米羽織積の名船への書振等の記載	括り文書1通あり
D-7	文化八年未年閏二月吉日 村入用之通	文化8. 2.	美・横折	1冊	乙島村の通帳	
D-8	文化十酉三月 道中覚日記二 守屋喜右衛門	文化10. 3.	美・横折	1冊	御所・春日社等の旅	
D-9	文化十一年戌年四月 諸領約例書 守屋敏	文化11. 4.	半・横折	1冊		
D-10	文政六未正月 出府諸用留 守谷彦右衛門	文政6. 正 6~27	半・横折	1冊	守屋彦右衛門の書	
D-11	文政六未年九月 出勤中日記 守屋敏	文政6. 9.	半・横折	1冊		
D-12	丹波 丹後 美作 備中 石見 備後 右六ヶ国荒世に反免 直并本下免之場所免直御見分御用従工戸表御勘定 様々御廻米被遊候一件謝状也 日記 庄屋十左衛門	文保2. 8.	美・横折	1冊		
D-13	天保六未年三月 御廻米小前一筆取地帳 庄屋重左衛門行 敏 備中国浅口郡乙島村新開 守屋新開場并見取取田 〔御年貢銀入用〕	天保6. 3.	美・横折	1冊	備中国浅口郡乙島村新開 新田検地の事 代官古橋新左衛門外10名に宛たもの	
D-14		天保6.		1括り〔2冊〕		一括り・D-14-1~2
D-14-1	天保六未乙年 御年貢銀入帳 乙島村	天保6.	美・横折	1冊		
D-14-2	天保六未乙年 御年貢銀入帳 乙島村	天保6.	美・横折	1冊		
D-15	天保八年酉十一月 御陣内 御廻米買入代銀取立帳 浅 口郡惣代乙島村庄屋十太夫 片峠庄屋又之丞	天保8. 11.	半・横折	1冊	覚書	
D-16	天保十二年丑正月 御廻米一件手帳 よノ三 守屋勝太郎	天保2. 正	半・横折	1冊	浅口郡乙島村の納庄屋である守屋氏によ る幕府への納入米の覚	
D-17	弘化貳年巳六月廿四日より七月五日迄 大坂行書類入	弘化2. 6. 24 ~7. 5		1袋〔8冊〕		袋内・D-17-1~8 破損の為 SILティッシュで包む
D-17-1	覚	弘化2.	半・横折	1冊	大坂こゝく旅中入用の事	
D-17-2	覚	弘化2.	半・横折	1冊	大坂こゝく旅中入用の事	
D-17-3	弘化乙巳年九月 諸入用惣帳 守屋勝太郎	弘化2. 9.	半・横折	1冊		
D-17-4	弘化三酉年卯明吉日 諸入用惣帳	弘化3. 4.	半・横折	1冊		括り文書1通あり
D-17-5	弘化乙巳年六月吉日 日記帳 守屋勝太郎	弘化2. 6.	半・横折	1冊		
D-17-6	弘化乙巳年九月 萬覚帳 守屋勝太郎	弘化2. 9.	半・横折	1冊		
D-17-7	弘化乙巳年六月吉日 大坂行諸入用空 守屋	弘化2. 6.	半・横折	1冊		
D-17-8	弘化三酉年卯明吉日 国銀出入帳 守屋勝太郎	弘化3. 4.	半・横折	1冊		
D-18	嘉永五子四月十一日 浅口郡乙島村内上成より一段包幅見 分帳	嘉永5. 4. 11	半・横折	1冊		
D-19	安政三辰年九月 御年貢銀入帳 乙島村	安政3. 9.	美・横折	1冊		
D-20	安政二年 見聞集 黄備乙島村庄屋	安政2.	半・横折	1冊	大阪天王寺等の見聞	
D-21	安政四巳年五月十三日 野帳	安政4. 5. 13	半・横折	1冊		D-21~40を県史の分類こより SILティッシュで纏める
D-22	安政四巳年閏五月 御出役様 東川筋見廻り控 乙島村	安政4. 閏5.	半・横折	1冊		
D-23	安政四年五月 野帳	安政4. 5.	半・横折	1冊		

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

D-24	安政三辰年十二月 藤静通	安政3. 12.	半・横折	1冊	
D-25	安政四巳歳五月十三日 御仕役様 流作場也野帳 乙島村 五番帳	安政4. 5. 13	半・横折	1冊	
D-26	安政四丁巳年七月二日三日 沖浦 千場田 白銀 地押取 帳	安政4. 7. 2~3	半・横折	1冊	
D-27	〔屋敷地間口改〕	年末詳 6. 3 ~7. 3	半・横折	仮1冊	
D-28	〔屋敷地間口改〕	年末詳 6. 23~27	半・横折	1冊	
D-29	戊午安政五年三月より同年〔 〕 現銀詰請取帳一	安政5. 3.	半・横折	1冊	
D-30	万延元庚申年十二月 流作場一件日記	万延元 12.	半・横折	1冊	
D-31	万延二酉年正月十七日 流作一件日記 壹番	万延2. 正 17	半・横折	1冊	
D-32	流作場一件下日記 二番	年月日未詳	半・横折	1冊	
D-33	申五月 日記 三番 敏政	年末詳 5.	半・横折	1冊	
D-34	九冊之内 万延二酉年正月二十七日 御見地 御奉行様 御 改野帳 乙島村	万延2. 正 27	半・横折	1冊	
D-35	九冊之内 万延二辛酉年正月二十一日 上成橋荷提苑山 下 岡飛洲近 御検地 御奉行様 御改野帳空 乙島村	万延2. 正 21	半・横折	1冊	括り文書1通あり
D-36	九冊之内 万延二酉年二月二日 御検地 御奉行様 御改野 帳空 乙島村	万延2. 2. 2	半・横折	1冊	
D-37	九冊之内 辛万延二酉年二月本四日より 御検地 御奉行様 御分間野帳 壹番 乙島村	万延2. 2. 4	半・横折	1冊	括り文書1通あり
D-38	九冊之内 万延二酉年二月七日 御検地 御奉行様 御改野 帳空 乙島村	万延2. 2. 7	半・横折	1冊	括り文書1通あり
D-39	九冊之内 万延二年二月三日ヨリ 西之浦也先弁才天流作御 分内 野帳 乙島村	万延2. 2.	半・横折	1冊	
D-40	九冊之内 辛万延二酉年二月十九日より 御検地 御奉行様 御分間野帳 壹番 乙島村	万延2. 2. 19	半・横折	1冊	
D-41	〔流作場是高氏野帳等外六冊乙島村〕	万延2. 2. ~文久元 5. 24	半・横折	1綴	流作場の併ご付、川上高氏野帳等外9点 県史の分類こよりD-41~70を SILティッシュで纏める 1 綴（7冊）
D-42	九冊之内 万延二酉年三月朔日ヨリ 御検地 御奉行様 御 改野帳空	万延2. 3. 1	半・横折	1冊	守屋弥惣左衛門
D-43	九冊之内 万延二酉年三月十日 御検地 御奉行様 御改野 帳空 たの下番の於く下番 乙島村	万延2. 3. 10	半・横折	1綴	
D-44	文久元酉年七月 上川上川縁竹藪再見野帳 北九十郎	文久元 7.	半・横折	1綴	
D-45	文久元酉年七月十一日~十五 新井堤首御分間 野帳 西 川分き印東山 乙島村	文久元 7. 11~15	半・横折	1綴	
D-46	文久元酉年八月十三日 川上乙島御打入杭より所々目印 御 始末野帳	文久元 8. 13	半・横折	1綴	乙島野帳尉九十郎一熟談役岡本安喜之 助
D-47	文久元酉年七月十五日 流作場一件熟談 川幅御分間野帳 乙島村	文久元 7. 15	半・横折	1綴	流作・奉行・改野帳と一綴
D-48	文久元酉年 霞場川間見取り野帳	文久元 5. 24	半・横折	1冊	
D-49	文久元酉年八月二十二日 御代官大竹左馬太郎御遠見 御仕 荒川筋定杭 目印入霞場間見野帳 乙島村九十郎	文久元 8. 22	半・横折	1冊	
D-50	文久元酉年八月十一日 川上川縁杭木御打入野帳	文久元 8. 11	半・横折	1綴	1件熟談後、庄川東杭御打入野帳 乙島 村北葛四郎卒次郎・乙島村九十郎
D-51	文久元酉年六月十八日 御検地 御奉行様 御改野帳 乙島 村	文久元 6. 18	半・横折	1冊	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

D-52	文久元酉年八月 御檢地 御奉行様 御分置野帳 ゆ・き印 乙島村	文久元 8.	半・横半折	1冊	
D-53	新開御見分野帳	文久元 7. 11	半・横半折	1冊	破損甚し SILティッシュで 包む
D-54	文久元酉年七月 御檢地 御奉行様 御分置野帳 め・み印 乙島村	文久元 7.	半・横半折	1冊	
D-55	文久元酉年 御檢地 御奉行様 御改置野帳 六月十日 上成 神杭下番 け印 十一月十八日福田新田川中口改とも	文久元 6. 10	半・横半折	1冊	
D-56	文久元酉年八月八日 川上川筋御杭入下見野帳 九十郎	文久元 8.	半・横半折	1冊	
D-57	文久三亥年正月 柳葉一件熟読易所御定抗野帳人足書通 乙 島村	文久3. 正	半・横半折	1冊	D-57・D-58は括り紐が結ば れている
D-58	文久三亥年正月 柳葉一件熟読易所御定抗野帳 乙島村	文久3. 正	半・横半折	1冊	D-57・D-58は括り紐が結ば れている
D-59	文久三亥年七月 番山前判流作姦図 乙島村	文久3. 7.	美・横半折	1冊	「文久三年番山前判改野帳八 月 乙島村」と合冊 袋入 袋上書あり
D-60	明治三年十二月廿五日 村小入用并人足書紙書抜帳 乙島村	明治3. 12. 25	美・横長	1冊	
D-61	明治六癸酉年五月 金円出入通	明治6. 5.	半・横半折	1冊	
D-62	万事覚書	年月日未詳	美・横半折	1冊	風流に通ずへからずの事等 定兼源左衛 門
D-63	五人組帳	年月日未詳	美・横半折	1冊	
D-64	末年 酒之通 大字溝屋云治郎 守屋彦右衛門様	未	美・横半折	1綴	大字溝屋云治郎 守屋彦右衛門
D-65	乙島庄屋勘定憑着依頼一件	年月日未詳	半・横半折	1冊	「享保廿九年」の記述あり
D-66	於評定所立会	未 3. 17	半・横半折	1冊	
D-67-1	高済より高俊端野帳	年月日未詳	半・横半折	1冊	県史により、D-67として一括 し、D-67-1～8をSILティ ッシュで包む
D-67-2	〔う〕四番杭打ち野帳	年月日未詳	半・横半折	仮1冊	
D-67-3	〔覚書〕	年末詳 3. 10	半・横半折	仮1冊	川幅覚書
D-67-4	〔金銭拾覚〕	年月未詳 24 ～3. 29	美・横半折	仮1冊	
D-67-5	戊 現銀帳請取帳	戊	半・横半折	1冊	
D-67-6	御用御注文もの控	年月日未詳	半・横半折	1冊	括り文書1通あり
D-67-7	〔地改帳〕	年月日未詳	美・横半折	1冊	
D-67-8	〔う〕四番見分野帳	年月日未詳	半・横半折	仮1冊	
D-68	元文四年己未三月 納国中有覚帳	元文4. 3.	美・横半折	1冊	
D-69	上成大用是外蔵有形之事	酉 8.	半・横長	仮1冊	倉敷外植田武右衛門差出 同所荷揚場・ 上下船尾本據敷
D-70	上成大用是外蔵有形之事	酉 11.	美・横半折	仮1通	倉敷外植田武右衛門差出 同所荷揚場・ 上下船尾本據敷等
◆◆◆E-1～E-4-41◆◆◆					
E-1	民右衛門殿 何角入 算用書	安永6.	縦紙	1通	紙背は「作恐奉願上口上 浅口郡乙島村 起訴人忠蔵」の下書 県史の整理によりE-1～4を SILティッシュで括る 包紙 内：E-1-1～12 包紙を紙紐 で括る 3通を紙紐で1括り
E-1-1	〔十左衛門内寄書状三通〕	年月日未詳	横切紙1括り〔3通〕		
E-1-2	〔大島治兵衛宛守屋民右衛門書状〕	年末詳 6. 11	横切紙	1通	麦四斗差遣 残麦も14・15日に取立
E-1-3	覚〔麦三石貢附〕	安永6. 6. 20	横切紙	1通	忠蔵母・祖父台平衛→乙島村民右衛門
E-1-4	〔大島治兵衛宛守屋民右衛門書状〕	年末詳 6. 20	横切紙	1通	(E-1-3)の送り状

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

E-1-5	覚（酒代・飯代等）	亥 7. 12	横切紙	1通	民右衛門→忠兵衛	
E-1-6	民右衛門殿差付覚	西 6. 20	横切紙	1通	麦5石西6月20日受取・銀00目西年分	
E-1-7	おまへ	年未詳 3. 12~19	横切紙	1通	あさ、ひる、ほかこ大工分の勘定	
E-1-8	〔勘定覚断筒〕	年月日未詳	横切紙	1通		
E-1-9	〔畑高物成者入用勘定覚〕	年月日未詳	美・横長	仮1冊	申年~卯年	
E-1-10	〔諸人田畠所持高書上〕	年月日未詳	美・横長	仮1冊		断筒を挟んでいる
E-1-11	申歳より当西年迄柿代帳面 乙島村誌蔵	安永6. 11. 23	美・横長	1冊	申ノ年より柿代 柿木10本 1ヶ年の柿代及び利分 〆6惣521 4分8厘	
E-1-12	重左衛門所持当西暮迄御年貢相勘分高小前覚	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
E-2	御廻浦一件書類入并改勘定書入	年月日未詳		1袋		袋内・E-2-1~9
E-2-1	御廻浦者入用取集銀入帳 乙島村	天保2. 12.	半・横半折	1冊		
E-2-2	御廻浦者入用取集帳 乙島村	天保2. 12.	美・横半折	1冊		
E-2-3	天保十二丑年十二月十日夕より十三日夜迄 御廻浦御用書賦 仕出之銀帳 乙島村	天保2. 12. 10~13	美・横半折	1冊		
E-2-4	扣（御廻浦者入用等勘定覚）	年月日未詳	美・横長	1冊		
E-2-5	〔御廻浦者入用等勘定覚〕	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
E-2-6	〔村々御役人中宛乙島村庄屋重左衛門 阿ヶ崎新田村坪寄良助廻文〕	丑 12. 19	横漉紙	1通	廻浦者入用の村々書賦 松山領分玉島村 外5ヶ村宛	袖に包紙貼継
E-2-7	〔組合村々御役人中宛乙島村庄屋重左衛門 阿ヶ崎良助廻文覚〕	丑 12. 23	横漉紙	2通	御廻浦入用書賦取集人に出銀の件 村々出銀額覚の1通をそえる 柏島村・押山浜・勇崎兵・勇崎村・黒崎村宛 見舞覚	廻文・覚2通 貼継・包紙あり
E-2-8	〔守屋宛多賀吉郎書状〕	年月日未詳	横漉紙	1通		
E-2-9	〔阿ヶ崎新田村千大夫諸入用勘定書〕	年月日未詳	横切紙	1通		
E-3	文久三年十一月 備前岡山御城主公平備前守様迄 朝垂賞備 海岸御固被蒙 仰為御見分当江被遊 御越幸書其外書類写在中 浅口郡乙島村	文久3. 11.				袋内・E-3-1~4
E-3-1	文久三癸亥年十一月 松平備前守様毎岸為御見分御越二付 御達書其外書類写 乙島村	文久3. 11.	半・縦	1冊		
E-3-2	〔松平村模守建白書・徳川家茂少汰書写〕	文久4. 正 ~2.	半・縦	1冊		
E-3-3	万延元西年 異国船渡来御固向万事御伺書写 二冊之内上・下	万延元	半・縦	1綴	異国船渡来之節固人数差出方御達之儀申上書付 異国人出陸二付固人数差出方御達之儀申上書付 備前讃国島之毎岸非常の節松平三河守阿部伊予守江人数出之儀皮印渡御達二付計方向書等 守屋勝太郎御達のものや浅口郡庄屋連名のものもあり	1綴（2冊）
E-3-4	〔乙島村庄屋守屋勝太郎名前付〕	年月日未詳	小切	59枚		59枚が分かれている為、SIL ティッシュで包む 袋内：E-4-1~41
E-4	明治三十年五月 當村立入庄屋阿賀崎村庄屋安八郎より 来状并書類清渡入之扣書	明治3. 5.		1袋		
E-4-1	明治三十年五月 書類帳面目録 浅口郡乙島村	明治3. 5.	半・縦	1冊	乙島村先庄屋勝太郎より立入、庄屋阿賀崎村庄屋安八郎へ引渡し書類の目録 同村立入庄屋阿賀崎庄屋安八郎→乙島村先庄屋勝太郎	
E-4-2	覚（書類断筒入文書袋受取）	明治3. 5. 27	半・縦	1冊	倉敷県守宛	
E-4-3	乍恐奉願上候（乙島村地先水面築立新開地付）	明治4. 3. 晦日 ~4.	半・縦	1冊		
E-4-4	願書草案下書	年月日未詳	縦切紙	1通	乙島村地先新開地の件	紙背に勘定書
E-4-5	〔米勘定書付〕	年月日未詳	小切れ	1通		16.1×13.3(cm)
E-4-6	覚（書類受取）	午 6. 26	横切紙	1通	貯穀秤書類1冊、状1通 三宅一守屋	
E-4-7	御用状并書正文之事	庚午 6.	横漉紙	1通	浅口郡村々倉敷県役所	
E-4-8	〔御用状〕	年未詳 7. 28	横漉紙	1通	役人中宛定検見の書類差出	
E-4-9	〔道具入戸棚見取図〕	年月日未詳	美・堅切	1枚		

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

E-4-10	〔米代銀支払覚〕	年月日未詳	横折紙	1通	守屋勝太郎→三宅安八郎	
E-4-11	〔三宅安八郎宛守屋勝太郎書状〕	年末詳 6. 5	横切紙	1通	村方書類外受取1件	
E-4-12	〔名前書上〕	年月日未詳	横折紙	1通	桶口吉左衛門・大嶋太郎大夫など	
E-4-13	覚	安政3.	横切紙	1通	安政3辰年売払米代金請慶正文 裏面正文の受渡書	
E-4-14	辰御年貢金請取通	辰	横切紙	1通	備中国浅口郡乙島村年貢納人武左衛門等 倉敷県役所宛 物品の買入覚 米納入覚	
E-4-15	覚	午 6. 5~7	半・横長	1冊	伏見大合戦・倉敷陣屋の動向について記す	
E-4-16	〔守屋勝太郎書状草案〕	慶応4. 正 29 ~4. 29	半・横長	仮1冊	母上・祖母・松田之太郎・坂本喜兵衛等	
E-4-17	〔村々庄屋宛中原健蔵書状〕	年末詳 8. 9	横巻紙	1通	金米の儀 村々で相談の上、明日時るべき事	
E-4-18	〔神社等書上の雛型〕	年末詳 8. 9	横巻紙	1通	各村々へ神社等の書上を行う旨を告げる書付 頭部部分に書上の雛型が書かれている	
E-4-19	〔村々の諸社書上の為の雛型廻状〕	年末詳 8. 9	横巻紙	1通	屋貫富太郎→浅口郡片島村外5村2浜の役人	1通であるが2枚に分かれている
E-4-20	覚（受取証文）	年末詳 9. 20	小切	1冊	安八兵衛→守屋勝太郎	14.4×8.9(cm)
E-4-21	〔覚〕	年月日未詳	横切紙	1通	米高書上掛筒 乙島村	15.5×15.5(cm)
E-4-22	〔金書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	金277両以上 乙島村	
E-4-23	覚	年月日未詳	横折紙	1通	正米上納	裏に「欠米式斗七弁七合式分」の記載あり
E-4-24	覚（書類静取戻り）	午 7. 26	横切紙	1通	貯穀米通帳1冊（慶応2年） 立入庄屋阿賀崎村庄屋安八郎→乙島村前庄屋勝太郎	
E-4-25	〔金子勘定覚〕	年月日未詳	横巻紙	1通	守屋・守分ら4人各35両 百姓代長蔵ら14人各10両 合計280両	
E-4-26	覚	午 6.	横巻紙	1通	見地帳・宗門帳などの帳簿慶伏 乙島村百姓→乙島村立合庄屋安八郎	
E-4-27	〔屋敷面積 上〕	明治2. 9.	横切紙	1通	文六村公五郎宅	
E-4-28	覚	未 4. 20	横切紙	1通	乙島村庄屋守屋甚一→後見三宅安八郎	
E-4-29	覚	明治2. 8. 19	横巻紙	1通	起反御取下場年季願書上帳・辰定免切替願書・神社書上を受取り、預かった旨の書付 乙島村立入阿賀崎村庄屋安八郎→乙島村前庄屋勝太郎	
E-4-30	〔乙島永田守屋宛阿賀崎町三宅口上〕	年末詳 8. 26	横巻紙	1通	此宛封印仕候趣	
E-4-31	〔乙島村御庄屋守屋勝太郎宛黒崎村年寄猪左衛門書状〕	年末詳 2. 28	横巻紙	1通	大坂廻米番船の分月29日出帆の事	
E-4-32	〔米高書上〕	年月日未詳	横折紙	1通		
E-4-33	〔守屋勝太郎宛三宅安八郎書状〕	午 6. 5	横巻紙	1通	村方書類受取付	
E-4-34	覚（明細帳 家数人別増減帳 受取の事）	年末詳 4. 13	横切紙	1通	乙島村守屋甚一→庄屋後見三宅安八郎	
E-4-35	覚（書類静取戻り置）	午 9. 30	横巻紙	1通	明治2年租税算用帳 同年田畑年寄帳等立入庄屋安八郎→乙島村前庄屋勝太郎	
E-4-36	〔村々庄屋宛中原健蔵書状〕	年末詳 6. 6	横巻紙	1通	米入札付片島村庄屋中原健蔵→村々庄屋	
E-4-37	覚	明治3. 9. 晦日	横切紙	1通	租税算用帳等を差出した旨の書付 乙島村前庄屋勝太郎→立入庄屋阿賀崎村庄屋安八郎	
E-4-38	覚（帳簿等書上）	天保3. 正 ~安政3.	横折紙	1通		

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

E-4-39	〔守屋英太郎院鶴太牢書状〕	年末詳 9. 7	縦切紙	1通	産土神祭開催の件 参上出来かねるならば 祈禱の件 家内の年書をしたためて頂きたい 玉島五鶴太牢 守屋英太郎	包紙あり
E-4-40	〔御廻米改之事〕	巳 6. 2	横切紙	1通		2枚に分かれている為、SILティッシュで包む
E-4-41	本紙を当方江預置写	庚午 8.	横巻紙	1通	年貢 倉敷租税掛浅口郡村の役人 片島村中条任職 乙島村三宅安八郎外6名	
◆◆◆F-2~F-10-13◆◆◆ (F-1は次番)						
F-2	〔書状等一括〕					県史の分類より、SILティッシュでF-2-1~48を括る
F-2-1	〔書類等〕	年月日未詳	封筒	1袋 [3通]		一纏め・F-2-1-1~7 岡山県玉島村ノ玉島 守屋弘太の封筒内にF-2-1-1~7がある
F-2-1-1	〔覚・書状等〕			1纏め [7枚]		一纏め・F-2-1-1~7が重なって折られている上からSILティッシュで包む
F-2-1-1-1	〔覚〕	年末詳 12. 26	横巻紙	1通	年貢算用の事 圓乗院 守屋左平治	
F-2-1-1-2	〔未進分年貢割付変更〕	子 12. 25	横巻紙	1通	守屋左平治 円乗院	
F-2-1-1-3	〔覚〕	亥 12. 26	横切紙	1通	返却米取立の覚 光明院等	
F-2-1-1-4	〔守屋左平治院圓乗院書状〕	年末詳 12. 27	横巻紙	1通	銀うけとり状	
F-2-1-1-5	〔守屋左平治院蓮成院書状〕	年末詳 閏2. 19	横巻紙	1通	さわ屋よりの書簡を御目にかけたき事	
F-2-1-1-6	〔覚〕	亥 12. 19	横巻紙	1通	納米式表 圓乗院 守屋左平治	
F-2-1-1-7	〔覚〕	子 12. 26	横巻紙	1通	納米覚 圓乗院 守屋左平治	
F-2-1-1-8	〔金銀書上〕	年月日未詳	横巻紙	1通		
F-2-1-2	〔母兄宛書状〕	年月日未詳	横巻紙	1通	暮し向きの苦しき事	後部切れて無し
F-2-1-3	〔住職魚屋頼川〕	明治33.	半・縦	1冊	木山寺の住職関係者について	
F-2-1-4	〔喪葬に関する諸費用〕	年月日未詳	縦紙	9通		
F-2-1-5	〔圓乗院十器帳〕	明治9. 7. 25	半・縦	1冊	什器の取引帳 円乗院前兼務 円乗院住職	付紙あり
F-2-1-6	〔銀子残金受取事〕	大正2. 8. 13	横切紙	1通	金銀書上	
F-2-1-7	〔借用證〕	明治11. 11. 6	横切紙	1通	守屋徳太郎 壇港総代	
F-2-1-8	〔金銀書上〕	年月日未詳	横巻紙	1通		
F-2-2	〔 〕 流産前後伝	年月日未詳		1冊		18.0×13.5(cm) (封筒表書) 購買組合定款原稿 昭和七年九月 虫食甚し 封筒あり
F-2-3	〔アスピリン 蕩合剤代用〕	明治33. 10. 27	縦紙	2通		21.9×27.2(cm) 17.0×22.0(cm) (封筒表書) 守屋徳太郎 ヒサの処方箋 封筒あり
F-2-4	〔伝領之地左平治作〕	宝暦2. 暮	横切紙	1通		
F-2-5	〔覚 (鑑定書付等年代用向不明のもの)〕	年月日未詳	横巻紙	1通		
F-2-6	〔療法薬種功能書〕	年月日未詳	半・横半折	1冊	薬の調合と効能	(封筒表書) 鑑定書付等 付紙夾み込まれ 封筒あり
F-2-7	〔うた〕	年月日未詳		1袋 [3通]		袋内・F-2-7-1~3
F-2-7-1	〔うた (花橋)〕	年月日未詳	半・横半折	1通		
F-2-7-2	〔うた〕	年月日未詳	半・縦切紙	1通		
F-2-7-3	〔うた (奇松良恋)〕	年月日未詳	美・横切紙	1通		
F-2-8	〔書類等〕			1包 [28通]		
F-2-8-1	〔保証書〕	年月日未詳	縦紙	1通	井路徳の敷地の内押替願の件についての保証書 備中国浅口郡外江井戸長坪井良	包紙内・F-2-8-1~28 F-2-8-1でF-2-8-2以下を包み、更に周りを紙で包んである

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-2-8-2	〔守屋勝太郎宛吉田八左衛門書状〕	丑 正 朔日	横巻紙	1通	(カ) 一郎外2名一県令	る
F-2-8-3	追觸 佐々井半十郎内守屋勝太郎	寅 4. 5	半・横巻紙	1通	年貢延弓を銀こて、一部支払の事 人馬を定賃で、渡船川越で止宿ふよう 取り図らいを願 出た旨 佐々井半十郎 内守屋勝太郎一備前岡山より摂州兵庫を 右宿問屋年寄中	貼り付いた包紙あり
F-2-8-4	〔文選友書〕	年月日未詳	縦紙	1枚		
F-2-8-5	覚 (受取正文)	明治3. 正 20	横切紙	1通	書状壹通受取の旨 石ノ (カ) 雄一郎→ 守屋勝太郎	
F-2-8-6	〔乙島村貯穀書類等〕	天保4. 3.		1袋 (18通)		袋内・F-2-8-6-1~18 (袋 表書) 「天保十四卯年三月改置 乙島村貯穀書上帳并書類入 庄 屋重左衛門」重ねたまま折り 畳まれ、袋に入っている 包紙と書状が一体化している
F-2-8-6-1	〔守屋重左衛門宛柚木正兵衛書状〕	年末詳 3. 16	横巻紙	1通	柵沓作場1件も4月20日追日延二御成候 由承知仕候事等	
F-2-8-6-2	〔守屋重左衛門宛定八書状〕	申 9. 28	横巻紙	1通	濱村檢相渡の事	
F-2-8-6-3	貯穀御替替頂り證文之事	天保5. (7. カ 8.)	横巻紙	1通		日付「七月」の数字の右横こ 「八」と書いてある ある物の量数 (斗・升・合) を 書上げているが、不明
F-2-8-6-4	〔算用書上〕	年月日未詳	横切紙	1通		
F-2-8-6-5	〔計算表〕	年月日未詳	横切紙	1通	「玉」の字で数を数えたもの	
F-2-8-6-6	村貯穀覚	年月日未詳	横切紙	1通	貯穀 (麦・稗等) 量数書上	
F-2-8-6-7	〔計算表〕	年月日未詳	横切紙	1通	15貫目・14貫6等々43俵	
F-2-8-6-8	村貯穀	年月日未詳	横巻紙	1通	村貯穀の算用書上	
F-2-8-6-9	〔守屋貞左衛門宛守屋重左衛門書状〕	年末詳 3. 16	横巻紙	1通	貯穀の事	
F-2-8-6-10	〔米穀高書上〕	天保4. 6. 23	横切紙	1通		
F-2-8-6-11	天保十四卯年三月十六日 村貯穀一件大切之書類	天保4. 3. 16	横切紙	1通	浅口郡村々の貯穀の取り計らいについて	
F-2-8-6-12	〔穀物用置之事〕	天保4. 2.	美・横切	1冊		
F-2-8-6-13	乍恐以書付御届奉候	天保1. 4.	横巻紙	1通	田圃と貯穀の蔵の修善 浅口郡乙島村百 姓代長蔵外3名一倉敷役所	
F-2-8-6-14	〔米算用書上〕	年月日未詳	横巻紙	1通		裏こ「御書附指済目録」の雛形 あり
F-2-8-6-15	〔乙島村年貢算用書付〕	年月日未詳	横切紙	1通		(裏面) 「口上 卯三月二十六 日 乙島村庄屋重左衛門」等
F-2-8-6-16	〔某宛庄屋重左衛門・年寄四郎兵衛書状〕	天保4. 3.	横巻紙	1通	浅口郡六条院中村明田院・宗門人別改の 事	
F-2-8-6-17	〔守屋又大夫宛守屋重左衛門書状〕	年末詳 3. 16	横巻紙	1通	年貢上納の件	
F-2-8-6-18	乍恐以書附奉申上候	天保2. 4.	横切紙	1通	貯穀并御田穀の儀 浅口郡乙島村庄屋十 左衛門一倉敷役所	
F-2-8-7	紀元二千五百三十三年第四月 為取替規定書	年月日未詳	美・縦	1冊	新開地田是の内、悪水抜きに要する税金 の件	
F-2-8-8	議定書	年月日未詳	美・横巻紙	1通	漁業取決めについて 案文の為宛先不明	
F-2-8-9	定約証	明治1. 12. 30	縦切紙	2通	借金の事と借金用紙にもあり 守屋徳太 郎一森永鐘太郎	「記」の紙が挟み込まれていた
F-2-8-10	新開地内へ井路跡除置候處不用相成候付敷也并替願	明治1. 7.	半・縦	仮1冊	備中国浅口郡乙島村願人守屋勝太郎一岡 山県令高崎五六	
F-2-8-11	為取替議定書	明治8. 12. 26	縦紙	2通	新開地内水面活魚場御租税金上納願と願 書写 差出人浅口郡乙島村守屋勝太郎外 2名	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-2-8-12	小作證券	明治8. 6. 1	美・縦漣紙	1通	高田喜代蔵外1名一地主守屋勝太郎	
F-2-8-13	〔守屋左平台宛名主五郎兵衛書状〕	年未詳 2. 8	横切紙	1通	私手形之安紙申置申候由	切り封付
F-2-8-14	小作證券	明治0. 1. 10	美・縦漣紙	1通	小作人乙島村附幡吉一守屋勝太郎証人 滝沢云七	
F-2-8-15	〔人別数書上帳〕	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
F-2-8-16	〔川五月雨書状〕	年月日未詳	美・横折	1通	和歌2首、添削あり	
F-2-8-17	〔守屋重左衛門宛丸山久右衛門書状〕	年未詳 7. 21	横漣紙	1通	内願の事ご返状	
F-2-8-18	〔謡曲の台本〕	年月日未詳	縦漣紙	1枚	謡曲の台本 第32段管項 第7堺獅子	前次
F-2-8-19	議定書	明治7. 4.	美・縦	仮1冊	12月迄銀相渡之事 守屋勝太郎	
F-2-8-20	規定書	年月日未詳	縦紙	1通	池田へ12月迄銀入金の事 守屋勝太郎	
F-2-8-21	議定書	明治7. 4.	縦紙	1通	金を来る十二月迄入金の事	
F-2-8-22	規定書	明治7. 4.	半・縦	1通	守屋勝太郎外3名に2月迄現金を渡す べき事	
F-2-8-23	規定書	年月日未詳	縦紙	1通	当年迄入金3両 守屋勝太郎	
F-2-8-24	〔守屋彦右衛門宛伊○太郎兵衛書状〕	年未詳 2. 19	横切紙	1通	銀用立	〔端裏書〕〔守屋彦右衛門様 伊○太郎兵衛〕
F-2-8-25	〔手習断簡〕	年月日未詳	横切紙	1通		
F-2-8-26	〔百間川鹿水場所の件〕	明治4. 6. 27		1通	池田理裕台一守屋勝太郎	23.3×25.9(cm) 封筒あり
F-2-8-27	差入申一札事	嘉永1. 12.	美・縦漣	1通	玉谷亀之助一前菅昌寺	虫損あり
F-2-8-28	円乘宛規則	年月日未詳	半・縦	1冊	圓乘宛と檀家との規則	虫損あり
F-2-9	料理献立表	年月日未詳	縦漣紙	2枚	旧二月朔日より十一日間 料理献立・割 振表	〔封筒表書〕〔祝儀事 料理給 仕酒当表〕の袋の中に〔袋表書〕 「旧二月朔日より十一日間 料 理献立表」の袋あり 封筒あり 封筒内・F-2-10-1~2 〔封 筒表書〕〔岡山県玉島市乙島二 四〇〇守屋大様分川口三千代 殿〕とあり 住友言銀行の封 筒あり
F-2-10	〔双鉤之伝・書去〕			封筒 1袋〔2通〕		
F-2-10-1	双鉤之伝	年月日未詳	横漣紙	1通		
F-2-10-2	書去の事	年月日未詳	縦紙	1通		
F-2-11	〔校舎区面石段金額〕	年月日未詳	縦紙	1枚		
F-2-12	年代記 後裔	宝暦8. 8.	縦紙	2枚	義重の年代記	封筒あり
F-2-13	四季日和考	年月日未詳	美・横半折	1冊	四季折々の風景	封筒あり
F-2-14	〔大切之地図返書二付書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	田中頼一守屋徳太郎	包紙あり
F-2-15	〔方位と文字の事〕	年月日未詳	横切紙	1通		封筒あり
F-2-16	〔のりと 諸礼拝 菅公 吉備津彦 將軍曆代宝限上人の 一枚起請文〕	年月日未詳	封筒	1袋		封筒内・F-2-16-1~11
F-2-16-1	〔宝限上人の一枚起請文〕	年月日未詳	縦紙	1通		
F-2-16-2	〔諸礼拝〕	年月日未詳	横切紙	2枚		
F-2-16-3	〔曆代都書上〕	年月日未詳	横漣紙	1枚		
F-2-16-4	〔天孫御行次次第〕	年月日未詳	横漣紙	1通		
F-2-16-5	將軍代	宝暦1.	横漣紙	1通	頼朝~家重迄將軍書上	続きで2枚あり
F-2-16-6	〔本朝都土一覽全部八巻内少許書出〕	明治8. 6.	美・横長	1冊	持主大崎篤左	
F-2-16-7	〔参請次第〕	年月日未詳	横切紙	1通	吉備津神人藤井石見高吉敬書	包紙あり
F-2-16-8	〔真言書上〕	年月日未詳		2枚		
F-2-16-9	〔祝詞〕	年月日未詳	美・横半折	1冊		
F-2-16-10	救生観音経	年月日未詳	横切紙	2通		包紙内に同内容のもの2枚あり
F-2-16-11	勤行次第 他見無用也 守屋秀國	年月日未詳	半・縦	1冊		真言の呪法の紙が4枚挟み込ま れている

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-2-17	享和三年亥五月 西戎両年竈敷并人別増威長正控 備中国浅口郡乙島村	享和3. 5.	半・縦	1冊	備中国浅口郡乙島村庄屋三助外4名→倉敷役所	(封筒表書) 「享和三年 西紀一八〇四年 西戎両年竈敷并人別増威長 備中浅口郡乙島村
F-2-18	新版 ちよんかれ	年月日未詳	縦継紙	1通		
F-2-19	抵当権未消登記申請書	明治8. 3. 10	美・縦	1冊	抵当権未消登記申請書及び返済正 守屋徳太郎・守分栄吉→玉島区裁判所	虫損の為、ばらばらに分かれている 封筒あり
F-2-20	十六年十月七日鶴巻巻程 北越経行	明治6. 10. 7 ~11. 16	美・横半折	1冊	川口淵藏氏が北越へ旅した際の日記・和歌・費用	(封筒表書) 「鶴巻巻程」 書き起した「北越経行」33枚あり 封筒あり
F-2-21	〔借用証券〕	明治1.		1袋		封筒内・F-2-21-1~2 (封筒表書) 明治三十一年 借用証券 守屋徳太郎 葛西太郎
F-2-21-1	金員借用証券	明治1. 2. 1	縦紙	1通	備中国浅口郡乙島村借用主葛西太郎・引受証人守屋徳太郎→浅口郡乙島村玉島亮善	
F-2-21-2	委任状	明治1. 1.	縦切紙	1枚	株式受渡の際の代印等全てを委任する旨の委任状	
F-2-22	尺尺寸法等の事	文政3. 12.	縦切紙	1枚	尺八の図とその説明を文化14年丑歳4月に指月がしたもの	前欠 封筒あり
F-2-23	明治三十三年頃所方浅(徳太郎・ヒサ)・聞合手紙 明治一大正頃教育関係資料; 大正六 三 玉島町教育期成会長廣頼正雄			1袋〔4通〕		袋内・F-2-23-1~4
F-2-23-1	〔玉島町立高等女学校関係文書〕	大正6.	縦紙	1綴〔4通〕	大正6年度玉島町立高等女学校費一対スル歳入予定 大正6年度岡山県浅口郡玉島町立高等女学校費歳出予定外2枚	
F-2-23-2	玉島町教育費増徴調査	大正5.	半・縦	仮1冊		
F-2-23-3	大正五年度第二学期功程	大正5	半・縦	仮1冊		
F-2-23-4	〔北条守屋徳太郎宛玉島町教育期成会長廣頼正雄書状〕	大正6. 3. 2	横切紙	1通	学校行事・施設等について	袋あり
F-2-24	為取替議定書之事	年月日未詳	半・縦	仮1冊	浅口郡大島村開地の事	
F-2-25	〔漁業税の施行に関する条項〕	明治9. 10. 28	半・縦	仮1冊		F-2-29と同内容
F-2-26	〔鳥成魚市場之事等〕	明治2. 3.		1綴	戸長松木士郎→浅口郡長 佐謙吾	24.5×17.3(cm) 1綴 (10通)
F-2-27	鳥成魚定約書	明治2. 5. 6	半・縦	仮1冊	漁業惣代名の記載あり	
F-2-28	営業鑑札御下渡願	明治4. 12. 8	半・縦	仮1冊	魚市を営業する為鑑札を発行してほしい 旧鑑札を返却する旨 浅口郡乙島村守屋勝太郎→浅口郡長窪津義忠	F-2-25と殆ど同内容
F-2-29	乙第八拾三號	明治9. 10. 28	半・縦	仮1冊	漁業税の施行に関する条項	
F-2-30	將軍宣下	天保8. 9. 1	半・縦	1冊	徳川家慶による宣下	
F-2-31	〔地券之証〕	明治5. 10. ~8. 2.	半・縦	仮1冊		
F-2-32	奉申上候書付	年末詳 3.	半・縦	仮1冊	大砲・小銃を作る為の楚鐘指し出しの儀 村役人物代庄屋勝太郎→佐々井半十郎倉敷役所	
F-2-33	奉申上候書付	年末詳 3.	半・縦	仮1冊	大砲・小銃を作る為の楚鐘指し出しの儀	
F-2-34	乍恐以書付奉申上候	寅 11. 7	半・縦	仮1冊	鶴新田一件内済付、謄公取り止めの報告 乙島村庄屋勝太郎→社奉行所外3人替代参	
F-2-35	仕法帳	年月日未詳	半・縦	1冊	講を催す為の取決	
F-2-36	〔諸重上督促状〕	嘉永3. 10.	半・縦折紙	2枚	佐々井半十郎→右村(カ) 庄屋・年寄・	つなぎ部分が録かれている為

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-2-37	変換地冊修正ノ儀ニ付願口 浅口郡乙島村	明治7. 12.	半・縦	仮1冊	惣百姓 守屋徳太郎岡山県会代理岡山県少書記官	SILティッシュで包む
F-2-38	〔取箇所書面返答状〕	天保10. 10.	縦折紙	1通	右村庄屋外一高山又蔵	
F-2-39	〔盗難御下ケ米麦御請書〕	辛未 10. 30	美・縦折紙	1通	甚六・佐六一戒羽県出張所	
F-2-40	住職被免并可住職御願	明治8. 3.	半・縦	仮1冊		
F-2-41	〔穢多難助こつて〕	年月日未詳	縦紙	1枚	穢多が唯七宅こ集まり、騒がしいとの内容	前後欠損の為、概要等不明
F-2-42	鉄砲證文写 乙島村	年月日未詳	縦折紙	2枚	鉄砲證文写の包紙 (カ)	1枚目折紙
F-2-43	〔金銭書上〕	年月日未詳	半・縦折紙	3丁		SILティッシュで包む
F-2-44	〔出訴の件こつての書付〕	亥 5. 23	縦折紙	1枚	願人田中屋勘兵衛・相手山屋傳次郎 築山茂左衛門代官所・摂州西成郡防山條村→高山又蔵代官所・備中浅口郡乙島村役人中	前欠
F-2-45	〔函簡〕	年月日未詳	縦折紙	1枚	御免書等年貢勘定数年差常候段	
F-2-46	〔教訓書簡〕	年月日未詳	縦折紙	2丁		SILティッシュで包む
F-2-47	天保八酉年四月 鉄砲御改帳 備中浅口郡乙島村	天保8. 4.	半・縦	1冊		
F-2-48	〔子位主村之者 暴行之上 金子碗盗被害一件〕	年月日未詳	半・縦	仮1冊		
F-3	〔書状等一括〕			1括り 〔15通〕 〔6枚〕 〔1丁〕		一括り・F-3-1~12 県史の分類により、ビニール紐で括られていた為、SILティッシュで括る 包紙あり
F-3-1	口叙 明玉院	未 11. 17	横折紙	1通	圓興院住職の件こつて 明玉院→乙島村庄屋重左衛門	
F-3-2	明玉院へ被為下置候御奉書写	年末詳 8.	横折紙	1通	明玉院の乙島村での支酉等こつて 浅口明玉院→信楽院・覚玉院	
F-3-3	〔守屋重左衛門宛明玉院書状〕	年末詳 8. 11	横折紙	1通	圓興院亮与隠居こ付、同人弟子蓮花院へ転住の儀	
F-3-4	〔備中浅口明玉院・覚玉院・信楽院書状〕	明和		1包〔3通〕		包紙内・F-3-4-1~3
F-3-4-1	〔明玉院宛信楽院・覚玉院連署書状〕	年末詳 12. 12	横折紙	1通	明神・八幡町社氏人甚六、豊前改名こ付1件	
F-3-4-2	〔浅口明玉院宛信楽院・覚玉院書状〕	年末詳 8.	横折紙	1通	豊前改名こ付1件	
F-3-4-3	〔守屋重左衛門宛覚玉院・信楽院書状〕	明和1. 12.	横折紙	1通	甚六儀吉田家こて大和と改名	付紙あり
F-3-5	〔暑中見舞返事〕	年末詳 7. 9	横折紙	1通	土屋城守一水野河内守	
F-3-6	〔芳名録〕	年月日未詳	横折紙	1枚	加藤勘序外7名	
F-3-7	〔芳名録〕	年月日未詳	横折紙	1枚	葛西貞蔵外9名	
F-3-8	〔芳名録〕	年月日未詳	横折紙	1枚	丸龜市濱町大橋龜・東京都立区高輪南町39番地坂本次郎等	
F-3-9	〔講勘定書〕	年末詳 9. 4	横折紙	2通		〔袋表書〕「守屋講入用」袋あり
F-3-10	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	縦折紙	1丁	地代証文	
F-3-11	縁談総書	年末詳 10. 27	横折紙	1通	小野松蔭一守屋	挟み込み文書「黒崎抄美 真田鉄太郎」とあり
F-3-12	〔書類等〕			1枚		包紙内・F-3-12-1~6 〔包紙上書〕「午十二月佐平台宝曆十一巳元慶六 重左衛門」 SILティッシュで纏める 包紙あり
F-3-12-1	耕宅地書入金子借用証券	明治3. 2. 7	縦折紙	1通	借用主浅口郡乙島村守屋勝太郎訂 証人小田郡富岡地坂本五八→小田郡富岡地坂	F-3-12-1~4は重ねて置まれている

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-3-12-2	畑替入金子借用証券	明治3. 8. 11	縦継紙	1通	本節夫	
F-3-12-3	地所書入借用証券	明治7. 2. 11	縦継紙	1通	守屋勝太郎外1名一富洲坂本節夫	
F-3-12-4	畑地書入金子借用証券	明治5. 2. 16	縦継紙	1通	守屋徳太郎→小田惣一郎	
F-3-12-5	株主総会通知書・新株償還通知書	明治0. 10. 5	縦紙	2枚	浅口郡乙島村金子借用者守屋勝太郎・同郡同村証人香西玄三・浅口郡乙島村分長平	
F-3-12-6	第二十三回 山陽鉄道通商株主総会報告書	明治2. 4. 21	縦紙	2通	守屋徳太郎宛	
F-3-12-7	記	明治1. 11. 18	縦切紙	1通	明治31年下半期の経純益金分配の事等	
F-4	重左衛門筆跡? 百万石行願? 南無阿弥陀仏 写経	年月日未詳	横折紙	1括	明治31年度上半季分配当金について 山陽鉄道株式会社社会課一守屋徳太郎	
	南無阿弥陀仏 写経				重左衛門の筆跡 (カ) 百万石行願 (カ)	一括り (175枚) (包紙上書) 岡山県玉島市乙島二四〇〇 守屋弘太様 香川県綾香郡綾上村 水原勝子出 包紙が3枚あり、内側の2枚は (包紙上書) 「学生双六」・「1万歳生命保険比較表」の裏を使用紐・帯封で括られていた 包紙外側についでいた紐が強 為 SILティッシュで括る (包紙上書) 「写経手本」紐で2カ所結んでいる 包紙2枚あり
F-5	写経手本	年月日未詳	横折紙	1包		
				45枚 〔1冊 〔反1冊		
F-6	覚・絵図・書状等 括	年月日未詳		1括り		
				32通 12枚 〔11冊 〔3綴 〔反2冊		一括り・F-6-1~12 県史の分類によりSILティッシュで括られている上からばらばらになる為、SILティッシュで包む
F-6-1	宝暦十四年申二月 氏宮出入覚 備中浅口郡乙島村 重左衛門 門口	宝暦4. 2.	美・豎		氏宮養父母大明神八幡宮両社付二之申子役甚内儀 別当常照院并支配人重左衛門に届ける事なく吉田表より受領した1件について	
F-6-2	乍恐御内聞ニ而奉申上口上覚	宝暦2. 9.	横継紙	1通	天台宗乙島村旦那寺門禪院・天台宗氏宮社僧常照院の由緒 甚内1件の事等書上浅口郡乙島村云次郎卒元慶一松永平左衛門	(端裏書) 「松永平左衛門様 差上候御調書口 (後筆カ) とあり (端裏書) 「門禪院 常照院の由緒甚内口件の事等々 宝暦十二年午年」 (後筆) とあり 紙差り紐で結んでいる
F-6-3	書付・書簡・覚等	天明元 5. 26		1袋		袋内・F-6-3-1~23 (袋表書) 「諸支配人重左衛門申用 御年貢秀玉頂氏宮算用書入并ニ庄屋算用状入先庄屋文右衛門代より右来より」 SILティッシュで包む
F-6-3-1	いろは歌など書付	年月日未詳	横折紙	1通		
F-6-3-2	筒井大和寺宛稲垣土羽守書状	年未詳 10. 17	横継紙	1通	書付の認め違いの訂正の通知	
F-6-3-3	覚	西正 4	横切紙	1通	藤井が洗触を差向け、上達の仰付がないので上宿々に受取らず紋御宿へ差出事の	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-6-3-4	包紙	年末詳 4. 23	包紙	1枚	旨 小屋問屋一西宮役人中 守屋女啓がきくへ急用にて宛てたもの	(包紙上書) 「乙島村住屋十左 衛門様 をきく殿 父守屋女啓 急々之事」 包紙内・F-6-3-5-1~6
F-6-3-5	書付・包紙・覚等一纏め	年月日未詳		1包 〔5通 〔1枚		
F-6-3-5-1	包紙	年月日未詳	横刃切	1包		(包紙上書) 「きんたん五り」 中に紙を包んだ綿あり 包紙あり
F-6-3-5-2	空亡日のくりやう	年月日未詳	横刃切	1通		
F-6-3-5-3	三ヶ月切り 請人喜助 夫翁蔵	申 3. 1	横刃切	1通	喜助一采右衛門	15.7×4.9(cm)
F-6-3-5-4	覚	年末詳 12. 20	横刃切	1通	受取証書 柳半十郎一守屋忠蔵	14.2×16.0(cm)
F-6-3-5-5	〔七夕堂松風末期一句書付〕	年月日未詳	縦紙	1通	新田普祐智林年84歳 安永6酉年11月 より病末に伏し末期一句を詠んだ旨	
F-6-3-5-6	〔七夕堂松風末期一句書付〕	年月日未詳	縦紙	1通	新田普祐智林年84歳 安永6酉年11月 より病末に伏し末期一句を詠んだ旨	
F-6-3-6	〔甲辞位に送書〕	年月日未詳	横紙	1通	(甲辞) 寛政4年子6月18日 備後国地 杣寺門前の乞食の女行年70才 送書は広 田孫右衛門娘とわのもの	
F-6-3-7	覚	年月日未詳	横紙	1通	田地改めの覚	
F-6-3-8	〔おさき宛書簡〕	年末詳 8. 23	横紙	1通	もめん糸の札と近冠報告	
F-6-3-9	〔三留文台・青木文左衛門宛米倉丹後守内野本小左衛門書状〕	年末詳 4. 23	横紙	1通	島津又吉郎姉女の丹後守ところへの再縁 組の願上状	
F-6-3-10	産屋臺目	年月日未詳	縦紙	1通	頼朝誕生の時の臺目	虫損甚だし
F-6-3-11	〔向坂青左衛門宛代官吉田源之助手代の書面訂正文包紙〕	年末詳 4. 17	包紙	1枚		包紙のみ
F-6-3-12	手覚書付	年末詳 12. 28	横紙	1通	御礼書等の事書付	
F-6-3-13	主人翁	寛政元	美・横長	1冊	読書録の中より主人翁の話をひき家内の 少年に主人の心得を説いたもの	
F-6-3-14	米通	年月日未詳	横紙	1通	人名と米石高書上	
F-6-3-15	〔馬名書付〕	年末詳	横紙	1通		花甲あり
F-6-3-16	〔聖徳太子善光寺如来への御詞位に善光寺如来・聖徳太子 の御返報・返歌書付〕	年末詳 8. 15 ~8. 17	横紙	1通	浄真寺慧良律師書	
F-6-3-17	〔警司人姓名書付提出こついで〕	年末詳 6. 20	横紙	1通		
F-6-3-18	〔和歌〕	年月日未詳	横紙	1通		
F-6-3-19	〔親鸞聖人十七箇条禁制・誤忌 書付〕	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
F-6-3-20	〔書付〕	年末詳 4. 4	横紙	1通	玄啓二男藤十郎の事 堅立一守屋女啓	
F-6-3-21	〔本田・本畑定宗書付〕	年月日未詳	横紙	1通		
F-6-3-22	文化五辰御年貢等用	文化6. 3.	横紙	1通	庄屋熊太郎外1人	
F-6-3-23	〔筒井大和守宛福屋出陣書付〕	年末詳 6. 19	横紙	1通	酒井左衛門が渡しひなつた6月11日 の用書を進達した旨	
F-6-4	〔神輿太鼓持徳蔵外16打躰他状等〕	年月日未詳		1括り〔7通		ビニール紐で括られていた為、 SILティッシュで括る
F-6-4-1	差上申付一札之事	年月日未詳	縦紙	1通	神輿太鼓持徳蔵外16名・神輿太鼓当番之 万四郎外4名一本願主宮代官守屋勝太郎 ・村役人中平乗院台浄房・北宗勘四郎外 1名 (奥書) 当日13日氏神祭に神幸行 列之供神輿太鼓持徳蔵等7名が神輿守機 七を打躰した1件の他状	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-6-4-2	覚	年末詳 5. 16	豎漉紙	1通	神輿・あくら・賽銭箱等品代金 音受取こつて	
F-6-4-3	覚	年月日未詳	豎漉紙	1通	社中定書 桑島忠兵衛→山本取次	(後筆) あり
F-6-4-4	浅口郡片島村法藏寺・妙任寺境内地境出入内済正文及び 絵図面	寛政元 2.	1括り	〔2通		麻紐括り・F-6-4-4-1~2
F-6-4-4-1	奉差上済口証文之事	寛政元 2.	豎漉紙	1通	浅口郡片島村指公方法藏寺・同郡同村相 手方妙任寺・同村庄屋重内外2名一倉敷 役所浅口郡片島村法藏寺并珠・同寺且中 惣代・同郡・同村弥次郎・同郡同村妙任 寺口達・同寺且中惣代・同郡同村弥次郎 ・同郡・同村妙任寺口達・同寺且中惣代 ・同郡・同村理左衛門外12名 (奥書)	(端裏書) 「片島村妙任寺法藏 寺庄敷境出入内済正文」
F-6-4-4-2	浅口郡片島村法藏寺・妙任寺境内地境定絵図	寛文元 2. 28	豎漉紙	1通	浅口郡片島村法藏寺并珠・同寺且那惣代 弥次郎・同郡同村妙任寺口達・同寺且那 惣代和左衛門外10名 同郡同村庄屋重内 ・同採助見届奥書	
F-6-4-5	鎮守水神宮御祭礼供物空 覚	嘉永元 5.	豎紙	1通	現定林廿一世禪隆老内作成	
F-6-4-6	覚	年末詳 7. 1	豎漉紙	1通	神輿の寸法及び代金こつて 鎌田常右 衛門一備中名	
F-6-5	浅口郡乙島村神出関係古記録写一括	年月日未詳		1括り 〔6冊 〔4綴 〔3枚 〔1通		一括り・F-6-5-1~7 新聞 紙(昭和31年8月6日付) S ILティッシュで包む
F-6-5-1	〔養父母石段かんぎ見積綴り〕	年月日未詳		1袋〔1綴	養父母宮・石段かんぎ覚・石工新蔵の代 銀覚・石段略図見積り	(袋表書) 「岡山県玉島町玉島 高等女学校守屋(堅太様) (袋裏書) 「養父母石段かんぎ 見積 (紙差上書) 「宮綴参枚 (裏表紙) 「柴田李之助」
F-6-5-2	寺間惣物積り帳	年月日未詳	半・豎	1冊		破損
F-6-5-3	享保九甲辰年二月 両社別当海岸寺什物諸色覚帳空	享保9. 2. 21.	美・横長	1冊	円乘院外3名一本寺・妙玉院	
F-6-5-4	昭和十一年十月廿八日 戸島神社神輿垂新調記録	昭和10. 10. 28.		1袋 〔1綴 〔1通		(袋裏書) 「守屋世孫・守屋 弘太」
F-6-5-4-1	〔戸島神社御宝前ノ垂新調記録〕	昭和10. 10. 28.	豎紙	1綴〔2通	御宝前の垂新調記録・御宝輿垂新調記録	
F-6-5-4-2	〔戸島神社御宝前垂新調寄書下書〕	昭和10. 10. 28.	豎紙	1通	世話人吉岡	
F-6-5-5	〔天保三辰年八月両氏神御祭礼書類入〕	天保3. 8.		1枚		(袋表書) 「天保三辰年八月 両氏神御祭礼書類入 守屋重左 衛門行敏」
F-6-5-6	明治四十二年神社無資格等調	明治2. 9. 17		1綴〔4通	玉島町役場一守屋徳太郎	
F-6-5-7	浅口郡乙島村神出関係古記録写一括	元文2. 3. ~明治28. 10.		1括り 〔4冊 〔2通 〔1綴 〔1枚		紙紐括り・F-6-6-7-1~6
F-6-5-7-1	昭和三十一年丙申年十月養父母大明神・戸島神社関係 古記 録写神輿空表紙	昭和31. 10.	豎切紙	1枚		台紙に貼りつけてある 中身なし
F-6-5-7-2	浅口郡乙島村 氏神惣氏子連判帳写	元文3. 1.	美・豎	1冊	祭礼の事外各種願書 小祐宜・平太夫外 290名一氏神本願主佐平台	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-6-5-7-3	式冊之事内乙 氏宮記録帳写	元文2. 3.	美・豎	1冊	作成者・別当常照院外4名 氏子惣代組頭吉郎右衛門外67名 備中国浅口郡乙島村氏神并末社神事色古法規式次第覚	表紙「式冊之内乙」
F-6-5-7-4	神社書上帳下書 浅口郡乙島村	年月日未詳	半・豎	1冊		
F-6-5-7-5	明治廿八年十月 香西寿乙島村々社戸島神社々掌辞退二付香西正一郎ヲ同社々掌ニ推薦願書写 守屋徳太郎控	明治8. 10. 3	豎紙	1袋〔1綴〕	社掌の辞職願・推薦状・資格証明書・候社掌補者履歴書等	(袋表書) 岡山県浅口郡県立玉島高等女学校守屋弘太殿 (袋裏書) 明治二十八年十月香西寿辞退 香西正一郎推薦戸島神社々掌変更記録写 昭和十二年八月調 (不紙上書) 「これから着手する分着手中もの」袋のみ (封書表書) 「天保八年丁酉九月十五日 同九年戊戌九月十五日 羽黒宮神幸行列 同十巳亥九月十五日 同十巳亥九月十五日 同十一庚子九月十五日 昭和四十一年六月改メ 守屋弘太
F-6-5-7-6	〔袋〕	年月日未詳		1枚		
F-6-6	羽黒宮神幸行列	天保8. 9. 15 ～11. 9. 15	半・豎	1冊	神幸行列の記録	
F-6-7	帰厚集 守屋蔵	宝暦1. 3.	美・豎	1冊		
F-6-8	皇紀二百五十年記念 水谷候喜續碑石 昭和十三年十一月 西丁 一九三九 柚木玉珉院生ヨリ	昭和13. 11.		1袋 〔1冊 〔1枚〕		袋内・F-6-8-1～2
F-6-8-1	左京亮水谷候喜續碑石	昭和13. 11.		1枚	拓本	177.3×95.0(cm)
F-6-8-2	水谷左京亮公二百五十年祭記	昭和15. 7.		1冊		19.0×13.3(cm) 中に名刺あり (F-6-8-2-1)
F-6-8-2-1	〔柚木棍雄・玉珉院刺〕	年月日未詳		1枚	皇上一守屋	9.1×5.48(cm) 小さいので封筒に入れる 元はF-6-8-2の中こあり 袋内・F-6-9-1～2
F-6-9	拓本 楓橋寒山寺之詩 昭和八年八月 上海見学の際 寒山寺にて記念の樹心	昭和8. 8.		1袋〔2枚〕		
F-6-9-1	〔寒山寺の詩・拓本〕	年月日未詳		1枚	拓本	126.0×68.9(cm)
F-6-9-2	〔寒山寺の詩・拓本〕	年月日未詳		1枚		126.5×65.2(cm) 文字判明せず
F-6-10	歌書	年月日未詳		1袋 〔2冊 〔1枚〕		袋内・F-6-10-1～3 (袋裏書) 「千首部類別巻冊・垂雲待雲歌合外録巻冊・遠近新聞巻冊・道中覚日記巻冊・見聞集・巻冊」
F-6-10-1	歌合記録	明和2. 2. 10 ～6. 6	半・豎	仮1冊	垂雲待雲歌合・駿州吉原駅・岡ノ駅で行われた歌会の記録	
F-6-10-2	歌合 幸文・正隆・斐雄・瀬良田当准	年月日未詳	半・豎	1冊		
F-6-10-3	〔和歌詠草書付〕	年月日未詳	豎折紙	1枚	實岳と待雲の和歌・澄月の角解説	
F-6-11	糸譜写半紙表百枚 元和丙辰年	元和2.	封筒	1枚		(封筒表書) 岡山県玉島市玉島高等女学校守屋弘太 (封筒裏書) 「巴乗院記録加地子取立長戸島神社々事変更弘太引請学費園其外昭和12年8月2日朱書きで元和丙辰年」とあり
F-6-12	〔古新聞包紙〕	昭和B1. 8. 6		1枚		古新聞記載「一九五七 一戸

F-7	〔神宮関係図面・絵図・覚等一纏め〕			1纏め 36冊 〔23通 〔13枚 〔3丁〕 1冊		島奉神帳の原本在中 中見なし・（昭和11年8月6日付日本経済新聞）にあり
F-7-1	弘化三年 御神輿諸入用帳 午正月吉日	弘化3. 正	半・横長	1冊		
F-7-2	宗門改メ 三部	年月日未詳	封筒	1袋〔4通		封筒内・F-7-2-1~4 虫貫あり
F-7-2-1	覚	延享2. 5.	縦切紙	1通	宝蔵院旦那市之助の宗門受取覚→玉島村久左衛門	
F-7-2-2	宗門送り放手形之事	弘化3. 6.	縦継紙	1通	玉島清竜寺→柏島村福寿院 玉島村百姓与平の宗門放手形（奥書）玉島村預煎喜右衛門→乙島村庄屋重左衛門 見習勝太郎	虫貫あり
F-7-2-3	覚（宗門引き受け手形）	安政4. 12.	縦紙	1通	寅太郎養子の仲の宗門引き受け手形 中島村五左衛門→乙島村庄屋勝太郎・見習英三郎	
F-7-2-4	宗門帳表紙	文政13. 3.		1枚	天台宗・真言宗等の宗門帳の表紙のみ	破損あり
F-7-3	氏神御宮絵図	年月日未詳		1袋 〔1冊 〔7枚〕		袋内・F-7-3-1~8 中性紙こ入れていた
F-7-3-1	弘化二巳年六月同十月同三午歳四月 御神輿御静取之節とも三度大坂行上京諸入用帳	弘化2. 6. ~3. 4.	半・横長	1冊	守屋勝太郎外3名作成	
F-7-3-2	〔氏神御宮部分図〕	年月日未詳		1枚	寸法記入あり	18.3×27.1(cm)
F-7-3-3	〔氏神御宮部分図〕	年月日未詳		1枚		49.3×35.5(cm) 同図のものがF-7-3-7にあり
F-7-3-4	〔氏神御宮部分図〕	年月日未詳		1枚	寸法記入あり	78.8×138.2(cm)
F-7-3-5	寺門土十分一之図	年月日未詳		1枚		75.0×78.7(cm)
F-7-3-6	〔氏神御輿絵図〕	年月日未詳		1枚		100.0×72.1(cm)
F-7-3-7	〔氏神御宮部分図〕	年月日未詳		1枚	寸法記入あり	41.8×32.3(cm) F-7-3-3と同図
F-7-3-8	〔氏神御宮部分図〕	年月日未詳		1枚		66.4×53.3(cm)
F-7-4	文政亥十年 日参筒散米寄帳	文政10.		1袋〔4冊		袋内・F-7-4-1~4 守屋巳女宛の封筒こ入れていた
F-7-4-1	文政十亥七月 両社散米氏子取集帳	文政10. 7.	美・横長	1冊		
F-7-4-2	文政十亥七月 両社日参筒渡覚帳	文政10. 7.	美・横長	1冊		
F-7-4-3	文政十亥七月 日参筒散米寄帳 野浦田 北泉	文政10. 7.	美・横長	1冊		
F-7-4-4	文政十亥七月 日参筒散米寄帳 渡り 城	文政10. 7. ~12. 22	美・横半	1冊		
F-7-5	宝暦十四年 申二月 氏宮出入覚 備中国浅口郡乙島村 重左衛門 []	宝暦4. 2.	半・縦	1冊	浅口郡乙島村氏宮養父大明神の出入の覚	
F-7-6	氏宮記録帳	年月日未詳	半・縦	1冊	備中国浅口郡乙島村の氏神である養父母大明神とその末社における行事や役替等の記録	〔3冊之内用〕とあり
F-7-7	慶応三卯年 養父母宮 拝殿造作 幣襷造立 諸入用帳	慶応3. 6.	封筒	1袋〔2冊		袋内・F-7-7-1~2
F-7-7-1	慶応三卯年三月 養父母宮 拝殿造作 幣襷造立 買物代料書控帳	慶応3. 3. 28 ~8. 4	半・横長	1冊		
F-7-7-2	慶応三卯年 養父母宮 拝殿造作 幣襷造立 諸入用控帳	慶応3. 3. 28	半・横長	1冊		

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-7-8	六月 庄屋 岡山県浅口郡乙島鎮座 戸島神社 檜皮家根葺掛書	~7. 28 大正2. 4.	美・縦	1袋〔1冊	戸島神社本殿等の檜皮屋根葺替の設計書	(袋表書)「大正二年 戸島神社 檜皮屋根葺替設計書」 (裏表紙)「寺社帳」 破損あり
F-7-9	元禄十五年 寺社帳 備中国浅口郡乙島村 午四月	元禄5. 4.	美・縦	1冊	乙島村千右衛門外2名→平岡四郎左衛門村内神社・堂等の書上	
F-7-10	弘化三丙午年四月写之 養父母大明神御本社拾分一絵図 巻 正前式則面参両面	弘化3. 4.		1袋〔3冊		袋内・F-7-10-1~3 洋封筒に入っていた
F-7-10-1	〔図面〕	年月日未詳		1枚	乙宮 参の巻	74.0×81.0(cm)
F-7-10-2	〔図面〕	年月日未詳		1枚	乙宮 参の巻	74.0×81.0(cm)
F-7-10-3	〔図面〕	年月日未詳		1枚	乙宮 参の参	77.0×137.0(cm)
F-7-11	享保十七子年 養父母宮棟上覚	享保7.	横継紙	1袋〔1通	棟上に関する金銭支払額と適用の覚	(袋上書)「岡山県玉島町乙島守屋弘太様」(袋裏書)「享保十七子年 養父母宮棟上覚」 (封筒上書)「岡山県玉島町乙島二四〇〇 守屋弘太様 東京・日暮里学校 美術協会」を転用 (封筒裏書)「嘉永元申年 養父母宮御屋根葺替入用帳」
F-7-12	嘉永元申年歳 養父母宮御屋根葺替入用帳	嘉永元 4. 3 ~12. 1	半・横長	1袋〔1冊		
F-7-13	〔御神事列書上〕	文化6.	美・横長	1冊		
F-7-14	文政十丁亥五月四日 養父母宮棟上寄御物強帳	文政10. 5. 4	美・横長	1冊		虫貫こ付 取扱注意
F-7-15	〔遷宮のときの御祝いの入用目録〕	文政10.	美・横長	1冊		
F-7-16	享保十七子年宮建立之節大明神御官棟上 御遷宮諸入用写覚	享保7. 12.	美・横長	1冊	肝煎弥次郎兵衛・利右衛門→伝次郎	
F-7-17	〔天保十五年辰年九月 御神輿銀集り控〕	天保5. 9. 30 ~弘化3. 4. 20	半・横長	1冊	神輿銀の寄附額と日付寄附人の控 世話人五郎左衛門の記載あり	
F-7-18	〔受取銀書付〕	年月日未詳	半・横長	1冊	中山畑・水溜まり・川崎等の木枿らの集金控	
F-7-19	〔御神輿并蔵棟上諸強帳〕	弘化3. 5. 5	美・横長	1袋〔1冊	乙島村・氏子中作成・氏子分掛口	(袋表書)「岡山県浅口郡県立玉島高等女学校 守屋弘太殿」 (袋裏書)「弘化丙午年養父母宮御輿申并蔵棟上諸強帳」 虫損こつき取扱注意
F-7-20	〔奉建立養父母大明神社頭一宇棟札写〕	年月日未詳		1纏め〔7通		一纏め・F-7-20-1~8 中性紙の袋に入れた
F-7-20-1	〔奉再建立養父母大明神社頭一宇棟札写〕	享保7. 11.	横継紙	1通	本願當村住守谷云治郎・春吉當守惣氏子中肝煎守谷吉郎右衛門・大嶋久右衛門・御社頭兼時務大阪争覚町北御堂宮・藤原朝臣鳥居甚兵衛勝重	
F-7-20-2	〔奉告立養父母大明神社頭一宇棟札写〕	享保2. 7.	横継紙	1通	本願當村 守谷云次郎春吉惣氏子中 肝煎守屋系太夫・樋口久右衛門 大江西吉三郎奉行	
F-7-20-3	〔奉告立養父母大明神社頭一宇棟札写〕	享保2. 7.	横継紙	1通	本願當邑守谷云次郎春吉 當村惣氏子中 肝煎守谷系太夫・樋口久右衛門 大江西吉三郎奉行	
F-7-20-4	〔奉再建立養父母大明神社頭一宇棟札写〕	享保7. 11.	横継紙	1通	本願當邑 守谷云次郎春吉 當邑氏子中 肝煎 守谷吉郎右衛門・大嶋久右衛門 御社頭兼 撰州大阪争覚町御堂宮屋・藤原朝臣鳥居甚兵衛勝重	
F-7-20-5	〔奉再建立養父母大明神社頭一宇棟札写〕	文政1. 5.	横継紙	1通	本願主守谷重左衛門齋 敏・肝煎庄屋守	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-7-20-6	〔奉再建立養父母大明神土頭一宇棟札写〕	享保7. 11.	横継紙	1通	谷熊太郎橋元安・同守谷重左衛門喬敏 ・年寄中野四郎兵衛照方 本願 守谷云次郎春昌 当休氏子中 肝煎 守谷吉郎右衛門・大鳥久右衛門 御社頭而 摂州大阪住争覚町北御堂宮屋藤原朝臣鳥居甚兵衛勝重	
F-7-20-7	〔奉告立養父母大明神土頭一宇棟札写〕	享和2. 7.	横継紙	1通	本願当村 守谷云次郎春昌 当休惣氏子中 肝煎 守谷孫太夫・樋口久右衛門 大工西吉三郎春行	
F-7-20-8	〔奉告立養父母大明神精舎一社棟札写〕	寛文9. 8. 7	横継紙	1通	大工藤原吉川与作・本願森谷左平次吉向 別当新井貞栄	
F-7-21	弘化二年巳 三年与年 御輿御脚路	弘化2. ~3.	横継紙	1袋〔1通〕	弘化2年迄写りとなつたので弘化3年の神輿脚路・家数・割当等覚	
F-7-22	〔一札等一括り〕	年月日未詳		1一括り〔7枚〕		一括り・F-7-22-1~6 中性紙の袋に入っている
F-7-22-1	乍恐以書付奉願上候	天保3. 3.	竖紙	1通	当休氏神である養父母大明神の末社の神楽役の私まこの度京都の吉田家にて継月官職に就きたいので添籍を頂きたいという旨 備中国浅口郡乙島村社人香西常部一倉敷役所	
F-7-22-2	〔一札〕	寛政2. 9. 14	竖継紙	1通		〔端裏書〕「八幡山枯木帯申米入用足り遣候喜兵衛 半右衛門市郎右衛門より証文」
F-7-22-3	一札	享保8. 6. 9	竖切紙	1通	乙島村八幡宮の鳥居中みかき区面通り請合証文 柏島村庄屋藤八郎外2名一氏宮諸支配人伝次郎	
F-7-22-4	一札	寛政8. 8.	竖紙	1通	当休の氏神申樂奉納の再開について 氏子惣代衆多人喜兵衛外4名一守屋龜之丞	
F-7-22-5	一札	享保8. 6. 9	竖切紙	1通	乙島村八幡宮鳥居区面通り中みかき請合証文 柏島村庄屋藤八郎・請人乙島村藤七郎・証人村宮内一氏宮支配人伝次郎	〔端裏書〕「氏宮明神宮島居建立石切請負証文写し共二」
F-7-22-6	一札之事	天明元 5.	竖継紙	1通	山番人城ノ六左衛門八幡宮御林山番正正文 山番人城ノ六左衛門一氏宮諸支配人守屋重左衛門	〔端裏書〕「城八幡宮山番六衛門より請証文」
F-7-22-7	書付以願上申御事	元文1. 6.	竖継紙	1通	祢直役仰付られたき事 浅口郡乙島村小祢直平左衛門頼主平之助外4名一氏宮本願主佐平次 代金大訳	
F-7-23	弘化三丙午年五月 御神輿諸入用覚 備中乙島村 御役人様 京都幸町松原上ル所 山本茂右	弘化3. 5.	美・横長	1冊		
F-7-24	御輿寄巻帳	年月日未詳		1袋〔4冊〕		袋内・F-7-24-1~4
F-7-24-1	庚文政三年辰七月吉日 神輿寄巻帳	文政3. 7.	美・横半折	1冊		〔裏表紙〕「堀貫中」
F-7-24-2	庚文政三年辰七月吉日 神輿寄巻帳	文政3. 7.	美・横半折	1冊		〔裏表紙〕「玉谷中」
F-7-24-3	庚文政三年辰七月吉日 神輿寄巻帳	正文3. 7.	美・横長	1冊		〔裏表紙〕「北泉中」
F-7-24-4	庚文政三年辰七月吉日 神輿寄巻帳	正文3. 7.	美・横長	1冊		〔裏表紙〕「川崎中」
F-7-25	〔養父母宮棟上関係書類〕	文政10. 5.		1袋〔4冊〕 〔1綴〕		〔袋表書〕「文政十丁亥年五月 養父母宮御社建替棟上諸入用」
F-7-25-1	養父母宮御社建替棟上棚入用訳	年月日未詳	美・横長	1冊		破損
F-7-25-2	〔棟上関係書類〕	文政10. 5.		1綴〔3冊〕		破損

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-7-25-2-1	亥五月 棟上小買物 庄屋彦右衛門	亥 5.	美・横半折	1冊	
F-7-25-2-2	亥五月 棟上小買物 庄屋彦右衛門	亥 5.	美・横半折	1冊	
F-7-25-2-3	文政十丁亥五月帳 守屋彦右衛門	文政10. 5.	美・横長	1冊	
F-7-26	弘化二乙巳二年 代官御神輿寄附積蓄記録	弘化2.		1袋 〔5冊〕 〔3通〕 〔3丁〕 〔2枚〕	袋内・F-7-26-1~4
F-7-26-1	弘化二乙巳歳八月吉祥日算用弘化三丙午歳四月十六日 氏神御神輿寄附勘定帳 氏子中	弘化2. 8. ~3. 4. 16	半・横長	1冊	
F-7-26-2	〔氏神御神輿寄附帳〕	弘化2. 8.	美 横長	1冊	水溜り・氏子中世話人長蔵・平左衛門・勘七外4名
F-7-26-3	弘化二乙巳年六月 金銀貢通 備中玉島湊乙島 守屋勝太郎・常屋長蔵	弘化2. 6. 26	半・横半折	1冊	表紙と1丁のみを記載
F-7-26-4	弘化二乙巳年八月十九日初メ 氏神御神輿寄附二木内廻り諸巻帳	弘化2. 8. 19 ~9. 3	美・横半折	1冊	
F-7-26-5	弘化三丙午四月御神輿寄附銀勘定帳 庄屋	弘化3. 4.		1袋 〔3通〕 〔3丁〕 〔2枚〕	袋内・F-7-26-5-1~7
F-7-26-5-1	覚	年末詳 3. 24	横切紙	1通	米代銀受証文 六三郎→永田
F-7-26-5-2	覚	年月日未詳	横切紙	1通	寄銭書付
F-7-26-5-3	覚	年月未詳 10.	横切紙	1枚	金受取証文
F-7-26-5-4	田老文銭寄高書出	弘化4. 3. 晦日	横巻紙	1通	
F-7-26-5-5	御神輿寄附銀寄進	弘化4. 2. 晦日	半・横長	1冊	
F-7-26-5-6	〔蔵上戸造作手間料等書上〕	年末詳 4. 3~4	横切紙	3丁	綴じ紐がはずれている
F-7-26-5-7	〔金書付証文〕	年月日未詳	横切紙	1枚	金4匁1分・銀2匁・捏貫以下15名
F-7-26-6	弘化二年乙巳十二月 神輿寄附銀勘定帳 役場	弘化2. 12. 10 ~3. 4. 18	半・横長	1冊	役場
F-7-26-7	弘化二乙巳年六月 御神輿銀家別取立勘定帳	弘化2. 6. 23 ~7. 5	半・横長	1冊	
F-8	〔宮開帳・宗門送り手形等一括〕			1括り 〔100通〕 〔27通〕 〔板1冊〕	
F-8-1	文化八未九月日 氏神八幡宮前殿 普請書類入 守屋彦右衛門	弘化8. 9.		1袋〔2冊〕	29.2×18.0(cm) 袋内・F-8-1~2
F-8-1-1	御神輿寄附帳 (出納帳)	年末詳 7. ~12.	半・横長	1冊	
F-8-1-2	〔参拝者名簿〕	元禄7. ~慶応3. 4. 29	半・横長	1冊	
F-8-2	文政十亥八月七日 養父母宮神幸行列帳 宮 丙 参	文政10. 8. 7	小・横長	1冊	行列の構成等の書上
F-8-3	文政十亥八月七日 養父母宮神幸行列帳	文政10. 8.	小・横長	1冊	
F-8-4	弘化二乙巳年 八月七日 八月十三日 養父母宮神事御幸行列帳 八幡宮 宮 丙 拾	弘化2. 8. 7~13	小・横長	1冊	
F-8-5	天保七歳申八月七日 養父母宮神事御幸行列帳 宮 丙 九	天保7. 8. 7	小・横長	1冊	
F-8-6	天保十五甲辰年八月七日 養父母宮神事御幸行列帳 宮 丙 拾式	天保5. 8.	小・横長	1冊	
F-8-7	天保十二丑年八月七日 養父母宮神事御幸行列帳 宮 丙 壹拾	天保2. 8. 7	小・横長	1冊	行列の構成の書上
F-8-8	養父母宮神事御幸行列帳 八幡宮 宮 丙 拾四	年月日未詳	小・横長	1冊	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-8-9	天保十五辰年八月十三日 八幡宮神幸行列帳 宮 丙 拾	天保5. 8. 13	小・横長	1冊	行列の構成の書上	
F-8-10	文政十亥八月十三日 八幡宮神幸行列帳 宮 丙 四	文政10. 8. 13	小・横長	1冊		
F-8-11	天保四年八月十三日 八幡宮神幸行列帳 宮 丙 七	天保4. 8. 13	小・横長	1冊		
F-8-12	天保五年八月十三日 八幡宮神幸行列帳 宮 丙 八	天保5. 8. 13	小・横長	1冊		
F-8-13	文政十三寅八月十三日 八幡宮神幸行列帳 宮 丙 五	文政13. 8. 13	小・横長	1冊	行列の構成の書上	
F-8-14	文政九年戊八月七日 養父母宮神事幸行列帳 宮 丙 六	文政9. 8. 7	小・横長	1冊		
F-8-15	養父母宮八幡宮 文政七甲申八月十三日 神事御幸行列帳 宮 丙 式	文政7. 8.	小・横長	1冊		
F-8-16	養父母宮八幡宮 神事御幸行列帳 宮 丙 拾五	年月日未詳	小・横長	1冊		
F-8-17	養父母宮 神事御幸行列帳 八幡宮 宮 丙 拾六	年月日未詳	小・横長	1冊		
F-8-18	交感	年月日未詳		1冊	視る戒め・聴く戒めについての記述	23.0×6.8(cm)
F-8-19	享保五子年秋八月 稲荷大明神御裁禮 行列順序	享保5. 8.		1袋〔1通	祭礼の行列順	15.3×290.0(cm) 封筒あり
F-8-20	養父母宮・八幡宮両氏神御祭禮当番帳 守屋重左衛門 宮 甲 二	天保9. ~安政5.	半・横長	1冊	祭礼等の当番等の入別控	
F-8-21	文化十四丁丑年 氏宮普請奇進人足名前面 二月吉日 宮 甲 四	文化14.	半・横長	1冊	普請の人足替当帳	
F-8-22	宮 甲十七 (祭の入用書付帳)	年月日未詳	半・横長	1冊		裏表紙紙で意の貼り付けあり
F-8-23	慶応三年 藪宮 山之神養材付弗 養父母拜殿普請 卯十二月 人足奇帳 宮 甲九	慶応3. 12.	半・横長	1冊		
F-8-24	文化八年辛未年四月日 八幡宮前殿立替付手伝人扣 乙宮 六	文化8. 4.	美・横長	1冊		
F-8-25	文化八年 八幡宮別殿建替玉垣 養父母宮並殿修復 入用扣 乙宮 七	文化8. 9.	美・横長	1冊		
F-8-26	弘化四丁未歳四月御師御神島預り本城右京 一品吉備津宮銅 御申馬寄付帳 世話人板倉宿蓑屋平兵衛 太田原台郎	弘化4. 4. 27 ~6. 6	美・横長	1冊		
F-8-27	日光御社参御供奉行列之扣	享保3. 4.	美・横長	1冊	日光社参の役割と行列	
F-8-28	宗門手形関係書類 一括	延享2. 2. ~寛政6. 2.		1袋 〔100通 〔返1冊		袋内・F-8-28-1~20 (袋表書) 「年々宗門一使書類入」 (袋裏書) 「年々宗門放手形請取入并此方へ送來り候宗門放手形入」 紙紐一括り・F-8-28-1~12
F-8-28-1	〔宗門送り放手形等 一括り〕	天明6. 2. ~寛政4. 2.		1一括り 〔22通		
F-8-28-1-1	宗門送り放手形之事	年月日未詳	豎切紙	1通	玉島村住屋太平次→乙島村十左衛門当テ 玉島村六郎兵衛娘せう 婚姻ご付、宗門送り手形の下書	
F-8-28-1-2	宗門送手形之事 (神西郡住郡野村尼池今乙島村待聖庵へ引越願)	天明6. 12.	豎紙	1通	播磨国飾東郡路上市町天台宗正明寺・酒井雅興真分播磨国神西郡住郡野村庄屋代組真分吉郎→万七郎右衛門・代官所備中国浅口郡乙島村住氏右衛門	
F-8-28-1-3	宗門送り手形之事 (浅口郡上竹村甚之介姉妹の婚姻ごつき)	天明7. 3.	豎紙	1通	池田言農守真分浅口郡六条院中村明王院・監院公院完→浅口郡乙島村住屋十左衛門 (奥書) 松平内蔵真分備中浅口郡上竹村名主丹之介	
F-8-28-1-4	一札	年月日未詳	豎紙	1通	悴善吉当年15れこなるまで帳面から外れていた為委入帳願出・聞届ごつき証文 喜兵衛後家悴善吉・請人五人組頭三治郎一乙島村役人中	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-8-28-1-5	宗門送り手形之事（浅口郡長尾村孫助伴友吉養子に付）	天明8. 正	豎紙	1通	備中国浅口郡上船尾村宝満寺（奥書） 備中国浅口郡長尾村庄屋新五兵衛・同断 小野源次兵衛→備中国浅口郡乙島村庄屋十 左衛門	
F-8-28-1-6	送り証文之事（乙島村庵市家内へ罷出願出こつき）	天明6. 3.	豎紙	1通	松平紀伊守領分同郡玉島村庄屋守屋太平 次・同村伴寄井田屋代兵衛→乙島村庄 屋民右衛門	
F-8-28-1-7	宗門送り放手形之事	天明6. 11.	豎紙	1通	飾東郡白国村慈光尼（増立山待雲弟子） ・同弟子光全乙島村へ引越住庵願こつき 宗門送り手形 播磨飾東郡路各上寺町天 台宗正明寺（奥書）酒井能頼領分 播磨飾東郡中島組白国村庄屋文左衛門→ 万年七郎右衛門兼御代官所備中国浅口郡 乙島村庄屋民右衛門	
F-8-28-1-8	宗門送り手形之事（浅口郡附尾村平十郎娘とく婚因こつき）	天明7. 正	豎切紙	1通	浅口郡附尾村宝満寺（奥書）浅口郡下 船尾村庄屋村田半兵衛→乙島村庄屋十 左衛門	
F-8-28-1-9	覚（乙島村伝四郎伴政吉婿入こつき）	天明7. 正	豎切紙	1通	松平紀伊守領分玉島村庄屋守屋太平次 ・同村伴寄代判官兵衛→乙島村御庄屋 平左衛門	（端裏書）「玉島村庄屋太平次 より請取」
F-8-28-1-10	宗門送り手形之事（浅口郡西大嶋村五郎娘とよ婚因こつき）	天明6. 2.	豎紙	1通	浅口郡東久島福井山龍成院（奥書）浅 口郡西大嶋名主樹左衛門→音島村庄屋民 右衛門	
F-8-28-1-11	宗門送り放手形之事（上二万赤櫛右衛門娘とく婚因こつき）	天明7. 2.	豎紙	1通	備中国下道郡下二万赤櫛峰寺→備中国浅 口郡乙島村庄屋十左衛門（奥書）伊東番 磨守領分備中国下道郡上二万赤櫛庄屋喜七 一備中国浅口郡乙島村庄屋重左衛門	
F-8-28-1-12	宗門送り手形之事（浅口郡道地村太平次二従弟かん婚因こつき）	天明7. 2.	豎紙	1通	浅口郡西大嶋村金剛院（奥書）池田信 濃守領分備中国浅口郡道地村名主環右衛門 一備中国浅口郡乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-1-13	〔宗門送り手形等一括り〕	寛政4. 正 ～2.		1括り 10通		紙紐一括り・F-8-28-1-13-1 ～8
F-8-28-1-13-1	宗門送り放手形之事（下船尾村善左衛門姉とよ婚因こつき）	寛政4. 正	豎紙	1通	備中国浅口郡上船尾村千寿院→浅口郡大 島村庄屋十左衛門（奥書）松平又七郎 殿領 分備中国浅口郡下船尾村庄屋惣兵衛 柏島村福寿院→乙島村十左衛門（奥書） 柏崎村庄屋式左衛門	（端裏書）「寛政四子年送り手 形」
F-8-28-1-13-2	宗門送り放手形之事（浅口郡柏島村平吉妹さわか婚因こつき）	寛政4. 2.	豎紙	1通	松平又七郎領分浅口郡上船尾村千手院 →浅口郡乙島村庄屋十左衛門（奥書） 阿賀崎新田村伴寄向次郎	
F-8-28-1-13-3	宗門送り放手形之事（野口辰之助御代官所浅口郡附崎新田村善兵衛妹とよ婚因こつき）	寛政4. 2.	豎紙	1通	松平又七郎領分浅口郡上船尾村宝満寺→ 浅口郡乙島村庄屋重左衛門（奥書）松 平又七郎領分浅口郡長尾村庄屋小野源次 兵衛	
F-8-28-1-13-4	宗門送り放手形之事（長尾村伝四郎娘とく婚因こつき）	寛政4. 正	豎紙	1通	浅口郡長尾村庄屋小野源次兵衛→乙島村 庄屋重左衛門	
F-8-28-1-13-5	覚（乙島村惣右衛門弟久蔵養子こつき宗門送り手形の請取手形）	寛政4. 正	豎切紙	1通	松平又七郎領分玉島村庄屋代年寄次郎兵 衛→庄屋十左衛門	
F-8-28-1-13-6	覚（乙島村文四郎弟太郎兵衛婿入こつき宗門送り手形の請取手形）	寛政4. 正	豎切紙	1通	岡山領分浅口郡西京名主羽右衛門・喜	
F-8-28-1-13	覚（乙島村五郎右衛門娘とく婚因こつき宗門送り手形の請取手形）	寛政4. 正	豎切紙	1通		

番号	内容	年月	紙種	通数	備考
	-7 形				藤太（他行不付無判）→乙島村庄屋十左衛門
F-8-28-1-13	覚（乙島村長吉娘らよ婚姻こつき送り手形の請取手形）	寛政4. 正	豎縹紙	1通	浅口郡玉島村庄屋代年奇次郎兵衛→乙島村庄屋十左衛門
F-8-28-1-14	覚（乙島村六兵衛娘め婚姻こつき宗門送り手形の請取手形）	天明7. 2. 22	豎切紙	1通	備中備前郡須山村庄屋尾崎云右衛門→備中浅口郡乙島村庄屋十左衛門
F-8-28-1-15	覚（阿賀崎新田村平吉妹さん離縁こつき宗門送り手形の請取手形）	天明7. 2.	豎切紙	1通	阿賀崎新田年寄政右衛門→乙島村庄屋左衛門
F-8-28-2	送り手形之事	延享2. 2.	豎切紙	1通	岡山伯耆守領分玉島村庄屋守屋又大夫→千種青右衛門代官所乙島村庄屋左平次
F-8-28-3	〔四通之送り手形〕	延享2. 4.	豎切紙		延享2年4月25日に取次の八右衛門へ送り手形の口 千種青右衛門代官所浅口郡乙島村庄屋左平次→青山伯耆守領分浅口郡玉島村庄屋守屋又大夫
F-8-28-4	〔寛政三年宗門送り手形関連書類一括〕	寛政3. 1. ~2.		1括り〔8通〕	
F-8-28-4-1	〔寛政三年宗門送り手形関連覚一括〕	寛政3. 1. ~2.		1括り〔5通〕	
F-8-28-4-1-1	覚（乙島村省八死亡こつき妻が実家の下船尾村市兵衛名こもる件こ半う宗門送り手形請取）	寛政3. 1.	豎紙	1通	松平紀尹守龍文下船尾村庄屋惣兵衛→乙島村庄屋十左衛門
F-8-28-4-1-2	覚（乙島村与太兵衛が玉島庄兵衛が養子に入った件こ半う宗門帳の書入れこつき）	寛政3. 2.	横切紙	1通	玉島村庄屋松田彦三郎→浅口郡乙島村庄屋十左衛門
F-8-28-4-1-3	覚（乙島村作左衛門娘みよが玉島村勘太郎の嫁こ来たことに伴う宗門送り手形請取こつき）	寛政3. 1.	豎切紙	1通	玉島村庄屋守屋平三郎代年奇次郎兵衛→乙島村庄屋十左衛門
F-8-28-4-1-4	覚（乙島村猪右衛門娘と上船尾村清次郎との婚姻こ半う宗門送り手形請取こつき）	寛政3. 正	豎切紙	1通	上船尾村庄屋敬左衛門→乙島村庄屋重左衛門
F-8-28-4-1-5	覚（乙島村重郎右衛門姉さなか玉島村与兵衛が嫁こく事に伴う宗門送り手形請取こつき）	寛政3. 2.	豎切紙	1通	玉島村庄屋松田彦三郎→乙島村庄屋十左衛門
F-8-28-4-2	覚（芸州沼田郡江波島小三郎が逗留している文吉の妹きねが海宝寺旦那に相違ひ旨の証文）	寛政3. 1.		1包〔1通〕	芸州沼田郡江波島海宝寺忠欽一役人中
F-8-28-4-3	宗門送り手形之事（浅口郡下竹村村郎兵衛娘とわと乙島村七兵衛との婚姻こつき）	寛政3. 2.	豎紙	1通	浅口郡六条院中村・明王院→浅口郡乙島村庄屋十左衛門（奥書）備前領分浅口郡下竹名主佐忠太
F-8-28-4-4	宗門送り手形之事	寛政3. 2.		1纏め〔2通〕	
F-8-28-4-4-1	宗門送り手形之事（笠岡町伏見屋兵右衛門姪そとと乙島村五三郎との婚姻こ半う）	寛政3. 2.	豎切紙	1通	小田郡笠岡・西明院→玉島・円乘院
F-8-28-4-4-2	宗門送り手形之事（笠岡町そとと乙島村五三郎との婚姻こ半う）	寛政3. 2.	豎切紙	1通	早川八郎左衛門代官所備中国小田郡笠岡町庄屋茂左衛門→浅口郡乙島村庄屋十左衛門
F-8-28-4-5	宗門送り手形之事（西原村安次郎弟とく蔵宗旨代にこ半う）	寛政3. 1.	豎縹紙	1通	岡山領分備中国浅口郡西原村辨園寺→浅口郡乙島村庄屋十左衛門（奥書）岡山領分浅口郡西原村名主羽右衛門
F-8-28-4-6	宗門送り手形之事（玉島村勘八の姪こまと乙島村平兵衛との婚姻こ半う）	寛政3. 2.	豎縹紙	1通	玉島村円乘院→乙島村庄屋重左衛門（奥書）備中浅口郡玉島村庄屋松田彦三郎・乙島村庄屋十左衛門
F-8-28-4-7	宗門送り手形之事（浅口郡長尾村八平娘さよと乙島村七郎兵衛との婚姻こ半う）	寛政3. 2.	豎紙	1通	松平紀尹守領分浅口郡上船尾村宝満寺→浅口郡乙島村庄屋十左衛門（奥書）同郡長尾村庄屋小野原次兵衛・〔 〕兵衛
F-8-28-4-8	離縁送り手形（乙島村吉三郎娘みよと柏島村六左衛門吾又吉との離縁こ半う）	寛政3. 1.	豎切紙	1通	柏島村庄屋式左衛門→乙島村庄屋十左衛門

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-8-28-4-9	宗門送り手形之事（窪郡酒肆村丸左衛門娘ふみと乙島村平次郎との婚姻に伴う）	寛政3. 2.	豎縹紙	1通	窪郡酒肆村真如院→浅口郡乙島村庄屋十左衛門（奥書）窪郡酒肆村庄屋云右衛門	戻し手形 （端裏書）「平次郎平次郎妻送り手形」
F-8-28-4-10	宗門送り手形之事〔乙島村万次郎後家きよを同村の親類と四兵衛が写取ったことに伴う〕	寛政3. 3.	豎切紙	1通	浅口郡黒崎村妙五寺→野口辰之助代官所備中国浅口郡乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「川ノ万右衛門後家きよ宗門送り手形」
F-8-28-4-11	送り戻し放し手形之事（玉島村寅兵衛娘つらと婿政吉との離縁に伴う）	寛政3. 2.	豎切紙	1通	松平孫次郎領分浅口郡玉島村庄屋守屋平三郎代官寄次郎兵衛→乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「オノ伝四郎政吉送り戻し一札」
F-8-28-4-12	覚（乙島村文六妹きくと江見村十吉との婚姻に伴う送り手形受取）	寛政3. 正 晦日	豎切紙	1通	浅口郡江見村名主順介→乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「丈六妹きく送り遣し候静取手形」
F-8-28-5	人別差し戻し手紙之事	寛政5. 2.	豎切紙	1通	文六妹きく十吉妻を去る事に伴う 岡山領分備中浅口郡占見名主順介→同国同郡乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「丑年二十二歳 かし文六妹きく差し戻し手紙」
F-8-28-6	宗門送り手形之事（三之助娘巳ゆ半右衛門嫁ひなることに伴う）	寛政5. 5.	豎縹紙	1通	上船尾村宝満寺→同郡乙島村庄屋十左衛門（奥書）松平又七郎領分玉島村之内爪崎村庄屋小野平藏	（端裏書）「丑年せんの半右衛門妻送り手形」
F-8-28-7	宗門送り手形之事（小田郡黒田久藏久松五左衛門養子ひなる事に伴う）	寛政5. 5.	豎縹紙	1通	黒田当留屋→浅口郡乙島村庄屋十左衛門（奥書）早川八郎左衛門代官所 備中国小田郡笠岡村庄屋茂左衛門	（端裏書）「丑年中山五三郎養子久松送り手形」
F-8-28-8	人別返し手形静取之事	寛政5. 正	豎切紙	1通	松平又七郎領分同郡長尾村庄屋新五兵衛同郡小野源次兵衛→浅口郡乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「佐兵衛家内共長尾村庄屋静取手形」
F-8-28-9	宗門送り放し手形	年月日未詳		1括り 13通		一括り・F-8-28-9~13
F-8-28-9-1	宗門送り放し手形之事	天明8. 2.	豎切紙	1通	勇崎村又右衛門娘わか乙島村喜兵衛に嫁ぐ為宗門記入変更を願う 同郡玉島村安養院・勇崎村庄屋理三郎→浅口郡乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「天明八申年宗門送り手形静取共」
F-8-28-9-2	宗門送り放し手形之事	天明3. 2. 1	豎縹紙	1通	玉島村庄屋守屋吉兵衛→乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-9-3	宗門送り手形	天明8. 3.	豎縹紙	1通	備中国鴨方村正伝寺→浅口郡乙島村庄屋十左衛門（奥書）池田信濃守領分浅口郡鴨方村名主丈右衛門→十左衛門	
F-8-28-9-4	宗門送り放し手形之事	天明8. 2.	豎紙	1通	玉島村忠右衛門娘みわか乙島村久助妻となる為宗門記入変更を願う 乙島村眞乗院・松平孫次郎領分玉島村庄屋→乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-9-5	宗門送り放し手形之事（娘嫁入の儀）	天明8. 2.	豎縹紙	1通	下船尾村宝満寺→同郡乙島村庄屋・重左衛門 下船尾村庄屋宗兵衛→乙島村庄屋重左衛門	
F-8-28-9-6	宗門送り放し手形之事	天明8. 2.	豎縹紙	1通	染八一家弓つ越しの為 浅口郡附島村海住寺→乙島村庄屋十左衛門 浅口郡勇崎村理三郎→乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-9-7	覚（宗門手形静取）	天明8. 2.	横切紙	1通	嫁呼取の宗門手形静取の儀 浅口郡下船尾村庄屋惣兵衛→浅口郡乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-9-8	覚（乙島村仁平作六次郎後家めく・同人娘さたの宗門放し手形静取の事）	天明8. 9.	豎切紙	1通	浅口郡下竹名主上竹休源之介→浅口郡乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-9-9	覚（乙島村権介後家とめと娘りよ弓越こつき宗門放し手形静取）	申 2. 15	豎紙	1通	玉島村庄屋守屋左平台	
F-8-28-9-10	宗門請上状之事（曾念性を川満寺におよび請ける事）	天明8. 3.	豎縹紙	1通	賀野村溝村川満寺→浅口郡乙島村庄屋	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-8-28-9-11	宗門送り手形之事（柏島村吉介娘とらか乙島村七郎兵衛に嫁ぐことつき）	寛政4. 2.	縦紙	1通	十左衛門 柏島村福寿院・同村庄屋式左衛門→乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-9-12	宗門送り放手形之事（浅口郡黒崎村重助孫のやか乙島村作藏に嫁ぐことつき）	寛政6. 2.	縦継紙	1通	黒部郡安養院→乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-9-13	宗門送り放手形之事（浅口郡大島中村半六の甥万蔵・乙島村清台郎養子にふることつき）	天明8. 8.	縦紙	1通	龍城院→乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-10	覚（乙島村人口と宗派内訳）	天明7. 3.	縦切紙	1通	浅口郡乙島村庄屋十左衛門・年寄青谷郎一万年七郎右衛門役所	
F-8-28-11	宗門放手形	年月日未詳		1括り〔3通		
F-8-28-11-1	宗門送り放手形之事（文四郎第太郎兵衛送り戻し手紙）	寛政5. 2.	縦紙	1通	玉島村庄屋代年寄次郎兵衛→乙島村庄屋十左衛門	一括り・F-8-28-11-1~3 （端裏書）「寛政五年丑年宗門人別送り手形同請取書」 「丑年北ノ文四郎第太郎兵衛 送り候戻し手形」 （端裏書）「か〇し文吉妹さく送り戻し手形」 貼紙あり （端裏書）「丑年藪青次郎妻送り手形」
F-8-28-11-2	宗門放手形之事（乙島村文吉妹さく離ゆの為の宗門戻し）	寛政5. 2.	縦紙	1通	浅口郡占見村泉勝院→浅口郡乙島村円乗院	（端裏書）「か〇し文吉妹さく送り戻し手形」 貼紙あり （端裏書）「丑年藪青次郎妻送り手形」
F-8-28-11-3	宗門放手形之事	寛政5. 1.	縦継紙	1通	浅口郡柏島村福寿院→乙島村庄屋重左衛門・勇崎村庄屋又三郎	（端裏書）「丑年藪青次郎妻送り手形」
F-8-28-12	覚（宗門人別帳）	寛文元 3.	縦継紙	1通	家数204軒 人数902人 浅口郡乙島村庄屋十左衛門・年寄孫大夫一倉敷役所	
F-8-28-13	覚（乙島村長五郎娘ちよと玉島村文四郎三三郎との婚姻に伴う宗門送り手形の請取りについで）	寛文3. 2.	縦切紙	1通	玉島村庄屋守屋平三郎代年寄次郎兵衛→乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「長五郎娘送り之請取」
F-8-28-14	宗門人数帳	天明6. 3.	縦紙	1通	家数203軒 人数948人 浅口郡乙島村庄屋民右衛門・年寄代十左衛門→万年七郎右衛門役所	
F-8-28-15	宗門戻手形之事（浅口郡大谷村次郎右衛門娘、し政右衛門嫁にふることつき）	寛政5. 2.	縦紙	1通	同村村光院一野口辰之介代官所備中浅口郡乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「丑年政右衛門作政次郎妻送り手紙」 （包紙上書）「玉島村御庄屋重左衛門様 倉敷年寄与一右衛門」 一括り・F-8-28-16-1~3
F-8-28-16	〔乙島村庄屋重左衛門宛倉敷年寄与一右衛門書状 括〕	年末詳 3. 11 ~4. 7		1包〔3通		
F-8-28-16-1	〔乙島村庄屋重左衛門宛倉敷年寄与一右衛門書状〕	年末詳 3. 11	横継紙	1通	乙島村三太郎弟留之助が倉敷労屋左六兵衛へ婿入りする件についで役所へ願届を取次ぐ旨	
F-8-28-16-2	〔乙島村庄屋重左衛門宛倉敷年寄与一右衛門書状〕	年末詳 3. 21	横継紙	1通	重左衛門から送り手形の謝りを処理した旨の経過および結果報告 倉敷年寄与一右衛門→乙島村庄屋重左衛門	
F-8-28-16-3	〔乙島村庄屋重左衛門宛倉敷年寄与右衛門書状〕	年末詳 4. 7	横継紙	1通	半右衛門棟留之助・廿万屋へ奉公の際の宗門送り状を確認したとの事	（端裏書）「請取状」
F-8-28-17	離縁に付宗門送り放手形之事	寛政5. 正	縦切紙	1通	惣右衛門弟久蔵長尾村定四郎養子にふる事についで、浅口郡上船尾村宝満寺→乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「子ノ惣右衛門弟久蔵送戻ノ手形」
F-8-28-18	宗門送り手形	天明8. 5. ~9. 2.		1括り〔6通		綴じ紐一括り・F-8-28-18-1~9
F-8-28-18-1	宗門送り手形	天明8. 5. ~9. 2.		1括り〔7通		綴じ紐一括り・F-2-18-1-1~7
F-8-28-18-1-1	宗門送り手形之事（七郎兵衛女房が女子三人の弓越ご半）	天明8. 5.	縦切紙	1通	板倉左衛門頼分浅口郡玉島村年寄台左衛門→早川八郎左衛門・蓑笠之介役所・浅口郡乙島村十左衛門	（端裏書）「天明九酉年宗門送り手形」
F-8-28-18-1-2	宗門送り放手形之事（利平弟長五郎の助三郎への養子ご半）	天明9. 2.	縦継紙	1通	浅口郡玉島村清龍寺→同村庄屋十左衛門 （奥書）松平紀伊守頼分同郡同損庄屋代	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-8-28-18-1 -3	宗門送り手形之事（喜八の娘やく引越しに伴い）	天明9. 2.	豎紙	1通	年寄次郎兵衛 浅口郡柏島村福寿院→同郡乙島村十左衛門	
F-8-28-18-1 -4	宗門送り放手形之事（七介妻引越に伴い）	天明8. 5.	豎紙	1通	浅口郡黒崎村宝蔵寺・代判佛乗寺→同郡乙島村庄屋重左衛門（奥書）同郡勇崎村庄屋中藤重左衛門	
F-8-28-18-1 -5	宗門送り放手形之事（伝三郎姉きく伝吉に嫁ぐにつき）	天明9. 2.	豎紙	1通	連島西之浦正福寺→浅口郡乙島村十左衛門（奥書）備中浅口郡西之浦庄屋三宅弥平次	
F-8-28-18-1 -6	宗門送り放手形之事（覚兵衛娘きく式左衛門妻ひなるに伴う）	天明9. 2.	豎紙	1通	浅口郡連島村安養院→同郡乙島村庄屋十左衛門（奥書）同郡同村庄屋善左衛門	
F-8-28-18-1 -7	宗門送り放手形之事（前八娘たか三吉の妻ひなる事に伴う）	天明9. 正	豎紙	1通	同郡上船尾村宝蔵寺→同郡乙島村庄屋十左衛門（奥書）松平系三伊予領分浅口郡下船尾村庄屋村田半兵衛	
F-8-28-18-2	覚（宗門送り手形）	天明9. 2.	豎紙	1通	玉島村庄屋代年寄次郎兵衛→乙島村惣庄屋十左衛門	（端裏書）「天明九酉年宗門送り手形 右之請取」
F-8-28-18-3	覚（宗門送り手形受取状）	年末詳 2.	豎切紙	1通	甚功の婿養子をとる為 浅口郡下船尾村庄屋村田半兵衛→浅口郡乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-18-4	覚（乙島村弥介娘まんが黒崎村仁三郎に嫁ぐ事に伴う宗門放手形受取の事）	天明9. 2.	豎切紙	1通	黒崎村庄屋善左衛門→乙島村庄屋重左衛門	
F-8-28-18-5	覚（宗門送り手形）	天明9. 2.	豎切紙	1通	長五郎娘吉川伝次の妻ひなる事に伴う 浅口郡下船尾村庄屋村田重兵衛→浅口郡乙島村十左衛門	
F-8-28-18-6	覚（乙島村友平娘きくが玉島村藤藏に嫁ぐ事に伴う宗門送り手形受取の事）	天明9. 1.	豎切紙	1通	玉島村庄屋守屋平三郎・年寄次郎兵衛→乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-18-7	覚（宗門送り放手形）	(天明9) 2.	豎切紙	1通	元平布きく安次郎妻ひなるに伴い、松平紀伊守領分下船尾村庄屋村田半兵衛→乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-18-8	覚（宗門送り手形受取）	天明9. 2.	豎切紙	1通	玉島村権六婚因の為 松平系三伊予領分玉島代年寄次郎兵衛→乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-18-9	覚（乙島村政右衛門娘つちが玉島村万之介に嫁ぐ事に伴う送り手形受取の事）	天明9. 2.	豎切紙	1通	玉島村之内上成庄屋定右衛門→乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-19	宗門改等一括	寛政3. ~4.		1括り 〔2通 仮1冊		一括り・F-8-28-19-1~3
F-8-28-19-1	寛政四年宗門改下帳	寛政4. ~2.	横切紙	仮1冊	長五郎娘、ハ28歳系三郎嫁二遣事以下32名	
F-8-28-19-2	〔出家人数如帳〕	年月日未詳	横切紙	1通	各寺の出家者の人数書 安養院外10寺 男73名 女65名	重ねられた折られていた 2枚に分かれている
F-8-28-19-3	覚（控）	寛政3. 3.	豎紙	1通	宗門人数帳 年寄系三衛門庄屋十左衛門→倉敷役所 人数913人 男505人 女428人	（端裏書）「寛政三亥年差上候 扣」
F-8-28-20	宗門送り放手形等	年月日未詳		1括り 〔20通		一括り・F-8-28-20-1~11
F-8-28-20-1	宗門送り放手形之事（連島西之浦助三郎幹五三郎治右衛門聲ひなるに伴う）	寛政2. 3.	豎紙	1通	同所多聞院→浅口郡乙島村庄屋十左衛門（奥書）浅口郡西之浦庄屋三宅弥兵次	（端裏書）「寛政二戌年川治左衛門養子送り手形」
F-8-28-20-2	宗門送り放手形と奥書	寛政2. 2.		1纏め 〔2通		一纏め・F-8-28-20-1~2
F-8-28-20-2 -1	宗門送り放手形之事（玉島村吉浦平六娘まつ婚因につき）	寛政2. 2.	豎紙	1通	松平系三伊予領分備中浅口郡上船尾村宝蔵寺→浅口郡乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「せう八郎右衛門娘送り手形」
F-8-28-20-2	宗門送り放手形奥書（玉島村吉裏平六娘まつ婚因につき）	寛政2. 2.	豎切紙	1通	松平系三伊予領分浅口郡玉島村庄屋守屋平	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-8-28-20-3	-2 宗門送り放手形之奥書 宗門送り放手形之事（猪右衛門娘とく乙島村平右衛門妻こなる事こ伴う）	寛政2. 正	縦紙	1通	三郎代年寄次郎兵衛 同郡上船尾村宝満寺→同郡乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「寛政二年戊ノ正月いつミ平右衛門妻送り手形玉島村庄屋平三郎より参リ」
F-8-28-20-4	宗門送り放手形之事（浅口郡長尾村役之介妹とよか乙島村弥五兵衛妻こ入ることこ伴う）	寛政2. 正	縦紙	1通	上船尾村宝満寺→乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「戈ノ弥五兵衛女房ノ送り手形」
F-8-28-20-5	宗門送り手形之事（浅口郡柏島村長右衛門娘しやうが乙島村甚三郎伴万三郎妻こなるこ伴う）	寛政2. 2.	縦紙	1通	柏島村福寿院・庄屋武左衛門→乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「舟ノ甚三郎娘ノ送り手形」
F-8-28-20-6	宗門送り放手形之事（浅口郡連島江長村新左衛門娘このが乙島村三大夫伴三三郎妻こ伴う）	寛政2. 2.	縦紙	1通	連島矢上山惣右衛門車島村庄屋六郎右衛門奥書→乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「のふ太三大夫伴三三郎女房ノ送り手形」
F-8-28-20-7	人別送り状之事	寛政2. 正	縦紙	1通	玉島村庄屋平三郎→乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「中山伊野右衛門家内弓越送り手形」
F-8-28-20-8	宗門放手形之事（浅口郡柏島村又次郎娘とよか乙島村又八伴松次郎妻こ伴う）	寛政2. 2.	縦紙	1通	柏島村福寿院→浅口郡乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「せう又八とよ送り手形」
F-8-28-20-9	宗門放手形之事（備中国浅口郡阿賀崎三次郎の乙島村茂兵衛の養子こ行く事こ伴う）	寛政2. 2.	縦紙	1通	上船尾村宝満寺→乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-20-10	宗門放手紙	年月日未詳		1包〔2通		包紙あり
F-8-28-20-10-1	宗旨放手形（備後丹原村儀兵衛が浅口郡乙島村久兵衛故婿入の為）	寛政2. 2.	縦紙	1通	備後神津野興改寺→かしわ島福寿院	（端裏書）「矢出山久兵衛姉入夫儀兵衛送り手形」
F-8-28-20-10-2	宗門放手形之事（備後丹原郡原村儀兵衛が浅口郡乙島村久兵衛故婿こ入ることこ伴う）	寛政2. 2.	縦紙	1通	備後丹原郡原村庄屋安右衛門→乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-20-11	宗門放手形之事	年月日未詳		1括り〔8通		一括り・F-8-28-20-11-1～8
F-8-28-20-11-1	覚（助外2名引越しの為の請取手形）	寛政2. 2.	縦切紙	1通	浅口郡玉島村庄屋松田彦三郎→乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「寛政二年戊三月川三次郎弟弥介并家内共弓越請取」
F-8-28-20-11-2	覚（柏島村孫ノ助殿因の為の手形請取状）	寛政2. 正	縦紙	1通	柏島村庄屋武左衛門→乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「定年娘きよ宗門送り手形請取」
F-8-28-20-11-3	覚（六兵衛後家染と玉島村惣惣次との婚因の為請取正文）	年月日未詳	縦紙	1通		（端裏書）「六兵衛後家なつ娘持請取」
F-8-28-20-11-4	覚（柏島村六左衛門伴又吉と乙島村吉郎の婚因）	寛政2. 正	縦切紙	1通	柏島村年寄伊右江門→乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「吉三郎娘持請取」
F-8-28-20-11-5	覚（乙島村猪兵衛娘志まと玉島村庄吉の婚因の為請取正文）	寛政2. 2.	縦切紙	1通	玉島村庄屋守屋平三郎御年寄次郎兵衛→乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「伊兵衛娘志持請取」
F-8-28-20-11-6	覚（長尾村留三郎と乙島村のゑの婚因の為の請取正文）	寛政2. 正	縦切紙	1通	浅口郡長尾村庄屋新五兵衛外1名→乙島村庄屋十左衛門	
F-8-28-20-11-7	覚（乙島村由五郎養子縁組つき人別送り手形受取）	寛政2. 1.	縦紙	1通	長尾村庄屋新五兵衛→乙島村庄屋十左衛門	（端裏書）「佐兵衛子由五郎請取」
F-8-28-20-11-8	覚（庄松後家へ乙島村岩次郎伴馬之助が入夫の為請取正文）	寛政2. 2.	縦紙	1通	玉島村年寄次郎兵衛→乙島村十左衛門	（端裏書）「寛政三戊二月岩次郎伴馬之助請取」
F-9	書状・許状・心得等書状	年月日未詳		1纏め〔9通〔2巻〔仮1冊〔1枚		箱の蓋こ入れられて紐で括られていた
F-9-1	神道五心流免許 虚無曾 伝 諸則心得	年月日未詳	封筒	1袋〔仮1冊〔1通		封筒内・F-9-1-1～2
F-9-1-1	八幡宮 摩利支尊天 飯綱大権現 神道五心流 諸尊三卷	嘉永2. 正		1通	常別日田若松万次郎内関根原太郎一舟屋英三郎 神道五心流の免許	16.8×91.6(cm)
F-9-1-2	虚無曾の諸則・心得	年月日未詳	半・縦	仮1冊	寺宛流派・縁起・靈譜序など	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-9-2	刀兎鑑定	文化元 冬		1巻	刀兎の吉凶判断について 財津普平→津田可全	17.8×1010.0(cm) (包紙上書) 「刀兎鑑定法吉凶判断」紐あり 包紙内・F-9-3-1~2
F-9-3	刀兎家 水田家系図	年月日未詳		1包 〔1通 〔1巻 〔1巻		
F-9-3-1	刀兎家 水田家系図	年月日未詳		1巻	備中国青江守次以下5代の家系図	16.2×323.0(cm) 紐付の包紙あり
F-9-3-2	備中国 水田系図	年月日未詳	横巻紙	1通	備中国青江守次以下5代の家系図	
F-9-4	高倉永範御 御許状 栗生源太兵衛正史	年月日未詳	木箱	1箱〔7通		箱内・F-9-4-1~7 紙送り紐で括ってある (底書) 「栗生源太兵衛」と刻印あり 22.8×8.5×3.1(cm) (包紙上書) 「栗生蔵人殿」
F-9-4-1	許状	宝暦3. 12. 2	横折紙	1包〔1通	装束衣文の許状 蒔田図書充裕・栗津言濃介→栗生源太兵衛	(包紙上書) 「栗生源太兵衛様 栗津言濃介 蒔田図書允」
F-9-4-2	〔栗生源太兵衛宛栗津言濃介・蒔田図書允書状〕	年末詳 12. 25	横折紙	1包〔1通	門弟の儀礼の事	(包紙上書) 「栗生源太兵衛殿」
F-9-4-3	覚 (供物受取之事)	未 12. 22	横切紙	1包〔1通	蒔田図書允・栗津言濃介→堤丈右衛門・紀太善大夫	(包紙上書) 「栗生源太兵衛殿」
F-9-4-4	〔栗生源太兵衛宛岡田内匠・岡田主馬書状〕	年末詳 12. 23	横折紙	1包〔1通	宰相への祝儀の贈進への礼	(包紙上書) 「栗生源太兵衛様 宛岡田内匠 岡田主馬書状」
F-9-4-5	〔包紙〕	巳 3. 25	包紙	1枚	大坂堂島米市場堺屋紀次郎より備中玉島西町豊崎屋善兵衛へ急便届	(包紙上書) 「備中玉島湊乙島江戸外神田山本町代地 守屋勝太郎様 万屋左兵衛より 乙島茂四郎 従江戸大坂迄六日切 従大坂玉島迄二田切 大急用書 平安」
F-9-4-6	〔栗生源太兵衛宛蒔田図書允・栗津言濃介書状〕	年末詳 12. 25	横折紙	1包〔1通	入門許容祝儀金百疋受納札	(包紙上書) 「栗生源太兵衛様 栗津言濃介 蒔田図書允」
F-9-4-7	許状	明和3. 4. 14	横折紙	1包〔1通	雛頭之事許容の許状 蒔田図書允・栗津言濃介→栗生源太兵衛	(包紙上書) 「栗生源太兵衛殿」
F-9-5	〔年貢米減免願い〕	辰 12.	横切紙	1通	乙島村百姓代長蔵外13名→倉敷県出役町田治六 早や水害こより年貢米を減らしてほしいという旨	(端裏書) 「勝太郎庄屋時代」
F-10	〔日記・手帳・メモ等一括〕			1袋 29枚 〔7冊 〔仮2冊 〔1帖 〔1通 〔2冊		袋内・F-10-1~13
F-10-1	〔日記・手帳〕	明治4.		1纏め		一纏め・F-10-1-1~2
F-10-1-1	〔川口弘太日記・メモ等〕	明治4. 4. 27 ~12. 15	手帳	1冊		F-10-1-2に挟み込んでゐる
F-10-1-2	〔民話〕	年月日未詳	手帳	1冊		12.8×6.4(cm) 表紙破損
F-10-2	〔嫁入り列・役書等書付帳〕	年月日未詳	半・横半折	1冊		
F-10-3	四十四年 夏 休暇日誌 三甲 川口弘太	明治4. 7. 24 ~9. 2	半・堅	1冊	夏休みの日記	
F-10-4	教生期間 受持児童 成績物	明治5. 4. ~7.		23枚	教生期間の受持児童の絵画・習字作品	24.4×19.0(cm)
F-10-5	覚 (経行文)	年月日未詳	小・横長	仮1冊	岡山より高ノ口など十二社権現参詣・その他経行文	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

F-10-6	家数人別帳	寛永18. ~ 慶安4 半・横長		1冊		
F-10-7	明治四十四年以降月未調査綴山中尋小学校表紙・川口弘太習字作品	明治3. ~44.		1纏め〔4枚〕		33.6×25.0(cm) 一纏め・F-10-7-1~2
F-10-7-1	明治四十四年以降 月未調査表綴 山中尋常小学校	明治44.		1枚		33.6×25.0(cm) 表紙のみ F-10-1-2に挟み込んでいる
F-10-7-2	〔川口弘太習字作品〕	明治3.		3枚		
F-10-8	〔書状雛形〕	年月日未詳	折本	1帖		18.7×6.0(cm) SILティッシュで包まれている
F-10-9	岡山フィルハーモニー交響楽団 演奏曲目解説	年月日未詳		2枚		25.9×35.0(cm)
F-10-10	天道協會趣意書	大正3. 8. 30		1冊		23.2×15.9(cm)
F-10-11	天道協會趣意書	大正3. 8. 30		1冊		23.2×15.9(cm)
F-10-12	〔天道協會趣意書〕	大正3. 8. 30		仮1冊		23.2×15.9(cm) 表紙のみは折れている
F-10-13	〔日本歴史年表〕	年月日未詳	年表	1通		18.2×132.0(cm) 皇紀2568年以前の日本歴史年表
◆◆◆G-1~G-13◆◆◆						
G-1	〔書状等〕			1括り 〔60通〕		一括り：G-1-1-1~18
G-1-1	御請書奉差上候	丑 7. 23	縦紙	1通	乙島村持貢不納こつき大阪豊敷出頭の件 庄屋左平次外2名→倉敷役所	〔端裏書〕「丑七月廿三日大坂行御承事口」
G-1-2	覚	酉 3. 27	縦紙	1通	川筋流作懸合函面2枚の請取 乙島村小前村役人惣代庄屋見習三郎→検地奉行	
G-1-3	覚	享和3. 正	縦紙	1通	銀350目2分の受取 借用主乙島村庄屋 亀之丞 証人熊太郎→吉見屋口兵衛	後欠
G-1-4	奉公人請伏之事	元文4. 11.	縦紙	1通	池口源八娘さいの奉公の件 奉公人親池口源八・証人味切頭左助→乙島庄屋左平次	
G-1-5	御証文写	亥 7.	縦紙	1通	竹内平之丞持参の長持1棹を江戸・備中備後・石見へ継送の件 備前一宿中	
G-1-6	〔乙島村持貢関係書類〕	延享2. ~文政6.		1括り 〔12通〕		紙紐一括り・G-1-6-1~12 幽簡
G-1-6-1	〔幽簡〕	年月日未詳	縦紙	1通		
G-1-6-2	覚	辰 11. 15	横切紙	1通	丑年の夫食米当月返済の件 守屋文大夫→乙島村庄屋左平次	
G-1-6-3	〔〔〕佐平次宛大島与三衛門書状〕	年末詳 8. 20	横切紙	1通	年貢算用の相談	
G-1-6-4	覚	丑 10.	横紙	1通	夫食残米等・銀勘定書	〔端裏書〕「先庄屋左平次郎被地之内村惣借銀并諸色銀入長銀長暮左平次より立替銀目録」
G-1-6-5	文太より貸入地持代レ覚	年月日未詳	横切紙	1通	田畑高の書上	
G-1-6-6	御差紙覚	年末詳 8. 3	横切紙	1通	年寄与三右衛門病氣こつき代人出頭の件 乙島村百姓半平外4人→千種青右衛門役所	
G-1-6-7	覚	丑 10.	横紙	1通	浅口郡村出高書上 浅口郡乙島村庄屋左平次→千種青右衛門役所	
G-1-6-8	写し帳差上候口	延享2. 10.	横切紙	1通	西戌亥三年分御年貢算用帳写 浅口郡乙島村庄屋左平次→千種青右衛門役所	
G-1-6-9	覚	年月日未詳	横切紙	1通	田畑高の書上	
G-1-6-10	相渡申質地証文之事	文政6. 12.	縦紙	1通	質主・半太夫一舟ノ松次郎 〔奥書〕庄	虫損甚し

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-1-6-11	老年切虎渡田畑之事	文政4. 12.	豎紙	1通	屋熊太郎・彦右衛門	
G-1-6-12	差出申一礼之事	年月日未詳	豎紙	1通	売主上成凌三郎→上成直解 上成也所代銀の件 売主八→乙島村役 人中・庄屋	反故を使用している
G-1-7	〔内済正文類〕	寛延元 ~宝暦3.		1括り〔4通〕		
G-1-7-1	差上申内済正文之事	宝暦3. 2. 16	豎紙	1通	阿賀崎新田村讃岐屋左衛門外5名→千 種右衛門役所	紙紐一括り・G-1-7-1~4 〔端裏書〕「宝暦三年西二月十 六日長尾村忠兵衛阿賀崎村左 衛門より借用銀懸合済口差上候 証文写」 〔端裏書〕「表書通日違無之候 以上 庄屋太兵衛」
G-1-7-2	老年切虎渡申家屋敷之事	寛延元 12.	豎紙	1通	売主乙島村佐平台外4人→小野忠兵衛・ 讃岐屋左衛門（奥書）庄屋太兵衛	
G-1-7-3	覚	酉 7. 9	豎紙	1通	長尾村小野忠兵衛→乙島村庄屋左平次 乙島村彦兵衛船と阿賀崎・若宮屋舟左衛 門と掛り合の件	
G-1-7-4	乍恐以書付御届奉申上候	酉 3.	豎切紙	1通	松平蔵伊守領分と玉島村板倉磨守領分の 懸り合の内済こ付 浅口郡乙島村左平次 同村庄屋市太夫→倉敷役所	〔端裏書〕「倉敷役所へ西三月 十八日二指参上ル龜山・松上御 二ヶ領玉島村懸合不残内済之御 注付」 〔包紙上書〕「先年之出入扱証 文 写者通 常照院の事 備中 国浅口郡乙島村氏宮諸支酉人重 左衛門 包紙内・G-1-9-1~4（包 紙上書）「元禄三年将取り手形 三通 玉島村 柏崎村 勇崎村 庄屋中より」 SILティッシ ュで包む
G-1-8	✓覚	元文3. 5.	豎紙	1通	乙島村常照院外10人 守屋左平次好取り 別当外5ヶ条出入こつき	
G-1-9	〔将取り・請取手形書類〕	承応3. ~元禄8.		1包〔4通〕		
G-1-9-1	預り申上米之事	元禄8. 3. 5	豎紙	1通	玉島村庄屋大森次兵衛→乙島村庄屋森若 十左衛門	
G-1-9-2	預り申米之事	元禄8. 3. 20	豎紙	1通	勇崎村庄屋又三郎→乙島村庄屋十左衛門	
G-1-9-3	預り申口勘定米之事	元禄3. 4. 2	豎紙	1通	柏島村与十郎・中兵衛→乙島村持左衛門	虫貫あり
G-1-9-4	請取申米之〔 〕	承応3. 10. 8	豎切紙	1通	柏島村徳〔 〕外4人→渡部口木平平 介	虫貫甚し
G-1-10	借用証	明治5. 9.	豎紙	1通	川口源右衛門→川口淵蔵	
G-1-11	差入申一礼之事	天保10. 12. 28	豎紙	1通	乙島村百姓伊三郎外2名→庄屋重左衛門	
G-1-12	〔田畑売渡正文類〕	正徳6. ~元文5.		1括り〔4通〕	園乗院開墾願あり	紙紐一括り・G-1-12-1~4
G-1-12-1	三年切虎渡申田畑屋敷之事	元文5. 12.	豎紙	1通	売主乙島村船頭次郎兵衛こと久七	
G-1-12-2	売渡申	享保8. 10.	豎紙	1通	下々畑の売渡 売主与五郎→伝次郎	
G-1-12-3	〔園乗院阿弥故味開張の願〕	正徳6. 2.	豎紙	1通	浅口郡乙島村園乗院山外3名→大庄屋 伝左衛門	
G-1-12-4	田畑預り御年貢并加地子銀精算証文	元文5. 12.	豎紙	1通	預り主乙島村船頭次郎兵衛・久七外2人 一佐平台	〔端裏書〕「田畑預り小作加 地子銀精算証文下書」 包紙内・G-1-13-1~12 〔包紙上書〕「在中手形類也合 通」此内二御院定なし享 保十五戌御院定并勘定目録同十 五年酉右同十八丑年迄勘定目録 入并二戌ノ春御精算上様目録共 二其外御院定免御精算証文打等入有
G-1-13	〔手形類一包〕			1包〔12通〕		
G-1-13-1	御蔵石数内訳	年月日未詳	豎切紙	1通		

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-1-13-2	亥御成米子春御勘定目録	元禄9. 3. 26	豎切紙	1通	玉島村藏本大森新助→乙島村森谷十左衛門	
G-1-13-3	差上申御定免請合証文事 扣	享保6. 7. 年月日未詳	豎紙	1通	庄屋云谷領外4名→窪島作右衛門役人中	
G-1-13-4	[乙島村本途内訳]		豎紙	1通		
G-1-13-5	寅春御成米子春御勘定目録	元禄1. 3. 18	豎紙	1通	玉島村庄屋大森九左衛門→乙島村庄屋十左衛門	(端裏書) 「乙島村」
G-1-13-6	覚	酉 11.	豎切紙	1通	本途・見取・小物成の覚 窪島作右衛門手代水野勝右衛門→乙島村庄屋	
G-1-13-7	請取申御成米之事	子. 3. 5	豎切紙	1通	玉島村藏本大森作右衛門→乙島村庄屋森谷重左衛門	
G-1-13-8	覚	子. 3. 3	横切紙	1通	鑓清又覚 玉島村新介→乙島村庄屋十左衛門	
G-1-13-9	[乙島村前新田外3ヶ所堤上切長さ・坪数内訳]	年月日未詳	豎紙	1通		
G-1-13-10	覚	子. 7. 6	豎切紙	1通	掛屋又六→乙島村庄屋云次郎	
G-1-13-11	覚	子. 7. 6	横切紙	1通	金錢書上 又六→乙島村庄屋云次郎	
G-1-13-12	[乙島村寅年田方畑方免・三分一米値段等書上]	卯 3.	豎切紙	1通	千種青右衛門役所	
G-1-14	願書類三通	寛延3. 2. ~3.		1括り [3通]		
G-1-14-1	乍恐以書付奉願上候	寛延3. 2.	豎紙	1通	浅口郡乙島村左平台・同村庄屋市大夫→倉敷役所	紙紐 括り・G-1-14-1~3 (端裏書) 「午二月二日ニ上ル三十七人質田地家船法日極月切ニ御裁許被為仰付候処不将二付御断申上候 扣」
G-1-14-2	乍恐以書付奉願上候	寛延3. 3.	豎紙	1通	浅口郡乙島村左平台・同村庄屋市大夫→倉敷役所	(端裏書) 「十四日ニ上ル 午三月質地之儀二付 江戸へ 双方被書被為下候処御願申上候 扣」
G-1-14-3	[請取書扣函簡]	巳 8.		1通		29.0×11.1(cm) 「巳八月与三衛門田地御致より買代銀差上田地立会請取候御届ケ右司断不沙汰之内辰年分年貢村入用御月残趣左平次へ被下置候請取書扣」
G-1-15	願書・請取書類一括り]	巳 ~午.		1括り [3通]		紙紐 括り・G-1-15-1~3
G-1-15-1	乍恐以書付奉願上候	午 4. 13.	豎紙	1通	与四松地年貢滞りこつて呼出日時延引之事 浅口郡乙島村左平台→倉敷役所	(端裏書) 「午四月十三日ニ上与三左衛門地巳年本預二被仰付喜三右衛門口〇へ御預り申候預来右請懸り年貢ニつき立候所喜三右衛門日帯二付庄屋市大夫勘定差支候二付市大夫より書付差上被申抛依之御差紙参候」
G-1-15-2	乍恐以書付御届奉申上候	巳 8.	豎切紙	1通	浅口郡乙島村政右衛門→倉敷役所	(端裏書) 「巳八月与四松田畑請取御届下書扣 乙島村政右衛門」
G-1-15-3	覚	巳 8.	豎紙	1通	浅口郡乙島村左平台→倉敷役所	(端裏書) 「与三左衛門地代銀請取書上 扣」
G-1-16	地所出入請取書類三通	寛政元 12.		1括り [3通]		紙紐 括り・G-1-16-1~3 「参合参通」と書かれた紙の紐に差してある
G-1-16-1	乍恐御書附御届奉申上候	寛政元 12.	豎紙	1通	当代官所備中国浅口郡乙島村入百姓玉島村弥一郎外1名菅谷弥五郎役所	(端裏書) 「寛政元年酉十二月九日玉ノ弥一郎より七嶋屋惟七へ可松地所出入ヲ左衛門へ掛

G-1-16-2	差上申済口証文之事	寛政元 12.	豎縹紙	1通	乙島村入作百姓板倉周邦守領分浅口郡玉島村弥中郎代久兵衛外5名→倉敷役所	り出訴致候二付御紙添差紙之写し 〔端裏書〕「寛政元西十二月魚屋弥一郎より七嶋屋准七へ地所出入内済正文」
G-1-16-3	□ (有) 恐以返答書奉申上候	寛政元 12.	豎縹紙	1通	浅口郡乙島村左衛門→菅谷弥五郎役所	〔端裏書〕「寛政元西極月十八日うを屋弥一郎七嶋屋准七掛り合二付弥一郎より拙者を相手取り出訴致候返答書差上候 扣虫貴あり 紙紐 括り・G-1-17-1~3
G-1-17 G-1-17-1	〔吉兵衛未進負こつき訴籍関係三通 午暮吉兵衛証文改取置候写し	元文3. ~5. 元文3. 10.	豎紙	1括り〔3通 1通	家月渡しの奴銀子相立家屋敷返景の事こつて 借主御持金助事吉兵衛外3名→佐平治	
G-1-17-2	吉兵衛未進 銀并持高家御書上覚	申. 2.	豎紙	1通	浅口郡乙島村庄屋左平治→平岡彦兵衛役所	
G-1-17-3 G-1-18 G-1-18-1 G-1-18-2	乍恐御年貢立替銀為取立御席公 〔済口証文〕 済口証文 乍恐以書付奉願上候	申. 2. 年月日未詳 宝暦3. 3. 宝暦2.	豎縹紙 豎縹紙 豎紙	1通 1括り〔5通 1通 1通	乙島村庄屋左平治→平岡彦兵衛役所	紙紐 括り・G-1-18-1~5
G-1-18-3	乍恐差上候出入済口証文之事	宝暦2.	豎紙	1通	千種青右衛門代官所備中国浅口郡乙島村願人佐平治・池田信農守領分同国同郡道越村林手八郎右衛門→奉行所	
G-1-18-4	貸地出入済口証文之事	宝暦2. 8. 11	豎紙	1通	千種青右衛門代官所備中国浅口郡乙島村願人佐平治・池田信農守領分同国同郡道越村林手八郎右衛門→奉行所 道越村質地主八郎右衛門・同村打作人十平衛・同村五人組頭善右衛門可武七郎→佐平次	
G-1-18-5	〔済口証文控	(宝暦2カ) 8. 11.	横切紙	1通	乙島村左平治→道越村八郎右衛門	〔端裏書〕「八郎右衛門へ渡候済口証文控 一包: G-2-1~72 不明所あり
G-2	〔送り手形外一包			1包〔72通		
G-2-1	送り手形之事	享保8. 5.	豎紙	1通	松江領玉島村庄屋台左衛門→乙島村庄屋云次郎	
G-2-2 G-2-3	送り手形之事 送り手形之事	享保20. 11. 享保1. 2.	豎紙 豎紙	1通 1通	玉島村庄屋五太夫→乙島村庄屋左平次 浅口郡玉島村庄屋久左衛門→浅口郡乙島村庄屋左平次	〔端裏書〕「久助後家司娘きみ」
G-2-4	送り手形之事	享保1. 4.	豎紙	1通	玉島村庄屋守屋五太夫→乙島村庄屋左平治	
G-2-5 G-2-6	送り手形之事 送正文	元文2. 3. 元文2. 3.	豎紙 豎縹紙	1通 1通	柏島村庄屋源右衛門→乙島村庄屋左平次 窪窪御降中村庄屋幸右衛門→乙島村庄屋左平次 (奥書) 乙島村茂七	
G-2-7	宗門送り手形之事	元文2. 4.	豎縹紙	1通	同郡同村地藏院→浅口郡乙島村庄屋左平次 (奥書) 同村年寄月番小右衛門乙島村五太夫	
G-2-8	送り手形之事	元文2. 4.	豎紙	1通	石川住殿頭分玉島村庄屋久左衛門→乙島村庄屋左平次	
G-2-9	送り手形之事	元文2. 5.	豎紙	1通	浅口郡上竹村内道口屋主儀兵衛→乙島村庄屋左平次 (奥書) いづみ屋忠三郎	
G-2-10	宗門請状之事	元文2. 8.	豎紙	1通	同郡六条院中林明王院→同郡乙島村庄屋	〔端裏書〕「上竹之内番名主

G-2-11	送り手形之事	元文3. 3.	豎切紙	1通	東大島名主六条院西坊右衛門→乙島村佐平次	十左衛門口平四郎妻さい 送り手形
G-2-12	送り手形之事	元文4. 3.	豎紙	1通	池田兵衛領分浅口郡大島中村名主三郎右衛門→浅口郡乙島村庄屋佐平次（奥書）乙島村北原八兵衛	虫貫あり
G-2-13	送り手形之事	元文4. 2.	豎紙	1通	浅口郡玉島村庄屋久左衛門→浅口郡乙島村庄屋佐平次	
G-2-14	送り手形之事	元文4. 3.	豎紙	1通	小田郡外神島村庄屋惣右衛門→平岡彦兵衛代官所備中国浅口郡乙島村庄屋佐平次（寛）未4月10日外神島村庄屋惣右衛門	虫貫あり
G-2-15	宗門送り手形之事	元文4. 3.	豎紙	1通	浅口郡乙島村不動院→浅口郡乙島村庄屋佐平次（奥書）青木源五郎領備郡上村庄屋勘右衛門	
G-2-16	送り手形之事（雛形）	元文4. 3.	豎紙	1通	浅口郡河村名主→浅口郡乙島村庄屋佐平次（奥書）乙島村八兵衛	（端裏書） 案紙
G-2-17	送り手形之事	元文4. 6. 19	豎紙	1通	同郡玉島村庄屋久左衛門→浅口郡乙島村庄屋佐平次	
G-2-18	送り手形之事	元文5. 2.	豎紙	1通	同郡玉島村庄屋久左衛門→浅口郡乙島村庄屋佐平次	
G-2-19	宗門請伏之事	元文5. 2.	豎紙	1通	同郡有井村可弥陀寺→乙島村庄屋佐平次（奥書）下道院村村庄屋半治郎	
G-2-20	宗門請伏之事	元文5. 3.	豎紙	1通	同郡六条院中村明王院→乙島村五人組頭与三左衛門（奥書）名主物兵衛	
G-2-21	送正文	元文5. 3.	豎紙	1通	阿賀崎村庄屋太兵衛→乙島村庄屋佐平次	虫貫あり
G-2-22	請合申正文之事	元文5. 12.	豎紙	1通	玉島村丹野屋伝兵衛・証人同高野屋志四郎→村庄屋佐平次年寄中	
G-2-23	送り手形之事	元文6. 2.	豎紙	1通	備中浅口郡連島村庄屋六郎右衛門→乙島村庄屋佐平次外2名	
G-2-24	送り手形之事	元文6. 3.	豎切紙	1通	浅口郡乙島村庄屋佐平次→浅口郡乙島村久次右衛門	
G-2-25	送り手形之事	元文6. 3.	豎紙	1通	備中浅口郡中六条院村庄屋重右衛門→備中国浅口郡乙島村庄屋佐平次	
G-2-26	差上申一礼	元文6. 3.	豎紙	1通	乙島村伝兵衛→同村庄屋佐平次	
G-2-27	宗門請伏之事	寛保2. 正	豎紙	1通	浅口郡鴨方村長川寺→同郡乙島村名主佐平次	
G-2-28	送り手形之事	寛保2. 正	豎紙	1通	窪屋郡中島村庄屋又右衛門→浅口郡乙島村庄屋佐平次	
G-2-29	宗門送り手形之事	寛保元 5.	豎紙	1通	同国同郡同島矢内下惣領院→備中国浅口郡乙島村中興院 同村庄屋佐平次同村年寄惣兵衛・与三左衛門（奥書）浅口郡連島村庄屋六郎右衛門→備中浅口郡乙島村庄屋佐平次・年寄惣兵衛・与三左衛門	
G-2-30	送り手形之事	寛保2. 2.	豎紙	1通	浅口郡小坂村名主十五郎→浅口郡乙島村庄屋佐平次	
G-2-31	送り手形之事	寛保2. 2.	豎紙	1通	浅口郡西大島村庄屋勘左衛門→浅口郡乙島村庄屋佐平次	
G-2-32	送り手形之事	寛保2. 2.	豎紙	1通	備中松山本町村庄屋勘大夫→備中浅口郡乙島村庄屋佐平次（奥書）玉島村一守村	

G-2-33	送り手形之事	寛保2. 2.	豎紙	1通	庄屋山兵衛 備中国浅口郡乙島村庄屋一備中国浅口郡乙島村庄屋左平次（奥書）玉島平野屋伝兵衛	
G-2-34	送り手形之事	寛保3. 2.	豎紙	1通	浅口郡乙島村庄屋為右衛門→浅口郡乙島村庄屋左平次	
G-2-35	宗門請状之事	寛保3. 2.	豎紙	1通	浅口郡乙島村福寿院→浅口郡乙島村庄屋左平次	
G-2-36	宗門送り手形之事	寛保3. 3.	豎紙	1通	玉島村庄屋久次右衛門→乙島村庄屋左平次	
G-2-37	書付を以御注進仕候	延享元 9. 11.	豎紙	1通	浅口郡乙島村庄屋左平次→倉敷役所	(端裏書) 印
G-2-38	一札	延享元 9. 14.	豎紙	1通	乙島村川崎町種助行方不明、乙島村取消を願出る 種助母外1人→乙島村役人中	
G-2-39	送り手形之事	延享2. 2.	豎紙	1通	浅口郡玉島村庄屋松田久次右衛門→乙島村庄屋左平次	
G-2-40	送り手形之事	延享2. 4.	豎紙	1通	玉島村庄屋守屋又大夫→乙島村庄屋守屋左平次	
G-2-41	一札	延享2. 4.	豎紙	1通	玉島村七嶋屋長助 乙島庄屋左平次	
G-2-42	送り手形連書簡	延享2. 5. 22.	横切紙	1通		
G-2-43	覚	延享2. 5.	豎切紙	1通	市之介宗門帳書入・乙島村庄屋・乙島村庄屋左平次→玉島村庄屋松田久次右衛門	
G-2-44	覚	延享2. 8.	豎切紙	1通	玉島村八助娘たま入帳・乙島村庄屋・乙島村庄屋左平次→玉島村庄屋久次右衛門	
G-2-45	宗門送り手形之事	延享2. 8.	豎紙	1通	玉島村庄屋久次右衛門→乙島村庄屋左平次	
G-2-46	送り手形之事	延享3. 正	豎紙	1通	浅口郡四所村主幸三郎→浅口郡乙島村庄屋左平次	
G-2-47	送り手形之事	延享3. 3. 17	豎紙	1通	浅口郡玉島村庄屋松田久次右衛門→浅口郡乙島村左平次	
G-2-48	宗門請状之事	延享3. 4. 15	豎紙	1通	同郡子位庄屋福昌院→浅口郡乙島村庄屋左平次	
G-2-49	送り手形之事	延享3. 4.	豎紙	1通	窪屋郡子位庄屋考主徳左衛門→浅口郡乙島村庄屋左平次	
G-2-50	送り手形之事	延享3. 4.	豎紙	1通	玉島村庄屋守屋五大夫→浅口郡乙島村庄屋左平次	
G-2-51	送り手形之事	延享3. 6.	豎紙	1通	賀陽郡清手小村大庄屋光晴右衛門→浅口郡乙島村庄屋左平次（奥書）乙島村養子親次郎七	
G-2-52	送り手形之事・覚	延享3. 7.	豎紙	1通	同町城屋友左衛門→備中国浅口郡乙島村庄屋左平次（覚）同村港水主前兵衛→備中国浅口郡乙島村庄屋左平次	
G-2-53	送り手形之事	延享3. 8.	豎紙	1通	浅口郡長尾村庄屋長助右衛門→浅口郡乙島村庄屋左平次（奥書）乙島村田役頭清右衛門	
G-2-54	放手形之事	延享3. 10.	豎紙	1通	哲多郡花林村庄屋計郎兵衛→浅口郡乙島村庄屋	
G-2-55	宗門請状之事	延享3. 12.	豎切紙	1通	片島村妙任寺→浅口郡乙島村庄屋左平次	
G-2-56	宗門送り手形之事	安永7. 2.	豎紙	1通	浅口郡小坂村主民右衛門→浅口郡乙島村庄屋信右衛門	
G-2-57	宗門請状之事	文化6. 正	豎紙	1通	何郡何村何寺何一備中国新田一番補寿房	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-2-58	覚	天保7. 2.	縦紙	1通	(奥書) 何郡何村庄屋可右衛門印 浅口郡黒崎村寄俊吉→乙島村庄屋重左衛門	
G-2-59	宗門送り手形之事	天保3. 8.	縦紙	1通	六条院中林明田院→乙島村丹乘院	
G-2-60	宗門送り手形之事	天保4. 正	縦紙	1通	六条院中林明田院外1院→乙島村庄屋重右衛門外1名 (奥書) 浅口郡島地名主間三郎→浅口郡乙島村庄屋重左衛門	虫貫あり
G-2-61	宗門送り手形之事	嘉永2. 3.	縦紙	1通	同郡六条院中林明田院留主中代判占見村泉勝院→乙島村丹乘院 (奥書) 上竹村名主久次右衛門→乙島村庄屋勝太郎	継ぎ目が取れそうな所あり
G-2-62	送り手形之事	丑 4.	縦紙	1通	浅口郡乙島村庄屋左平次→浅口郡玉島村庄屋守屋五大夫	
G-2-63	送り手形之事	(元文5カ) 5.	縦紙	1通	浅口郡乙島村庄屋左平次→浅口郡玉島村庄屋公田久次右衛門	(端裏書) 「元文六年酉正月十六日二認出候口 但去申ノ五月廿八日二御領分へ引越参申候
G-2-64	送手形之事	酉 3.	縦紙	1通	備中後月郡土留村庄屋義兵衛一備中浅口郡乙島村庄屋左平次	
G-2-65	送り手形之事	亥 正	縦紙	1通	浅口郡玉島村庄屋公田久次右衛門→浅口郡乙島村庄屋守屋左平次	
G-2-66	[乙島村庄屋左平次宛中島村高藏書状]	年末詳 3. 27	横切紙	1通		
G-2-67	[守屋左平次宛長介書状]	年末詳 4. 1	横切紙	1通		
G-2-68	[左平次宛原田怒兵衛書状]	年末詳 5. 22	縦紙	1通		
G-2-69	送り手形之事	年末詳 5. 23	縦紙	1通	浅口郡玉島村庄屋公田久次右衛門→乙島村庄屋守屋左平次	
G-2-70	[玉島村丹野家借室調]	年月日未詳	縦紙	1通		
G-2-71	[借家人調カ]	年月日未詳	横切紙	1通	みしま屋倉吉→守野左平次	
G-2-72	巳ノ勘定覚	年月日未詳	縦紙	1通	御庭朱外	
G-3	[手形之事外一束]			1括り [5通]		紙紐一括り・G-3-1~44
G-3-1	手形之事	元禄5. 12. 6	縦紙	1通	与三右衛門外5名一安養院外4名	虫貫あり
G-3-2	乙島村大小百姓御請合申一礼之事	寛保4. 2.	縦紙	1通	庄屋段 跡役決定 弥次兵衛外79名	
G-3-3	御請一札	延享2. 7. 11	縦紙	1通	浅口郡乙島村延享元年年貢不納こつて庄屋ら上坂請合 浅口郡乙島村左平次外2名一倉敷役所	(端裏書) 「丑七月十一日差上候口
G-3-4	[願書]			1括り [9通]		紙紐一括り・G-3-4-1~9
G-3-4-1	乍恐自願奉願上候品々覚	寛延3. 2.	縦紙	1通	年貢滞納・小作請合銀滞納・浅口郡乙島村願人佐平次・同村庄屋市大夫→倉敷役所	
G-3-4-2	覚	寛延3カ. 3. 8	縦紙	1通	質地・小作請合銀等滞納 浅口郡乙島村佐平次→倉敷役所	
G-3-4-3	乍恐以書付奉願上候	寛延3. 3. 13	縦紙	1通	質地 浅口郡乙島村佐平次・同村庄屋市大夫→倉敷役所	
G-3-4-4	乍恐以書付奉願上候	寛延3カ. 3. 14	縦紙	1通	質地地正文	
G-3-4-5	乍恐以書付奉願上候	寛延3. 3.	縦紙	1通	質地帯一付今味 浅口郡乙島村佐平次・同村庄屋市大夫→倉敷役所	
G-3-4-6	乍恐以書付奉願上候	寛延3. 3.	縦紙	1通	倉敷郷宿留屋より公事入用銀取替分請求 浅口郡乙島村佐平次→倉敷役所	
G-3-4-7	乍恐以書付奉願上候	寛延3. 4. 7	縦紙	1通	年貢村方不納分立替請求外 乙島村佐平次→倉敷役所	
G-3-4-8	乍恐以書付奉願上候	寛延3. 4.	縦紙	1通	年貢村方不納分立替請求外 乙島村佐平次→倉敷役所	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）


G-3-4-9 G-3-5	乍恐以書付自新奉申上候 出入取扱済口為取替正文	寛延3カ. 宝曆2. 3. 28	豎紙 豎繼紙	1通 1通	質地 村入用借用銀外 玉島村七嶋屋頼人長介 →乙島村市大夫・佐平台（奥書）扱人 乙島村門廻屋居外4名	
G-3-6 G-3-7	玉島村長助と私共出入取扱ヲ以下済二罷成候二付 乍恐以書 付御新奉申上候 乍恐以返答書申上候口上	宝曆2カ. 3. 27 宝曆9. 8	豎紙 豎繼紙	1通 1通	乙島村庄屋市大夫・百姓佐平次→倉敷役 所 備中浅口郡乙島村百姓久右衛門・庄屋文 右衛門外1名→浅井作右衛門倉敷役所 板倉美濃守城下備中国松山大坂屋与七郎 出否之内浅口郡玉島村下代大坂屋又六を 以後私同郡乙島村境目を才越御料地分掠取 可巧之出入申掛候二付	
G-3-8	乍恐以返答書奉願上候	宝曆9. 8	豎繼紙	1通	備中浅口郡乙島村庄屋文右衛門・百姓久 右衛門外1名→浅井作右衛門倉敷役所	附紙こ 板倉美濃守様御城下備 中国（当国）松山大坂屋与七郎 出否之内当部玉島村下代大坂屋 又六を以御料同郡乙島村御境目 を才越御料地之分掠取可申巧之 出入申懸候二付乍恐以返答書申 上候口上
G-3-9	以書付奉密訴候覚	宝曆9. 10.	豎繼紙	1通	浅口郡隠夫→浅井作右衛門役所・役人中 ・松永平左右衛門	
G-3-10	乍恐以書付奉願上候口上	宝曆1. 12. 10.	豎繼紙	1通	乙島村松次郎代元広 乙島村元慶→倉敷 役所	（端裏書） 願書空
G-3-11 G-3-12	差上申一札之事 乍恐書付奉願上候口上	宝曆3. 8. 27. 宝曆4.	豎紙 豎繼紙	1通 1通	小入用銀屋公 清左衛門→重左衛門 乙島村百姓代名主代官訴公人重左衛門 重 左衛門→勘定所奉行	挟み文書1通あり
G-3-13	口上覚	明和元 9.	豎繼紙	1通	乙島村河氏宮神樂甚内出入 百姓佐平台 外3名→重左衛門	虫損あり 継ぎ目が取れそう な所あり
G-3-14	一札之事	明和元 12.	豎紙	1通	水江村一ノ口用水筋通合手札 松山領玉 島村庄屋公田丸助左衛門→玉島村庄屋守 屋太平次外1名	
G-3-15	一札之事	明和6. 6. 晦日	豎繼紙	1通	6月23日の夜 乙島村把郎右衛門宅破壊 ・茄子畑良藉 乙島村義兵衛・利八→乙 島村役人中（奥書）義兵衛外3名	
G-3-16	起証文之事	安永5. 4. 9	豎紙	1通	笹川陣四郎長直 古筆道→安易先生代守 屋茲啓	虫損あり
G-3-17	起証文之事	安永5. 7.	豎紙	1通	古筆道 安易先生代守屋茲啓	（端裏書） 「古筆伝授証文案 紙
G-3-18	細川前下野守様式百御存忌御法事ニ付奉差上	天明2. 8.	豎繼紙	1通	西山武部外輔末葉 西山弥藏外72名 （奥書）西山文五郎外9名 此度浅口地 土筋目之者共子孫徒行書奉差上候被為仰 付候ニ付左之通一紙一認メ候御事	
G-3-19	乍恐書付奉申上候	天明3. 9.	豎繼紙	1通	浅口郡乙島村庄屋民右衛門外5名→倉敷 役所	裏書がある 継ぎ目が取れそう な所あり
G-3-20	差上申済口証文事	天明6. 3.	豎繼紙	1通	小田郡上稲村百姓与惣兵衛外5名→倉 敷役所同村藤十郎附手筋公	
G-3-21	分地高証文書之事	天明8. 7.	豎繼紙	1通	母まつ外2名→粹常八	
G-3-22	奉差上候鑑書之事	寛政2. 11.	豎紙	1通	廻米賣所納所 庄屋中→倉敷市役所	
G-3-23	一札之事	寛政3. 12. 20	豎紙	1通	平八病死届出・代官野口辰之助家来守屋	

G-3-24	乍恐以書付奉願上候	文化8. 12.	豎紙	1通	十左衛門一四日市宿問屋西村左右衛門外2名 玉島村筋市郎年貢残銀不納調査依頼 浅口郡乙島村庄屋彦右衛門・熊太郎→大原四郎右衛門役所	
G-3-25	差上申済口一札之事	文化9. 4. 19	豎紙	1通	幕府領玉島村石之助と亀山領玉島村の口論一件 亀山領玉島村作兵衛外6名一幕府領玉島村	
G-3-26	〔人足・馬御用確認〕	文化12. 7. 26	豎紙	1通	人足2人・馬2頭（御朱印写）	
G-3-27	〔覚〕			1纏め〔3通〕		
G-3-27-1	覚	文政1. 12.	豎紙	1通	新開入用銀書取 乙島村熊太郎・重左衛門一阿賀崎新田町庄屋若右衛門	
G-3-27-2	覚	文政1. 12.	豎紙	1通	新開入用銀書取 乙島村熊五郎・重左衛門一西尾屋要蔵	
G-3-27-3	覚	文政1. 12.	豎紙	1通	新開入用銀書取 乙島村熊五郎・重左衛門一西尾屋要蔵・同村庄屋茂右衛門	
G-3-28	為取替儀定書之事	文政2. 9.	豎紙	1通	五人名前借地外 重左衛門外1名（奥書）取扱人門外院外3名	
G-3-29	差上申一札之事	天保4. 2. 4	豎紙	1通	博奕 久左衛門外2名一村役人中	
G-3-30	覚	天保4. 2.	豎紙	1通	人別送手形 松平領玉島村庄屋守屋定左衛門→乙島村庄屋重左衛門	
G-3-31	〔博奕届・反省誓文〕	弘化4. 1.	豎紙	1通	六兵衛外8名一村役人中	継ぎ目がはまされている所あり
G-3-32	〔取締規定書之事〕	安政3. 12.	豎紙	1通	郡中入用書席外片島村庄屋慶助外9名（奥書）片島村庄屋健蔵→乙島村庄屋勝太郎	
G-3-33	差上申一札之事	万延2. 2.	豎紙	1通	乙島村小前村役人物代年寄四郎兵衛外5名一檢地奉行	
G-3-34	乍恐以書付御願願奉申上候	文久3. 12.	豎紙	1通	年貢米三分一安石代延写 備中国浅口郡片島村庄屋健蔵外8名→倉敷役所	
G-3-35	乍恐以書付御願願奉申上候	文久3. 12.	豎紙	1通	年貢米三分一安石代日延願 備中国浅口郡片島村庄屋健蔵→倉敷役所	
G-3-36	大道御伝書	慶応3. 3.	豎紙	1通		〔包紙上書〕「大道御伝書」
G-3-37	〔年貢不納病氣免除願〕	丑 7. 22	豎紙	1通	浅口郡乙島村庄屋左平次外1名→倉敷役所	
G-3-38	〔年貢不納病氣免除願〕	丑 7.	豎紙	1通	浅口郡乙島村庄屋左平次外1名→倉敷役所	
G-3-39	乍恐以書付御届ヶ奉申上候	丑 7.	豎紙	1通	阿賀崎新田村等と西京村との用水問題	
G-3-40	乍恐以書付奉申上候	卯 9.	豎紙	1通	浅口郡乙島村庄屋十左衛門→倉敷役所 田畑一筆銀小前帳 玉島村庄屋重左衛門→倉敷役所	
G-3-41	乍恐奉願上口上	卯 4.	豎紙	1通	立村埜出入 板倉領玉島村又六外1名一浅井作右衛門役所	
G-3-42	注文	巳 7. 2	豎紙	1通	神興啓社 桑島忠兵衛→山本茂助	
G-3-43	乍恐自訴 扣	〔元文5カ〕10.	豎紙	1通	浅口郡乙島村庄屋左平次→倉敷役所	〔元文五申年十月廿六日ニ差上〕と後記あり
G-3-44	尾ノ道	年月日未詳	豎紙	1通	大年寄いづみや松本新助妻妾子居宅等記録	
G-4	願書等一括			1括り 〔19通〕 〔2枚〕		一括り・G-4-1~21

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-4-1	乍恐書付を以御願申上候	年月日未詳	豎紙	1通	乙島村の庄屋を千右衛門にお願した	
G-4-2	差入申一札之事	未 4. 15	豎紙	1通	立替えていた買物代返済について 越前屋半兵衛・傘倉屋専吉→浅口郡陸氏英三郎	継ぎ目がはずれしている所あり
G-4-3	〔乙島村之内悪地場開発之事書付〕	年月日未詳	豎紙	1通	乙島村の悪地場を開発するが乍付不良のため年貢帯に関する1件之書付	
G-4-4	乍恐書付以御願申上候 浅口郡乙島村 大小百姓	年月日未詳	豎紙	1枚	先代の庄屋死亡の為、千右衛門に庄屋役を任命して欲しい旨の申上状	虫貫あり 断簡
G-4-5	乍恐以書付奉申上候	年月日未詳	豎紙	1通	御柳地場開畑ごすること	
G-4-6	乙島村大小百姓御請合申一札之事	年月日未詳	豎紙	1通	庄屋左平台退役の儀ご付、公議へ願の件ご付、書状下書	
G-4-7	〔年紙書付〕	年月日未詳	豎紙	1通	吟右衛門外31名一札役人中	虫貫甚し 切断されている
G-4-8	〔田地別書上帳簡〕	年月日未詳	横紙	1枚	29番～42番迄	帳面断簡
G-4-9	〔家数人別改事〕	天保9. 正	豎紙	1通	備中国浅口郡乙島村庄屋十左衛門外2名一倉敷役所	前欠
G-4-10	覚	年月日未詳	豎紙	1通	引越し付き人別并開調への上自分以後富村帳面へ加入の事 乙島村庄屋宛雛形	
G-4-11	十三年以前寅ノ暮より乙島村林家へ引越五年以前戌ノ暮迄九年 門行跡覚 御乙島村左平台	年月日未詳	豎紙	1通	左平台本家勘定の儀宛6件	
G-4-12	差入申一札之事	年月日未詳	豎紙	1通	柳井原村外7ヶ村より当村流作場ご掛る出入内済ごつて 乙島村千場田九郎兵衛外32名→乙島村役人中	
G-4-13	〔城瀬谷浦々入津出帆日帳記入ごつき書付〕	文化13. 12. 12	豎紙	1通	廻舟用達苦屋村兵衛	
G-4-14	差入申一札之事	西 3. 晦日	豎紙	1通	備中国浅口郡・賀陽郡・哲多郡村々去申年貢米・当地着の上、浅草屋敷へ水場までの減石ごつて	
G-4-15	覚	年月日未詳	豎紙	1通	人別帳ごつての詳細 差出人未詳→浅口郡乙島村庄屋勝太郎	
G-4-16	〔 〕御願奉申上候	年月日未詳	豎紙	1通	弥次右衛門外212名 庄屋役を千右衛門に仰せ付らる様書付を以て願上の事	前并破貫
G-4-17	〔開発手入の件ごつき書付〕	年月日未詳	豎紙	1通	惣百姓の内開発異なき者、其越書付證文等の件ごつき外2件	接写おれ2枚ごつての元は同じものだった可能性あり
G-4-18	〔流信頼奉候之事〕	年月日未詳	豎紙	1通	流信頼の願	
G-4-19	乍恐以書付奉願申上候ご上	年月日未詳	豎紙	1通	諺公人乙島村庄屋代重左衛門 相手赤碕村庄屋太兵衛外2名 乙島村諸帳面他村横真上候出入	下書き
G-4-20	〔村并細書上〕	元文3. 2.	豎紙	1通	庄屋左平台外2名→阿賀崎役所	〔端裏書〕 〔御代官平岡彦兵衛元文三年二月書上 扣 乙島村郷鑑二御記被遊候二付御尋之由付紙あり 虫貫あり〕
G-4-21	御見分書	辰 5.	豎紙	1通	疵人栄吉・太郎兵衛・吉平の傷口の見開 玉島村栄吉母外10名→古橋左衛門・手代嶋田文治外6名	虫貫あり
G-5	〔書状・書付・覚等一括〕			1括り 〔284通〕 〔5枚〕 〔6冊〕		封筒2枚ご挟まれ、封筒以外SILティッシュご包む
G-5-1	〔左平次宛太兵衛書状〕	年未詳 5. 20	横紙	1通	直談致したい事があるので、明日家ご来てほしいという事	紙冊一括り・G-5-1～11
G-5-2	〔書状〕			1括り〔4通〕		紙冊一括り・G-5-2-1～4

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-5-2-1	〔左平次宛喜三右衛門・太兵衛用状〕	年末詳 5. 7	横切紙	1通	船積の相談の為、喜三右衛門方へ出下されたし	
G-5-2-2	〔阿賀崎新田村庄屋太兵衛宛倉敷所達書〕	年末詳 5. 19	横切紙	1通	乙島村残米銀早々上納申しつける	
G-5-2-3	〔左平次宛野ユウ書状〕	年末詳 5. 18	横切紙	1通	行水中の為、御目に掛れなかったお詫び	切封（端裏書） 〔左平野ユウ〕
G-5-2-4	〔左平次宛右衛門用状〕	年末詳 5. 18	横漉紙	1通	又兵衛出勤にて内意申上げ置いたとの知らせ	
G-5-3	〔左平次宛太兵衛書状〕	年末詳 5. 14	横漉紙	1通	一昨日平左衛門へ御渡しの内1冊及び半防書付を役所へ差し上げるつもりとの事	
G-5-4	〔守屋左平次宛小三郎書状〕	年末詳 6. 17	横漉紙	1通	乙島村不納分済し方・小入用申聞き等について	
G-5-5	子御年貢御廻米津出し米差另覚	年月日未詳	横漉紙	1通		
G-5-6	〔太兵衛宛左平次書状〕	年末詳 5. 22	横漉紙	1通	百姓申付相談の為、明後日円助の貴様の内倉敷へ出勤なされたし	
G-5-7	〔左平次宛太兵衛書状〕	年末詳 5. 22	横漉紙	1通	百姓中へはざつと拵廻りした、明後日の役所出勤の件は承知した	
G-5-8	〔左平次宛太兵衛書状〕	年末詳 5. 25	横漉紙	1通	小野氏と委細内談の上、明後日倉敷出しかるべし	
G-5-9	〔左平次宛太兵衛書状〕	年月未詳 21	横切紙	1通	用事廻りの知らせ	
G-5-10	〔書状〕			1括り〔5通		紙紐括り・G-5-10-1～5
G-5-10-1	覚	年末詳 5. 6	横漉紙	1通	廻米勘納について 太兵衛→左平次	
G-5-10-2	〔左平次宛太兵衛用状〕	年末詳 5. 6	横漉紙	1通	連判方百姓不承知 役所へ召し呼ばれ、直ぐ申付けられたい	
G-5-10-3	〔左平次宛太兵衛書状〕	年末詳 5. 6	横漉紙	1通	使いの者に返書を取り帰るように指示した事の知らせ	
G-5-10-4	〔左平次宛太兵衛用状〕	年月未詳 6	横切紙	1通	瀬戸物花生1ツ外杉本への届	
G-5-10-5	〔左平次宛太兵衛書状〕	年末詳 5. 4	横漉紙	1通	去年貢銀之内末年夫食引に連判方高辻の積こつて	
G-5-11	〔左平次宛太兵衛書状〕	年末詳 5. 15		1通	円助廻りについて、直談仕りたし	
G-5-12	〔書状〕			1纏め〔3通〔3枚		G-5-12-1～6 書状3枚・包紙3枚一纏めで折られている
G-5-12-1	〔書付〕	年月日未詳	縦切紙	1通	年貢勘定に関する村内外の状況について	
G-5-12-2	〔書付〕	年月日未詳	縦紙	1通	年貢納入、年貢勘定について等	虫貫あり
G-5-12-3	〔書付〕	年月日未詳	縦漉紙	1通	年貢勘定差引帳の吟味について等	
G-5-12-4	〔菊地太兵衛・吉田八左衛門宛守屋左平次包紙〕	年月日未詳		1枚	書付包紙	「  懂寺中」
G-5-12-5	〔高橋文蔵宛守屋左平次包紙〕	年月日未詳		1枚	書付包紙	
G-5-12-6	〔井上安兵衛宛守屋左平次包紙〕	年月日未詳		1枚	書付包紙	
G-5-13	〔左平次宛村庄屋平十郎書状〕	年末詳 閏4. 14	横漉紙	1通	口上書取次について	
G-5-14	〔守屋左平次宛高橋文蔵書状〕	年末詳 6. 22	横漉紙	1通	与三左衛門判持参定で御明くべし	
G-5-15	〔井上安兵衛宛湯上武衛門書状〕	年末詳 6. 19	横漉紙	1通	江戸状2通を認め私方へ持参平馬方より添状 私方等へ前日、口上書を入れ、この状を持参し、指示を受けるよう	
G-5-16	〔守屋左平次宛九郎書状〕	年末詳 7. 1	横漉紙	1通	手おりつむぎ十左衛門へ遣し、紫で染めさせる事	包紙あり 注文書同封
G-5-17	〔守屋左平次宛吉田嘉兵衛書状〕	年末詳 6. 20	縦漉紙	1通	次郎左衛門早束専判頂戴廻り事	
G-5-18	〔高橋安兵衛宛守屋十右衛門書状〕	年末詳 6. 20	横漉紙	1通	佐平次公訴のため壬4月末に其地へ越さるよし、一義の様子委しくお聞きなされるべし この手紙をさらに吉田嘉兵衛から守屋左平次へ送った	
G-5-19	口上	年末詳 7. 6	横漉紙	1通	定平の江戸行きの仕事の件 守屋九兵衛	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-5-20	〔安兵衛宛武書状〕	年末詳 6. 16	横巻紙	1通	→蓮成宛・守屋左平台 銀高・地利米の間敷、乙島村千右衛門江戸行の店名についての質問 同村忠右衛門の子が去年江戸で死去し、その後台末の相談で揉め事	
G-5-21	〔守屋左平次宛七郎兵衛書状〕	年末詳 6. 28	横切紙	1通	あいさつ	包紙でくるまれている
G-5-22	〔(守) 屋左平台宛中田屋十左衛門〕	年末詳 8. 5	横切紙	1通	上野表奉書を一両日中ひ拝見しこくるように	
G-5-23	〔守屋左平台宛源書状〕	年末詳 6. 27	横巻紙	1通	印判入用の事	(包紙上書) 守屋左平次 吉井原右衛門
G-5-24	〔蓮成宛明田院書状〕	年末詳 7. 29	横巻紙	1通	東嶽山よりの奉書到来、村方氏子呼寄せ申し渡すべし (奥書) 守屋左平次・慈相の口上あり	
G-5-25	〔大願寺宛守屋左平台書状〕	年末詳 11. 14	横巻紙	1通	金之助御寺に上がり、お世話ごなる事	
G-5-26	〔守屋左平台宛蓮成宛書状〕	年末詳 6. 25	横切紙	1通	与三左衛門下向・委細は又大夫よりも申すべし	包紙あり
G-5-27	寺社御改	宝永5. 正 27	竖巻紙	1通	常照院の敷地内の様子	
G-5-28	乍恐奉願上口上 扣	戌 10. 12	竖巻紙	1通	借金返済の進捗について 福島屋公右衛門→倉敷役所 乙島村惣兵衛外2名→福島屋惣兵衛 (奥書) 乙島村庄屋左平	
G-5-29	添証文之事	寅 12. 27 ~戌 12. 6	竖紙	1通	借金の差し延べる事 (奥書) 浅口郡乙島村庄屋左平次→千草青右衛門役所	(端裏書) 「年暮添証文之写し惣兵衛より請取置候写」
G-5-30	〔守屋左平次宛清龍寺書状〕	年末詳 6. 28	横巻紙	1通	留守ご付書面書上	包紙あり
G-5-31	〔守屋左平台宛吉井左五郎書状〕	年末詳 5. 25	竖紙	1通	酒1樽と鯉節の拝領ご付	虫貝甚し
G-5-32	〔守屋左平次宛戒院書状〕	年末詳 2. 17	横巻紙	1通	内々1件の対決ご付	包紙あり
G-5-33	〔守屋左平次宛権右衛門書状〕	年末詳 6. 28	横切紙	1通	暑中のお見舞い	
G-5-34	〔守屋左兵次宛定屋七郎兵衛書状〕	年末詳 6. 27	横切紙	1通	残暑見舞	包紙あり
G-5-35	〔守屋左兵次宛吉井源右衛門書状〕	年末詳 6. 29	横巻紙	1通	10日付書簡の返書	包紙あり
G-5-36	〔守屋左平台宛七嶋屋長助書状〕	年末詳 6. 28	横切紙	1通	御公邊の首尾ご付での連絡を請うという事	包紙あり
G-5-37	〔守屋左兵次宛乙島十右衛門書状〕	年末詳 6. 27	横巻紙	1通	出入証文受渡しご付	
G-5-38	〔守屋左平次宛吉田与一郎書状〕	年末詳 6. 26	横切紙	1通	藤之上掃国の際工面の品を整えかねる様子	包紙あり
G-5-39	〔守屋左兵次宛井上安兵衛書状〕	年末詳 6. 9	横巻紙	1通	判真贋辨明の事、陶山武右衛門心安き人物の事・瑞臨寺観林芝房紹介の事	
G-5-40	〔親人宛十右衛門〕	年末詳 6. 28	横切紙	1通	年貢帳0冊をこりへ入れること	包紙あり
G-5-41	書紙	年月日未詳	横切紙	1通	諸事列切判と御合・請取 重右衛門→親仁	
G-5-42	〔守屋左兵次宛菊地太兵衛外四名書状〕	年末詳 6. 25	横切紙	1通	あいさつ	
G-5-43	覚	年末詳 6. 28	横巻紙	1通	高判写等を受取った事 十右衛門→守屋左平台	
G-5-44	〔守屋左兵次宛さん外二名書状類〕			1包〔5通		包紙内・G-5-44-1~5
G-5-44-1	〔守屋左兵次宛さん書状〕	年末詳 6. 24	横巻紙	1通	しま屋ご付での依頼	
G-5-44-2	〔親仁宛吉田嘉兵衛書状〕	年末詳 6. 28	横巻紙	1通	与三左衛門の出立ご付、調書の件	
G-5-44-3	〔もりや左平台宛かうえん書状〕	年月日未詳	横巻紙	1通	留守中の無事の報告	
G-5-44-4	〔守屋左平次宛かん書状〕	年末詳 6. 27	竖切紙	1通	6月10日付書状の返書	
G-5-44-5	〔守屋左平台宛小松文次郎〕	年末詳 6. 27	竖巻紙	1通	尊明請取ごつき江戸下向の事	
G-5-45	〔書状類〕			1括り〔4通		一括り・G-5-45-1~4
G-5-45-1	覚	宝暦2. 3. 28	竖切紙	1通	銀借書請取 小坂西村持左衛門→道地村四郎兵衛	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-5-45-2	覚	申 10. 28	横切紙	1通	書付請取 誉田屋彦四郎→乙島村左平二	
G-5-45-3	〔守屋十右衛門宛八屋三次書状〕	年末詳 10. 22	横切紙	1通	出産祝	
G-5-45-4	〔書状〕	年末詳 10. 24	横切紙	1通	出産祝	
G-5-46	〔書状等〕			1括り 〔12通〕		虫貫が甚しく宛て名読めず
G-5-46-1	〔左平次宛市大夫用状〕	年末詳 5. 2	横切紙	1通	差紙并島差紙添 たしかに受け取り申した	一括り・G-5-46-1~12
G-5-46-2	〔市大夫宛左平次用状〕	年末詳 10. 1	横切紙	1通	進願書 市形下されたしとの依頼	
G-5-46-3	〔左平次宛十右衛門書状〕	年末詳 10. 20	横漉紙	1通	平野屋末魚の義ご付、年貢帳4冊遣する事	
G-5-46-4	〔某口上書〕	年月日未詳	横切紙	1通	鶏2羽進上	
G-5-46-5	乍恐以書付奉願上候	卯 正	縦漉紙	1通	乙島村庄屋百姓出入二付田年より落判仕る、落判方として仰付けられたき願、浅口郡乙島村連判落式十四人物代勘兵衛外2名・倉敷役所・乙島村庄屋左平次	包紙あり 一括り・G-5-46-5~8
G-5-46-6	〔左平次宛新右衛門書状〕	年末詳 正 19	横切紙	1通	仰付渡し無きうち事を漏さぬように他見無用	切封
G-5-46-7	〔守左平次宛屋保兵衛正書状〕	年末詳 正 18	横漉紙	1通	村方兼而之1件ご付、今朝も風聞あり、相心の用事もあらば早々罷出せし	切封
G-5-46-8	〔守屋左平次宛中五屋又三郎書状〕	年末詳 正 19	横漉紙	1通	乙島村1件ごつき双方呼び出し、しや様の様子ご御座候や	
G-5-46-9	玉ノ六兵衛小作算用覚	年月日未詳	横漉紙	1通		紙紐一括り・G-5-46-9~11
G-5-46-10	〔黒野一郎大夫外一名宛三島専蔵外一名書状〕	年末詳 4. 6	横切紙	1通	乙島村出作人末魚銀等ごつき庄屋左平次を差し出す、右の段御聞き下されたし	
G-5-46-11	〔三島専蔵外一名宛黒野一郎大夫外一名書状〕	年末詳 4. 10	横漉紙	1通	佐平次願の趣および年の書付請取る玉島村のもの共今末の上申し付くべし	
G-5-46-12	〔守屋左平次宛小野又兵衛書状〕	年末詳 2. 29	横漉紙	1通	蛤 抱百添受領 礼	
G-5-47	〔覚〕			1括り 〔14通〕 〔2枚〕		紙紐一括り・G-5-47-1~15
G-5-47-1	覚（受取証）	酉 4. 25	横切紙	1通	守屋重左衛門 金2両	
G-5-47-2	覚	酉 7. 9	横漉紙	1通	差引4両2歩+260文 納方会所一備中納庄重左衛門	
G-5-47-3	〔受取覚〕	年末詳 7. 29	横漉紙	1通	安左衛門出銀98文外	
G-5-47-4	〔借用分算用状断簡〕	年月日未詳	横漉紙	1通	〆金3両3歩2朱銀3匁5分	前次
G-5-47-5	覚（借用分算用状）	年月日未詳	横漉紙	1通	兩人割之分十左衛門出銀	
G-5-47-6	覚（小入用算用状）	年月日未詳	横漉紙	1通	酒肴代金式朱等	切封
G-5-47-7	〔借用分算用状断簡〕	年月日未詳	横切紙	2枚		
G-5-47-8	覚（小入用算用）	酉 7. 25	横切紙	1通	安右衛門→重左衛門	
G-5-47-9	覚（小入用算用）	酉 7. 23	横漉紙	1通	安右衛門→重左衛門	
G-5-47-10	覚（小入用算用）	年月日未詳	横漉紙	1通		
G-5-47-11	覚（小入用算用）	年月日未詳	横漉紙	1通	兩人割・安右衛門取替	
G-5-47-12	覚（受取証）	酉 5. 21	横切紙	1通	さしみ代等金3両2朱・19貫三百九拾匁 米次郎・十左衛門・安右衛門	
G-5-47-13	〔受取証〕	年末詳 4. 15	横切紙	1通	重左衛門受取・金式両	
G-5-47-14	覚（取替証）	酉 5. 9	横切紙	1通	金7歩、安右衛門・重左衛門→笠岡屋伝七	
G-5-47-15	〔本米・切かゝ納書付〕	年月日未詳	縦切紙	1通		
G-5-48	〔守屋又大夫宛彦左衛門・又左衛門書状等〕			1括り 〔18通〕		紙紐一括り・G-5-48-1~18
G-5-48-1	〔某書状断簡〕	年月日未詳	横漉紙	1通	江戸行道中入用の事等	包紙こも包んである 前次

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-5-48-2	〔守屋左平次宛小野五兵衛口上書〕	年末詳 5. 15	横切紙	1通	中藤氏外貴宅へ参らる筈、早くかえられたし	
G-5-48-3	〔左平次宛又左衛門用状〕	年末詳 4. 27	横切紙	1通	急談の儀あり、私宅へ御越し下されたし	
G-5-48-4	〔守屋左平次宛法恩寺書状〕	年末詳 7. 2	横漉紙	1通	常照院との出入りに付、内済取り扱の事等	
G-5-48-5	〔守屋左平次宛本覚寺書状〕	年末詳 5. 14	横切紙	1通	一儀より分惣方の了簡こつくべし	切封
G-5-48-6	〔菊地太兵衛宛守屋左平次書状〕	年末詳 5. 8	横切紙	1通	公判明日持参のつもり、今晚は参上せず	
G-5-48-7	〔某書状別紙〕	年月日未詳	横切紙	1通	写出来、本文と付合されたし	
G-5-48-8	〔左平次宛亦兵衛書状〕	年末詳 5. 9	横切紙	1通	先刻より不決こ付、太平次遣す、よろしく取り合い下されたし	
G-5-48-9	〔不得書状〕	年末詳 5. 8	横漉紙	1通	小野氏今日にも見廻申すへき事等	
G-5-48-10	〔左平次宛五右衛門用状〕	年末詳 5. 15	横切紙	1通	すこしも早くお歸り下さるべし	
G-5-48-11	〔某書状〕	年末詳 5. 8	横切紙	1通	常照院も清龍寺で落着、明9日公判持参の筈	
G-5-48-12	〔守屋左平次宛菊地太兵衛書状〕	年末詳 5. 8	横漉紙	1通	公判明日拜受の爲、明早天黒崎やへ御出下さるべし	
G-5-48-13	〔守屋左平次宛菊地太兵衛急要用状〕	年末詳 5. 8	横切紙	1通	藤井主膳使へ与惣左衛門等より書通候ては、いか	
G-5-48-14	〔某書状〕	年月未詳 15	横漉紙	1通	よきほど見合せ、さつぱりと了簡されたし	
G-5-48-15	〔左平次宛亦兵衛用状〕	年末詳 5. 16	横漉紙	1通	貴様数馬司直こて私宅へ出下されたし	
G-5-48-16	〔左平次宛亦兵衛用状〕	年月未詳 29	横切紙	1通	引請一条少し模様もあり、面談の爲お立ち寄り下されたし	
G-5-48-17	〔守屋左平次宛中藤十左衛門用状〕	年末詳 5. 17	横切紙	1通	判物寺こて渡し、貴様持参の判に名代はよろしからずとの事	
G-5-48-18	〔左平次宛亦兵衛用状〕	年末詳 5. 9	横切紙	1通	御判物取可曾お歸りの事	
G-5-49	〔書状・書付等〕			1括り〔8通		一括り・G-5-49-1~8
G-5-49-1	〔左平次宛太兵衛書状〕	年末詳 6. 24	横切紙	1通	判方百姓出入手筈の件	
G-5-49-2	〔左平次宛太兵衛書状〕	年末詳 6. 23	横漉紙	1通	植付の小前帳下立立会の件	
G-5-49-3	〔左平次宛太兵衛書状〕	年末詳 6. 22	横漉紙	1通	木線作小前帳の件・判方百姓と出入立会1件	
G-5-49-4	〔左平次宛太兵衛書状〕	年末詳 7. 5	横漉紙	1通	百姓出入の事野相用はずの事	
G-5-49-5	木綿作改支二付上控	丑 6. 19	縦紙	1通		
G-5-49-6	乍恐以書付奉而視候浅口郡乙島村	丑 6. 13	縦紙	1通	田中木綿作の儀 浅口郡乙島村左平次→倉敷役所	付紙あり
G-5-49-7	乍恐奉願上候	延享2. 5. 28	横漉紙	1通	庄屋立合勘定不納の分差戻し上納する事 浅口郡乙島村庄屋左平次→倉敷役所	
G-5-49-8	〔左平次宛太兵衛書状〕	年末詳 6. 23	横漉紙	1通	見分こ付、相談の儀等	
G-5-50	〔銀算用書上〕	年月日未詳	横切紙	1通	嶋屋主八が支払う	
G-5-51	〔守屋左平次宛小坊頂書状〕	年末詳 3. 7	横漉紙	1通	十月切れの銀の利份の証文こ付	
G-5-52	〔守屋左兵次宛書状〕	年末詳 9. 23	横切紙	1通	文大夫行方不明一付百姓7人を召出尋問の事 十左衛門一守屋左平次	
G-5-53	〔出入りの者こつての報告〕	年末詳 8. 17	横漉紙	1通	守屋十右衛門一親人	
G-5-54	〔小野又兵衛・小野右衛門宛菊地太兵衛書状〕	年末詳 9. 16	横漉紙	1通	乙島年貢不納こ関し、左平次内々に役所に相談の事	包紙あり
G-5-55	〔守屋左平次宛吉田与一右衛門書状〕	年月日未詳	縦紙	1通	玉島での珍碁会こつて	
G-5-56	〔守屋左平次宛十左衛門書状〕			1括り〔2通		縦紙一括り・G-5-56-1~2
G-5-56-1	〔守屋左平次宛重右衛門・繁八書状〕	年末詳 9. 20	縦紙	1通		虫貫あり
G-5-56-2	〔左平次宛十右衛門書状〕	年末詳 9. 28	縦紙	1通	繁八の儀・立合庄屋の儀を喜三へ相談の事	包紙あり

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-5-57	〔留守中百姓今味の件についての報告〕	年末詳 8. 8	横漉紙	1通	守屋市大夫外3名→守屋左平台	
G-5-58	差紙役所	年末詳 7. 4	横漉紙	1通	作の地帳の請求 乙島村庄屋連判方外1つ→倉敷役所	包紙あり 包紙に「蓮成院小二郎」とあり
G-5-59	〔円乘院・左平次宛小三太郎書状〕	年末詳 7. 19	横切紙	1通	乙島年貢不納の不連判百姓出入り等の事	包紙あり
G-5-60	〔秋右衛門宛守屋左平次書状〕	年月未詳 17	縦紙	1通	取立并出入の下知に関して後日推参の事	
G-5-61	〔四ヶ木推書上老番静取申候事〕	年末詳 9. 20	横切紙	1通		
G-5-62	〔左平次宛太兵衛書状〕	年末詳 9. 27	横漉紙	1通	太兵衛→左平次 病見舞い	
G-5-63	〔覚等〕		1括り〔2通〕			一括り・G-5-63-1~2
G-5-63-1	覚（倉敷役所差紙静取候事）	丑 6. 13	横切紙	1通	久右衛門→左平台	
G-5-63-2	覚	丑 6. 19	横切紙	1通	倉敷役所差紙1通 確に静取申候以上 久右衛門 佐平台	
G-5-64	〔左衛門宛太兵衛書状〕	年末詳 9. 24	横漉紙	1通	乙島村検也の事	
G-5-65	御年貢并訴状銀立替差引覚	年月日未詳	横漉紙	1通	せんノ与次兵衛	
G-5-66	〔中島村・連島村懸水一件〕		1括り〔4通〕			紙紐一括り・G-5-66-1~4
G-5-66-1	〔中島村・連島村懸水一件に関する済口証文〕	延享元 5.	縦漉紙	1通	中島村庄屋十郎右衛門外15名→乙島村庄屋左平次外3名（中島村・連島村・大江村対乙島村・浜村・西阿保村・亀島村）	〔中島村 連島村連判証文〕 虫貫あり
G-5-66-2	覚（懸水に関する絵図静取の事）	亥 10.25	縦紙	1通	備中浅口郡乙島村庄屋左平台外1名→千種青右衛門・手代福島幸藏	
G-5-66-3	〔中島村・連島村懸水一件に関する書上〕	年月日未詳	横漉紙	1通		
G-5-66-4	中島村・連島村懸水出入下今味覚	亥 11.	横切紙	1通		
G-5-67	〔書状一括〕		2括り〔14通〕			紙紐二括り・G-5-67-1~13 虫貫甚し
G-5-67-1	〔左平台宛書状〕	年末詳 7. 18	横漉紙	1通	〇相→左平次 連島受取・小三郎未見	紙紐一括り・G-5-67-1~6 切封
G-5-67-2	〔左平台宛小三太郎書状〕	年末詳 7. 19	横切紙	1通	百姓中・打唄について	
G-5-67-3	〔左平台宛小三太郎書状〕	年末詳 7. 18	横切紙	1通	暮方にてお帰りの儀、相談のため待機	
G-5-67-4	〔倉敷役所願書空〕	丑 7. 16	横漉紙	1通	乙島村・子年御年貢米銀不納の付、庄屋百姓出入（乙島村庄屋左平台外2名→倉敷役所 乙島村円乘院・阿賀崎村庄屋太兵衛→千種青右衛門役所）の2通を貼継	
G-5-67-5	乍恐以書付奉願上候（下書写し）	延享2. 7.	縦紙	1通	乙島村去子 年貢納所の義の庄屋百姓出入 四郎兵衛・利兵衛→倉敷役所	
G-5-67-6	〔去子年年貢米銀不納の不願書下書口〕	年月日未詳	縦紙	1通	連判百姓と庄屋出入	G-5-67-1-5と関連
G-5-67-7	〔左平台宛小三郎書状〕	年末詳 7. 15	横漉紙	1通	円乘院へ立ち寄りの儀	紐一括り・G-5-67-7~13
G-5-67-8	〔守屋左兵衛宛小野助右衛門書状〕	年末詳 7. 17	横切紙	1通	本百姓方より今日、大阪へ出立すべき事	G-5-67-2-3-1~2 と同じく包まれていた
G-5-67-9	〔書状二通〕					
G-5-67-9-1	〔左平次宛小三郎書状〕	年末詳 7. 17	横切紙	1通		
G-5-67-9-2	〔菊池小三郎宛蓮成院書状〕	年末詳 7. 17	横漉紙	1通	和兵衛との相談の事	G-5-67-9-1と関連している切封
G-5-67-10	〔左平二宛書状〕	年末詳 7. 19	横漉紙	1通	小三郎倉敷へ明日被参候 〇相→左平二	切封
G-5-67-11	書状に書上候覚	年末詳 10.	縦紙	1通	浅口郡乙島村円乘院→千種青右衛門役所 元來申出無之者村一同之連判仕候事	
G-5-67-12	〔書状〕	丑 7. 12	横切紙	1通	差出人・宛名共無記載 倉敷より帰宅について	〔端裏書〕「丑七月十二日朝阿賀崎返書」とあり
G-5-67-13	〔左平台宛太兵衛書状〕	年末詳 7. 15	横漉紙	1通	倉敷嘉兵衛内室死去之由	一括り・G-5-68-1~3
G-5-68	〔守屋左平次宛森分八右衛門書状〕		1括り〔3通〕			包紙あり
G-5-68-1	〔守屋左平次宛森分八右衛門書状〕	年末詳 6. 28	横切紙	1通	先勤加書の札、相応の用等相働、安心下されたしとの事	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-5-68-2	覚（銀子受取証文）	年末詳	6. 27	横切紙	1通	与三郎の支払受取	
G-5-68-3	〔守屋左平次宛守屋市太夫書状〕	年末詳	6. 27	横切紙	1通	年貢出入長引申可也心元無之事	
G-5-69	〔守屋玄啓・忠藏・重左衛門等書状〕				1括り ③4通 〔1冊〕		19は次番 包紙あり
G-5-69-1-1	〔守屋重左衛門宛守屋玄啓書状〕	午	5. 21	横漉紙	1通	東海首掛川宿本陣にて認	
G-5-69-1-2	〔塚本源兵衛宛守屋玄啓書状〕	年末詳	5. 21	横漉紙	1通	近藤綱助内守屋玄啓	
G-5-69-1-3	〔守屋玄啓開封〕	午	5. 21				
G-5-69-2	〔守屋十左衛門宛守屋笑入翁書状〕	年末詳	4. 6	縦漉紙	1通	教諭書添	
G-5-69-3	〔守屋重左衛門宛守屋玄啓書状〕	卯	2. 29	横切紙	1通	氏宮一件延引につき追啓	
G-5-69-4	〔守屋玄啓宛北村文左衛門書状〕	年末詳	4. 19	横切紙	1通	神田橋外松下町多葉分屋嘉右衛門となり にて、立齋初書	
G-5-69-5	〔守屋十左衛門宛大坂屋云九郎書状〕	年末詳	6. 23	横切紙	1通	松山加納屋伴助上京ご付	
G-5-69-6	〔江戸親仁宛守屋重左衛門書状〕	年末詳	5. 16	横漉紙	1通	玉島にて江戸書状落手、乙島守屋家諸事 報告	
G-5-69-7	〔守屋重左衛門宛守屋玄啓書状〕	卯	6. 5	横漉紙	1通	書添・清水治助事・親子子孫感既	
G-5-69-8	〔浅草御蔵番付覚用捨米之目〕	年月日未詳		縦切紙	1通		
G-5-69-9	〔大名外縁談書上〕	年末詳	4. 23	横漉紙	1通		虫貫あり
G-5-69-10-1	覚書		辰 10.	半・横長	1冊	道越村三十郎阿崎孫助方奉公中出奔こ つき抄留	
G-5-69-10-2	一札	宝暦0.	11.	縦紙	1通	爪崎孫助、道越村久太郎兩人内済（三十 郎奉公一件）仲裁人乙島村左平治、道越 村四郎兵衛宛一札	包紙あり
G-5-69-11-1	〔守屋重左衛門宛守屋玄啓書状〕	年末詳	8. 25	横漉紙	1通	大坂奉行所小田切渡左守用事有之こつき 逗留	紙紐と包紙あり
G-5-69-11-2	覚	年末詳	11. 23	横切紙	1通	納蔵杉渡覚 山めた長平治一長田四郎 右衛門	
G-5-69-12	〔守屋十左衛門宛守屋玄啓書状〕	年末詳	4. 8	横漉紙	1通	米売先借金滞戻ご孫太夫方へ下金延引 、民右衛門（庄屋）退役ご跡役十左衛 門1件経緯	付紙と包紙あり
G-5-69-13	〔忠藏宛守屋玄啓書簡〕	年末詳	2. 22	横切紙	1通	源之丞流良出ご付	
G-5-69-14	〔親仁七回忌法要入用一件〕	卯	2. 29	横切紙	1通		
G-5-69-15	〔守屋玄啓宛北村文左衛門書状〕	閏	12. 13	横漉紙	1通	夜具・硯石・筆等 提出指令力	
G-5-69-16	〔守屋重左衛門宛藤井次助書状〕	年末詳	6. 23	横切紙	1通	小笠原伊豆内藤井次助一備中乙島村守屋 重左衛門、津田左内子息筒井方蔵工戸出 立ご付	包紙あり
G-5-69-17	〔守屋忠藏宛流水軒笑入翁書状〕	年末詳	11. 13	横切紙	1通	田沼家中三村氏も事、北村文左衛門・万 年七郎左衛門様意の積算工戸消息	12枚
G-5-69-18	〔守屋忠藏宛守屋笑入翁書状〕	年末詳	2. 1	横漉紙	1通	安易先生大病、死去ご付、外	虫貫あり
G-5-69-19	追申入候	年末詳	5. 22	横切紙	1通	右状を齋公飛脚屋村助へ渡す旨 守屋 玄啓一守屋十左衛門	
G-5-69-20	〔守屋忠藏宛守屋玄啓書状〕	年末詳	3. 23	横漉紙	1通	安易先生大病外人生所感認メ	（自啓）〔忠藏宛流水軒書簡〕 （氏宮一件ご付社）横切紙1 通
G-5-69-21	〔備中乙島守屋重左衛門宛守屋玄啓書状〕		卯 5. 20	横切紙	1通	宝池拜果二付小僧門乘完こし、血縁直 く御越下さるよう願、奉る事	包紙あり
G-5-69-22	〔御梅状〕	年末詳	4. 6	横漉紙	1通		
G-5-69-23	〔お葉宛守屋玄啓書状〕	卯	11. 7	横切紙	1通	菓の件	
G-5-69-24	〔守屋忠藏宛守屋玄啓書状〕	卯	11. 5	横切紙	1通	江戸銀座へ相頼上置候間	前後欠
G-5-69-25	〔書状〕	年月日未詳		横漉紙	1通	病氣見舞、	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-5-69-26	船金徒弟伏半状況之事	年月未詳 4	横切紙	1通	佐州宛	
G-5-69-27	印形真之手紙	子 11. 13	縦紙	1通	与三衛門→〇〇 惣兵衛の半判を其元へ渡し其元の半判を三郎へ渡す事	
G-5-69-28	親父宛守屋重左衛門書状	年末詳 2. 4	横継紙	1通	迎春符等 本家より家へ帰つての祖父左平次とのいきさつについて	(端裏書) 「朱字にて返言を印ス 東勾
G-5-69-29	守屋忠藏宛義藏書状	年末詳 11. 13	横切紙	1通	安易先生大病ご付、藤村氏及び津田老師への書状返付之事	
G-5-69-30	書状			1括り〔2通	金銭貸借関係	一括り・G-5-69-30-1~2
G-5-69-30-1	守谷左平台宛水江村又五郎書状	西 4. 22	横切紙	1通	金銭貸借関係	
G-5-69-30-2	書状	年月日未詳	横継紙	1通	金銭貸借関係	
G-5-69-31	乍恐自奉願上候	延享3. 8.	縦継紙	1通	当村先主屋伝次郎と私勘定合之義ご付 備中国浅口郡乙島村庄屋左平台→千種青右衛門役所	
G-5-70	〔左平次宛書状・書類等〕			1括り〔48通		紙紐一括り・G-5-70-1~42 包紙あり 包紙あり
G-5-70-1	書置之事	年末詳 10. 17	横切紙	1通	武兵衛→叔母	
G-5-70-2	覚 (銀請取)	辰 12. 10	横継紙	1通	銀56匁2分9升 年寄惣兵衛・与三左衛門→庄屋左平台	
G-5-70-3	覚 (賃金支払)	丑 10. 4	横切紙	1通	乙島与三左衛門・惣兵衛・四郎兵衛→年五郎	
G-5-70-4	覚	寅 11. 28	横切紙	2通	普請並ひて廻米入用銀の件ご付	
G-5-70-5	絶家名跡の養子相続願 下書	年月日未詳	縦切紙	1通		
G-5-70-6	書状等			1括り〔4通		紙紐一括り・G-5-70-6-1~4
G-5-70-6-1	守屋左平台宛善寿院口上書	年末詳 12. 7	横継紙	1通	本家相続の事ご付、相談ある事	
G-5-70-6-2	善寿院宛守屋左平次書状	年末詳 12. 10	横切紙	1通	拙者へ直談成されかたき事、一族老分の者へ相談するとの事	
G-5-70-6-3	守屋左平台宛善寿院口上書	年末詳 12. 4	横切紙	1通	武兵衛兄弟ご本家立てさせる事についてたすねる	
G-5-70-6-4	善寿院宛守屋左平次書状	年末詳 12. 4	横切紙	1通	武兵衛相続の事	
G-5-70-7	付紙	正徳2. ~享保	横切紙	1通		「正徳二辰より享保之申迄宗門帳 扣 2枚
G-5-70-8	左平次宛平馬書状	年末詳 7. 7	横切紙	1通	同生十郎兵衛子州越の件ご付	
G-5-70-9	乍恐自奉願上候 (繁八立会勘定帳一族立会承取申取候様奉願候 扣)	寅 8.	縦紙	1通	浅口郡乙島村庄屋左平次→倉敷役所	
G-5-70-10	乍恐自奉願上候 (自願事 控)	寅 8.	横継紙	1通	繁八立会勘定帳一族立会承取申取願 下書 浅口郡乙島村庄屋左平次→倉敷役所	
G-5-70-11	守屋左平台宛備成院書状	年末詳 8. 26	横継紙	1通	三回忌法事の懸札ご対する礼状	
G-5-70-12	伯父宛繁八口上	年末詳 3. 12	横切紙	1通	昨日暮方新家へ白米式升遣わす事	
G-5-70-13	覚・口上等			1括り〔3通		紙紐一括り・G-5-70-13-1~3
G-5-70-13-1	覚 (銀送り状)	西 9. 5	横継紙	1通	油屋利兵衛→川崎屋左平次	
G-5-70-13-2	口上 (銀送り状)	年末詳 9. 5	横継紙	1通	七左衛門→左平次	
G-5-70-13-3	預り申銀子之事	享保8. 7. 28	縦紙	1通	預り主乙島村伝次郎外2名→油屋利兵衛	
G-5-70-14	書状			1括り〔2通		G-5-70-14-1がG-5-70-14-2を巻き込んでゐる
G-5-70-14-1	守屋左平台宛守屋又兵衛書状	年末詳 11. 23	横継紙	1通	証効印の事	
G-5-70-14-2	又兵衛宛左平次書状	年末詳 11. 23	横切紙	1通	食あたりの事	
G-5-70-15	西年平均直段さし引	年月日未詳	横継紙	1通		
G-5-70-16	書状下書き断簡	年末詳 8. 13	横切紙	1通	朝鮮人参取り寄せご付 繁八→伯父	前次
G-5-70-17	覚 (元利利息書上)	年月日未詳	横継紙	1通		

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-5-70-18	口上書	年末詳 8. 5	縦紙	1通	病気の為、祈禱料借用願 繁八→佐平台	
G-5-70-19	乍恐以書付御届奉申上候	延享4. 4.	縦紙	1通	千右衛門目録て、印形紛失届 浅口郡乙島村佐平次外5人→千種青右衛門役所	
G-5-70-20	覚	酉 12.	横切紙	1通	銀子元和書付・麦算用書付 久右衛門→乙島村佐次郎・佐平次	
G-5-70-21	享保十七年子御普請帳士	享保7.	横切紙	1通	土手普請の事	
G-5-70-22	〔乙島新田外田方畑方高反別書上〕	年月日未詳	横巻紙	1通		
G-5-70-23	〔和歌詠草〕	年月日未詳	横切紙	1通	柳屋勘介と松田彦三郎の出入りの時を歌に詠んだもの	
G-5-70-24	〔守屋重左衛門宛中塚国太郎書簡〕	年末詳 7. 5	横巻紙	1通	佐島七十郎よりの廻状承知の件 割掛けの儀ご付要望の件等	
G-5-70-25	〔平松十郎左衛門外二名宛三島伝太郎書状〕	年末詳 3. 4	横巻紙	1通	寿太郎自害の事等	封筒入
G-5-70-26	〔守屋重左衛門宛守屋勝太郎書状〕	酉 2. 9	横巻紙	1通	赤木出役、浜方手帳等差出、流伊勢等見分の事等	
G-5-70-27	覚（印判注文依頼状）	年月日未詳	横切紙	1通	「直亮」印外	後欠・虫貫あり
G-5-70-28	雨畑大極上之石仕立	年月日未詳	横切紙	1通	重左衛門	
G-5-70-29	覚（買物依頼状）	年末詳 12. 18	横巻紙	1通	皮砂外 円乗院→守屋勝太郎	
G-5-70-30	覚（買物依頼状）	年月日未詳	横巻紙	1通	火事装束一切外 芳左衛門→守屋	
G-5-70-31	覚（道中入用算用状）	未 12.	横巻紙	1通	彦右衛門 〆2朱ト3匁2分7厘不足	
G-5-70-32	様箱入記	年月日未詳	横巻紙	1通		
G-5-70-33	覚（受取証）	酉 12. 26	横巻紙	1通	大西喜兵衛	包紙あり
G-5-70-34	〔柚木金左衛門宛守屋重左衛門書状〕	年末詳 4. 11	横切紙	1通	内々こても帰国身分ご貰つる事等	
G-5-70-35	〔某書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	栗林出府ご付、私等も逗留中の事	
G-5-70-36	覚	年末詳 正 26	横巻紙	1通	代金受取の事 山本市右衛門	
G-5-70-37	備中国印年御成米扱廻船送状之事	年月日未詳	横巻紙	1通	安原義助 黒ら雨羽織等七品	虫貫あり
G-5-70-38	〔器具絵図〕	年月日未詳	横切紙	1通	粒金丹1包代金受取 柏一郎→森谷勝太郎	
G-5-70-39	覚（注文書）	申 12. 28	横巻紙	1通		
G-5-70-40	覚	寅 正 18	縦切紙	1通	礼状・大礼書物下書の件・新規代官・奥州陣寄受元入等の事	封筒入・封筒表書有「三平」
G-5-70-41	〔守屋重左衛門宛紀州屋八書状〕	年末詳 9. 29	横巻紙	1通	倉之助が世話になった礼状	
G-5-70-42	〔乙島村庄屋十左衛門宛津村為吉書状〕	申 11. 27	横切紙	1通	倉之助について	包紙あり（表書）「乙島村御庄屋十左衛門様下の〜村 二条殿御内津村為吉 貴下」
G-5-71	〔要用書・受取証等〕			1括り 〔45通 〔5冊〕		一括り・G-5-71-1~40
G-5-71-1	覚	酉 2. 10	横切紙	1通	銀80目6分6厘・久米重質の受取等島屋庄八・船頭太平次→守屋重左衛門	
G-5-71-2	〔守屋重左衛門宛守屋勝太郎書状〕	天保8. 2. 10	横巻紙	1通	久米重質の木沢 守屋勝太郎→守屋重左衛門	
G-5-71-3	〔守屋重左衛門宛浄名院書状〕	年末詳 9. 晦日	横巻紙	1通	忙しいので、出発を今日から朝日の早朝にのびしてまいとの事 浄名院俊良→守屋重左衛門	
G-5-71-4	請取申米代金之事	年月日未詳	縦切紙	1通		19.0×10.0cm
G-5-71-5	〔備中倉敷外戸田屋寿助宛久住敬次書状〕			1包〔3通〕	東武より	包紙こ3通入 G-5-71-5-1~3
G-5-71-5-1	〔戸田屋寿助宛久住敬次用状〕	年末詳 2. 15	横切紙	1通	同封書状2通届けさせられたし	切封
G-5-71-5-2	〔倉敷向市場丁沢田屋源藏宛久住敬次要用書〕	年末詳 2. 15	横切紙	1通	無事御年の次らせ	切封
G-5-71-5-3	〔備中倉敷外黒瀬共斎宛要用書〕			1包〔2通〕		包紙2通入 G-5-71-5-3-1

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-5-71-5-3	〔備前福山中米屋町藤井良平宛久住敬次要用書〕	年末詳 2. 14	横切紙	1通	備前井出屋源吉孫日吉市十郎之弟家相続について	～2 左端がとめてある
G-5-71-5-3-1	〔黒頼老先生・同与三兵衛宛久住敬次用書〕	年末詳 正 5	横切紙	1通	日吉忠五郎大不埒1件ご懸り合い、私迄も破門ご成る哉の事	切封
G-5-71-5-3-2		～2. 14				
G-5-71-6	大井川留り覚	年月日未詳	横切紙	1通		
G-5-71-7	書残し口上之事	年末詳 3. 26	横切紙	1通	大坂へ蔵米廻送並びに急ぎ帰国の次中につき知らせ 上乘幸祐一浅口郡乙島庄屋重左衛門	3枚
G-5-71-8	〔喜三右衛門用状〕	年末詳 2. 19	横切紙	1通	江戸表へ差上候正文案紙の印の依頼 喜三右衛門一佐平治	
G-5-71-9	覚（金三朱受取証）	酉 9. 19	縦紙	1通	鶴伊勢屋平次郎一備中惣代十左衛門	
G-5-71-10	覚	天保9. 8. 1	横切紙	1通	金子謙正証文 備前浅口郡乙島村重左衛門一赤木篤三郎	
G-5-71-11	覚	年月日未詳	横切紙	1通	又助 女着しまちりめん又八小紋等	
G-5-71-12	覚（金子受取証）	寅 3. 20	横切紙	1通	あわじ屋庄兵衛一守屋十左衛門	
G-5-71-13	口上	年月日未詳	横切紙	1通	巡見頭直野普用願 助右衛門一重左衛門	
G-5-71-14	〔守屋重左衛門宛安原十左衛門書状〕	年末詳 10. 24	横切紙	1通	郡中大害位合・困窮その外の事	
G-5-71-15	〔伝太郎宛十郎左衛門外2名書状〕	年末詳 2. 16	横切紙	1通	道中にて病 因取かかる等の件ご付	
G-5-71-16	入記	年月日未詳	横切紙	1通	白紙包・混紙包・大柳宮以下諸道具書付	
G-5-71-17	乍恐以書付奉申上候	年月日未詳	縦紙	1通	年貢廻米に関する書付 乙島村庄屋重左衛門一未詳	
G-5-71-18	〔哲多郡賀野浅口郡内米書付〕	年月日未詳	横切紙	1通		
G-5-71-19	〔守屋重左衛門宛守屋勝太郎書状〕	年末詳 11. 27	横切紙	1通	金四両 めりやす等の品々を差し上げるとの事	
G-5-71-20	〔書簡類〕			1包〔2通〕		G-5-71-20-1がG-5-71-20-2を包括 本紙不明
G-5-71-20-1	〔道申文〕	年月日未詳	縦切紙	1通	青龍院宛の儀ご付、対談の事	
G-5-71-20-2	〔二司〕	年月日未詳	縦切紙	1通	去末年明田院代ごついて	
G-5-71-21	太織上中下覚	天保8. 6.	横切紙	1通	乙島村庄屋重左衛門・井村庄屋左衛門一奉所	
G-5-71-22	〔たばこ・きせる代銀その外諸品覚書〕	年月日未詳	横切紙	1通		祐天（花押）あり
G-5-71-23	覚	年末詳 正 3	横切紙	1通	備前吉備津役人藤井左馬太一西之宮より伏見までの宿々の問屋役人衆中人足四人 継立、先触れしていたが船で行く為、不要の通知	G-5-71-27と同内容
G-5-71-24	〔問屋役人衆中宛藤井左馬太書状〕	年末詳 正 3	横切紙	1通	伏見迄右宿で問屋役人衆中 先触で人足を用意しておくように触れていたが不要になったという知らせ 吉備津役人藤井左馬太一西宮山崎街道	
G-5-71-25	〔守屋重左衛門宛吉田四郎書簡〕	年末詳 正 15	横切紙	1通	近況報告等	
G-5-71-26	〔十右衛門・重左衛門宛田中宗吾書状〕	年末詳 10. 17	横切紙	1通	米代金の儀ご付	
G-5-71-27	覚（問屋役人宛藤井左馬太書状）	年末詳 正 3	横切紙	1通	備前吉備津役人藤井左馬太一西之宮より伏見までの問屋役人衆中人足4人、不要の旨の連絡	包ご書状が貼り付けてある G-5-71-24と関連あり
G-5-71-28	〔道行程書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	品川～大坂～岡山等	
G-5-71-29	〔諸道具書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	手本通り煙草入 式ノ等1件	前次
G-5-71-30	〔諸品代銀覚書〕	年月日未詳	横切紙	1通	玉子守等	
G-5-71-31	合印	年月日未詳	横切紙	1通		
G-5-71-32	〔備前御本家向屋敷・上屋敷御用人等書付〕	年月日未詳	縦紙	1通		

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-5-71-33	〔哲多郡・賀陽郡・浅口郡所数書付〕	年月日未詳	横折紙	1通		
G-5-71-34	〔代金書上〕	年月日未詳	縦紙	1通		
G-5-71-35	〔戒名書上類等一括〕			1括り〔7通〕		紙紐一括り・G-5-71-1~7
G-5-71-35-1	先祖代々諸書				先祖代々戒名の書上37名	
G-5-71-35-2	寛永十六卯年宗門帳二面書写	年月日未詳	横継紙	1通	寛永16年宗兵衛外7名 同20年惣兵衛外8名 元禄4年左平次 同10年司屋	
G-5-71-35-3	〔大島彦十郎宛通頼感状〕	天文18. 11. 26	縦切紙	1通	清和天皇御派書付の御簡 通頼→大島彦十郎兵衛・大島勘五郎外1名	
G-5-71-35-4	〔戒名書上〕	年月日未詳	横継紙	1通		
G-5-71-35-5	〔御簡〕	年月日未詳	横切紙	1通	名前書付おたか外1名	前後欠
G-5-71-35-6	〔各国領主書上〕	年月日未詳	横切紙	1通	松山城注外三城	御簡
G-5-71-35-7	〔守屋家由来書付〕	承応3. 6. 18	横継紙	1通	守屋家の由来こつて左平次の代ご記したもの・8項目あり	
G-5-71-36	子御年貢米銀書付勘定 浅口郡乙島村	延享2. 5.	美・横長	1冊	浅口郡乙島村庄屋左平次→倉敷役所	
G-5-71-37	延享貳年丑五月 子御年貢重組百姓并荷担人其書付勘定	延享2. 5.	半・横長	1冊	差出人等未詳	
G-5-71-38	天保七年十二月十五日 当申江戸御廻米兵方手帳 巻番船積入 乙島村庄屋重左衛門	天保7. 12. 15	半・横半	1冊	乙島村庄屋重左衛門	
G-5-71-39	子御年貢米銀書付勘定 浅口郡乙島村	延享2. 5.	美・横長	1冊	浅口郡乙島村庄屋左平次	
G-5-71-40	江戸御城米送状之事		半・縦	1冊	赤井篤三郎 村田島兵衛外1名	
G-6	〔年貢静覚・書付・書状等〕			1封筒 93通 〔3枚〕 〔1冊〕		封筒内・G-6-1~9
G-6-1	〔御年貢静取書付〕	宝暦元 ~7.	横継紙	1通	乙島村庄屋市太夫	継ぎ目がはずれそうな所あり
G-6-2	〔神田高数書付〕	元禄5. ~宝永2.	半・横長	1冊		
G-6-3	〔御年貢算用書付〕	明和元 ~8.	横継紙	1通	十左衛門	
G-6-4	〔書付等〕			1括り〔3通〕		一卷一括り・G-6-4-1~3
G-6-4-1	〔御年貢静取書付〕	宝暦2. ~8.	横継紙	1通	乙島村庄屋文右衛門	
G-6-4-2	〔御年貢静取書付〕	宝暦9. ~11.	横継紙	1通	乙島村庄屋文右衛門	
G-6-4-3	〔御年貢静取書付〕	宝暦5. ~6.	横継紙	1通	乙島村庄屋市太夫	
G-6-5	〔書付〕			1括り〔2通〕		紙紐一括り・G-6-5-1~2 一部破損
G-6-5-1	〔薬効能・服用書付〕	壬 2. 6	横継紙	1通	丸子の効用に関して	
G-6-5-2	〔筒井大和守・御用人中宛木下大藏内杉原宗左衛門書状〕	年未詳 3.	横切紙	1通	御許大藏方へ年始の為、祝詞をあげる為に出見して来た事	不明な切り紙を巻き込んでいる
G-6-6	〔覚〕			1括り〔4通〕		紙紐一括り・G-6-6-1~14
G-6-6-1	覚（年貢静取）	宝暦3. 11. 18 ~12. 28	横継紙	1通	年貢静取覚8点 伝次郎→乙島村庄屋市太夫	
G-6-6-2	覚（年貢静取）	宝暦9. 9. 13 ~10. 正 27	横継紙	1通	年貢静取覚7点 伝次郎→庄屋文右衛門	3点は裏で連続されている
G-6-6-3	覚	巳 12.	横折紙	1通	年貢静取と文左衛門の借家賃静取覚の併こつて 元廣が書いた覚	
G-6-6-4	〔覚〕			1包〔2通〕		G-6-6-4-1が2を巻き込んでいる
G-6-6-4-1	覚	宝暦元 12. 29 ~2. 7. 13	横継紙	1通	伝次郎より家賃受取 庄屋市太夫宛	
G-6-6-4-2	未申借家賃差覚	卯 2.	横継紙	1通	借家賃とその静取日を記す 市太夫→十左衛門	
G-6-6-5	覚（年貢静取）	宝暦7. 2. 8 ~12. 29	横継紙	1通	年貢静取覚5点 十左衛門→庄屋市太夫・文右衛門、庄屋文右衛門→十左衛門	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-6-6-6	覚 (年貢請取)	宝暦6. 3. 7 ~12. 27	横漣紙	1通	年貢請取覚6点 十左衛門→庄屋文右衛門・市太夫 市太夫→十左衛門 庄屋市太夫→弥次兵衛	
G-6-6-7	覚 (石高書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
G-6-6-8	覚 (年貢請取)	宝暦4. 10. 27 ~12. 27	横漣紙	1通	年貢請取9点 重左衛門→庄屋市太夫 市太夫→重左衛門	
G-6-6-9	覚 (年貢請取)	宝暦0. 10. 21 ~12. 27	横漣紙	1通	年貢請取8点 伝次郎→庄屋文左衛門	
G-6-6-10	覚 (年貢請取)	宝暦8. 8. 15 ~9. 正 3	横漣紙	1通	年貢請取8点 伝次郎→庄屋文右衛門	
G-6-6-11	覚	宝暦4. 10. 27	横切紙	1通	年貢の内、確かに請取分米・粃 庄屋市太夫	
G-6-6-12	覚 (年貢請取)	宝暦5. 9. 27 ~12. 6	横漣紙	1通	年貢請取7点 十左衛門→庄屋市太夫	
G-6-6-13	覚 (年貢請取)	宝暦1. 12. 15	横切紙	1通	年貢請取 伝次郎→庄屋文右衛門	
G-6-6-14	覚 (年貢受取)	巳 12. 16		1通	粃5斗受取 文介・三太夫→本家伝次郎	11.7×8.7(cm)
G-6-7	書状			1括り [9通]		紙紐 括り・G-6-7-1~9
G-6-7-1	乍恐以書付奉申上候	酉 正 16	縦紙	1通	病気の為、証文が提出できないので、明後日まで待ってほしいとの事 乙島村左平次外1名→倉敷役所	
G-6-7-2	〔市太夫・佐平次宛熊田屋勘兵衛書状〕	年末詳 正 16	横漣紙	1通	飛脚の件について	
G-6-7-3	御差紙写し	年末詳 正 16	横切紙	1通	讃岐屋半十右衛門へ印形を差出すように申し付けていたのに差出してこない、不埒であるとの事 倉敷役所→乙島村庄屋外2名	
G-6-7-4	勘兵衛宛乙島村庄屋市太夫書状	年末詳 正 16	横漣紙	1通	役所より差紙を飛脚から請取、請取になったという書付も1通認め	
G-6-7-5	返事口	年末詳 正 16	縦紙	1通	6日に差上げ返事について 乙島村左平次→勘兵衛	
G-6-7-6	御差紙写し	年末詳 正 7	横漣紙	1通	益田村新八と小坂村均左衛門へ印形を道求院まで持ってくれれば差紙と引き替えにするという催足の内容 倉敷役所→乙島村庄屋市太夫紙頭	
G-6-7-7	乍恐以書付奉申上候	酉 正 16	縦紙	1通	病気の為、証文が提出できないので18日まで待って欲しいとの事 乙島村左平次・同村庄屋市太夫→倉敷役所	
G-6-7-8	差上申一札之事	宝暦2. 12. 16 ~正 13	縦漣紙	1通	年貢延滞に付、銀子返済を行う事 乙島村左平次→千種清右衛門役所 (奥書) 佐平次・庄屋市太夫紙頭勘兵衛	
G-6-7-9	和歌	年月日未詳	横切紙	1通	妙見宮を読み込んだ和歌他 前田半十郎作也	
G-6-8	書状			1括り [9通]		紙紐 括り・G-6-8-1~9
G-6-8-1	〔左平次宛小村勘兵衛書状〕	年末詳 9. 29	横切紙	1通	客人対応の件付	虫貫甚し
G-6-8-2	〔十右衛門宛小林庄之助書状〕	年末詳 12. 9	横漣紙	1通	米代・麦代の覚	
G-6-8-3	書状	年月日未詳	横切紙	1通	左京御成りの件について	本来横折のもので後欠
G-6-8-4	〔乙島村庄屋伝次郎宛大角清右衛門書状〕	年末詳 正 26	横漣紙	1通	阿賀崎村見分付	
G-6-8-5	〔左平次宛長右衛門・十左衛門書状〕	年末詳 4. 29	横切紙	1通	御用銀の件付	破貫甚し
G-6-8-6	かゝ申割米之事	年末詳 9. 18	横切紙	1通	武兵衛→重左衛門	
G-6-8-7	懸賞覚	年末詳 7. 5	横切紙	1通	京都にて差引した分の返銀等付	
G-6-8-8	〔乙島村左平次宛堀云助外一名〕	巳 3. 27	横切紙	1通	御前御用の件付 松山より	包紙あり

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-6-8-9	〔乙島庄屋左衛門宛内々孫之介書状〕	年月日未詳	縦切紙	1通	借用返済の件こ付	
G-6-9	〔書状〕			1括り〔40通〕		紙紐括り・G-6-9-1~40
G-6-9-1	〔筒井大和守・御用人中宛大田原和泉守内小堀勘左衛門書状〕	年末詳 6. 11	横漉紙	1通	登城の旨、用番へ届ける事の願 状	
G-6-9-2	〔筒井大和守宛稲垣出羽守書状〕	年末詳 10. 13	横漉紙	1通	行列書折本入手の件こ付、報告の事	虫損あり
G-6-9-3	〔筒井大和守宛大井伊勢守書状〕	年末詳 10. 14	横漉紙	1通	出羽守より廻状の件こ付	付箋入り
G-6-9-4	〔大和守宛出羽守書状〕	年末詳 10. 13	横漉紙	1通	増上寺本堂普請に関する触文のまわしこ ついて、昌泉院・貞松院参加の件	虫損あり
G-6-9-5	四月十日	年末詳 4. 11	横切紙	1通	西の丸へ登城の際の大和守に対する忠言 を記したも 伊勢守→大和守	
G-6-9-6	〔筒井大和守宛神尾備前守書状〕	年末詳 4. 10	横切紙	1通	西丸伊勢守より、連名の紙面並び道書 1通の件こ付	
G-6-9-7	〔大目付中宛御目付中書状〕	辰 4. 11	横切紙	1通	雨天の為、右大将のお出掛けが延期にな ったとの事	包紙あり
G-6-9-8	〔筒井大和守宛大井伊勢守書状〕	年末詳 4. 10	横切紙	1通	西丸より差出候連名之紙面の件こついて	
G-6-9-9	〔筒井大和守宛稲垣出羽守書状〕	年末詳 4. 10	横漉紙	1通	本丸の真意を得るといふ趣が聞き入れら れた事を伝える内容	
G-6-9-10	松平右京大夫殿御口上二而被叩聞候覚	年月日未詳	横漉紙	1通	諸事有徳院の時節とおりにする事を申し 含ませた事	虫損あり
G-6-9-11	〔筒井大和守宛稲垣出羽守書状〕			1包〔3通〕		包紙内・G-6-9-11-1~3
G-6-9-11-1	〔筒井大和守宛稲垣出羽守書状〕	年末詳 4. 10	横漉紙	1通	明日右大将・火事番の儀の件 明日評定 所の件外5件	〔端裏付箋〕 「○4月10日」
G-6-9-11-2	〔筒井大和守宛稲垣出羽守書状〕	年末詳 4. 10	横漉紙	1通	日光名代等日光に関する事	〔端裏付箋〕 「○4月10日」
G-6-9-11-3	〔筒井大和守宛稲垣出羽守書状〕	年末詳 4. 9	横漉紙	1通	佐渡守へ是迄差し出していた書付を今後 若年寄衆へ出す事になった件	
G-6-9-12	〔三留文治宛湯浅勘右衛門・阿辺忠助書状〕	年末詳 11. 8	横切紙	1通	酒井左衛門尉用中の大久保氏の苗氏の件 こ付	
G-6-9-13	〔土井伊豫守外4名宛大目付書状〕	年末詳 正 18	横漉紙	1通	増上寺へ参る人絞預りに関する一件	虫損甚し 継ぎ目はかれ
G-6-9-14	〔筒井大和守宛加納大和守書状〕	年末詳 4.	横漉紙	1通	岩井村にて田畑を荒す猪や鹿の害を無く すため、4月より7月晦日迄の鉄砲使用 に関する願状	
G-6-9-15	〔筒井大和守宛戸田弥十郎書状〕	年末詳 11. 17	横漉紙	1通	松平右衛門大夫へ渡した書付こつての1 件	
G-6-9-16	〔筒井大和守宛酒井頼暉守書状〕	年末詳 6. 11	横漉紙	1通	暑中見舞	
G-6-9-17	〔伺文〕	年末詳 12. 22	横漉紙	1通	左衛門尉の不共争城中の様子を記す 西 丸での請取返の件こついて	
G-6-9-18	書面可置可仕旨被叩渡奉畏候	年末詳 5. 20	横漉紙	1通	代替わりの礼参上の形式こついて伺 を たてる書状	
G-6-9-19	〔筒井内蔵宛金田末女書状〕	年末詳 7. 23	横切紙	1通	松下力平衛尉差空の件こ付、報告の事	
G-6-9-20	〔書状〕	年末詳 4. 8	横切紙	1通	依田豊前守一騎木根大内記・高井土佐守 ・神保和泉守	断簡の為、半読不可・虫損甚し
G-6-9-21	〔筒井大和守宛小濱郡守書状〕	年末詳 4. 20	横漉紙	1通	水戸の宰相の所へ老中御越しの件	
G-6-9-22	〔伝達書〕	年末詳 10. 19	横切紙	1通	伊賀兵庫の組への注意書	後欠・断簡
G-6-9-23	覚	辰 4. 18	横漉紙	1通	向坂兵庫取行伊州峯岡上牧場見廻り牧士 吉野五郎兵衛の件こついて 吉野五郎兵 衛は向坂兵庫でなく、向坂青左衛門の知 であるとの事 吉田源之助子代中宮富次 一筒井大和守用人衆中	
G-6-9-24	〔筒井大和守宛内藤丹波守書状〕	年末詳 4. 3	横漉紙	1通	日光祭礼奉行就任報告の事	
G-6-9-25	〔筒井大和守内三留文治・青木文左衛門宛渡り勘左衛門〕	年末詳 4. 16	横漉紙	1通	鉄砲証文のうち向坂兵庫の事、名を改め る事こついて出した書付を今日中に差上	包紙あり

G-6-9-26	筒井大和守宛大井伊勢守書状	年末詳 正 18	横漣紙	1通	げる事 備前守・筑後守へ相談の儀ご付、因番守へ不念の段の事	
G-6-9-27	〔三留文治・青木文左衛門宛通口源左衛門・飯冢市太夫	年末詳 6. 6	横漣紙	1通	筑後守への務め状況と進物について	虫損あり
G-6-9-28	筒井大和守宛大井伊勢守書状	年末詳 4. 20	横切紙	1通	内藤丹波守手覚札1枚持つ事に関する件	包紙あり・虫損あり
G-6-9-29	筒井大和守宛細川玄蕃頭書状	年末詳 7. 23	横漣紙	1通	病氣快方ご付、今日より出勤仕り事	継ぎ目はおかれ・虫損あり
G-6-9-30	筒井大和守宛米倉丹後守書状	年末詳 5. 4	横切紙	1通	明5日の登城の旨、用番へ届けたき件	虫損甚し
G-6-9-31	〔連判書状	年末詳 6. 7	横漣紙	1通	松平大膳太夫外10名の連署	
G-6-9-32	〔縁組願	年末詳 6. 18 ~8. 5	横漣紙	1通	縁女黒田大和守娘死亡の為、その妹を杉浦豊之介と縁組させたき儀の願状	継ぎ目はおかれ・虫損甚し
G-6-9-33	大久保荒之助紙面写	年末詳 6. 6	横切紙	1通	明るる日の老中登城の件について 大久保荒之助→池田筑後守	標題朱書き
G-6-9-34	小笠原言農守	年末詳 6. 24	横漣紙	1通	足痛で歩行が不自由なので、城内で杖を使用したい旨を申し出て許可された事	包紙あり
G-6-9-35	〔書状			1括り〔5通		紙紐括り・G-6-9-35-1~5
G-6-9-35-1	御本丸筒井大和守・西丸大井伊勢守・四月四日申上事	年末詳 4. 4	横漣紙	1通	出陣守が右京大夫ご平判司をたてた事について 伊勢守→大和守	包紙あり
G-6-9-35-2	御本丸筒井大和守・西丸池田筑後守	年末詳 4. 5	横漣紙	1通	書状一通を入手した、右近衛監の登城について等	包紙あり
G-6-9-35-3	筒井大和守宛大井伊勢守書状	年末詳 4. 4	横漣紙	1通	眼識の儀ご付、以後病氣又は快気の届の件ご付	(付箋)「〇四月五日返事」中に付箋が巻き込んである
G-6-9-35-4	〔八月四日申上事 筒井大和守・神尾備前守	年末詳 4. 4	横漣紙	1通	右京大夫ご出陣病気の届けを2通共に入れたという旨	
G-6-9-35-5	御本丸筒井大和宛西丸大井伊勢守書状	年末詳 4. 4	横漣紙	1通	松平筑後守・内藤丹波守・筒井大和守・備前守の手覚木匱分の件	包紙あり
G-6-9-36	〔書状			1括り〔7通〔3枚		紙紐括り・G-6-9-36-1~9
G-6-9-36-1	筒井大和守宛公平備前守	年末詳 6. 13	横漣紙	1通	松平備前守が手紙で筒井大和守に水野日向守にかわって和田倉門番を老中奉書で仰せつけられた事を告げている	
G-6-9-36-2	筒井大和守宛久野丹波守包紙			1枚		
G-6-9-36-3	〔三留文治宛武内源右衛門	年末詳 6. 14	横漣紙	1通	松平備前守が和田倉門番になった事ごつ	
G-6-9-36-4	筒井大和守宛池田筑後守	年末詳 6. 11	横切紙	1通	大井伊勢守からの廻状が神尾備前守より回ってきたので受け取って下さいとの事	
G-6-9-36-5	〔三留文治・青木文左衛門宛米倉丹波守内野本十左衛門書状	年末詳 6. 11	横切紙	1通	殿中向用筋の件ご付	
G-6-9-36-6	〔三留文治宛高野浅右衛門書状	年末詳 5. 晦日	横切紙	1通	平兵衛の一件ご付、認め直す事	
G-6-9-36-7	〔三留文治・青木文左衛門宛久保田九郎右衛門・田中得右衛門書状	年末詳 5. 20	横漣紙	1通	備前守方へ大和より進達書を出さなければならぬが、書き手が病氣療養中なので後刻、返事するという旨	紙片はおかれ
G-6-9-36-8	〔手紙			1纏め〔2枚		G-6-9-36-8-1 が2を巻き込んでいる
G-6-9-36-8-1	〔手紙	年末詳 6. 2	横切紙	1枚	大御所の隠居に関して、御三家方へ礼を出したという内容	(端裏付箋)「〇六月二日御沙汰」と思われるので中に巻き込む
G-6-9-36-8-2	六月二日御沙汰書付	年末詳 6. 2	横漣紙	1枚	左衛門尉へ伝の儀ご付 荒井十太夫組奥山平助→本多采女組手組頼戸小四郎	調査中おかれていた為、中に巻き込んだ
G-6-9-36-9	〔書状	年末詳 6. 3	横切紙	1通	西本願寺・東本願寺・知恩院使者の名あり	本来堅切紙であったと推則されるが下半部欠
G-6-9-37	〔四月二十五日 筒井大和守宛神尾備前守	年末詳 4. 25	横切紙	1通	筑後守よりの廻状を受け取り、大和守に	

G-6-9-38	〔筒井大和守宛大井伊勢守書状〕	年末詳 正 11	横漣紙	1通	お渡しするとの事	
G-6-9-39	〔筒井大和守宛池田筑後守書状〕	年末詳 6. 29	横漣紙	1通	御用書綴一冊入手の事 大番頭羽羽宗守大岡越前守より差越申す書付に関する件外3件	包紙+書状・虫貫あり
G-6-9-40	〔書状〕			1括り〔2通〕		帯封一括り・G-6-9-40-1~2
G-6-9-40-1	巳十月朔日伺書右近江守江井七左衛門を以差上同日人を御下々致取り付返上仕御書付写	(宝暦1). 10.	横漣紙	1通	常憲院・有徳院の忌法事行列について有章院の御忌大行列の例について	有章院の事項は朱書き
G-6-9-40-2	巳十月四日右近江守江井七左衛門を以申上同日御下々致取進申候□□□	(宝暦1). 10. 4	横漣紙	1通	小堀土佐守がまだ病気である為、出勤するのは水上美濃守・森川下総守・小笠原守総介の3人の行列を組み入れたいとの旨	虫貫あり
G-7	〔筒井大和守宛書状・書付〕			1括り〔76通〕		一括り・G-7-1~9
G-7-1	覚	年末詳 正 23	横切紙	1通	大目付	(端裏書) 明廿四日還御以後御伺書
G-7-2	〔水野河内守宛藤堂和泉守高豊書状〕	年末詳 5. 11	横折紙	1通	将軍家への献上之残戻子肩衣一箱を進呈する	
G-7-3	〔筒井大和守宛大井伊勢守書状〕	年末詳 12. 23	横切紙	1通	堀田相摸守からの書付を落手した	虫貫あり
G-7-4	〔水野河内守宛書状〕	年末詳 6. 21	横折紙	1通	暑中見舞・団扇を進入せしめる 差出者名なし花押のみ	
G-7-5	〔水野河内守宿所宛尾長中納言宗勝書状〕	年末詳 4. 21	横折紙	1通	帰国・拝領物等への礼	
G-7-6	〔守屋徳太郎命名書〕	安政4. 閏5. 25	横折紙	1通	坂本民次郎母撰 これを包紙とし、中に守屋徳太郎鬘尾・幼髪を入れた小包紙あり	虫貫あり
G-7-7	〔水野河内守宛水野甲斐守忠福書状〕	年末詳 4. 7	横折紙	1通	将軍家への献上品の礼	虫貫あり
G-7-8	〔書状類〕			1括り〔17通〕		G-7-8-1~16、G-7-8-1が全体を包紙、その上からSILティッシュで括る 虫貫あり
G-7-8-1	〔筒井大和守宛市川出雲守清熙書状〕	年末詳 6. 15	縦紙	1通	移替用無帯助候二付、祝儀戻し	虫貫あり
G-7-8-2	〔書状類〕			1括り〔2通〕		紙紐一括り・G-7-8-2-1~2
G-7-8-2-1	〔筒井大和守宛松平富之助書状〕	年末詳 10. 14	横切紙	1通	松平定八郎儀 月次初而登城二付、殿中心添之儀依頼	
G-7-8-2-2	〔筒井大和守宛米倉丹後守書状〕	年末詳 10. 14	横切紙	1通	持病二付、月次登城致し難き旨届出依頼	
G-7-8-3	〔筒井大和守宛高木新兵衛篤貞書状〕	年末詳 9. 15	横折紙	1通	書付之写1通拜見	
G-7-8-4	〔筒井大和守宛阿留能登守書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	増上霊屋への参詣行列を務めるか否か	函簡・冒頭のみ
G-7-8-5	〔筒井大和守宛西丸大井伊勢守書状〕	年末詳 4. 1	横漣紙	1通	稲垣出羽守大目付被仰付候旨お知らせへの礼	包紙あり
G-7-8-6	〔筒井内蔵宛柴田七左衛門書状〕	年末詳 7. 24	横漣紙	1通	加兵衛差打被仰付候二付、見舞	継ぎ目がみかれている所あり
G-7-8-7	〔筑後守書状〕	年末詳 5. 25	横切紙	1通	宛名なし、書付受取等の連絡	
G-7-8-8	〔大和守宛伊勢守書状〕	年末詳 6. 9	横漣紙	1通	仙石越前守方より忌服之儀申越候二付、手寛札4枚廻り付、張紙の依頼	虫貫あり
G-7-8-9	〔小書付〕	年末詳 6. 14	横漣紙	1通	領主重臣ご伴う役人その外名簿	
G-7-8-10	覚	宝暦1. 12. 25	横切紙	1通	年貢米青取 庄屋文右衛門	
G-7-8-11	〔小書付〕	宝暦1. 12. 17	横切紙	1通	神田年貢受取 庄屋文右衛門	
G-7-8-12	〔小書付〕	年月日未詳 28	横切紙	1通	神田の算用二付 文右衛門→左衛門	
G-7-8-13	覚	巳 12. 25	横切紙	1通	米青取・庄屋文右衛門→甚作	
G-7-8-14	覚(取替算用)	年月日未詳	横折紙	1通	年貢銀・神田銀算	
G-7-8-15	万載算用	年月日未詳	横折紙	1通	米・粃等受取	
G-7-8-16	〔大和守宛書状〕	年月日未詳	横漣紙	1通	触帳の回章の状況について	
G-7-9	〔大名書状一括〕			1包〔62通〕		一括り・G-7-9-1~62 G-

G-7-9-1	筒井大和守宛萩原主水正雅忠書状	年末詳 6. 16	縦紙	1通	御用無帶申候二付、御覧取し	7-9-1が全体を包み、その上からSILティッシュで括る
G-7-9-2	筒井大和宛山口修理亮書状	年末詳 5. 3	横切紙	1通	夏中足袋御用申度旨を願、許可されたので、同役中へ通達せられたい	
G-7-9-3	筒井大和守宛池田筑後守書状	年末詳 正 24	横漉紙	1通	備前守へ見廻外諸連絡	虫損あり
G-7-9-4	筒井大和守宛池田筑後守書状	年末詳 6. 6	横漉紙	1通	伊勢守不決引込の回状の順筆外	
G-7-9-5	〔正月四日 諸侯宛書状〕	(宝暦10). 正 4	横切紙	1通	右側は松平能登守外20名、左側は板倉内膳正外20名	
G-7-9-6	辰四月廿八日秋元但馬守常阿弥を以渡伊勢守受取写 大目付	辰 4. 28	横漉紙	1通	明29日御前の連絡	虫損あり
G-7-9-7	筒井大和守宛松平主水正書状	年末詳 6.	横切紙	1通	大沢主膳改名五郎右衛門ご付、帳番正の依頼	
G-7-9-8	筒井大和守宛神尾備前守書状	年末詳 12. 27	横漉紙	1通	封廻状并別紙落手の旨	
G-7-9-9	筒井大和守宛稲垣土守書状	年末詳 11. 8	横漉紙	1通	書付写を送る等の連絡	
G-7-9-10	〔戊七月二日松平周防守清須系之丞を以渡、出羽守請取之即刻承付致反上候書付写〕	戊 7.	横切紙	1通	去10月依頼出生の分の乳持を吟味の上、書出すように高籠	
G-7-9-11	筒井大和守宛大井伊勢守書状	年末詳 正 24	横切紙	1通	大納言が洗立を断った由を承知したとの事	
G-7-9-12	筒井大和守宛伊奈十左衛門書状下書	辰 4. 6	横漉紙	1通	辻原五郎丈野村々へ貸した鉄砲26挺を受け取った報告	
G-7-9-13	筒井大和守宛瀬瀬備前守・戸田大炊頭書状写	年末詳 7. 28	横漉紙	1通	大坂町奉行等江戸参府の先格吟味の結果を通知	
G-7-9-14	〔大和守宛筑後守書状〕	年末詳 4. 21	横漉紙	1通	火事番の順ごついて	
G-7-9-15	筒井大和守宛大井伊勢守書状	年末詳 10. 23 ~4. 21	横切紙	1通	火之元触長の進達	
G-7-9-16	増上寺参詣共前こつき書付	年末詳 4. 28	横切紙	1通		虫損甚し
G-7-9-17	〔大和守宛筑後守書状〕	年末詳 12. 20	横切紙	1通	明日の寄合の通知	
G-7-9-18	〔大和守宛筑後守書状〕	年末詳 6. 25	横漉紙	1通	書付受取外連絡	
G-7-9-19	筒井大和守宛大井伊勢守書状	年末詳 6. 28	横漉紙	1通	御用書友1冊進達した旨通知	
G-7-9-20	誓詞奉願候書付 大書大目付	辰 6.	横切紙	1通	神尾越前守・大井伊勢守・筒井大和守・池田筑後守・稲垣土守連名	
G-7-9-21	覚（丸山孫九郎行禪相取レ不申二付）	年末詳 5. 18	横漉紙	1通		
G-7-9-22	〔備前守宛大和守書状 下書〕	年末詳 12. 2	横漉紙	1通	誓詞書付為持進申候ご付連絡	
G-7-9-23	〔書状〕	年末詳 5. 17	横切紙	1通	丸山孫九郎の件を相談のため出頭を依頼	虫損甚し
G-7-9-24	〔大和守宛伊勢守書状〕	年末詳 4. 24	横漉紙	1通	儀礼関係連絡	
G-7-9-25	〔大和守宛筑後守書状〕	年末詳 6. 14	横漉紙	1通	書付・登城・月次礼等連絡	虫損あり
G-7-9-26	〔書状〕	年末詳 正 18	横切紙	1通		前次
G-7-9-27	〔池田筑後守外書状〕	年末詳 6. 22	横切紙	1通	池田筑後守・大久保荒之助・新見又四郎連名、代替ご付誓詞追出之件	端裏書「大目付殿」
G-7-9-28	〔御徒用付小山与十郎出張証書〕	年末詳 10. 9	横切紙	1通	書院番今田遠工守内〔 〕根本伊右衛門の家来牧所立会ご願上	虫損甚し
G-7-9-29	〔三角文治・松木文左衛門宛筑後守鈴木若兵衛書状〕	年末詳 4. 20	横漉紙	1通		虫損あり
G-7-9-30	〔日光御門跡宛云書〕	年末詳 4. 24	横漉紙	1通	留守こつき久世土雲守、お目見えの願	
G-7-9-31	筒井内蔵守宛織田尔十郎書状	年末詳 7. 24	横漉紙	1通	伺書付札の口渡ご付	
G-7-9-32	筒井大和守宛大井伊勢守書状	年末詳 12. 1	横切紙	1通	明日の西丸相替の儀	
G-7-9-33	筒井大和守宛池田筑後守書状	年末詳 11. 14	横漉紙	1通	小幡山城守よりの届物持ち遣す事ご対する札	
G-7-9-34	筒井大和守宛小堀土佐守書状	年末詳 正 3	横漉紙	1通	来る10日行列の伴ご付、廻状の儀	
G-7-9-35	筒井大和守宛池田筑後守書状	年末詳 6. 15	横切紙	1通	明日之次第の儀	
G-7-9-36	〔御座御用掛勘こつき〕	年末詳 8. 15	横切紙	1通	酒井石見一若年寄	虫損あり

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-7-9-37	〔大和守宛筑後守書簡〕	年末詳	11. 22	横切紙	1通	黒田大和守申越の趣手覚札一枚落手之儀	
G-7-9-38	〔筒井大和守宛大井伊勢守書状〕	年末詳	6. 16	横切紙	1通	当月2日御状落手の儀	
G-7-9-39	〔筒井大和守宛筑後守書状〕	年末詳	6. 16	横漉紙	1通	嘉平祝の坊主衆書付の儀	
G-7-9-40	〔大和守宛筑後守書状〕	年末詳	6. 28	横漉紙	1通	伊丹兵車頭より届物1通落手の儀外	
G-7-9-41	〔筒井大和守宛稲垣出羽書状〕	年末詳	6. 23	横切紙	1通	伊勢守よりの紙面2通出来の儀	虫損甚し
G-7-9-42	〔三角文治・松木文左衛門宛小野弥兵衛・山村小友太書状〕	年末詳	6. 22	横切紙	1通	松平右京大夫宅で警備書1通1袋を出羽守より廻し写しの儀	
G-7-9-43	〔筒井大和守宛万遠工守書状〕	年末詳	4. 20	横漉紙	1通	水戸宰相の請寸の儀	
G-7-9-44	〔筒井大和守宛神尾備前守書簡〕	年末詳	4. 3	横切紙	1通	連名の紙面落手の儀	
G-7-9-45	〔筒井大和守内青木文左衛門宛藤丈介書状〕	年末詳	10. 10	横漉紙	1通	大和守用事ご付案内の儀	
G-7-9-46	〔大和守宛筑後守書状〕	年末詳	6. 3	横漉紙	1通	坊主衆出候書付1通進申候事等 石谷備後守の書付届の儀	
G-7-9-47	御廻中控	年末詳	6. 13	横漉紙	1通	西丸大守門番水野和泉守仰付有難候之事 大坂美濃守内斎藤太郎右衛門外1名 病気の為、大役行を務める事が出来なかつた事	
G-7-9-48	〔筒井大和守宛公平豊前守書状〕	年末詳	正 3	横切紙	1通	病気の為、大役行を務める事が出来なかつた事	
G-7-9-49	〔切符の事〕	年末詳	5. 19	横漉紙	1通	泉田清藏外2名一岩井弥重郎	虫損あり
G-7-9-50	〔筒井大和守宛石川若狭守書状〕	年末詳	正 19	横切紙	1通	痔疾の為、来24日行列ご不参を告げる	虫損あり
G-7-9-51	〔筒井大和守御用人中宛小出信濃守内米嶋重八外2名書状〕	年末詳	5. 5	横漉紙	1通	今般主殿目見被仰付候趣、被致承知珍重被存候旨	
G-7-9-52	覚（御徳正文ご照会）	辰	4. 17	横漉紙	1通	向坂兵車頭行所・房州岸岡山牧場見廻り 牧士吉野五郎兵衛こつて	
G-7-9-53	〔大和守宛筑後守書状〕	年末詳	3. 18	横漉紙	1通	伊勢中務大補司守戸田長門守和隆の件 承知した事	虫損甚し
G-7-9-54	〔筒井大和守宛米倉丹後守書状〕	年末詳	4. 29	横切紙	1通	持病の痔疾が直らない為、登城出来ないとの届	
G-7-9-55	〔筒井大和守宛水野和泉守書状〕	年末詳	4. 20	横切紙	1通	城の事紙面承知したとの事	
G-7-9-56	〔大和守宛筑後守書状〕	年末詳	6. 21	横漉紙	1通	坊主衆より遣わされた書付こつて届	
G-7-9-57	〔筒井大和守宛稲垣出羽書状〕	年末詳	6. 25	横漉紙	1通	新番真柳生播磨守より指物帳2冊受け渡しこつて	虫損あり
G-7-9-58	〔筒井大和守宛坪内駿河書状〕	年末詳	4. 20	横漉紙	1通	水戸の宰相へ老中和隆の相半ご同席なわすの事	
G-7-9-59	〔筒井大和守宛大久保左渡守書状〕	年末詳	正 23	横漉紙	1通	明24日増上寺参詣ご行列務めるよう廻状	
G-7-9-60	〔筒井大和守宛北條安房守書状〕	年末詳	9. 5	横漉紙	1通	組中知行所御起出候出来こつて	
G-7-9-61	〔筒井大和守宛神尾備前守書状〕	年末詳	正 24	横漉紙	1通	明後日平定所寄合こつて	虫損あり
G-7-9-62	〔筒井大和守宛池田筑後守書状〕	年末詳	10. 14	横漉紙	1通	出羽守よりの廻状・但馬守よりの書付写3通・備前守よりの手覚札2枚を届ける	
G-8	〔書状等〕				1括り 94通 〔1枚〕		一括り・G-8-1~96 調査段階でSILティッシュで括られていたため、新しいSILティッシュで括り直した
G-8-1	〔筒井大和守宛書状外〕				1括り 14通 〔1枚〕		紙紐一括り・G-8-1-1~15
G-8-1-1	〔筒井大和守宛池田筑後守書状〕	年末詳	4. 26	横切紙	1通	出羽守より呈状が備前守より到来したので届達する	
G-8-1-2	〔筒井大和守宛池田筑後守書状〕	年末詳	6. 17	横漉紙	1通	表回りが済んだ事及び坊主衆の出した書付落手の連絡、毛利彦三郎・大岡兵車頭義こつての手覚札一枚も落手した	（包紙漉紙） 「〇六月十七日懸合返事」

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-8-1-3	〔筒井大和守宛他田筑後守書状〕	年末詳 6. 9	横漣紙	1通	表回りが済んだ事及び坊主衆の出した書付落手の連絡、明十日講釈の代替初てなので麻上下との事は疎知した他	〔包紙・端紙〕 「〇六月九日懸合返書」
G-8-1-4	〔函簡〕	年末詳 4. 28		1枚		15.3×4.6(cm) 貼紙に「〇四月廿八日御少汰」とあり
G-8-1-5	〔召出の氏名書上〕	年末詳 4. 28	横漣紙	1通	相続之礼・家替之礼・初而御目見等	貼紙に「〇四月廿八日御少汰」とあり
G-8-1-6	〔氏名書上〕	年末詳 4. 28	横切紙	1通	御座之間にての御目見氏名	
G-8-1-7	〔氏名書上〕	年末詳 6. 15	横漣紙	1通	大坂御用こ付、代わり遣わせれる者の氏名	貼紙に「〇六月十五日御少汰」とあり、帯封あり
G-8-1-8	〔筒井大和守宛土岐美濃守外二名書状〕	年末詳 6. 4	横切紙	1通	美濃守の忌明けつき出勤する挨拶状	
G-8-1-9	〔筒井大和守宛松平主水正書状〕	年末詳 6. 28	横漣紙	1通	五郎右衛門の認めた指物について	
G-8-1-10	〔届書〕	已 7. 22	横切紙	1通	小宮山新右衛門惣領小宮山九十郎及び次男小宮山玄橋への遠島仰付について	〔端裏書〕 「[] 廿二日、堀田目録守殿 川崎左衛門殿を以 [] 上候書付 御届 筒井内蔵」
G-8-1-11	〔依頼書〕	已 7. 22	横切紙	1通	小宮山新右衛門切米について	〔端裏書〕 「已七月廿二日夕堀田目録守殿御達候 川崎左衛門殿を以差上候書付 筒井内蔵」
G-8-1-12	〔報告書〕	年末詳 3. 16	横切紙	1通	馳走所を仕廻る屋敷へ弓取った報告	
G-8-1-13	〔筒井大和守宛阿部豊前守書状〕	年末詳 正 28	横切紙	1通	増上寺霊屋への公方参詣の際の勤について、廻状の承知の連絡	
G-8-1-14	〔筒井大和守宛内藤藩参守書状〕	年末詳 10. 19カ	横漣紙	1通	誓司血判が滞なく済んだ報告	虫損あり
G-8-1-15	〔届書〕	年末詳 10. 23	横切紙	1通	廉之助を喜連川右兵衛の養子として届出加藤左近将監一筒井大和守	
G-8-2	〔筒井大和守宛書状等一括〕			1括り 〔2通〕		紙紐一括り・G-8-2-1~11
G-8-2-1	〔筒井大和守宛神尾備前守書状〕	〔宝暦7以降〕 5. 5	横漣紙	1通	不時の御礼衆あり、礼書右近将監へ渡される事等	〔包紙上書〕 「筒井大和守殿 神尾備前守」
G-8-2-2	〔筒井大和守宛大井伊勢守書状〕	〔宝暦7以降〕 5. 5	横漣紙	1通	不時の御礼衆あり、礼書右近将監へ渡される事等	〔包紙上書〕 「御本丸筒井大和守殿 西丸大井伊勢守」 〔包紙付紙〕 「〇五月五日返事」
G-8-2-3	〔筒井大和守宛神尾備前守書状〕	〔宝暦7以降〕 4. 20	横漣紙	1通	大坂箱笥状2函受取の事	〔端裏書〕 「筒井備前守様 神尾備前守」
G-8-2-4	〔筒井大和守宛京極兵部書状〕	〔宝暦7以降〕 5. 5	横漣紙	1通	右大将本丸へ出御こ付、心得の事	〔包紙上書〕 「筒井大和守殿 西丸当番御目付中」 〔包紙付紙〕 「〇五月五日」
G-8-2-5	〔筒井大和守宛大井伊勢守書状〕	〔宝暦7以降〕 5. 5	横漣紙	1通	礼書写折本落手の事・右大将本丸御成の事等	〔端裏書〕 「筒井大和守様 大井伊勢守」 〔包紙付紙〕 「〇五月五日返事」
G-8-2-6	〔召集こつき殿中心添通達事〕	年末詳 10. 21	横漣紙	1通	内藤美濃守外6名	
G-8-2-7	〔召集こつき殿中心添通達事〕	年末詳 10. 21	横漣紙	1通	内藤美濃守外6名	〔端裏付紙〕 「已十月」
G-8-2-8	〔筒井大和守宛桑田藤三郎書状〕	〔宝暦7以降〕 4. 2	横切紙	1通	礼廻・贈物等の儀の書付について	〔端裏書〕 「筒井大和守様 桑田藤三郎」
G-8-2-9	〔大和守宛筑後守書状〕	〔宝暦7以降〕 4. 13	横漣紙	1通	礼書本紙・書付落手の事等	
G-8-2-10	〔筒井大和守宛他田筑後紙書状〕	〔宝暦7以降〕 6. 23	横漣紙	1通	連名の紙面落手の事	〔端裏書〕 「筒井大和守様 池田筑後守」 〔端裏付紙〕 「〇六月廿三日返事」
G-8-2-11	〔筒井大和守宛他田筑後守書状一包〕			1包 〔2通〕		包紙内・G-8-2-11-1 〔包紙上書〕 「御本丸筒井大和守殿西丸他田筑後守」

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-8-2-11-1	〔大和守池田筑後守書状〕	〔宝暦7以降〕	4. 12	横漣紙	1通	坊注衆の書付落書鋸と右大将御成り付、火手番居残りの事等	
G-8-2-11-2	〔大和守池田筑後守書状〕	〔宝暦7以降〕	4. 12	横切紙	1通	松平大蔵大輔参の儀、書付御達の事、依頼	G-8-2-11-1 の追申
G-8-3	〔筒井大和守宛書状等一括り〕				1一括り〔6通		紙紐一括り・G-8-3-1~16
G-8-3-1	〔大和守宛伊勢守書状〕	〔宝暦7以降〕	7. 20	横漣紙	1通	書付4通落手なざるべき事等	〔端裏書〕 〔大和守様 伊勢守
G-8-3-2	〔筒井大和守宛大井伊勢守書状〕	〔宝暦7以降〕	7. 5	横切紙	1通	用書抜1冊落手の事、写留頂達の事	〔端裏書〕 〔筒井大和守様 大井伊勢守
G-8-3-3	〔筒井大和守宛本多大和守書状〕	〔宝暦7以降〕	6. 4	横漣紙	1通	今日参府する事の案内	〔端裏書〕 〔筒井大和守様 本多大和守
G-8-3-4	〔御用番氏名書上・大坂御金・御蔵奉行仮役申渡の事〕				1包〔2通		包紙内・G-8-3-4~5 包紙外れの為、SILティッシュで包む
G-8-3-4-1	〔七月御用番氏名書上〕	年末詳	7.	横切紙	1通	堀田相模守外8名	
G-8-3-4-2	〔大坂御金奉行仮役・大坂御蔵奉行仮役申渡の事〕	〔宝暦7以降〕	6. 25	横漣紙	1通		〔端裏書〕 〔備前守殿より受取大和守殿
G-8-3-5	〔筒井大和守宛久世世雲守書状〕	〔宝暦7以降〕	4. 1	横漣紙	1通	祝義出出付、用番登城時問伺	〔端裏書〕 〔筒井大和守様 久世世雲守
G-8-3-6	〔筒井内蔵宛金田采女書状〕	〔宝暦7以前〕	2. 6	横漣紙	1通	平井久次郎詮義の内、侍2人・女3人・仲間4人沙汰報告	〔端裏書〕 〔〇四月朔日
G-8-3-7	大目付江覚	宝暦1.	9. 24	横漣紙	1通	増上寺法事中、拷問等無用の事等覚	〔端裏書〕 〔此通り御成長へ書越し心得帳へ留方案
G-8-3-8	〔筒井大和守宛戸田大炊書状〕	年末詳	4. 20	横漣紙	1通	伺公持病付、不参断り状	〔端裏書〕 〔筒井大和守様 戸田大炊頭
G-8-3-9	〔筒井大和守宛大井伊勢守書状〕	年末詳	7. 21	横漣紙	1通	書付落手の事	〔端裏書〕 〔筒井大和守様 大井伊勢守
G-8-3-10	〔筒井内蔵宛本多大学書状一包〕				1包〔2通		〔端裏書〕 〔筒井内蔵様 本多大学
G-8-3-10-1	〔筒井内蔵宛本多大学書状〕	〔宝暦7以前〕		横漣紙	1通	只今退出済だが、伺の木札なき事の報告	〔端裏書〕 〔筒井内蔵様 本多大学書状
G-8-3-10-2	〔筒井内蔵宛本多大学書状〕	〔宝暦7以前〕		横漣紙	1通	別紙書付の趣、奥右筆上村政次郎相尋ねる付、吟味の上返答の事	〔端裏書〕 〔筒井内蔵様 本多大学
G-8-3-11	〔触書〕	〔宝暦7以前〕		横漣紙	1通	礼事其外老中若年寄への贈物の事等の觸	
G-8-3-12	〔音物受納の儀について覚書〕		辰 4. 21	横漣紙	1通		〔端裏書〕 〔辰四月廿一日松平右京大夫殿被仰聞候訳 触帳工留方之案
G-8-3-13	〔筒井大和守用人中宛峰岸甚之丞書状〕	〔宝暦7以降〕	10. 18	横漣紙	1通	亡父因幡守宛復の男子又吉の出生届	〔端裏書〕 〔筒井大和守様御用人中様因幡守内峰岸甚之丞
G-8-3-14	〔本丸西丸移替こつき達書〕	宝暦0.	4. 10	横漣紙	1通	本丸西丸移替付、隠居二丸正宿となるので出仕西丸に罷出する事	〔端裏書〕 〔辰四月十日堀田相模守殿春阿弥ヲ御慶筑後守請取候書付之写 大目付江
G-8-3-15	〔筒井大和守宛池田筑後守書状〕	〔宝暦7以降〕	4. 10	横漣紙	1通	13日惣触付、心得の事等	〔端裏書〕 〔筒井大和守様 池田筑後守
G-8-3-16	〔筒井大和守宛池田筑後守書状〕	年末詳	4. 3	横漣紙	1通	備前守からの廻状頂達、落手の事	付紙外れの為、SILティッシュで包む
G-8-4	〔筒井大和守宛書状〕				1一括り〔8通		〔端裏書〕 〔筒井大和守様 池田筑後守
G-8-4-1	〔筒井大和守宛備前守書状〕	年末詳	4. 21	横漣紙	1通	松平右京大夫の口上覚書写落手こつて	一括り・G-8-4-1~8

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-8-4-2	〔筒井大和守宛神尾備前守書状〕	年末詳	4. 21	横漣紙	1通	松平右京太夫口上覚書写落手について 通巻取廻状之案問合についての返事	〔包紙横漣紙〕 「〇四月廿一日」
G-8-4-3	〔筒井大和守宛大井伊勢守書状〕	年末詳	4. 21	横漣紙	1通	表廻りが濟方注衆からの書付落手の通知 、水戸江老中番書について、堀田相模守 風気こつき不登城について	〔包紙横漣紙〕 「〇四月廿一日」
G-8-4-4	〔筒井大和守宛堀田筑後守書状〕	年末詳	4. 21	横漣紙	1通	松平右京太夫口上覚書写落手について	貼紙こ「〇四月廿一日」とあり
G-8-4-5	〔筒井大和守宛大井伊勢守書状〕	年末詳	4. 21	横切紙	1通	松平右京太夫口上覚書写落手について	貼紙こ「〇四月廿一日」とあり
G-8-4-6	〔筒井大和守宛番田守書状〕	年末詳	4. 21	横漣紙	1通	表廻りが濟方注衆からの書付落手の 通知、水戸老中番書について、堀田相 模守風気こ付、不登城について	〔包紙横漣紙〕 「〇四月廿一日」
G-8-4-7	〔筒井大和守宛神尾備前守書状〕	年末詳	4. 21	横漣紙	1通	表廻りが濟方注衆からの書付落手の 通知、筑後守懸り御用こ付西丸詰繰上こ ついて、水戸老中番書について	〔包紙横漣紙〕 「〇四月廿一日」
G-8-4-8	〔筒井大和守宛大岡吉次郎書状〕	年末詳	4. 21	横漣紙	1通	駒場村・岩崎村の四季御餼餉証文こつ いて	貼紙こ「〇四月廿一日」とあり
G-8-5	〔書状外〕				1括り	〔13通〕	紙紐括り・G-8-5-1~13
G-8-5-1	〔褒美銀覚〕	年末詳	12. 4	横漣紙	1通		〔端裏書〕 「〇西丸拜領物」
G-8-5-2	〔来宅依頼〕	年末詳	4. 23	横漣紙	1通	24日9時こ右京太夫宅まで	〔端裏書〕 「辰四月廿三日松平 右京太夫殿良阿弥を以御渡候御 書付仕羽持静取之写」
G-8-5-3	〔参詣供前申渡書〕	年末詳	4. 19	横漣紙	1通		〔端裏書〕 「辰四月十九日松平 右京太夫殿春阿弥を以御渡筑後 守静取之御書付之写 大目付江」
G-8-5-4	〔登城申付書写〕		辰 5. 24	横切紙	1通	石川吉六へ	〔端裏書〕 「辰四月廿三日松平 右京太夫殿三阿弥を以御渡候御 書付仕羽持静取之写 大目付江」 〔端裏紙〕 「〇」
G-8-5-5	〔申渡書〕	年末詳	4. 1	横切紙	1通	御前こおひての申渡書 老万石御力こ増 堀田相模守等	
G-8-5-6	〔達書〕	宝暦0.	4.	横漣紙	1通	本丸・西丸入替こ付、役人座唄こつて	〔端裏書〕 「辰四月朔日堀田相 模守殿三阿弥を以御書付大和守 静取分写 大目付江」
G-8-5-7	〔登城申付書〕	年末詳	7. 17	横切紙	1通	松平隼之助・上杉直丸元服こつき登城	〔端裏書〕 「大目付 御目付江」
G-8-5-8	〔口上覚書〕	年月日未詳		横切紙	1通	音物受納こつて	〔端裏書〕 「大目付 御目付江 口上ニ而申聞候覚」
G-8-5-9	〔心得帳書抜〕	延享2.	9. 1	横漣紙	1通	祝儀の際の仕立心得	〔端裏書〕 「心得帳ニ有之候書 付書状」
G-8-5-10	〔青木文左衛門・三留文宛宛田中任右衛門外一名書状〕	年末詳	正 8	横漣紙	1通	松平左京太夫の京都発足こ付、賤り件 こつて	〔端裏紙〕 「〇正月八日」
G-8-5-11	〔青木文左衛門・三留文宛宛小浜奥右衛門外二名書状〕	年末詳	10. 11	横漣紙	1通	籠を損した不調去を詫ひる	
G-8-5-12	〔三留文宛宛武田源右衛門書状〕	年末詳	6. 11	横漣紙	1通	備前守の勝手向か不漁や下屋敷の類焼等 により甚難儀、その為の厳儉約こつて	
G-8-5-13	〔氏名書上〕	年末詳	9. 20	横漣紙	1通	座唄か「御」と「右」「左」の間こ氏 名が書かれている	
G-8-6	〔筒井大和守・内蔵宛書状等一括り〕				1括り	〔15通〕	紙紐括り・G-8-6-1~15
G-8-6-1	〔筒井大和守宛小笠原伊予守書状〕	(宝暦7以降)	6. 12	横漣紙	1通	登城の事、老中連名奉書到来こ付、知ら せ	〔端裏書〕 「筒井大和守様 小 笠原伊予守」
G-8-6-2	〔大目付宛松平徳解由書状〕		辰 6.	横漣紙	1通	多喜茂左衛門義絶の為、忝幼年で流良の 由、義絶であるか親類懇願こて養育の 事、使松平徳解由家小林三郎左衛門	〔包紙上書〕 「辰六月十九日酒 井左衛門景興春阿弥を以御渡候 御書付大和守静取之本紙旧日松

G-8-6-3	〔先挟箱無用の事触書〕	延享4. 3.	横漉紙	1通	平御ケ由家来召呼上野幸左衛門 罷出候ニ付遠工守右御書付写直 ニ渡シ遣ス」(端裏書)「大目 付江」 (包紙上書)「筑後守御工返達 之書付返ニ不及候被申間候 (端裏書)「延享四卯年正月出 候御書付写」 (端裏書)「巳十月十八日酒井 左衛門殿良阿弥を以御度候書 付仕羽守より 大目付へ」
G-8-6-4	〔領世物朱印頂戴こつての触書〕	巳 10.	横漉紙	1通	
G-8-6-5	口上覚	(宝暦7以降) 7. 21	横切紙	1通	駒布助番の誓詞帯りなく済みの事報告 青山百助一筒井大和守
G-8-6-6	〔御暇こつき下賜品・氏名書上〕	宝暦0. 6. 6	横漉紙	1通	就封の為、帰国する時こ下賜された品名 と氏名書上、松平陸奥守(重村)外35名 指物帳0冊差出、改暦の事
G-8-6-7	〔筒井大和守宛薬田七九郎書状〕	(宝暦7以降) 6. 21	横切紙	1通	書付落手之事・右京大夫宅へ御越しの事 、日記寄合に付、登成しな旨承知の事 等
G-8-6-8	〔筒井大和守宛池田筑後守書状〕	(宝暦7以降) 4. 23	横漉紙	1通	辻番組合申合の書付入の箱の引渡しにつ いて
G-8-6-9	〔筒内蔵宛辻重次郎・赤井藤之助書状〕	(宝暦7以前) 3. 21	横切紙	1通	七種の祝儀・平服の義・上野御成の儀こ つて
G-8-6-10	〔大井伊勢守宛筒井大和守書状〕	(宝暦7以降) 正 18	横漉紙	1通	切紙拜見、只今参上の事
G-8-6-11	〔筒内蔵宛辻重次郎書状〕	(宝暦7以前) 7. 24	横切紙	1通	廻状落手、順達之事
G-8-6-12	〔筒井大和守宛大井伊勢守書状〕	(宝暦7以降) 4. 24	横漉紙	1通	
G-8-6-13	〔筒井大和守宛大井伊勢守書状〕	(宝暦7以降) 正 24	横漉紙	1通	廻状落手の事、西丸より差出しの連名の 紙面返却の事
G-8-6-14	〔筒井大和守宛池田筑後守書状〕	年末詳 11. 20	横漉紙	1通	日鑑反上時支障りに付伺い
G-8-6-15	〔筒井大和守宛米倉丹後守書状〕	(宝暦7以降) 10. 29	横漉紙	1通	持病に付、登成致し難き事の届書
G-8-7	〔筒井大和守宛書状〕			1括り (16通)	紙紐括り・G-8-7-1~15
G-8-7-1	〔筒井大和守宛米倉丹後守書状〕	年末詳 10. 22	横漉紙	1通	持病に付、登成致し難き事の届
G-8-7-2	〔筒井大和守宛久世世雲守書状〕	年末詳 10. 21	横切紙	1通	病気の為、暇をもらったが2月参勤の時 節まで帯付し養生したい
G-8-7-3	〔筒井大和守宛小笠原言農守書状〕	年末詳 10. 22	横切紙	1通	名代同姓左渡守へ「御朱印」を頂戴した 事
G-8-7-4	〔筒井大和守宛小笠原言農守書状〕	年末詳 10. 21	横漉紙	1通	登城の名代として同姓左渡守を差出すの で「心添」を頼む
G-8-7-5	〔筒井大和守・御役人中宛小林権右衛門書状〕	年末詳 10. 22	横漉紙	1通	主善正名代松平頼母へ御朱印を頂戴した 事
G-8-7-6	〔筒井大和守宛神尾備前守書状〕	年末詳 10. 22	横漉紙	1通	腰痛の為、歩行に叶わず役儀御免の願書 許取差出こつて
G-8-7-7	〔筒井大和守宛石川住殿類書状〕	年末詳 9. 15	横漉紙	1通	相摸守が二丸普請用掛を仰付られたとの 紙面の趣お承知した事及び同席中へも申 達す
G-8-7-8	〔筒井大和守宛内藤美濃守書状〕	年末詳 6. 12	横漉紙	1通	明13日に登城が病気の為、出来ない旨を 御用番酒井左衛門に届出した事及び同役 中へも通達してまい旨
G-8-7-9	〔大和守宛備前守書状〕	年末詳 4. 1	横漉紙	1通	惣仕出の際の老中より仰渡の趣及び坊主

G-8-7-10	〔筒井大和守宛金田遠工守書状〕	年末詳 6. 晦日	横切紙	1通	衆よりの書付を落手の通知 本丸・西丸惣仕の書付及び本丸・西丸入替付、役人座頭の書付写受取通知、鳥居伊賀守屋敷移こつて等	挟み込み文書1通あり
G-8-7-11	〔筒井大和守宛大井伊守書状〕	年末詳 4. 20	横継紙	1通	京極左門の御趣旨付付より帳消依頼病死付、弁之助の鉄砲帳から名前除去に付	〔端裏紙〕 「〇四月廿日」
G-8-7-12	〔筒井大和守宛神尾備前守書状〕	年末詳 3. 14	横切紙	1通	参勤滞りなく済んだとの廻状落手の通知及び順達した事の報告	
G-8-7-13	〔筒井大和守御用人中宛松原京左衛門・木下大蔵書状〕	年末詳 8. 4	横継紙	1通	御用書拔1冊落手の連絡	
G-8-7-14	〔川勝左京書状〕	年末詳 7. 22	横継紙	1通	参勤の日程予定を知らせ着付の節の御付使者・御使等を断る旨	
G-8-7-15 G-9	〔筒井大和守宛大井伊守書状〕 〔書状等〕	年末詳 正 18	横継紙	1通 1括り	小宮山新右衛門切米の件こつて、明日の寄合用人の件こつて 廻状返却添状	宛名部分に「[]内蔵」とあり 虫貫あり
G-9-1 G-9-1-1	〔呼出状外〕 〔大目付呼出状〕	年末詳 4. 23	横切紙	1括り 〔77通〕 〔1枚〕 〔1帖〕 〔2通〕 1通		紙紐括り・G-9-1~9 上にノートが1枚まかれ止書に「G9100」とあり
G-9-1-2 G-9-2 G-9-2-1	〔日光門惣掃府覚〕 〔書状〕 〔三留文治・青木文左衛門宛石田喜右衛門外一名書状〕	年末詳 4. 24 年末詳 6. 23	横切紙 横切紙	1通 1括り〔5通〕 1通		紙紐括り・G-9-1-1~2 〔端裏紙〕 「辰四月廿三日公平右京大夫良阿弥を以渡候書付出羽守請取大和守宛越二付奉紙請取之罰掃候」〔端裏書〕 「大目付江」
G-9-2-2	〔三留文治・青木文左衛門宛荒川正介外二名書状〕	年末詳 6. 23	横継紙	1通	半左衛門が登城の上、御目付江役替があったことを知らせる旨	紙紐括り・G-9-2-1~5
G-9-2-3	〔三留文治・青木文左衛門宛谷口幾右衛門外三名書状〕	年末詳 6. 23	横継紙	1通	鉄砲帳下書こつて、老人一両日中参上せよとの件こつては致した旨	
G-9-2-4 G-9-2-5 G-9-3	〔筒井大和守御用人中宛久保嘉内外一名書状〕 〔筒井大和守御用人中宛平内駿守内田島与市外二名書状〕 〔筒井大和守宛書状等一括り〕	年末詳 6. 23 年末詳 6. 22	横切紙 横継紙	1通 1通 1括り〔5通〕 〔1帖〕	荒之助への長崎奉行付付こつて 駿守守の用こつて登城の事	
G-9-3-1 G-9-3-2	〔筒井大和守宛有馬采女書状〕 〔役職替こつき口上〕	(宝曆7以降) 6. 宝曆0. 6. 1	横継紙 横切紙	1通 1通	鉄砲改帳下書1冊落手の事 松平庄九郎(徳真から目付へ) 外5名書上	
G-9-3-3	〔礼事こつき書付〕	宝曆0. 6. 1	横継紙 横切紙	1通 1通	真田伊豆守名代本多中務大輔	〔端裏書〕 「辰六月朔日酒井左衛門景渡書付那可陪伊予守より伊勢守請取候写 御〇者殿 大目付御目付江」
G-9-3-4	〔月次拝賀こつき氏名書上〕	宝曆0. 6. 1	折本	1帖	白木書院こての月次拝賀、参勤の者小笠原元輝守外10名	〔端裏書〕 「辰五月晦日酒井左衛門景御度備前守請取写 大目付江」
G-9-3-5	〔月次拝賀こつき氏名書上〕	宝曆0. 6. 1	横継紙	1通	白木書院こての月次拝賀、参勤の者小笠原元輝守外10名	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-9-3-6	〔筒井大和守宛板倉撰津守書状〕	年末詳 6. 1	横切紙	1通	御肴一折世覧の事	〔端裏書〕 〔筒井大和守撰板倉撰津守〕 紙紐一括り・G-9-4-1~4
G-9-4	〔書状〕			1括り〔4通		
G-9-4-1	〔筒井大和守宛青山大蔵少輔書状〕	年末詳 6. 3	横漣紙	1通	大蔵少輔との改名を知らせる事	
G-9-4-2	〔筒井大和守宛池田筑後守書状〕	年末詳 4. 20	横漣紙	1通	戸田大炊頭が持病の持疾の為、御目見登城が出来なくなった事を用役中へも通達してほし旨	包紙あり
G-9-4-3	〔三留文治・青木文左衛門宛山村小藤太外一名書状〕	年末詳 10. 13	横漣紙	1通	伊勢守装束ニ而罷出こつての徒士の服装こつて	
G-9-4-4	〔与惣右衛門宛重左衛門・熊太郎書状〕	年末詳 12. 21	横漣紙	1通	長左衛門より平松市兵衛への銀子式貫目取替こつて 乙島村庄屋重左衛門・熊太郎・松山南伊年寄・中曾屋与惣右衛門	下書カ
G-9-5	〔筒井大和守宛書状外〕			1括り〔3通		
G-9-5-1	〔筒井大和守宛神尾備前守書状〕	年末詳 6. 3	横漣紙	1通	明日は二丸へ筑後守・西丸へ出羽守が出勤する件こつて承知した旨	紙紐一括り・G-9-5-1~13
G-9-5-2	〔筒井大和守宛稲垣出羽守書状〕	年末詳 6. 3	横漣紙	1通	繰上げで自分が西丸詰・二丸詰に筑後守が出勤する件こつて承知した事	〔端裏紙〕 〔〇六月三日返事〕
G-9-5-3	〔筒井大和守宛大井伊勢守書状〕	年末詳 6. 3	横漣紙	1通	本丸に筒井大和守出勤の為、二丸に筑後守・西丸に出羽守が出勤の件こつて承知した旨	〔端裏紙〕 〔〇六月三日返事〕
G-9-5-4	〔筒井大和守宛池田筑後守書状〕	年末詳 6. 3	横漣紙	1通	明4日は繰上げの二丸詰出勤を承知した旨	〔包紙裏紙〕 〔〇六月三日返事〕
G-9-5-5	〔筒井右衛門宛御目付中書状〕	年末詳 6. 4	横漣紙	1通	西丸詰に筑後守から出羽守へ変わった事を承知した旨 萩原主水正一筒井大和守	〔包紙裏紙〕 〔〇六月四日返事〕
G-9-5-6	〔筒井右衛門宛御目付中書状〕	年末詳 6. 4	横切紙	1通	今日は筒井守が本丸に出るので筑後守が二丸に詰めることを承知した旨 神林金右衛門・筒井大和守	〔包紙裏紙〕 〔〇六月四日返事〕
G-9-5-7	〔筒井大和守宛池田筑後守書状〕	年末詳 6. 4	横漣紙	1通	表廻りが済み方主衆の出した書付書通落手の報告	〔包紙裏紙〕 〔〇六月四日返事〕
G-9-5-8	〔御座鋪触目録〕	〔宝暦0〕 4. 1	横漣紙	1通	堀田相模守外2名の氏名書上	〔端裏書〕 〔辰四月朔日御座鋪触目録〕
G-9-5-9	〔加増役替・氏名書上〕	年末詳 4. 1	横漣紙	1通		
G-9-5-10	〔通達〕	〔宝暦0〕	横漣紙	1通	公方隠居こ付、本丸から西丸へ移られる旨の通達	〔包紙裏紙〕 〔〇四月朔日〕
G-9-5-11	〔触書〕	〔宝暦0〕 4. 1	横漣紙	1通	明2日惣出仕の服装こつて 名代の者は老中へ使者をもって祝儀を申上へき事	〔端裏書〕 〔辰四月朔日堀田相模守殿三阿弥を以渡候御書付大和守静取之写 大目付江〕
G-9-5-12	〔通達〕	〔宝暦0〕	横漣紙	1通	公方隠居こ付、本丸から西丸へ移られる旨の通達	
G-9-5-13	〔筒井大和守宛池田筑後守書状〕	年末詳 4. 12	横漣紙	1通	老中打請之折本2冊落手の通知及び尾張へ老中打請の件こつても承知した旨	包紙あり
G-9-6	〔書状外〕			1括り〔3通		
G-9-6-1	〔筒井大和守宛池田筑後守書状〕	年末詳 6. 24	横漣紙	1通	西尾主水正寛札4枚の扱こつて	紙紐一括り・G-9-6-1~13 〔包紙裏紙〕 〔〇六月廿四日〕
G-9-6-2	〔筒井大和守宛池田筑後守書状〕	年末詳 4. 12	横漣紙	1通	新番事務方こつて書付1通静取その写2通を送るので出羽守にも内1通届けてほし事等	〔端裏紙〕 〔〇四月十二日〕
G-9-6-3	〔礼事二付書付書状〕	年末詳 4. 15	横切紙	1通	池田言農守名代福原内匠	〔端裏紙〕 〔〇四月十五日〕 〔端裏書〕 〔辰四月十五日 松平右京大夫三阿弥ヲ以西井飛騨江渡候御書付写〇〇〇大目付御〕

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-9-6-4	筒井大和守宛池田筑後守書状	年末詳 4. 14	横漉紙	1通	紅葉山参詣付、松平彦路守が参勤の礼が済み、17日ご行列を務める事ができるのなら西丸へ組入の事、詰番姓名書について等	目付江 (端裏紙) 「○辰四月十四日」
G-9-6-5	筒井大和守宛松平備前守書状	年末詳 6. 24	横漉紙	1通	和田倉番所の勤番交代について	包紙あり
G-9-6-6	三留文治・青木文左衛門宛秋田与一左衛門書状	年末詳 6. 24	横漉紙	1通	弾正少弼実母死去の忌服について	
G-9-6-7	御用人中宛笠惣右衛門書状	年末詳 6. 22	横切紙	1通	荒之助が召出された事を知らせる 大久保荒之助内向笠惣右衛門一筒井大和守内用人中	
G-9-6-8	筒井大和守宛沼田守書状	年末詳 5. 28	横漉紙	1通	鎮目牧太・小野浅之丞病気の為先達而指出した鉄砲帳の内から2名の名前を除いてくれるようことの事	
G-9-6-9	筒井大和守宛池田筑後守書状	年末詳 4. 13	横漉紙	1通	表廻りが済み方注衆の出した書付1通落手の通知 明日の月次之講釈の件	包紙あり
G-9-6-10	参勤・御目見等氏名書上	(宝暦0) 4. 15	横漉紙	1通	黒書宛にて	
G-9-6-11	筒井大和守宛久世長門守書状	年末詳 5. 21	横切紙	1通	堀田相模守から書付写式通は19日留守居が受取り承知した旨を知らせる	
G-9-6-12	筒井大和守宛黒田大和守書状	年末詳 3. 26	横漉紙	1通	足庸の為夏中も折々足袋の使用を松平周防守へ願出 許可された旨の報告	
G-9-6-13	筒井大和守宛内藤大和守書状	年末詳 6. 9	横漉紙	1通	足庸の為夏中も折々足袋の使用を用番左衛門へ願出 許可された旨の報告	
G-9-7	筒井大和守宛書状・触書写等一括り]			1括り [10通		一括り・G-9-7-1~9 (端裏書) 「大和守 筑後守 ○△正月廿八日」
G-9-7-1	大和守宛筑後守書状	(宝暦7以降) 正 28	横漉紙	1通	伊勢守より懸合の返事、高家衆供奉なき段の届の事について	
G-9-7-2	初御目見え付申達の事	宝暦0. 4. 15	横漉紙	1通	松平山之助初目見え時の礼について伺いの返事	(端裏紙) 「大和守殿 「四月十五日心得帳写筑後守殿より来り」
G-9-7-3	筑後守写の書付]			1纏め [2通		帯封一纏め・G-9-7-3-1~2 (端裏書) 「辰四月堀田相模守殿三阿弥を以渡候御書付筑後守請取之写 大目付江」 (端裏貼紙) 「○四月十四日」
G-9-7-3-1	表吏印付の事	宝暦0. 4. 14	横切紙	1通	藤野へ印付の事	
G-9-7-3-2	例月の御礼なきに付申触るべき事	宝暦0. 4. 14	横漉紙	1通		(端裏書) 「辰四月十四日松平右京大夫殿三阿弥を以御渡候書付筑後守請取之写 大目付江」
G-9-7-4	御目見御笠頂戴・小袖拜領の旨申越しにつき礼状	年末詳 正 11	横切紙	1通	尾張中納言宗勝→水野河内守	
G-9-7-5	端午の御祝儀進入の事	年末詳 4. 13	横切紙	1通	松平丹後宗教→水野河内守	
G-9-7-6	水野河内守宛松平阿波守宗鎮書状	年末詳 5. 25	横切紙	1通	宮上棟首尾よく済みめでたき事申達	
G-9-7-7	筒井大和守宛大井伊勢守書状	(宝暦9) 4. 8	横切紙	1通	日光伊勢登成誓志の由、用番・老中例刻登成承知の事	
G-9-7-8	大紋行列ご返状	年末詳 正 3	横漉紙	1通	大紋行列ご勤めるか否か尋ねる廻状 大目付一稀葉左渡守・松平織部正・森川紀伊守	
G-9-7-9	諸国堤川除式 損所等普請の儀ご触書	宝暦8. 12.	横漉紙	1通		包紙2枚あり、(外側包紙上書) 「宝暦八年寅十二月廿二日堀田相模守殿へ春阿弥を以以後大和守請取之写 来り廿五日惣触自分方四ノ帳御座候」 (内側包紙上書) 「寅十二月廿二日」

G-9-8	[水野可内守宛書状一括り]			1括り〔9通				相模守殿御慶賀御書付（端裏書）「大目付江」（付紙ますれ）「万石以上以下共老中支酒江可被申出候」 一括り・G-9-8-1~9
G-9-8-1	[水野可内守宛大木権正少弼保書状]	(寛延2~宝暦8) 4. 18	横折紙	1通	今度御暇下され置きに付、白銀巻物等拜領の事と国元到着の礼			
G-9-8-2	[水野可内守宛山石越前守政辰書状]	(寛延2~宝暦8) 5. 21	横折紙	1通	今度御暇下され置きに付、拜領物下賜の事、在拜到着に付御用使者差出の事			
G-9-8-3	[水野可内守宛上杉大炊頭書状]	(寛延2~宝暦8) 5. 4	横折紙	1通	上使首尾よく下され、御暇品々拜領の事、在拜到着につき老中へ礼申上の事			
G-9-8-4	[水野可内守宛松平阿波守宗鎮書状]	(寛延2~宝暦8) 5. 28	横折紙	1通	昨27日此の表御宮正遷宮今日供養首尾よく済んだ事の申達			
G-9-8-5	[水野可内守宛藤堂泉守高豊書状]	(寛延2~宝暦8) 5. 7	横折紙	1通	首尾よく御暇下され拜領物下賜の事と国許到着の礼			
G-9-8-6	[水野可内守宛秋月佐渡守書状]	(寛延2~宝暦8) 5. 10	横折紙	1通	在拜への御暇下され置きに付、白銀巻物頂戴の事と在拜到着の礼			
G-9-8-7	[水野可内守宛井伊掃部頭直定書状]	(寛延2~宝暦8) 4. 7	横折紙	1通				
G-9-8-8	[水野可内守宛稲葉右京亮泰通書状]	(寛延2~宝暦8) 5. 18	横折紙	1通	御暇下され、拜領物下賜の事、在拜到着の礼			
G-9-8-9	[水野可内守宛紀伊大納言宗直書状]	(寛延2~宝暦8) 2. 16	横折紙	1通	大納言抱倉決然の祝儀の能すみ目出度儀申達の事			
G-9-9	[書状他等]			1括り〔16通〔1枚				一括り・G-9-9-1~17
G-9-9-1	[水野可内守宛本多丹後守書状]	(寛延2~宝暦8) 5. 21	横折紙	1通	暇及び拜領物への礼と在拜への到着報告			
G-9-9-2	[神尾備前守・大井伊勢守・池田筑後守・稲垣出羽守宛筒井和守書状]	年末詳 4. 20	横折紙	1通	上野・大蔵院外の霊前参詣を終えた報告廻状			包紙あり
G-9-9-3	[三角文治・青木文左衛門宛石田喜右衛門・岡田忠宮書状]	年末詳 6. 22	横折紙	1通	半左衛門登城について			
G-9-9-4	[水野可内守宛板倉撰筆守書状]	(寛延2~宝暦8) 5. 15	横折紙	1通	御暇及び拜領物への礼と在着の報告			
G-9-9-5	[水野可内守宛阿部伊予守書状]	(寛延2~宝暦8) 4. 27	横折紙	1通	献上の残の御杖筵3枚の添状			
G-9-9-6	[筒井大和守宛池田筑後守書状]	年末詳 2. 18	横折紙	1通	出羽守よりの紙副頂戴添状			
G-9-9-7	[申渡書]	年月日未詳	横折紙	1通	養子の件についてカ 松平式部大輔跡			(端裏書)「宅 申渡 右京大夫申渡老中列座」 松平式部大輔跡・松平菫梅由の氏名あり 虫貫あり
G-9-9-8	[筒井大和守宛池田筑後守書状]	年末詳 7. 22	横折紙	1通	信濃守の拜領物の間違いについて			
G-9-9-9	[筒井大和守宛大井伊勢守書状]	年末詳 10. 9	横折紙	1通	御次第書ができれば此者を携させてくれるようにこの事			
G-9-9-10	[紙目ますれ]	年末詳 4. 21		1枚				5.7×1.2(cm) 「○四月廿一日」
G-9-9-11	[おきく宛十左衛門書状]	年末詳 12. 13	横折紙	1通	倉敷から大坂・京への船旅の様子のお知らせ			(端裏書)「お喜久との用事竹屋二而十左衛門」
G-9-9-12	[守屋三郎宛守屋十左衛門書状]	年末詳 4. 12	横折紙	1通	奉行所へ出訴の積で逗留していた旅先からの帰国の予定を知らせるとの事			
G-9-9-13	[筒井大和守宛池田筑後守書状]	年末詳 10. 26	横折紙	1通	今日月並の御列座のあった事、酒井左衛門尉・亀井能登守よりの手覚札2枚について、その他等			包紙あり

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-9-9-14	〔筒井大和守・御用人中宛木下大藏内杉原宗左衛門書状〕	〔宝暦7以降〕 3.	横漣紙	1通	出火見舞いに対する礼状	〔端裏書〕 〔筒井大和守様御用人中様 木下大藏内杉原宗左衛門〕
G-9-9-15	〔役替及び巡見使氏名書上〕	〔宝暦0〕 6. 23	横漣紙	1通		〔端裏紙〕 「〇六月廿三日」
G-9-9-16	〔遺言目録印渡之事〕	〔宝暦0〕 6. 24	横漣紙	1通	上使西井孫平松平大膳太夫一備前守松平熊次郎名代松平織部正	〔端裏紙〕 「〇六月廿四日」
G-9-9-17	〔筒井大和守宛他田筑後守書状〕	年未詳 6. 24	横漣紙	1通	松平熊次郎・松平安房守手覚札こつて 將軍宣下二付申達の件こつて、その他等	包紙あり
G-10	〔書状一括〕			1括り 〔45通 〔仮1冊		袋内・G-10-1~3 (袋表書) 〔啓 十左衛門 きく宛私信 旅よりのもの きん おとし歌 紙紐一括り・G-10-1-1~21
G-10-1	〔書状一括〕			1括り 〔20通 〔仮1冊		
G-10-1-1	〔守屋重左衛門宛十左衛門書状〕	天明3. 8. ~10. 25	横漣紙	1通	氏宮1件こつて	〔端裏書〕 〔氏宮一件二付江戸表へ遣し候書状也〕
G-10-1-2	〔金高書上〕	年月日未詳	縦紙	1通	勇崎兵衛三藏・金10両等	
G-10-1-3	御積り書	年未詳 7. 2	横漣紙	1通	神輿金物壹式・尾張屋勘助一山本	
G-10-1-4	覚	年未詳 5. 16	横漣紙	1通	神輿根惣ノみろばん金物壹式等代金書上・尾張屋勘助一山本	
G-10-1-5	〔書類書上〕	文久元 ~万延2.	横刃切	1通	文久元年岡本旅宿日記他	
G-10-1-6	養父母宮雁木	年月日未詳	横刃切	1通	下雁木2段、190匁他	
G-10-1-7	覚	年月日未詳	横刃切	1通	人別賃金書上カ	後欠
G-10-1-8	〔守屋勝太郎宛おみや四郎書状〕	年未詳 11. 1	横漣紙	1通	除障薬4人分こつて	虫貫あり
G-10-1-9	〔守屋勝太郎宛守屋徳太郎書状〕	年未詳 正 19	横漣紙	1通	代官御越の先触到来こつて、勤すべしとの淀屋七助からの来状こつて	〔端裏書〕 〔代官御越先触〕
G-10-1-10	〔書状〕	年未詳 4. 20	横刃紙	1通	見舞の礼	
G-10-1-11	〔守屋重左衛門宛吉田可平書状〕	年未詳 4. 10	横漣紙	1通		〔包紙上書〕 〔守屋重左衛門様吉田可平 費用書〕
G-10-1-12	乍恐以書付奉願上候	丑 10.	横漣紙	1通	浅口郡惣代庄屋は勇崎兵衛庄屋と乙島村庄屋が勤めてきたが、当年より2ヶ月順番に庄屋1人、年寄1人で勤めたい旨乙島村庄屋兩人外一倉敷役所 調願 寿次郎・孫兵衛一浅口郡村々役人中	
G-10-1-13	〔守屋重左衛門宛本覚寺隠居急用状〕	年月未詳 16	横漣紙	1通	御両者様へ内談申上げたき事こつて	継ぎ目がはずれている
G-10-1-14	〔守屋勝太郎宛安原山左衛門書状〕	年未詳 10. 2	横漣紙	1通	養子こつて・流作場1件こつて他	
G-10-1-15	〔漢文〕	年月日未詳	縦紙	1通	薄也広書	
G-10-1-16	〔備中国浅口郡乙島西之浦前海面新開場の規定〕	年月日未詳	縦紙	1通	請負人弥平次并銀主歩方再談之上規定	
G-10-1-17	〔筒井大和守宛高主書状〕	年月日未詳	横刃紙	1通	褒美拜領の礼	虫貫あり
G-10-1-18	覚	年未詳 6. 26	横刃紙	1通	大和守出こつて、半紙・筆等持参願 大和守家来申宛	
G-10-1-19	〔年貢差引簿〕	辰 12. 25	美・横長	仮1冊	宝暦2年申より子迄5ヶ年之年貢差引并未申兩年之屋島庄屋文右衛門等分差引之事 十左衛門・伝次郎一庄屋文右衛門乙島村兵衛四郎兵衛死去一歩跡継ぎこつて	〔端裏書〕 〔先庄屋久右衛門重左衛門 差引書〕
G-10-1-20	〔屋葺富太郎・中原健藏書状〕	年未詳 正	横漣紙	1通		
G-10-1-21	〔帳面書上〕	寛政元 ~天明7.	横刃切	1通	寛政元年御巡見將番州開合覚出外	
G-10-2	〔書状一括〕			1括り 〔25通		紙紐一括り・G-10-2-1~23
G-10-2-1	〔書状〕	年月日未詳	横刃紙	1通		虫貫あり
G-10-2-2	〔おきく宛十左衛門書状〕	年未詳 2. 14	横漣紙	1通	江戸に居るが金がなひ 皆も金がなひと欲	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-10-2-3	〔守屋平三郎外二名宛守屋十左衛門書状〕	寛政4. 閏2. 20	横漣紙	1通	しかるものばかり、江戸からの近兄報告 長々と滞留し、入用が多かかっている 事等近兄報告	
G-10-2-4	おきくとのへ	年月日未詳	横漣紙	1通	俳句の写	
G-10-2-5	〔お喜久宛守屋十左衛門書状〕	閏2. 20	横漣紙	1通	長々滞留いたし候程入用多かかぬなど 近兄報告	〔袖裏書〕「喜久 三月廿一日 とどき申候
G-10-2-6	〔おきく宛十左衛門書状〕	年月未詳 20	横漣紙	1通	箱根さんの薬の効用等 薬を送付	
G-10-2-7	〔おきく宛十左衛門書状〕	年末詳 2. 25	横漣紙	1通	亀之丞の事等	
G-10-2-8	〔おとね宛うた書状〕	年末詳 9. 10	横漣紙	1通	近兄報告	
G-10-2-9	〔守屋左平宛四郎右衛門書状〕	年末詳 3. 20	横漣紙	1通	円乗院1件・薬・玉島基会こつて	
G-10-2-10	〔おきく宛十左衛門書状〕	年末詳 4. 28	横漣紙	1通	帰国延期こて	
G-10-2-11	〔左平宛きく書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	甚内1件こつて	
G-10-2-12	〔守屋左平次宛猪狩新五郎書状〕	年末詳 6. 15	横漣紙	1通	音言・書状の札 3、8の日勤務外は休 日在宅尋ねられたし事	〔袖裏書〕「左平次様 猪狩新 五郎」 G-10-2-23と関係ありカ、或 いはその翌年また江戸へ向かっ たカ、別の書状に同封されたも のカ
G-10-2-13	〔守屋十九郎・お喜久・平三郎宛守屋十左衛門覚書〕	年月日未詳	横切紙	1通	十左衛門・留守中の心得	前欠、江戸からの書状、死者も 十左衛門との関係も不明、死者 は平八カ、G-10-2-18 と関係 ありカ
G-10-2-14	〔守屋系太夫宛守屋十左衛門書状〕	年末詳 2. 25	横漣紙	1通	公事出府道中、関係者死亡・江戸着の上 、死去と取繕うつもりのところ不心得な 国許の増か倉敷轉屋の間くところとなり 謗言も影響がと心配の事	江戸で医者をしていられる乙島の家 族へ近兄と在京の心境を返言
G-10-2-15	〔守屋忠藏宛守屋茲書状〕	年末詳 3. 15	横漣紙	1通		「十九郎へ印籠を」とあり、 「忠藏」は或いは「十九郎」カ 「茲」は或いは「十左衛門」 の事カ G-10-2-17と関係ありカ
G-10-2-16	〔守屋左平宛きん書状〕	年末詳 正 8 ～3. 21	横漣紙	1通	近兄報告・帰郷の掛 正月8日發左平 治の書状への返事	
G-10-2-17	〔守屋左平宛きん書状〕	年末詳 3. 21 ～4. 26	横切紙	1通	3月21日出し4月26日届二通之内と異筆 あり、その他寫事なし	「きん」は「きく」カ
G-10-2-18	〔守屋平三郎・同孫太郎・同十九郎・おきく宛守屋十左衛門 手紙〕	子 正 15	横漣紙	1通	昨年2月6日倉敷發足、同5日草津で同 行平八不舟2月20日昼四日市宿で死去、 同所仏生院へ葬る、十左衛門は21日昼出 立、29日江戸着大晦日火事、代官屋敷焼 失、廻米一番船は2月22日着岸米納方算調 、2番船未着、浅草前衛門代地老丁目へ 原屋藤吉方逗留中	〔袖裏書〕「平八旅中死亡のこ と 十左衛門」
G-10-2-19	〔書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	旅行先で守屋十九郎發病、経緯報告	後欠 差出人・名宛人不明 虫 損あり
G-10-2-20	〔守屋十九郎内おきく宛守屋十左衛門書状〕	年月日未詳	横漣紙	1通	江戸廻米こ上乘・逗留先より近兄報告	〔包紙上書〕「乙島こて 守屋 十九郎殿 同十左衛門急用」 〔包紙裏書〕「三月十一日江戸 浅草蔵前衛門老丁目中代地 江原屋藤吉より」
G-10-2-21	〔守屋おきく宛守屋十左衛門書状〕	年末詳 3. 27	横切紙	1通	江戸廻米・河岸替先未定・帰国延期の件	〔包紙上書〕「備中乙島村二而 守屋十九郎殿急要用書 三月廿 七日報四月十六日とどき候し異 筆 自江戸浅草蔵前〇屋より早 々御届可被候下候 〔包紙裏 書〕「守屋十左衛門」

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-10-2-22	おぼえ	寅	縦切紙 縦漉紙	1通 1通	おぼへ4月13日守屋十九郎急用にて文明啓と玉島出船7日大坂着8日までの記録用向不明 おきくへ申入る文 4月14日与島で風待中十左衛門家?きくへ頼明文公用で江戸へ向かう途中、倉敷陣屋で1日遅延・平三郎へ十九郎宛銀子を預け置く・江戸での連絡先・亀之丞に風邪を引かさないよう事	双方1枚づつ 用向も経過も不明
G-10-2-23	守屋十九郎・お喜久宛守屋十左衛門書状	年末詳 12. 6	横漉紙	1通	將軍直下の際の祝儀を藩主の格・知行高で書き上げた覚書	
G-10-3	大目付江（辰五月十七日堀田相模守殿春阿弥を以御度筑後守請取之 御書付写）	辰 5. 17	横漉紙	1通		
G-11	書状等一括			1括り 105通 〔6枚〕 〔6冊〕		SILティッシュでG-11-1-1～19 G-11-1-20～58 G-11-59～79を括っている
G-11-1	守屋重左衛門宛山本茂右書状			1包〔2通		包紙内・G-11-1-1～2
G-11-1-1	〔山本茂右宛山本嘉介書状〕	年末詳 7. 30	横漉紙	1通	神号の件	
G-11-1-2	守屋重左衛門宛山本茂右書状	年末詳 8. 1	横漉紙	1通	神事の件	
G-11-2	守屋十左衛門宛お喜久書状	年末詳 12. 2	横切紙	1通	一刻も早く下りくださるよう伝言の事	
G-11-3	〔おきく・亀之丞宛守屋お喜久書状〕	寅 4. 23	横漉紙	1通	文八船の件	
G-11-4	守屋勝太郎宛ささや四郎左衛門書状	年末詳 正 24	横漉紙	1通	近々築く場所の件ご付1件	〔包紙上書〕 守屋勝太郎宛笹倉屋勘右衛門書簡
G-11-5	書状類			1括り 53通 〔1枚〕		
G-11-5-1	守屋とうし宛まつ書状	年月日未詳	横切紙	1通	婚礼首尾よく調う事等近兄伺い	紙紐一括り・G-11-1-6 虫損あり
G-11-5-2	守屋婦もし宛まつ書状包紙	年月日未詳	縦切紙	1枚		
G-11-5-3	坂本吉兵衛宛守屋勝太郎母書状	年末詳 4	横切紙	1通		破損甚し
G-11-5-4	守屋勝太郎婦もし宛松田英右衛門内書状	年末詳 9.	横切紙	1通		破損甚し
G-11-5-5	〔某書状〕	年末詳 3.	横切紙	1通	贈答札	破損甚し
G-11-5-6	守屋小照宛某書状	年末詳 1.	横切紙	1通	鐘辨札	
G-11-6	職人日雇銭并諸品値段ごついて	年月日未詳	横切紙	1通		前次
G-11-7	包紙	年月日未詳		1枚	其印宛伊勢入道・具野	
G-11-8	安永七戊御年算用書請取	戊 3.	横漉紙	1通	庄屋氏右衛門宛作成した重左衛門宛河有する持高に対する年算請取覚	
G-11-9	〔申年か卯年まで年貢皆済書付〕	申 ～卯	横漉紙	1通		
G-11-10	〔倉庫繰り通達〕	〔明治2〕 2.	横漉紙	1通	障害者や重病人のいる家へ援助金を与える旨の通達	前次
G-11-11	〔名代人書上〕	年月日未詳	横漉紙	1通		
G-11-12	〔乙島村庄屋十左衛門宛一島書状〕	年末詳 12. 6	横漉紙	1通	着用箆ご付、助指頼の事	
G-11-13	〔江原村恒重の由来書き〕	年月日未詳	縦紙	1通		
G-11-14	守屋左平次宛守屋太平台書状	年末詳 3. 19	横漉紙	1通	其内俗人として神事執行せり、官ノ浦出入地改等ごつて	包紙あり
G-11-15	守屋重左衛門・勝太郎宛中林八衛門書状	年末詳 正 22	横切紙	1通	息女婚礼の件ご付	包紙あり
G-11-16	守屋勝太郎宛大月嘉右衛門書状	明治8. 2. 26	横漉紙	1通	大月嘉右衛門宛守屋勝太郎の亡父重左衛門へ貸した金銀等の証文を済口にするというもの	包紙あり 〔封筒表書〕 明治初年 手紙 勝太郎
G-11-17	〔入用書上〕	戊 正 晦日	半・横長	1冊		
G-11-18	〔瘡を算ごて落す術外病気治療書上〕	年月日未詳	横漉紙	1通		虫損あり 継ぎ目がよぼれている所あり
G-11-19	〔御奏者番衆外役職者書上〕	年月日未詳	横切紙	1通	14名	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-11-20	覚（茶道具戻度）	子. 11. 24	横折紙	1通	守屋云娘宛・同英三郎	
G-11-21	覚	年月日未詳	1袋〔1通		村井家・松田家家人数等書上	（封筒表書） 縁紙約書 家人数等 村井 松田
G-11-22	〔御定書〕	年月日未詳	横漉紙	1通	宗門人別帳差出之事、鉄砲正文差出之事外	
G-11-23	〔守屋勝太郎宛小口進一郎書状〕	年末詳 8. 25	横漉紙	1通	名香贈答の礼状	包紙あり
G-11-24	〔守屋重左衛門外三名宛守屋啓書状〕	年末詳 4. 20	横漉紙	1通	乙島村住屋守屋重左衛門の病氣による退役ごあたり、分家筋から提出された跡目候補者但し書	
G-11-25	〔お菊宛守屋啓書状〕	寅 4. 19	横漉紙	1通	薬服用の件ご付、外1件	
G-11-26	いきやうくわとうく	年末詳 6. 6	横漉紙	1通	なべ・かま等茶道具書付	
G-11-27	覚（銀子請取）	年末詳 9. 6	横漉紙	1通	与八郎・与四衛門→千右衛門	虫貫あり
G-11-28	庵・諸道具	年月日未詳	横折紙	1通	本尊釈迦尊像外	
G-11-29	覚	年末詳 8. 27	横漉紙	1通	松板4間分等の代銀書上 正四右衛門→仙右衛門	
G-11-30	〔用紙〕	年月日未詳	横漉紙	1通	白紙	
G-11-31	〔書状〕	年末詳 6. 16	横切小切	1通	重箱を1つ持って来るようにこの事	
G-11-32	〔文治・文左衛門郡太・谷篤書状〕	年末詳 6. 16	横切小切	1通	迎への時間を早くして欲しいとの事	
G-11-33	〔南都大乗院門主宛守屋左平次書状〕	年月日未詳	包紙	1枚		36.2×26.2(cm) 包紙のみ
G-11-34	〔守屋勝太郎宛中原健藏書状〕	年末詳 9. 18	1袋〔1通		新開地管理について繰合せをもって取りかかるとの事	封筒入り
G-11-35	〔書状類〕		2袋			封筒内・G-11-35-1-1~3 封筒内・G-11-35-2-1~9の2 封筒を1括りしている
G-11-35-1	〔備中浅口郡乙島村守屋徳太郎宛兵庫廻坂本裏三書状類〕		1袋			封筒内・G-11-35-1-1 ~3 封筒ご宛名と共にスタンプで「明治5年1月23日」とあり
G-11-35-1-1	〔守屋徳太郎宛坂本裏書状〕	年末詳 1. 14	横漉紙	1通	続續朱式募集の件	
G-11-35-1-2	〔書状類〕	年末詳 1. 22	横漉紙	1通		
G-11-35-1-3	〔備中浅口郡乙島村守屋勝太郎宛兵庫廻坂本裏三葉書〕	明治5. 1. 24	1枚		帰宅予定の連絡	14.0×9.0(cm)
G-11-35-2	〔備中浅口郡乙島村守屋徳太郎宛神戸市兵庫廻坂本裏三書状〕		1袋			封筒内・G-11-35-2-1~9 封筒ごスタンプで「明治5年2月4日」とあり
G-11-35-2-1	〔守屋徳太郎宛坂本裏三書状〕	年末詳 2. 3	横漉紙	1通	工事請負契約の件	
G-11-35-2 2	〔書状〕	年月日未詳	横折紙	1通		前次
G-11-35-2 3	〔窪屋郡万寿村大字富久堀宿領内等の住所書上〕	年月日未詳	横折紙	1通		
G-11-35-2 4	〔書状〕	年末詳 2. 4	横折紙	1通		朝日新聞の木録紙を用いてかかれている
G-11-35-2 5	〔名前等書上〕	年月日未詳	横折紙	1通		
G-11-35-2 6	〔坂本裏三往所〕	年月日未詳	横折紙	1通		
G-11-35-2 7	〔備中浅口郡乙島村守屋徳太郎宛兵庫廻坂本裏三書状〕	明治5. 2. 5	1枚		送金の件	14.0×9.0(cm)
G-11-35-2 8	〔浅口郡乙島村守屋徳太郎宛小田郡笠置町大字富岡坂本白緑書状〕	年末詳 12. 17	1枚		送金の件	14.0×9.0(cm) スタンプによると、「明治5年1月16日」とあり
G-11-35-2 9	〔守屋徳太郎宛馬越太郎書状〕	明治5. 1. 26	1枚		中村氏来訪の件	
G-11-36	〔安永七年神田・山守地に関する年貢算用請取類〕		1括り〔3通			紙冊1括り・G-11-36-1~3
G-11-36-1	安永七戌御年貢算用請取	〔安政7〕 3.	横折紙	1通	庄屋民右衛門記（神田）	
G-11-36-2	安永七戌御年貢算用請取	〔安政7〕 3.	横折紙	1通	庄屋民右衛門（山守地）	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-11-36-3	〔安永七戌年算用韻紙置申事〕	享保9. ~安永7.	横切紙	1通	享保9年より安永7年まで、神田・山守地が注屋民右衛門の預り地となるまでの子細書	
G-11-37	〔守屋左平宛左藤言書状〕	年末詳 5. 14	横巻紙	1通	内済の大豊成就の上松島へ同道致したきとの事	包紙あり 虫損あり 継ぎ目のはずれている
G-11-38	〔守屋左平宛吉田嘉兵衛書状〕	年末詳 11. 21	横巻紙	1通	早島新田の件の外大坂金用会所等の件こ付4件	包紙あり
G-11-39	〔守屋左平宛中根五右衛門書状〕	年末詳 12. 20	横巻紙	1通	添手細時参の件	〔包紙上書〕〔守屋左平次様中根五右衛門 小天満三丁目伊勢屋伊右衛門宅ニ而用事〕
G-11-40	奥州相馬にて簡儀之事	年月日未詳	横巻紙	1通	豊後之国森之城主久留嶋言農守家来左々木清十郎19歳	
G-11-41	覚（申別六文式分受取）	年月日未詳	半・横半折	1冊		
G-11-42	覚（金子納入書付）	年月日未詳	横切紙	1通	金子納入覚 乙島村	
G-11-43	覚（郡中銀受取）	午 正 3	縦切紙	1通		
G-11-44	〔覚〕	巳 2. 15	横切小切	1通	乙島村納倉敷県役所	
G-11-45	対州より由来候藤原兵乱注進書略写	年月日未詳	横切紙	1通		
G-11-46	〔国津くしの総覧〕	安永7. 7. 27	横巻紙	1通	全国郡中総覧 慶長9年3月の写を安永7年7月27日こ写す	
G-11-47	〔薬製号書付〕	年月日未詳	横巻紙	1通		虫損あり
G-11-48	〔蹴鞠心得書付〕	戌 3. 5	横巻紙	1通		
G-11-49	〔浅草陣左衛門長吏職下番付〕	年月日未詳	横切紙	1通		包紙あり
G-11-50	〔守屋勝太郎宛中藤又三郎書状〕	年末詳 正 12	横巻紙	1通	江戸表より出役が来られた時、見舞申し上げるはずが逆に面倒をかけたしまった事に対する詫	
G-11-51	〔守屋重左衛門宛長谷川用代中嶋周兵衛書状〕	年末詳 9. 28	横巻紙	1通	先達で依頼の銀子手形替渡し下されたき事等	
G-11-52	〔倉敷町田治六様乙島村百姓代長茂外二名書状〕	〔明治元〕 12.	横巻紙	1通	当年違作の為、年貢難儀の様子廻れこ付 勤願 乙島村百姓代年貢太郎太郎代兼・庄屋見習英三郎一倉敷郷田治六	
G-11-53	〔代替わりの際の祝儀こ付〕	年末詳 6. 14	横巻紙	1通		
G-11-54	松平大隅守が御長并家来大勢所持出候旨達上聞以書付可為如是	年月日未詳	横巻紙	1通		
G-11-55	〔天子即位の儀こ付書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	受単の際こおける侍従や撰改等の役書こ付	
G-11-56	〔仙間歳三十一崩御〕	年月日未詳	横切紙	1通	御典薬寮歌書付 生駒甚竹外3名	
G-11-57	〔守屋左平次宛宮田治部右衛門書状〕			1括り〔3通		紙紐括り・G-11-57-1~3
G-11-57-1	〔守屋左平次宛宮田治部右衛門書状〕	年末詳 2. 11	横巻紙	1通	度々入来も、主人当番こてお目に掛れず申し訳なしとの事	
G-11-57-2	〔守屋左平次宛宮田治部右衛門書状〕	年末詳 5. 8	横切紙	1通	嘉兵衛頼みの屏風外ニ墨跡三つ指上る事他	
G-11-57-3	〔守屋左平次宛宮田治部右衛門書状〕	年末詳 3. 8	横切紙	1通	先月末よりの約束こもかみわらず到来なき事	包紙あり
G-11-58	〔守屋左平次宛左藤長次兵衛書状〕	年末詳 4. 25	横切紙	1通	約束の鱈魚上の外	〔包紙上書〕〔江戸小伝馬祝石城守屋左平次様 佐藤長次兵衛〕
G-11-59	〔書類〕			1括り〔14通		紙紐括り・G-11-59-1~14
G-11-59-1	〔諸帳面書付〕	年月日未詳	縦切紙	1通	明和5年御普請下目論見帳から万延元年流作場1件日記まで12冊	
G-11-59-2	野帳	安政4. 5.	半・横半折	1冊	伊六小屋より	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-11-59-3	覚（金子勘定）	年末詳 2.	横切紙	1通	亥2月15日 谷藏分金25両 甲子2月朔日改	
G-11-59-4	覚（金子勘定）	亥 3. 17	横切紙	1通	亥3月29日勝太部分金5拾両外	
G-11-59-5	覚（銀勘定）	年末詳 12. 晦日	横切紙	1通	寅藏稻村行小遣5匁度残之分小札3匁外	
G-11-59-6	覚（金子勘定）	年月日未詳	横切紙	1通	元銀40目拜替銀・利銀1貫137匁2分	
G-11-59-7	野帳	年月日未詳	半・横半折	1冊	老・大松長5間から60まで	
G-11-59-8	覚（代銀書付）	年末詳 4. 晦日	横切紙	1通	平瓦950枚外 八田六郎兵衛→乙島村庄屋	
G-11-59-9	〔箱寸法書〕	年月日未詳	横漉紙	1通		虫損あり
G-11-59-10	〔両社日参筒月々取集ご付書付〕	年末詳 5. 晦日	横切紙	1通		
G-11-59-11	〔午七月廿日大当番等書付〕	午 7. 20	横漉紙	1通		
G-11-59-12	〔矢出山分受取銀書付〕	辰 12. 20	横切紙	1通	世話人千之助	虫損あり
G-11-59-13	〔白木綿吉文等書付〕	年月日未詳	横切紙	1通		
G-11-59-14	文化元年子数宮入用覚帳 世話人伝次郎	年月日未詳	半・横半折	1冊		後欠
G-11-60	覚	申 3.	横漉紙	1通	村内新開地ご付日限延期の願外 大坂屋正左衛門→乙島村庄屋	
G-11-61	〔山村小藤太書状〕	年末詳 12. 晦日	横漉紙	1通	久保田九左衛門よりの廻状と樋口源左衛門よりのもの写し留める事 山本小藤太→三口治	虫損甚し
G-11-62	安永七戌御年貢算用書取	（安永8） 3.	横漉紙	1通	庄屋民右衛門	
G-11-63	覚	天明7. 4. 晦日	横切紙	1通	3ヶ年分金子相渡すの事 備中浅口郡乙島村庄屋守屋重左衛門	虫損あり
G-11-64	四月廿五日夜ハツ時一越後高田大地震之事	年末詳 4. 25	横切紙	1通	越後より飛脚出来ご付、被害状況書上	
G-11-65	〔廻文こつゝての書留〕	年末詳 2. 20	横漉紙	1通		
G-11-66	〔守屋重左衛門・勝太郎宛山本茂右書状〕	年末詳 12. 10	横漉紙	1通	神輿の祝儀受取ご対する礼 額や文字の出来こつゝての報告	
G-11-67	〔預り銀書上〕	年月日未詳	横漉紙	1通		
G-11-68	〔庄屋九左衛門分年貢書取通〕	享保9～寛保2.	横漉紙	1通		（端裏書）「享保十九寅より寛保式戌迄山領年貢通亥八月五日來り」
G-11-69	覚（年貢算用書付）	亥 4. 3	横漉紙	1通	御年貢未付算用詰73匁6分1厘分	
G-11-70	覚（麦安相度分）	午 7. 9	横切紙	1通	守屋龜之丞→守屋十九郎	
G-11-71	覚	午 6. 1	横漉紙	1通	のふた与四郎作り分麦安1斗5升外 守屋平三郎→守屋伝次郎	
G-11-72	〔取替銀算用書付〕	年月日未詳	半・横半折	1冊	文政2年2月預り手形入1貫目から安政4年2月晦日流作1件入用まで	
G-11-73	覚（拾五匁受取）	年末詳 11. 17	横切紙	1通	八田屋甚吉→守屋又大夫	
G-11-74	覚（受取銀書付）	年月日未詳	横漉紙	1通	吉郎 15匁外	
G-11-75	〔守屋又大夫宛松田久右衛門用状〕	年末詳 8. 5	横漉紙	1通	午年年貢立替えこつゝて	
G-11-76	享保五子御年貢受取覚 玉島村庄屋市太夫	享保5.	横漉紙	1通	玉島村庄屋治左衛門が作成した又大夫が所有する高6石9斗4升ご対する年貢受取覚	
G-11-77	覚（頼母子講銀算用）	年末詳 8. 5	横漉紙	1通	午年水門三ノせき入用并かり又入用わり九右三口末7日元り82匁9分2厘9毛分	
G-11-78	享保六丑御年貢覚 玉島村庄屋治左衛門	享保6.	横漉紙	1通	玉島村庄屋治左衛門が作成した又大夫の所有する高6石9斗4升ご対する年貢覚	
G-11-79	享保五子御年貢覚 玉島村庄屋治左衛門	享保5.	横切紙	1通	治右衛門が作成した又大夫の年貢覚書	
G-12	〔覚・書状類〕			1纏め 91通		一纏め・G-12-1～111 S I Lティッシュで包む

G-12-1	〔書状類〕				[21綴] [18枚] [10冊] [1袋] 1袋 [6通]		袋内・G-12-1~6 (包紙上書) [未宗門送來] 銀子書上を包紙で転用
G-12-1-1	覚	安政6. 2.	豎切紙	1通	乙島勘治郎娘しげ、中島村彦次郎卒七三郎の妻ひなるに際して中島村人別に秘かに入り事 中島村庄屋五左衛門→浅口郡乙島村庄屋勝太郎・同見習英三郎		
G-12-1-2	宗門送手形之事	安政6. 2.	豎紙	1通	代官田中庄太郎支配 阿賀崎新田村通善兵衛娘よつ事宗門について 玉島村清勝寺→浅口郡乙島村円乘院		
G-12-1-3	宗門送り手形之事	安政6. 2.	豎継紙	1通	阿賀崎新田村よつ乙島村与市養女縁組に付、宗門手形 玉島村清勝寺→乙島村庄屋勝太郎・庄屋見習英三郎 (奥書) 阿賀崎新田村庄屋安八郎→乙島村庄屋勝太郎・庄屋見習英三郎		
G-12-1-4	宗門放手形之事			1包 [2通]			包紙内・G-12-1-4-1~2 (包紙上書) [宗門放手形之事 二札]
G-12-1-4-1	宗門放手形之事 (板倉撰津守領分小田郡東三成村乙島村稗寅吉が乙島勘七の養子ひなる事について)	安政6. 2.	豎継紙	1通	小田郡横谷村阿公寺→浅口郡乙島村円乘寺 (人別送書) 板倉撰津守領分小田郡東三成村庄屋赤松元太郎→乙島村庄屋勝太郎同見習英三郎		
G-12-1-4-2	宗門放手形之事 (東三成村乙島村稗寅吉が乙島勘七の養子ひなる事について)	安政6. 2.	豎切紙	1通	板倉撰津守領分小田郡横谷村阿公寺→円乘院		
G-12-1-5	覚	安政6. 2.	豎切紙	1通	乙島村源四郎つねが安五郎作藏の妻となる際勇崎村人別に力入し事 浅口郡勇崎村庄屋又三郎→浅口郡乙島村庄屋勝太郎・同見習英三郎		
G-12-1-6	覚 (乙島幾五郎娘おのが吉の妻ひなる際の人別受取書)	安政6. 5.	豎切紙	1通	山崎主税助領分浅口郡連島西浦庄屋三宅直吉・他予中代判年寄良平→田中庄次郎御代官所 浅口郡乙島村庄屋勝太郎	(包紙上書) 「人別受取書 老通	
G-12-2	〔乙島村庄屋重左衛門宛倉敷役所書状〕	午. 3. 18	横切紙	1通	申請義ある為、20日に来るべし事	(包紙上書) 「倉敷書付御役所	
G-12-3	〔乙島村庄屋勝太郎宛倉敷役所書状〕	午. 9. 19	横継紙	1通	時之助又大夫拜借貸付の儀に検見次第の通りにすべきの件	(包紙上書) 「倉敷書付御役所 乙島村勝太郎	
G-12-4	〔覚〕	年月日未詳	横切紙	1通	戴未半拾両外、覚書		
G-12-5	弘化三丙午御年貢未進書出し帳 乙島村	弘化3. 2.	半・横長	1冊			
G-12-6	〔庄屋勝太郎宛詰番吉三郎書状〕	年月未詳 19~20	横継紙	1通	廻封御出願について天候回復まで待機するよう指示	3枚別れている	
G-12-7	〔庄屋勝太郎宛吉田惣五郎・大森彦太郎書簡及び両人守屋勝太郎返書〕	年末詳 12. 3	横切紙	1通	各町反別絵又面借願についてとそれに対する返書		
G-12-8	〔書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	家の繁栄を願う	宛名・差出人なし 後欠 継ぎ目が見られている	
G-12-9	郡中村々入費取締役規則	未 正	半・豎	仮1冊	年貢米金并ひ村入用夫錢帳等を取調べ (奥書) 印形の上、斤へ差し出す事外 4条 浅口郡上房町取締役		
G-12-10	〔上世語〕			1括り [2通]		G-12-1~2 を内包	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-12-10-1	〔世評覚〕	年末詳 11. 23	横巻紙	1通	友蔵・長介・長蔵・曾右衛門4人	
G-12-10-2	〔預り銀覚〕	年月日未詳	横巻紙	1通	長介外15名分	途中から欠損
G-12-11	〔号・俗名書付〕	年月日未詳	横巻紙	1通	俗名阿部良平・廣江吉右衛門	瘦雨余符を同封 包紙あり
G-12-12	〔覚等〕			1括り〔6通〕		包紙あり・G-12-12-1~6 S ILティッシュで結んである
G-12-12-1	覚（銀子受取）	年末詳 6. 13	横巻紙	1通	油屋一稻吉丸喜与三郎	
G-12-12-2	覚（銀子書上）	子. 10. 26	横切紙	1通	芳次→庄屋	
G-12-12-3	〔断簡〕	年月日未詳	横切紙	1通	金相躰しとあり	
G-12-12-4	〔断簡〕	戊 8.	横切紙	1通	新田村→永田	
G-12-12-5	覚（銀子受取）	文久2. 2. 1	横切紙	1通	弥惣台（証人代吉）→守屋庄屋	
G-12-12-6	〔断簡〕	丑 6. 15	横切紙	1通	銀子書付	
G-12-13	覚（金子書上）	年月日未詳	横切紙	1通		
G-12-14	覚（村八用勘定）	年末詳 12. 15	横巻紙	1通	万蔵→役人	継ぎ目がはずれている所あり
G-12-15	宗門改手形之事	安政6, 正	縦紙	1通	馬五郎娘丸の勘吉の妻なるので、勘吉の旦那守に入る為の手形 備中下道部 有井村→備中下道部二万村 備中下道部 下二万金峰寺→浅口郡乙島村円瑠院	
G-12-16	差上申御筋之事	申 10. 22	横切紙	1通	百姓云三郎の吟味手鎖符真ついで 庄屋重左衛門→倉敷役所	
G-12-17	覚	年末詳 7. ~11.	横巻紙	1通	半紙等の請求書	継ぎ目が剥かれそうな所あり
G-12-18	本銭売渡申家屋敷地之事	宝永5. 12. 8	縦紙	1通	赤碓五兵衛・佐七郎→仙右衛門・証人六兵衛外2名	
G-12-19	願申書	年月日未詳	横巻紙	1通	守屋貞次右衛門外7名	後欠
G-12-20	〔書状〕	年末詳 4. 29	横切紙	1通	宝鏡無心の所持でせつかわけ添けなき事 坂井権平→守屋十左衛門	
G-12-21	覚	寅 11. 12	横切紙	1通	弁当仕度地の請求書	
G-12-22	天保十二年丑七月五日 御林勘地麦加地子取立加長 永田守屋	天保2. 7. 5	半・横長	1冊	「麦女壹斗七升 役之介」	（裏書）「庄太郎」
G-12-23	〔書状〕	年末詳 7. 19	横切紙	1通	令嬢病氣中であるが、参向下されたき事 水沢東蔵→守屋十左衛門	
G-12-24	〔書状〕	酉 1. 25	横巻紙	1通	忝銀子借受けの為、証文押印の依頼あっても断られたき事 大和屋庄助→守屋勝太郎・御書役法印	包紙あり
G-12-25	老年切二売渡申田畑之事	享保4. 12	縦紙	1通	売主今屋右衛門事弥六 証人年寄与三左衛門・庄屋伝二郎	
G-12-26	〔吟味願書〕	年月日未詳	縦切紙	1通	質地の期限が過ぎても、水路等取上ない 弥三郎以下に対する吟味請証文	
G-12-27	覚	年末詳 4. 22	横切紙	1通	野仲旦那宛心忍び請証文	
G-12-28	乍恐以書付御届奉申上候	酉 11. 19	縦紙	1通	阿賀碓論所の吟味について 浅口郡乙島村庄屋勝太郎→倉敷役所	
G-12-29	覚	天保2. 正	縦巻紙	1通	結婚の為、人別帳記入帳の件について 浅口郡乙島村庄屋守屋貞次右衛門→浅口郡乙島村庄屋重左衛門外1名	
G-12-30	〔農事雇人数〕	年月日未詳	横切紙	1通		
G-12-31	新開一件取扱二付 諸入用覚	年末詳 11. 10~22	横切紙	1通	圓興院者木与平渡シ	付紙あり
G-12-32	覚（宗門改手形請取）	安政6. 2.	縦切紙	1通	娘まさ嫁入による宗門改手形請取 下道部隣村庄屋太田房前→浅口郡乙島村庄屋勝太郎・庄屋見習英三郎	（包紙上書）宗門改手形請取書 老通
G-12-33	覚	年月日未詳	横切紙	1通	〔酒切手拾枚〕 外の酒切手の覚書	
G-12-34	覚	年月日未詳	横切紙	1通	水掛かり高線について 免・石高等書上	
G-12-35	〔金子借用覚〕	年月日未詳	横切紙	1通	清吉・長助・又七の分	後半欠

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-12-36	田畑質物手形之事	享保5. 12.	縦継紙	1通	「銀三百貳拾壹匁六分二厘也」 弥次右衛門外3名一伝次郎	継ぎ目が録かれている所あり
G-12-37	〔藩〕	年月日未詳		1枚	二分 西銅屋・井手屋・会所	16.0×4.0(cm)
G-12-38	〔書状〕	年末詳 4. 1	横切紙	1通	便付到来こ付き御用願 たき事 瀬尾伝次郎一守屋重左衛門	虫貫あり
G-12-39	覚	辰 11. 13	横継紙	1通	領証 円乗院 猪木興兵衛	
G-12-40	〔書状類〕			1袋 24通		袋内・G-12-40-1~24 (袋上書)「喜永七丑年二月玉谷直華一件処理帳」SILティッシュで結ぶ
G-12-40-1	〔金銭内訳〕	年末詳 6. 10	横切紙	1通		
G-12-40-2	〔諸用入用帳〕	巳 6. 6 ~3. 10		1綴	水門へ砂待人足を雇う書付等 長次郎→乙島庄屋	1綴 (6通)
G-12-40-3	〔諸用入用綴〕	巳 3. 12 ~6. 22		1綴	雇人足書付・平田勘次郎等の請求書 伊七五郎→乙庄屋	1綴 (26通)
G-12-40-4	〔覚〕	年末詳 4. 20	横切小切	1通	4月20日渡司70匁5分手札分	
G-12-40-5	〔諸用入用綴〕	巳 6. 6 ~6. 29		1綴	人足賃等 谷五郎→乙島庄屋	1綴 (3通)
G-12-40-6	〔雇人足書付〕	巳 4. 16		1綴	塩少々等	1綴 (3通)
G-12-40-7	〔諸用入用綴〕	巳 6. 6~9			水門へ砂持の雇人足書付 李兵衛→乙島村庄屋	1綴 (4通)
G-12-40-8	〔諸用入用綴〕	巳 4. 14~15		1綴	新三郎→乙庄屋	1綴 (3通)
G-12-40-9	〔諸用入用綴〕	巳 6. 22~23	横切小切	1通	砂持人足の賃金 若春→乙島	
G-12-40-10	〔諸用入用綴〕	巳 6. 6~26		1綴	砂持等の雇人足書付 亀次郎→乙島庄屋	1綴 (5通)
G-12-40-11	〔諸用入用綴〕	巳 6. 8~15		1綴	年寄人足・砂持人足等の雇人足書付 若春→乙島庄屋	1綴 (6通)
G-12-40-12	〔諸用水用綴〕	巳 6. 6~22		1綴	水中石上げ人足等の雇用書付 舟ノ惣兵衛→乙島庄屋	1綴 (9通)
G-12-40-13	〔諸用入用綴〕	巳 6. 6		1綴	出水之節人足の賃金貸付 常十郎→乙島	1綴 (2通)
G-12-40-14	〔諸用入用綴〕	巳 5. 18 ~6. 16		1綴	人足賃等 藤左衛門・健蔵→乙島庄屋	1綴 (4通)
G-12-40-15	〔諸用入用帳〕	巳 4. 9~19		1綴	治郎三郎→乙庄屋 佐右衛門→乙庄屋	1綴 (6通) 治郎三郎5通・佐右衛門1通
G-12-40-16	〔諸用入用書付綴〕	巳 4. 24 ~5. 27		1綴	縄代・渡し賃等	1綴 (21通)
G-12-40-17	〔雇人足書付〕	巳 3. 12 ~6. 22		1綴	乙島庄屋 人足健蔵	1綴 (4通)
G-12-40-18	〔覚〕	巳 6. 13~21		1綴	船賃等の入用帳 健蔵→乙島庄屋	1綴 (10通)
G-12-40-19	〔諸用入用帳〕	巳 5. 22 ~7. 12		1綴	請求書 伝四郎→乙島庄屋	1綴 (20通)
G-12-40-20	〔諸用入用帳〕	巳 3. 1 ~6. 29		1綴	請求書 筵2枚等 健蔵→乙島庄屋	1綴 (12通)
G-12-40-21	〔覚〕	巳 4. 14 ~5. 2		1綴	代銀の受取書 惣四郎→庄屋	1綴 (7通)
G-12-40-22	〔諸用入用帳〕	巳 3. 24 ~7. 11		1綴	平田勘次郎等の請求書 小三郎→乙島庄屋	1綴 (15通)
G-12-40-23	〔諸用入用帳〕	巳 4. 10~14		1綴	健蔵→乙庄屋 友蔵→乙庄屋	1綴 (10通) 10通の内、健蔵5通・友蔵5通
G-12-40-24	〔人足雇人書上綴〕	巳 6. 6~9		1綴	乙島庄屋 仁三郎	1綴 (4通)
G-12-41	〔函簡〕	年月日未詳		1枚	早刻伝々とあり	10.4×2.3(cm) SILティッシュ

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-12-42	覚	寅 3. 7	横切紙	1通	元次郎の引合勘定の金額を記す	シユに包まれている
G-12-43	覚（村入書上）	年末詳 8. 2~4	横切紙	1通		虫損あり
G-12-44	〔要用書〕	年末詳 2. 3	横切紙	1通	不決ご付、帰宅遅れとなる為、諸事専記をもって都合よく取り計らいたく、倉敷にて 中塚台左衛門→乙島村庄屋守屋返事の書状を出したので読んで欲しいという内容 莫三郎→守屋勝太郎	
G-12-45	口上	年末詳 2. 3	横切紙	1通		
G-12-46	〔包紙〕	年月日未詳		1枚	「拾円」とあり	
G-12-47	〔御用状〕	年末詳 3. 27	横切紙	1通	倉敷御召の三人衆の来否を問う 亀吉→左平次	
G-12-48	〔覚（入用書上）〕	年末詳 12. 27	横切紙	1通	明神丸 乙吉→永田	
G-12-49	〔村入用書上〕	年月日未詳	横切紙	1通		裏面に「年々帳付書付入」とあり
G-12-50	〔相論文書断簡〕	年月日未詳	横切紙	1通	重左衛門外20名→倉敷役書	最後に「倉敷御役所」と記されている
G-12-51	〔守屋勝太郎院西山源右衛門用状〕	年末詳 7. 25	横切紙	1通	村方小入用帳写 算用こつて	
G-12-52	宗門送り放所之事	安政6. 2.	横切紙	1通	志よぶか徳兵衛の存徳三郎の妻ひなる為の宗門送り放所の事 異崎安部院外1院→乙島村平塚院（奥書）浅口郡阿賀崎新田村庄屋安八郎→同郡乙島村庄屋勝太郎外1名	継ぎ目がはずれそう
G-12-53	〔藩札〕	年月日未詳		1枚	嶋屋・成屋 備中三須通用手形	16.0×4.0(cm)
G-12-54	〔藩札〕	年月日未詳		1枚	老久 嶋屋・成屋 備中三須通用手形	15.6×4.1(cm)
G-12-55	〔耕地作人書上断簡〕	年月日未詳	横切紙	1通	土地・面積・作人・字等の書上	前欠
G-12-56	〔出米書上〕	年末詳 12. 12	横切紙	1通	弥一郎ら外4名	虫損あり
G-12-57	〔阿波宛守屋安八郎書状〕	年末詳 5. 9	横切紙	1通	近況報告並びに祖父卒本家相續満足の事	
G-12-58	〔諸用入用綴〕	巳 5. 18 ~6. 20	横切紙	1綴 (19通)	雇人足書付・船賃書付 惣次郎→乙庄屋	G-12-40の袋のものと同内容
G-12-59	覚	年末詳 11. 29	横切紙	1通	初量書付	
G-12-60	〔守屋勝太郎院中塚青左衛門書状〕	年末詳 8. 17	横切紙	1通	今晚より祭礼の儀	「遣下」とあり
G-12-61	〔包紙〕	年月日未詳	横切紙	1通	「銀貳分」 ノナツ辰吉	
G-12-62	〔利吉口書〕	年月日未詳	横切紙	1通	利吉の古着3枚の値段等	虫損あり
G-12-63	覚	文化8. 3.	横切紙	1通	「去年御年算用取書」の件 平十郎外1名	
G-12-64	三年切虎渡申田地証文之事	天明6. 12.	横切紙	1通	来去年より3ヶ年間土地売度代銀640目受取、年貢・流作の場合の対応こつても記載 売主青右衛門・証人弥太郎・年寄青次郎→十左衛門	（端裏書）「天明六年十二月いつみの清右衛門田地入証 []」 虫損あり
G-12-65	〔包紙〕			1枚		〔包紙上書〕 浅口郡乙島村願人重左衛門 「上」 袋のみ 中身なし 〔封筒表書〕 「万延元年とし十月十一日 郡政村々書付入」
G-12-66	壬申年中書付入	壬申	袋	1枚		
G-12-67	〔断簡〕	年月日未詳	横切紙	1袋 (1枚)		
G-12-68	覚（村入用書上）	年末詳 10. 27	横切紙	1通	年中寄用持米等 乙吉→永田	
G-12-69	乍恐以書付奉申上候	亥 11.	横切紙	1通	二朱判の貸付及び返済こつて 何国何郡可亦庄屋年寄百姓代役所	
G-12-70	〔短紙〕	年月日未詳	横切紙	1通		
G-12-71	覚	年末詳 12. 4	横切紙	1通	「金四両貳歩三朱」を差上げの覚書 庄太郎→重左衛門	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-12-72	〔白紙〕	年月日未詳	縦紙	1枚		
G-12-73	授揚義書	興寧3. 6. 24	縦折紙	1通		罫紙 「興寧三年六月二十四日 夜紫微王夫人」とのみ記載
G-12-74	覚	亥 12.	横継紙	1通	木綿等売掛小書付 乙島庄右衛門宛さぬ きや与右衛門	
G-12-75	覚	亥 12. 28	横継紙	1通	元利受取書 守屋庄右衛門宛柚木弥作	継ぎ目がはずれそうな所あり
G-12-76	借用申銀子之事	天保5. 7. 9	縦切紙	1通	(乙島) 水溜長蔵宛 乙島村重左衛門外 1名 金10両	
G-12-77	〔出帳帳〕	明治 月日未詳	半・横長	仮1冊	麻平・芳男・岡屋・官次郎4名分	罫紙の裏に書かれている 土地台帳の断簡 (守分竹次郎代 理守屋徳太郎の箇所) の裏面に 書付
G-12-78	〔日数日付書付〕	年月日未詳	横折紙	1通		
G-12-79	〔細高等算用書上〕	年月日未詳	横折紙	1通	弥治兵衛・彦右衛門・熊太郎分	
G-12-80	〔若連中村括弧外不願書〕	年月日未詳	縦継紙	1通		前欠
G-12-81	〔貯夫食仕訳書類の袋〕	寛政2.	横切紙	1枚	貯初高書付	袋内に文字あり 「米銀并小入 用両組」
G-12-82	〔乙島村勝太郎様宛又兵衛書状〕	年末詳 12. 27	横切紙	1通	夕刻に参るとの事	
G-12-83	覚	酉 9. 4	横切紙	1通	9月晦日に納銀の覚	虫損あり
G-12-84	〔包紙〕			1包〔2枚〕		一包・G-12-84-1~2 G- 12-84-1が2を包んでいる
G-12-84-1	乙島長田守屋御袋様上成家本省吾	年月日未詳	縦紙	1枚		
G-12-84-2	乙島長田守屋彦右衛門様守屋御叔母様自倉敷吉田宗十郎	年月日未詳	縦紙	1枚		
G-12-85	〔寛兵衛宛重左衛門書状〕	年末詳 5. 20	横切紙	1通	小作正差入れこつて	
G-12-86	〔大極上之端雲短冊百枚包紙〕	年月日未詳	横切紙	1枚		42.4×7.5(cm) 包紙のみ
G-12-87	覚	年末詳 12. 21	横切紙	1通	取替銀算用 長蔵	
G-12-88	〔書状断簡〕	年月日未詳	横切紙	1通	水溜り耕地の謄本こつて 千仁三郎・ 新左衛門	
G-12-89	文久二年酉正月 薬帳	文久2. 1. 18 ~12. 12	半・横長	1冊	日付、薬の処方及び服用者	
G-12-90	〔包紙〕			1枚	乙島村十左衛門 重永村勇右衛門	包紙のみ
G-12-91	覚	年月日未詳	半・横長	仮1冊	年貢割付	訂正等の朱字あり
G-12-92	上納銀并取立銀券覚	年月日未詳	縦紙	1通	上納銀と取立銀の差引 額の事	
G-12-93	安永三辰年早掛外御検見一件書類入九月人足手当付	安永3. 9.	袋	1枚		27.0×16.3(cm) 中に書付あり
G-12-94	覚	年末詳 11. 9	横切紙	1通	御入用へ高一75合外 木間外7名 与五兵衛	後欠 継ぎ目がはずれている部分あり
G-12-95	〔敵入用金子〕	年月日未詳	横継紙	1通		
G-12-96	〔銀子算用帳断簡〕	年月日未詳	横折紙	1通		
G-12-97	〔袋〕	年月日未詳	横切紙	1袋	お年玉 高地友平とあり	23.0×15.5(cm) 袋のみ
G-12-98	〔守屋宛境屋安兵衛書状〕	年末詳 閏3. 10	横継紙	1通	見事な品を下された事に対する礼状	2枚に分かれている
G-12-99	〔守屋宛坂本書状〕	年末詳 正 24	横切紙	1通	お喜び等取次ぎ	
G-12-100	〔守屋勝太郎宛坂本吉兵衛書状〕	年末詳 2. 24	横切紙	1通	亡父13回忌の案内	虫損あり
G-12-101	御新開惣反別	年月日未詳	横折紙	1通	103町1反6畝26歩	
G-12-102	〔守屋勝太郎宛田刀某書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	村々惣代立合に不参の連絡	下部虫損甚だし
G-12-103	覚	申 正	横切小切	1通	午年・未年取米書上・新門米屋・口入岩 平・狐しま普太郎 村増請人足帳の記帳目録一件	(袋表書) 「安七申正月分 呼 出物小書付入」 虫損あり
G-12-104	天明六年午四月 内外用留帳	天明6. 4.	半・縦	1冊		28.6×10.5(cm) 表紙のみカ
G-12-105	〔断簡 入用書職仕渡之節当六月中より之普請入用 先内銀 主当内銀注中反別〕	年月日未詳		1枚		
G-12-106	〔守屋云次郎宛熊太郎書付〕	年末詳 3. 25	横切紙	1通	亀山鎮記伊米1俵魚上の通知	(袖裏書) 「守屋云次郎様 一 熊太郎御報」

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

G-12-107	覚（綱0束代請求書）	年末詳 7. 29	横切紙	1通	藪の藤兵衛宛山本茂兵衛覚	
G-12-108	覚（元和計算書）	辰 10. 6	横巻紙	1通	葉屋	
G-12-109	[家内喜多留・包紙]	年月日未詳		1枚		
G-12-110	[函簡]	年月日未詳	横切紙	1枚		
G-12-111	[函簡]	年月日未詳		3枚		白紙
G-13	[本修院葬儀書付]			1包		
				[1枚]		
				[1通]		
				[1巻]		
				[2通]		
G-13-1	嘉永二年三月四日 本修院葬儀酒帳	嘉永2. 3. 4	包紙	1枚		巻紙ひよっている 26.5×24.7(cm)
G-13-2	[本修院葬儀酒帳]	嘉永2. 3. 4	横巻紙	1通	本修院心月自照居士葬儀酒記の事	
G-13-3	[守屋重左衛門墓誌書付]	嘉永2. 3. 4	縦巻紙	1巻	「當村開守屋尚言十七代之孫重左衛門 橋行敏之墓」と記載あり	26.3×1085.8(cm)
◆◆◆H-1~H-10◆◆◆						
H-1	[集古十種法帖 大師真蹟七祖賛上・下・定家卿真小倉色紙 等]			1括り		H-1~3をSILティッシュ で包む H-1~10は現史こ りビニール紐で纏められていた 為、SILティッシュで結び直 す
				[1冊]		
				[1包]		
H-1-1	[集古十種 法帖 大師真蹟七祖賛上]	年月日未詳		1冊		36.0×24.2(cm)
H-1-2	[集古十種 法帖 大師真蹟七祖賛下]	年月日未詳		1冊		36.0×24.2(cm)
H-1-3	[集古十種 法帖 定家卿真小倉色紙]	年月日未詳		1冊		37.0×24.2(cm)
H-2	野之口翁判 拾八番歌帖	年月日未詳		1冊	歌集	36.0×24.5(cm)
H-3	亡友帖 全	明治24. 9. 30		1冊	著者・勝安芳	32.0×22.5(cm)
H-4	森岡真物語 秋田杉直物語	宝暦7.	美・豎	1冊	前半・森岡真物語・後半・秋田杉直物語	
H-5	玉島変遷史	昭和29. 5. 30		1冊	編著者・玉島郷土研究会	18.1×13.0(cm)
H-6	玉島人物志	昭和2. 10. 31		1冊	編著者・玉島高等学校白華会	19.0×13.0(cm) 虫損あり
H-7	明治翁刻 小倉百人一首 全	明治39. 11. 1		1冊	著者・内藤彦一・中川明善堂	
H-8	[古今和歌集]	年月日未詳		1冊	守屋所有	15.4×10.6(cm) 表紙破損
H-9	Note Book	年月日未詳		1纏め [2冊]	「中阿含各経大意」 立花翁道の写	H-9-1~2に同車ありカ S ILティッシュで2冊を包む
H-9-1	Note Book	昭和9. 3. 30		1冊	「中阿含各経大意」 立花翁道の写 1	20.3×16.3(cm)
H-9-2	Note Book	昭和9. 3. 30		1冊	「中阿含各経大意」 立花翁道の写	20.3×16.3(cm)
H-10	[天明六年より庄屋十左衛門代 年々一組宗門改帳用の帙]	年月日未詳		1包	126~完結まで	
◆◆◆I-1~I-6-2-12◆◆◆						
I-1	[包紙]	年月日未詳		1袋		袋内・I-1-1~20 (包紙上 書) 「一島翁玄啓 行脚 病氣 死 諸語録」
				[15通]		
				[4枚]		
				[2冊]		
				[仮1冊]		
I-1-1	[おきく宛一島書状]	年末詳 6. 20	横巻紙	1通	今治帯在中の出来事 孫に遺わす書物の 目録	2枚に分かれている
I-1-2	[守屋一島認置]	年末詳 6. 13	横巻紙	1通	亀之丞の事他	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

I-1-3	〔虚無僧侶本寺本則〕	天保 7. 10	横漣紙	1通	明暗寺宛代掌→嶋子（自記）天保13年9月 継印同寺宛代東款→嶋子	〔包紙上書〕〔本則〕附与一島子 包紙内・I-1-4-1~3 (I-1-4-1は2を包紙)
I-1-4	〔守屋亀之丞・守屋平三郎宛肥後松尾臨濟寺書状〕	年月日未詳		1包〔3通		
I-1-4-1	〔守屋亀之丞・守屋平三郎宛肥後松尾臨濟寺書状〕	寛政2. 10.	横漣紙	1通	眩啓死去あたり亀之丞・平三郎の肥後松尾臨濟寺へ赴いた事の挨拶	
I-1-4-2	〔肥後松尾臨濟寺書状〕	寛政2. 10.	横切り切	1通	静山院御筆末住居士5月24日病死し葬送並に臨濟寺境内塔告立の事	15.0×21.1(cm)
I-1-4-3	〔守屋亀之丞・守屋平三郎宛臨濟寺書状〕	年未詳 7. 6	横漣紙	1通	守屋玄啓当三月長崎より渡毎 城下問屋秀島七右衛門宅に逗留 古筆堂門弟も53人出来たが5月上旬より病気によって24日に死亡26日葬送 その他の持物の事等	
I-1-5	〔守屋平三郎・亀之丞臨濟寺書状包紙〕	年月日未詳		1枚		18.3×25.0(cm) 本紙なし
I-1-6	〔きく宛一島書状〕	年月日未詳	横漣紙	1通	旅中手紙宛先の事 法事の事十九郎に松田彦三郎への書状持たす事等	
I-1-7	〔きく・亀之丞宛守屋一島書状〕	(甲) 正 6	横漣紙	1通	長崎旅中の事、伴十左衛門院号・居士号の事等	包紙あり
I-1-8	〔守屋亀之丞殿おきく殿宛守屋一島書状〕	己 4. 6	横漣紙	1通	伊予道後逗留の際守屋家中の様子伺いに付1件・諸国逗留の際し認む書状・荷物覚等	転用の包み紙あり
I-1-9	〔守屋亀之丞・守屋平三郎宛肥後松尾臨濟宗寺書状〕	年未詳 7. 6	横漣紙	1通	眩啓病死に対するお悔やみ	
I-1-10	〔守屋亀之丞・守屋平三郎宛秀島七右衛門書状〕	年未詳 8. 1	横漣紙	1通	眩啓死去に付	
I-1-11	〔夢話メモ〕	年月日未詳	堅切紙	1通	寛政6年8月に夢に守屋玄啓の遺言を聞く	
I-1-12	〔一島先生伝〕	年月日未詳	半・堅	仮1冊	東南西北堂 笑入翁書	
I-1-13	御返答書奉申上候口上覚	年月日未詳	横漣紙	1通	乙島村百姓云次郎より玉島村庄屋平三郎を相手取っての新訟について	
I-1-14	東南西北堂 笑入財啓 一島先生之記	寛政10. 7. 3	美・堅	1冊	門人安養軒 志盈無銭 著術	
I-1-15	〔七十郎一併に付書付〕	年月日未詳	堅切紙	1通		
I-1-16	〔守屋おきく・亀之丞宛守屋一島書状〕	未 6. 20	堅切紙	1枚		包紙のみ 本紙なし
I-1-17	〔封筒〕	年月日未詳	封筒	1枚	松本	〔封筒表書〕〔寛政十二庚申歳五月二十四日一嶋翁墓 守屋玄啓先半 行年六十九終〕
I-1-18	〔きく・亀之丞宛せらの翁書状〕	年未詳 3. 19	横漣紙	1通	柳井町への渡毎並びに同町逗留中の事等	
I-1-19	〔守屋亀之丞・守屋平三郎宛秀島七右衛門書状包紙〕	年月日未詳		1枚		包紙のみ
I-1-20	玄啓一島より差越候手形書状老通之写并肥後国より此度差越申飛札之写四通	年月日未詳	半・堅	1冊		
I-2	銀子算用書付入	年月日未詳		1袋 90通 〔5冊 〔4枚 〔1綴 〔1丁 〔1冊		袋内・I-2-1~70 SILテ イッシュで包紙
I-2-1	双方立会神文	年月日未詳	堅紙	1通		
I-2-2	〔上納の請取〕	辛 正	横切り紙	1通	倉敷県郡校掛→浅口郡乙島村守屋勝太郎	
I-2-3	差上御請書之事	卯 7. 16	堅紙	1通	浅口郡乙島村庄屋勝太郎奉所	
I-2-4	起請文前書	年月日未詳	堅漣紙	1通	論取に關する取り極めについで起請文藤平衛外23名	
I-2-5	安政五年 午五月 田畑契印之儀一付き小前より取置候書類入	年月日未詳		1袋 〔13通		袋内・I-2-5-1~13

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

I-2-5-1	覚（乙島村面積等について）	未 12. 27	縦紙	仮1冊 1通	仙右衛門一村田田半助・田中伊左衛門	
I-2-5-2	差入申一札之事	万延元 12.	縦紙	1通	証文紛失付、先の証文坂吉同頼こしてくるよう嘉右衛門・友蔵一勝太郎・英三郎	
I-2-5-3	御断申一札之事	天保8. 12.	縦紙	1通	質入証文紛失した事について 定吉外2名一守屋重左衛門	
I-2-5-4	一札之事	天保5. 12.	縦紙	1通	質地証文紛失付 上成中原久治・証人吉備嘉吉一守屋重左衛門	
I-2-5-5	差入申一札之事	慶応3. 11.	半・縦	仮1冊	質地銀干取替についての件 柏島村伊兵衛外1名一守屋勝太郎外1名	
I-2-5-6	差入申一札之事	慶応4. 8. 21	縦切紙	1通	地所賃地差入ものを戻す際証文が紛失してしまったので向儀証文が見つっても反古するとの事 柏島村岡屋与重郎一守屋守屋勝太郎同見習守屋英三郎	
I-2-5-7	差入申一札之事	慶応2. 10.	縦紙	1通	証文紛失二付紛失した証文について反古さすき事 伊助・元右衛門一勝太郎・英三郎	
I-2-5-8	差入申一札之事	明治2. 10.	縦紙	1通	善大夫の質地名流の証文紛失付、証文反古について 古見屋治郎三郎・証人善次郎一守屋勝太郎	
I-2-5-9	差入申一札之事	元治元 8. 17	縦切紙	1通	亀市 後証の為一札 川崎・源四郎外1一守屋勝太郎	
I-2-5-10	差入申一札之事	万延元 12.	縦紙	1通	嘉右衛門が紛失した質地に関する証文について 玉島村嘉右衛門水留友蔵司仙吉一守屋勝太郎同英三郎	
I-2-5-11	差入申一札之事	慶応2. 10.	縦紙	1通	証文紛失付、先の証文反古同頼こする事 大坂屋吉嘉右衛門証人郡屋万平→庄屋勝太郎・見習英三郎	
I-2-5-12	差入申一札之事	明治2. 10.	縦紙	1通	水留り平左衛門・証人同所本兵衛一守屋勝太郎・同見習秀三郎	
I-2-5-13	差入申一札之事	文久3. 3.	縦紙	1通	地所賃の返却時証文が無くなってしまったので地所を反した上で証文が見ついても反古とする事 乙島村菅井証人乙崎利吉→乙島村守屋勝太郎見習英三郎乙島村守屋重左衛門	
I-2-6	検地出版有受取	午 4. 13	縦紙	1通		
I-2-7	[子位庄村又兵衛に係わる一件台書断簡]	年月日未詳	縦紙	1丁		
I-2-8	[書状断簡]	嘉永2. 2. 27	横切紙	1枚	乙島村守寄四郎兵衛外4名→玉島村守屋貞左衛門外1名	前部欠損
I-2-9	浅口郡立合御書取	年末詳 11. 14	縦切紙	1通	高瀬川大用水船渡大用水の境界確定 玉島村又兵衛外2名一井上源五郎脇谷儀兵衛	
I-2-10	御尋の件についての扣書	年月日未詳	横紙	1通	役目不足之事7分5厘蔵番賃の事 米過不足値段の儀等	
I-2-11	相度手形一札之事	弘化3. 11.	横切紙	1通		
I-2-12	乍恐以書付奉頼願候	子 7.	縦紙	1通	浅口郡片島村外7村庄屋一倉敷役所	
I-2-13	為取替議定書之事	文政2. 6.	縦紙	1通	五人名請也などの取扱についての約定あり 熊太郎・重左衛門・義右衛門・俊作・仙之助	
I-2-14	覚	天保3. 7.	縦紙	1通	備中国浅口郡乙島村流儀書類の倉敷役	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

I-2-15	覚	元禄6. 4.	縦漉紙	1通	所への差上覚	
I-2-16	乍恐以書付奉願上候	嘉永5. 3.	縦漉紙	1通	玉島村諸人用高書符 乙島村流作場の水行詰障で付、見分の為 上宿場所の件 玉島村右衛門→倉敷役 所外0村	
I-2-17	願書下書樹簡	年月日未詳	横切紙	1枚		
I-2-18	覚（米数書上）	閏 4. 21	縦切紙	1通	酒場→長田	15.0×19.0(cm)
I-2-19	願書下書樹簡	年月日未詳	横切小切	1枚		15.2×17.0(cm)
I-2-20	覚（守屋御氏様宛銀免島屋文吉書状）	年未詳 2. 9	横切小切	1通	代金取の事	15.0×23.3(cm)
I-2-21	覚	午	横折紙	1通	午暮注文所林入用分	
I-2-22	入寄留届	明治5. 7.	縦折紙	1通	守屋ヒサ→笠岡町表	24.2×33.5(cm)
I-2-23	出寄留届	明治5. 7.	縦折紙	1通	守屋ヒサが乙島から笠岡の持家へ移る旨 坂本→乙島村長	24.2×33.5(cm)
I-2-24	証	年月日未詳	横折紙	1通	坂本重三郎外1名 指出してごり酒売 却こつてその代金取の証文	
I-2-25	備中国浅口郡乙島村常照院支配下神樂後継務の杜人甚内一 件下書	年月日未詳	縦漉紙	1通		
I-2-26	覚	年未詳 8. 22	横切紙	1通	越後屋又七・五郎一守屋左平次	
I-2-27	覚	年未詳 5. 25	横漉紙	1通	受領書 又七・伝七守屋左平	はかれて2枚ひなっている
I-2-28	覚	年未詳 3. 12	横漉紙	1通	するか町多ちごや守屋左平次	
I-2-29	覚	嘉永元 ~2. 2. 11	横折 1纏め〔2通		江戸長送金の金銭書出こつて 茂四郎 為藏	
I-2-30	守屋徳太郎院森田直書状	明治5. 6. 13	縦紙	1通	取かへ銀こつて中談の事	封筒あり
I-2-31	書状	年月日未詳	縦紙	1通	川越伊草村川井伊右衛門 旅程案内	
I-2-32	乍恐以書付奉差上候	年月日未詳	縦漉紙	1通	備中国窪郡陰敷外嘉兵衛代左平次→千 助代千次郎一奉行所	（端裏書）「同五月十日さか美 屋嘉兵衛存奇候願事下書写」 2枚こ分かれている
I-2-33	覚	年月日未詳	横漉紙	1通	越後屋八郎右衛門外焼印あり	
I-2-34	覚（金銭書上）	年未詳 9.	横切紙	1通	越後屋又七・五郎一左平次	
I-2-35	覚（受取書）	年未詳 5. 24	横漉紙	1通	又七・五郎一左平次	
I-2-36	差上申一札	天保1. 10. 4	縦切紙	1通	高山又藏代官所備中国浅口郡乙島村寄 四郎兵衛代作左衛門外1名差出	
I-2-37	倉敷御役所 廻状 御役所 片島始	年未詳 7. 28	半・縦	1冊		
I-2-38	触状	天保3. 12.	横折紙	1通	琉球越前掃国こ付、海上風波帯れる時 浦々より船を出せ事	
I-2-39	祝詞	明治7. 10. 24	縦紙	1通	奥書ご宇佐神社 主典 中講義 三宅城 敬白とあり	
I-2-40	記（田畑反数書上）	年月日未詳	半・横長	1冊		
I-2-41	地所売買証書御形	年月日未詳	縦折紙	1通		
I-2-42	地所売買証書御形	年月日未詳	縦折紙	1通		
I-2-43	安政六未二月新町御簾屋 小作人未進書出帳 乙島村御庄屋 様	安政6. 2.	美・横長	1冊	新町簾屋→乙島庄屋	袋内・F-7-26-5-1~7
I-2-44	取調要あり	年月日未詳		1通		29.9×5.5(cm)
I-2-45	畑地書入金借借証券口	年月日未詳		1通	畑地面積と地価書上	23.3×28.7(cm)
I-2-46	乍恐書付を以奉願上候	年未詳 8.	横漉紙	1通	差出人藤右衛門から大嶋村千助を相手取 り地所に関する出入りになった件こつて	
I-2-47	覚（金銭書上書）	年月日未詳	横漉紙	1通	金銭及び人名書上あり	
I-2-48	仕置口	年月日未詳	横漉紙	1通	山県大式藤井右門 宮沢傳曾外の仕置	
I-2-49	日本橋高札之写	亥 8.	横漉紙	1通		

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

I-2-50	材木書類 改	宝曆2. 6.	縦・半	1冊	控	
I-2-51	万延二西正月十六日始 流作一件手口 城長次郎	万延2. 正 16	半・横半折	1冊		
I-2-52	記・書状・書付等			1括り 18通 1枚		一括り・I-2-52-1~18
I-2-52-1	〔守屋徳太郎宛松田直書状〕	年末詳 6. 23	横切紙	1通	金子融通について断りの返書 松田直→守屋徳太郎	封筒あり
I-2-52-2	〔守屋勝太郎宛坂本讓三葉書〕	年末詳 12. 22		1通	当方準備の都合もあり前以て通報下さるよう事 坂本讓三→守屋勝太郎	14.2×8.8(cm)
I-2-52-3	〔守屋徳太郎宛小野品大書状〕	(明治4) 2. 17		1通	正月7日に出産し母子共に健康である事	14.2×8.8(cm)
I-2-52-4	〔守屋徳太郎宛坂本讓三葉書〕	(明治5) 1. 9		1通	相談の時日前をもって確報ましいとの事	12.4×8.3(cm)
I-2-52-5	〔守屋徳太郎宛中村富三郎葉書〕	明治5. 1. 25		1通	不在の詫び	14.2×8.8(cm)
I-2-52-6	〔坂本讓三宛書状〕	年末詳 1. 18	横漉紙	1通		
I-2-52-7	〔御野郡御野村久安石井書付〕	年月日未詳	横切紙	1通		16.2×8.3(cm)
I-2-52-8	記(金銭算用)	明治4. 6.	横切紙	1通	梶田久蔵分	15.3×14.5(cm)
I-2-52-9	配(坂本讓三宛守屋徳太郎書状)	明治5. 2. 2	横切紙	1通	金拾五円を半額として配当とする事	15.0×23.0(cm)
I-2-52-10	〔備言新賓 吉田山太郎御簡〕	年月日未詳	縦切紙	1枚		
I-2-52-11	〔諸事書上〕	年月日未詳	縦紙	1通	小作定約書・紛争取当受取委託状の事	27.4×9.7(cm)
I-2-52-12	委任状之事	亥 1.		1通		14.9×15.0(cm)
I-2-52-13	委任状之事	明治5.		1通	坂本讓三	封筒内・I-2-52-14-1~2
I-2-52-14	〔守屋徳太郎宛坂本百弥書状〕	明治5. 1. 25		1綴〔2通〕		
I-2-52-14-1	坂本百弥・守屋徳太郎宛坂本重蔵書状	年末詳 10. 28	横漉紙	1通	半金丸 猶子願	
I-2-52-14-2	〔守屋徳太郎宛坂本百弥書状〕	明治5. 1. 2	横漉紙	1通	株券半額引き渡しの件について	
I-2-52-15	〔守屋大兄宛讓三書状〕	年月日未詳	横漉紙	1通	近頃の利子等の貸付状況について	
I-2-52-16	〔守屋徳太郎宛松田直書〕	明治4. 1. 9		1通		14.2×8.8(cm)
I-2-52-17	〔守屋徳太郎宛小野廣葉書〕	年末詳 3. 26		1通	一昨日讃岐より帰ってきた事について	14.2×8.8(cm) (包紙上書) 〔備中国浅口郡乙島村守屋徳太郎様 緊急用直交〕
I-2-52-18	〔守屋大兄宛西磨理吉書状〕	年末詳 11. 24	横漉紙	1通	返寄の湖口の事情の為断りの事 西磨理吉→守屋徳太郎	封筒あり
I-2-53	〔回章〕	年月日未詳		1包〔3通〕		包紙内・I-2-53-1~3 新聞紙製の封筒により包まれている
I-2-53-1	〔守屋庄太郎・滝尺七三郎宛書状〕	年末詳 6. 4	横切紙	1通	金銭立替の件について 守屋庄太郎外1名→岡本清国郎	
I-2-53-2	〔橋本宛岩場書状〕	年末詳 7. 14	横漉紙	1通	賦金の件について	
I-2-53-3	記(集金金銭書上)	(明治3) 3. 16	横漉紙	1通	金銭・人物書上多くあり 滝尺七三郎・守屋巨太郎差出	紙洋紙
I-2-54	〔目録〕	年末詳 3.	横漉紙	1通	浅口郡乙島村勢人外計10名に養老を付朝廷より金下賜の事控	
I-2-55	〔銀子受取帳〕	辰 12.	横切紙	1通	筆・ひかさ等の代銀 清水→守屋徳太郎	
I-2-56	〔守屋おつる宛清水覚〕	辰 12.	横切紙	1通	ひかさ外金額覚	
I-2-57	〔御屋根小口図案等〕	年月日未詳	縦切紙	1通		
I-2-58	〔異行花巻道具覚〕	安永9. 3. 1	横切紙	1通		
I-2-59	〔守屋名書上〕	年月日未詳	縦切紙	1通	備中国浅口郡乙島村守屋勝太郎外	14.2×10.7(cm)
I-2-60	〔 〕水神社祭り方口 守屋姓	年月日未詳	縦紙	1通		包紙表紙のみ
I-2-61	〔ヤスリヤキニ付口〕	年月日未詳	縦切紙	1通		
I-2-62	覚	年末詳 6. 10	横漉紙	1通	ヤスリヤキの製造方法力 風呂桶・湯沸かし等の料金受取書 樽屋 伊藤門→守屋	
I-2-63	〔荒地書上・廿五年一月廿四日新開〇書付打合せ図面〕	26. 1. 24		1綴		

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

I-2-64	[入学御願及懃履書の雛形]	年月日未詳	縦折紙	1通	
I-2-65	[香炉茶碗・その他書上]	年月日未詳	横折紙	1通	
I-2-66	[白紙]	年月日未詳	横巻紙	1通	
I-2-67	覚	年末詳 6. 8	縦紙	1通	瓦銅代受取書 尾張屋一守屋勝太郎
I-2-68	[一郡惣代村々順番一勤候役御役所御届書口]	文政2. 10. 28	横折紙	1通	黒崎中孫兵衛一木村十左衛門
I-2-69	乍恐以書附御届奉申候	年月日未詳	横折紙	1通	浅口郡惣代守屋を年番とする旨の連判書 付の写 片島本弥太郎外21名一倉敷役所 宮屋根替算用書
I-2-70	覚	年月日未詳	半・横折	仮1冊	
I-3	[花田一重調査済史料・花田一重書状也]	年月日未詳		1袋 〔26通〕 〔4枚〕 〔3冊〕 〔仮1冊〕	昭和55年10月2日大嶋崇作成の 目録あり 袋内・I-3-1~10
I-3-1	年貢相場 昭和十二年以降	年月日未詳		1袋〔2通〕	袋内・I-3-1-1~2
I-3-1-2	[昭和十一年加地子相場]	年末詳 11. 18	縦巻紙	1通	東柚村古西山正松
I-3-1-3	加地子年貢相場	昭和16. 2.		1通	
I-3-2	檢査算仕法書并二見積書	大正4. 4.	半・縦	1袋〔1冊〕	岡山市桶屋町三番地野上長蔵
I-3-3	乙島守屋家 系図ノ一部	年月日未詳		1枚	守屋家系図重左衛門以後一部写・親類書
I-3-4	[守屋宛花田一重記録]	昭和年間		1包〔6通〕	
I-3-4-1	[守屋弘太宛花田一重記録]	年末詳 4. 16		1通	庄屋調へ印刷の件
I-3-4-2	[守屋竹里宛花田一重書状]	昭和B1. 2. 12	罫紙	1通	川口瀟藏の後継者について問い合わせ
I-3-4-3	[守屋弘太宛花田一重書状]	昭和B1. 6. 7		1袋〔3通〕	昭和B1年6. 5の玉島新聞・『帰郷集』 の件・玉島大山院由緒を同封
I-3-4-4	[守屋竹里宛花田一重書状]	昭和B1. 1. 22	罫紙	1通	守屋一島関係問い合わせ
I-3-4-5	[守屋竹里宛花田一重書状]	昭和B1. 1. 30	罫紙	1通	一島先生の略伝の件で付
I-3-4-6	[花田一重宛守屋弘太書状]	昭和B1. 1. 27	縦折紙	1通	家系関係について
I-3-5	明治四十年四月大正二年三月間 弘太養子引請 修学中 諸 入費 昭和十二年八月調	明治40. 4. ~大正2. 3.		1袋 〔4通〕 〔2冊〕 〔仮1冊〕	袋内・I-3-5-1~5
I-3-5-1	[川口弘太の養子引請につき諸入費]	明治40. 4.	半・横長	1冊	
I-3-5-2	明治四十年四月守屋 弘太修業行中諸入用控	明治40. 4.	半・横折	1冊	
I-3-5-3	明治四十年岡山師範学校入学試験問題 弘太手紙 いし口 4世の手紙外]	明治40.		1袋 〔4通〕 〔仮1冊〕	包紙内・I-3-5-1~5
I-3-5-3-1	[守屋徳太郎宛守屋弘太書状]	大正3. 3. 24		1通	多亡の為に帰郷しない事 大金送付わ ない事等
I-3-5-3-2	[守屋明重宛川口千世書状]	年末詳 4. 21	横巻紙	1袋〔1通〕	繁太郎が病院で京都にて勤める事等付
I-3-5-3-3	[水口宛植田種吉書状]	年月日未詳	横巻紙	1通	援助の願事

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

I-3-5-3-4	岡山師範学校本科第一部入学予備試験問題	明治41. 2. 13	半・縦	仮1冊	国語科・算術科の問題と解答	
I-3-5-3-5	[守屋弘太宛松岡左平書状]	年月日未詳		1通	俵谷こ付	3枚に分かれている 封筒あり
I-3-6	容体書	明治8. 10	縦折紙	1通	浅口郡乙島村守屋勝太郎の持病の件こ付、同郷玉島村藤野保書付	
I-3-7	[守屋弘太宛坂本堂書状]	年未詳4. 2	横継紙	1通	双子出産こ付、家計困難の為、子の処遇について	
I-3-8	[戸島神社関係資料]	年月日未詳		1袋 [4通	1958年調査	封筒内・I-3-8-1~4
I-3-8-1	[戸島神社管轄沿革・乙島村領地沿革]	年月日未詳		1通		24.5×36.5(cm)
I-3-8-2	養父母大明社 戸島神社関係古記録写本 戸島神社	昭和B1. 10.		1通	その他社掌推薦願書	23.0×17.8(cm)
I-3-8-3	奉納授領証	昭和B2. 4. 18		1通	戸島神社司長桑野武彦・守屋弘太	26.0×53.2(cm)
I-3-8-4	御願、	昭和B3. 5. 22		1通	戸島神社責任役員氏子総代から氏子各位への知らせ 神輿大修理こ付、氏子に意見の一致を求める内容	
I-3-9	証書類	年月日未詳		1袋 [5通 [1枚	花田一重宛の封筒に入っている	封筒用紙 御大典記念章 二千六百年記念之証
I-3-9-1	大礼記念章之証	昭和B3. 11. 16		1通	岡山県玉島高等女学校教諭守屋弘太	32.4×42.0(cm)
I-3-9-2	紀元二千六百年祝典記念章之証	昭和B5. 11. 10		1通	公立高等女学校教諭六位守屋弘太	29.8×42.0(cm)
I-3-9-3	褒状	昭和B4. 10. 7		1通	従立守屋弘太 支那陣歿こ付、寄附	27.4×36.0(cm)
I-3-9-4	表彰状	昭和B9. 5. 22		1枚	玉島高等女学校創立40周年にあたり、勤続25年を表彰	27.4×36.0(cm)
I-3-9-5	昭和十七年度表彰教育功労者名簿	(昭和B7)		1通		25.4×36.4(cm) (封筒表書) 「教育会表彰式記念品授領昭和十七年度」 2枚ある
I-3-9-6	卒業証書	明治33. 3. 30		1通	岡山県平民川口繁太郎 当3月20年2月 岡山中学校第298号	26.9×19.9(cm)
I-3-10	明治三十五年・三十八年間古地開闢助成地子取立書	年月日未詳		1枚		袋のみ
I-4	[守屋主屋日宅景一・玉島瀨巻吳一]	昭和B7.	写真	1纏め [2枚	藤沢晋奇贈こよるもの	一纏め・I-4-1~2
I-4-1	[守屋主家の家写真]	昭和B7.	写真	1枚	藤沢晋奇贈こよるもの	25.4×30.4(cm)
I-4-2	[玉島港内写真]	昭和B7.	写真	1枚	藤沢晋奇贈こよるもの	25.4×30.4(cm)
I-5	安政辰老月 要蔵所持分御高入新田取調申付面弁書類共入	年月日未詳		1袋 [60通 [14枚 [仮5冊 [4冊 [2綴 [1丁 (1舗		袋内・I-5-1~12
I-5-1	証書及び守屋家系	年月日未詳		1纏め [5通		一纏め・I-5-1-1~5
I-5-1-1	証	明治20. 7. 25	縦切紙	1通	石塔青負最屋齋証 玉島石工黒田千代吉 乙島赤証人中野主次郎一守屋徳太郎	
I-5-1-2	証	明治20. 7. 21	縦紙	1通	石塔青負最屋齋証 石工黒田千代吉証人 中野主次郎一守屋徳太郎	
I-5-1-3	証	明治20. 7. 5	縦紙	1通	石塔青負最屋齋証 石工黒田千代吉 証 人中野主次郎一守屋徳太郎	
I-5-1-4	[道具書上]	年月日未詳	横切紙	1通	徳利巻ノ大小古しゃくニ本等	
I-5-1-5	[家系]	年月日未詳	横継紙	1通	高祖守屋左平台より以降	
I-5-2	[守屋徳太郎外一名宛和桐渡り橋三郎書状]	明治9. 12. 6	横継紙	1通	疎遠を打過かた久しぶりで伺たい旨	
I-5-3	[位牌]	年月日未詳	横折紙	1通		

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

I-5-4	三ヶ年切貸地証文之事 〔見取図〕	嘉永6. 12. 年月日未詳	縦漣紙	1通	要蔵→長蔵	
I-5-5			縦紙	1通	区割りされ番号の書入れあり	
I-5-6	相渡申貸地証文之事	嘉永7. 12. 年月日未詳	縦紙	1通	売主要蔵・証人松兵衛一弥惣治	
I-5-7	〔備中浅口郡乙島村絵図〕		横漣紙	1枚		27.6×60.8(cm) (端裏紙) 江戸表御座向繪図 御役所 控写 I-5-8-1にI-5-8-2~I- 5-8-5が巻いてある
I-5-8	証書・書状外	年月日未詳		1纏め 〔4通 〔1枚		
I-5-8-1	覚	年月日未詳	縦紙	1通	備中国浅口郡乙島村地先海面干潟の反別 について	
I-5-8-2	相渡申証文之事	嘉永元 7. 年月日未詳	縦紙	1通	譲り主要蔵・証人榎之介一代吉	
I-5-8-3	〔金銭及び氏名書上〕		横切紙	1通		
I-5-8-4	〔白紙〕			1枚		
I-5-8-5	〔添状〕	安政2. 4.	横漣紙	1通	新開場所絵図の添状 新開場 請人勝太郎 外3人一役所	
I-5-9	〔見取図〕	年月日未詳	横漣紙	1舗		23.1×82.8(cm)
I-5-10	〔書状・断簡也〕	年月日未詳		1括り 〔16通 〔14枚		紙紐 括り・I-5-10-1~28
I-5-10-1	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(包紙上書) 質物覚帳
I-5-10-2	〔薬の飲み方〕	年月日未詳	横切紙	1通	万金丹・金生丸	
I-5-10-3	〔勝太郎宛岡次郎外二名書状〕	年未詳 3. 10	横切紙	1通	調印した「上宿願書」の添状	封筒あり
I-5-10-4	〔断簡〕	年月日未詳		1枚	「辰四月八日松平右京候殿三河筋を以黒 田大和守 江御渡候書付之写 守屋勝太郎一柚木金蔵・神山武次 守屋勝太郎地伊奥書について	残っているのは端裏書カ
I-5-10-5	差入申一札之事	明治7. 3. 9	半・縦	1通		
I-5-10-6	〔乙島村正福戸長宛柚木金蔵・神山武次書状〕	戊 3. 13	縦紙	1通		
I-5-10-7	〔断簡〕	年未詳 12. 晦日		1枚	前次	書状断簡カ
I-5-10-8	〔正月御用番〕	年月日未詳	横切紙	1通	酒井左衛門外氏名書上	
I-5-10-9	〔断簡〕	年月日未詳		1枚		
I-5-10-10	〔帳簿書上〕	享保7. 9. 2	横漣紙	1通	忠五郎→幸次郎	
I-5-10-11	〔登城申渡書写〕	年月日未詳	横切紙	1通	出雲守嫡子溝口主膳への登城命令	(端裏書) 「辰十一月八日堀田 相模守殿三河筋を以御渡出羽守 請取候御書付之写 大目付江」
I-5-10-12	〔断簡〕	年月日未詳		1枚	宝暦子年5月29日酒井左衛門尉 佐渡 江書付写2通大目付松平前守より達小 〔 〕講田支酒衆	端裏書カ
I-5-10-13	〔断簡〕	年月日未詳		1枚	奥田備後守御内黒井弥十郎 小堀土佐守 内亀田清蔵・荒井平之丞・柚田次助	書状表書カ
I-5-10-14	〔断簡〕	年月日未詳		1枚		虫貫あり
I-5-10-15	信州柳井山一件	年月日未詳	横切紙	1纏め〔2枚	天明3年の噴火について	後欠
I-5-10-16	生玉宮御神玉期長震宝付	年月日未詳	横切紙	1纏め 〔2枚 〔1通		
I-5-10-17	〔畝高書上〕	年月日未詳	横漣紙	1通		標題は虫貫 「宝暦〔 〕七日の 書入れあり
I-5-10-18	〔御座静虫目録〕	辰 4. 23	横切紙	1通		(端裏書) 「辰四月廿三日 御 座静虫目録」
I-5-10-19	〔御目見の付依頼書〕	年月日未詳	横切紙	1通	玄蕃御目見	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

I-5-10-20	〔身上書〕	年月日未詳	横漣紙	1通	青木藤七 平田清八他	
I-5-10-21	覚	未 10. 13.		1通	金銭勘定書 大野河三郎一守屋	
I-5-10-22	〔林歌〕	年月日未詳	横漣紙	1通		
I-5-10-23	〔和歌〕	年月日未詳	横切紙	1通	詞書及び和歌	
I-5-10-24	覚	年月日未詳		1枚	検地長写シ1冊 外張簿書上の勘簡カ	13.8×7.9(cm) 後欠
I-5-10-25	〔勘簡〕	年月日未詳		1枚	筒井大和 岩城左 [] とあり	虫貞あり
I-5-10-26	〔畝高書上〕	年月日未詳	横漣紙	1通	東大島分	
I-5-10-27	〔勘簡〕	年月日未詳		1枚	灸に関する事カ	前欠
I-5-10-28	〔勘簡〕	年月日未詳		1枚	御札書之内 松平豊三郎 隠居一同 御札 右病氣二付不罷出候	前欠
I-5-11	〔新開合併借賦一件書付〕	年月日未詳		1袋 〔5通〕 〔仮3冊〕		〔袋表書〕 明治八 亥一月一 改 袋内・I-5-11-1~10 さらに紙紐で括られていた
I-5-11-1	〔覚〕	年月日未詳	横切紙	1通	石数及び氏名書上	
I-5-11-2	〔石高勘定書〕	寛文4. 12. 20	横切紙	1通		
I-5-11-3	〔畝高書上〕	年月日未詳	横漣紙	1通		
I-5-11-4	覚	年月日未詳	横切紙	1通	根置及び馬ふみの言根覚	
I-5-11-5	〔米石高書上〕	年月日未詳	横切紙	1通	神田山守 十郎右衛門の米石高及び銀	
I-5-11-6	〔金銭勘定書〕	年月日未詳		1纏め〔3通〕		『第十七大区浅口郡』の罫紙で 巻かれ、1纏めになっている 一纏め・I-5-11-7-1~5
I-5-11-7	〔金銭勘定書外〕	年月日未詳		1纏め 〔4通〕 〔仮1冊〕		
I-5-11-7-1	〔金銭勘定書〕	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
I-5-11-7-2	記	年月日未詳	横切紙	1通	金銭勘定書	
I-5-11-7-3	〔土地代金勘定書〕	年月日未詳	横切紙	1通		
I-5-11-7-4	記	年月日未詳	横切紙	1通	地番及び反数	
I-5-11-7-5	記	年月日未詳	横切紙	1通	金銭勘定	
I-5-11-8	勘定書	年月日未詳		1纏め〔2通〕		一纏め・I-5-11-8-1~2
I-5-11-8-1	〔金銭勘定書〕	年月日未詳	横切紙	1通	佐吉・岸之丞・房吉・米吉分	
I-5-11-8-2	〔人足ちゃん及びひまりちゃん勘定書〕	年月日未詳	横切紙	1通	午及び未年分	
I-5-11-9	覚	年月日未詳	横漣紙	1通	前勘定書 「三十一の書及びは十一の 割分	
I-5-11-10	〔畝数及び金銭勘定書〕	年月日未詳		1纏め〔仮2冊〕		一纏め・I-5-11-10-1~2
I-5-11-10-1	〔地番及び畝数書上〕	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
I-5-11-10-2	記	年月日未詳	半・横長	仮1冊	金銭勘定	
I-5-12	〔通帳外〕	年月日未詳		1纏め 〔12通〕 〔4冊〕 〔2綴〕 〔仮1冊〕 〔1丁〕		紙紐括り・I-5-12-1-6
I-5-12-1	萬紅御通	午 6. 12 ~7. 10	半・横半折	1冊	土ふち 座かね等の代金	〔表紙〕 〔午年 萬紅御通 長田御庄屋様 伊勢屋八十吉〕
I-5-12-2	〔金銭勘定書〕	年月日未詳	横漣紙	1通	半九郎外5名	
I-5-12-3	覚	年月日未詳	横切紙	1通	氏名及び金銭書上	
I-5-12-4	〔材木本数書上〕	年月日未詳	横切紙	1通		
I-5-12-5	覚〔材木本数書上〕	年月日未詳	横切紙	1通		I-5-12-6と関連ありカ
I-5-12-6	〔材木本数書上〕	年月日未詳	横切紙	1通		

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

I-5-12-7	覚 (釘・せんべい・ほうき等代金勘定)	午. 12.	横切紙	1通	
I-5-12-8	覚 (板・材木代金書上)	年月日未詳	横巻紙	1通	
I-5-12-9	覚 (調えた松こついで報告)	年未詳 5. 7	横巻紙	1通	半十郎→乙島村
I-5-12-10	覚 (亀藏分及び九州分材木書上)	年月日未詳	横切紙	1通	
I-5-12-11	覚 (播州岡山領大夫上下御白代)	午. 12.	横切紙	1通	児島屋芳次→永田庄屋
I-5-12-12	覚 (じつてひ・みかき代)	午. 12.	横切紙	1通	かじや亀太郎→乙島庄屋
I-5-12-13	覚 (車海老・かれい代等)	午. 12.	横巻紙	1通	岩吉→守屋重左衛門
I-5-12-14	覚	年月日未詳		1綴	代金勘定書
I-5-12-15	油之通	午. 正 10 ~7. 1	美・横半折	1冊	1綴 (9通) (表紙) 「午春由之通大坂屋嘉 右衛門 守屋彦右衛門様」
I-5-12-16	酒御通	年月日未詳	美・横半折	1冊	(表紙) 「末年 酒御通吾妻屋 長次郎 守屋彦右衛門様」
I-5-12-17	材木御通	文化8. 7. 20 ~8. 6	美・横半折	1冊	(表紙) 「末春 材木御通 西 阿知屋 新平 守屋彦右衛門様」 (表紙裏書) 「文化八年」
I-5-12-18	〔麦石数々代金勘定書〕	年月日未詳	横切紙	1通	
I-5-12-19	寄	年月日未詳	美・横長	仮1冊	氏名及び金銭勘定書
I-5-12-20	〔断簡〕	年月日未詳	横切紙	1丁	畑高の増減こついで
I-5-12-21	覚	巳. 10.		1綴	受取証
I-5-13	〔新開入用銀受取覚〕	年月日未詳		1括り〔2通〕	1綴 (9通) I-5-13-1の間こI-5-13-2 が狭みこまれていて紙差りで括 られていた
I-5-13-1	覚 (吹毛山沖原之内四畝四歩の新開入用銀受取)	文政1. 12.	横切紙	1通	新開 受人熊太郎・重左衛門 証人代吉一段三郎
I-5-13-2	覚 (吹毛山沖原之内四畝四歩の新開入用銀受取)	文政1. 12.	縦巻紙	1通	新開 受人熊太郎・重左衛門 証人代吉一段三郎 前次
I-6	〔宮内系系書状外〕	年月日未詳		1括り 〔9丁〕 〔7通〕 〔4冊〕 〔1枚〕 〔仮1冊〕	紙紐括り・I-6-1-1~12 新聞紙でまかれて紙紐で十文字 に括られていた
I-6-1	〔宮内系〕	年月日未詳		1纏め 〔6綴〕 〔2丁〕 〔仮1冊〕 1冊	一纏め・I-6-1-1~10 SI Lティッシュに包む
I-6-1-1	覚	年月日未詳		1綴〔5通〕	桶・戸張・膳・鏡・ビイドロ等の形状覚 書 初頁に「宮綴五枚覚四号」の書あり
I-6-1-2	〔祭礼・道具及び数量覚書〕	年月日未詳	半・横長	仮1冊	綴紐の端に「宮綴七枚覚式号」 の書入あり
I-6-1-3	〔神祭関係覚書外〕	年月日未詳		1綴〔4通〕	4通の内1通の差出申一札之事に丑9月 の書入あり
I-6-1-4	〔祭礼関係綴〕	年月日未詳		1綴〔4通〕	綴紐に「宮綴四枚 雑五号」の 書入れあり 綴紐に「宮綴拾四枚 覚参号」 の書入あり
I-6-1-5	〔本社再建次第〕	年月日未詳	横巻紙	1通	
I-6-1-6	〔御本社関係外〕	年月日未詳		1纏め 〔13通〕 〔2丁〕	一纏め・I-6-1-1~15
I-6-1-6-1	〔板かね代金勘定覚〕	年月日未詳	横巻紙	1通	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

I-6-1-6-2	覚	年末詳 8. 7	横漉紙	1通	代金覚書 山本茂右一守屋重左衛門	
I-6-1-6-3	覚	辰 12.	横切紙	1通	金銭算用覚 鳥屋平三郎一守屋	
I-6-1-6-4	覚	辰 12.	横切紙	1通	金銭算用覚 鳥屋平三郎一守屋	
I-6-1-6-5	〔請取書〕	申 8. 7	横漉紙	1通	二條書代金吉河の請取書 土佐半四郎→ 山本・取次 雲来一守屋	
I-6-1-6-6	〔御本社屋根替日付について〕	年月日未詳	横切紙	1通		
I-6-1-6-7	〔御本社入用金書上及遷宮段取〕	年月日未詳	横切紙	1丁		
I-6-1-6-8	〔御本社仕立方〕	年月日未詳	横切紙	1丁		
I-6-1-6-9	養父母宮御本社建替并地蔵者入用覚	年月日未詳	横切紙	1通		
I-6-1-6-10	祝儀（養父母大明神宮再興棟上げ祝儀）	享保7. 8.	横切紙	1通	年寄から大工へ遣わす 守屋伝次郎→大 工棟梁大阪宮屋甚兵衛	
I-6-1-6-11	七島○○山稻荷祭礼	年月日未詳	横切紙	1通	8月16日・17日祭礼	裏はメモ書カ
I-6-1-6-12	覚	年月日未詳	横漉紙	1通	金銭勘定覚・餅代・立紙代・扇子代の外 遷宮等の項目あり	
I-6-1-6-13	〔祭人数割〕	年月日未詳	横切紙	1通		
I-6-1-6-14	覚	年月日未詳	横漉紙	1通	輿2駄・道具のほこ・刀代の覚	
I-6-1-6-15	覚	年月日未詳	横切紙	1通	入用金覚・亀甲仕立 石かみき代遷宮の 節の入用等の項目あり	
I-6-1-7	〔覚他〕	年月日未詳		1綴〔8通〕	瓦板・酒代・飯料・材木・運賃等 申6 月2日の日付他	
I-6-1-8	〔金銭書上帳〕	巳 8. 16以降	半・横長	1冊	御神輿寄付一付掛廻り之節支度者入用 并耕池 世話人支度者入用外	
I-6-1-9	〔値段書外〕	年月日未詳		1綴〔21通〕	金地錦・戸坂・赤延板也代金書上・養父 官御本社前田垣に関する記載 嘉永元年 申6月3日の日付あり	
I-6-1-10	〔覚他〕	年月日未詳		1綴〔20通〕	代金受取也 午5月4日の日付あり	宮に関する綴カ
I-6-2	〔書状・書付外〕	年月日未詳		1括り 〔7通〕 〔3冊〕 〔3丁〕 〔1枚〕		紙紐一括り・I-6-2-1~12 I-6-2-12 で巻かれて紙紐で 括られている
I-6-2-1	〔品名及び氏名書上〕	年月日未詳	横漉紙	1通	煙草入・盃・きせる等の商品名及び氏名 書上	
I-6-2-2	覚（代金受請）	年末詳 7.	横漉紙	1通	いわし屋善右衛門一森谷左平次	
I-6-2-3	〔倉敷御役所宛浅口郡乙島村庄屋・年寄書状〕	卯 10. 27	横切紙	1通	元庄屋熊太郎死去より跡継人の件こ ついて 罷出旨を伝える	〔包紙上書〕「倉敷六月御役所 浅口郡乙島村」包紙外の文 書の包紙カ
I-6-2-4	〔倉敷御役所宛庄屋・年寄書付〕	午 6. 7	横漉紙	1通	乙島村新開場新田検地長形について	
I-6-2-5	〔各様衆中宛乙島村庄屋重左衛門書付〕	丑 12. 22	横漉紙	1通	氏名及び表数書上	〔端裏書〕「重左衛門せが山御 家中へ蛸殿差答書付」 〔包紙上書〕「□以廻伏無屋帯 順達〔 〕」 虫真あり
I-6-2-6	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		
I-6-2-7	覚	年月日未詳	横漉紙	1通	永代過去帳の仕立方	
I-6-2-8	覚（人数及び代金書上）	年月日未詳	横漉紙	1通		
I-6-2-9	乍恐以書付奉願上候	文久元 8.	縦紙	3丁	庄屋勝太郎への新開 請願 大竹左馬太 郎代官所備中国浅口郡乙島村前惣代山 蔵外2名 百姓代長蔵 年寄四郎兵衛 新開 受人庄屋勝太郎一検地奉行 一印鑑の下に28名の氏名が書かれている	SILティッシュで包む
I-6-2-10	〔氏名書上〕	年月日未詳	半・縦	1冊		

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

I-6-2-11	手続書	明治2. 5. 23	半・縦	1冊	材費について帳簿を取調べ不当の廉があった事及び武蔵長瀬開墾について畝高書上	
I-6-2-12	永田帳面ニ左当家之印ニ無之	年月日未詳	美・縦	1冊		
◆◆◆J-1～J-13◆◆◆						
J-1	浦手形	享保3. 10.	縦継紙	1通	正徳4年の達等 乙島村百姓外一庄屋伝次郎	貼り紙に「浦手形」と書かれていた 県史の分類こよりJ-1～J-13までビニールの紐で括られていた為、SILティッシュの紐で括り直した 県史撮影済 一紙物十二通 の紙が入っていた J-3の下書
J-2	乍恐以書付奉御届申上候口上下書	年月日未詳	縦切紙	1通	湊川ざらへの稟願こつて	
J-3	乍恐以書付奉御届申上候口上	天明2. 4.	縦継紙	1通	港川ざらへの稟願 浅口郡乙島村願人重左衛門一守屋惣右衛門役所	
J-4	浦手形之事	文化6. 正 7	縦継紙	1通	備前国上道中柳新一番五人組頭五郎兵衛外2名一備中国浅口郡乙島村庄屋彦左内片岡徳四郎・塩田義右衛門	(奥書) 同国大庄屋中務衛門・孫大夫 田三番藤原左三郎 (奥書) 松原上総介 (包紙上書) 「昔時 船の運航積荷等海上法」 紙端留め
J-5	昔時 船の運航積荷等海上法	亥 11.	横継紙	1通	貞慶2年3月16日に定められていた海上法こつての記述	(包紙上書) 「新開手放規定書」 巻通
J-6	新開手放規定書之事	天保2. 12.	縦継紙	1通	熊太郎仲時人又大夫一新開 請庄屋重左衛門 乙島村海面新開地開拓事業経過とその扱ひ	
J-7	浅口郡外掛り高覧	元禄6. 正	美・縦継紙	1通	乙島村・長尾村・上船尾村・水江村・柏島村外 水江村庄屋右衛門外3名→大草太郎左衛門役人中	
J-8	内済為取替証文之事	文化元 8.	縦継紙	1通	亀山領分乙島村庄屋守屋平三郎外8人→水論こつて	(封書上書) 「文化元子夏三ヶ所水門外堅イ段亀山領分願上内済為取替証文」
J-9	乍恐以書付奉願上候口上	天明2. 4.	縦継紙	1通	備中国浅口郡乙島村純願人重左衛門→勘定所奉行玉島村湊頼戸田さらへ普請訴訟	
J-10	済口取為替証文之事	宝暦4. 8. 17	横継紙	1通	稱田左衛門代官所阿賀崎村庄屋藤兵衛外1名 (取✓) 池田信農守領分七島村国枝丹助・七島村名主八郎右衛門外3名	(包紙上書) 「宝暦四戌年八月阿賀崎懸水止小門井路高瀬端北堤亀山領建築論済口為取替証文」 巻通 中こさらに包紙あり (包紙上書) 「一ノ口堰立之義三之邊組より願上候ニ付一ノ口井組より差上候一之札ニ御裏書被下置候之一通」 包紙内・J-12-1～2 (包紙上書) 「文政八年巳酉八月五島御開開已来之訳書上之付」 (包紙裏書) 「柏島地女之節御役人様の御尋ニ付書上ケ書付の付」 (封書上書) 「玉島村新開已来之訳書上ケ之付」
J-11	奉差上一札之事	天明5. 7.	縦継紙	1通	水江村百姓代惣兵衛他庄屋預備24名→玉島役所 大川節年々砂こより理り候こ付	
J-12	地女之節御役人ニ御尋ニ付書付・書上・付	年月日未詳		1包〔2通〕		
J-12-1	御尋ニ付以書付奉申上候	文政8. 8.	縦継紙	1通	万治2年水谷伊勢村新開以来の変遷・氏宮羽黒宮寛文5年備前以来の由緒筆書上げ玉島村庄屋金左衛門・貞左衛門一青木	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

J-12-2	返去書付添状	西 8. 2		1通	責一・町田新右衛門	15.9×14.5(cm) (包紙上書) 「書付論功地改手付 青木貢一 町田新右衛門 玉島村庄屋年寄 (包紙裏書) 御書付之写」	
J-13	雑書付類	年月日未詳		1括り 〔13通 〔4枚〕		紙紐一括り・J-13-1~14	
J-13-1	借用申銀子之事	天保7. 12. 20	縦紙	1通	乙島村百姓代長藏他2名一守屋与五兵衛 村入用銀3貫24匁9分		
J-13-2	〔地目変換願〕	明治8. 7.	縦紙	1通	浅口郡乙島村守屋徳太郎・猪本土郎一岡 山県令千坂高雅		
J-13-3	〔守屋勝太郎宛三宅善平書簡〕	年月日未詳	横切紙	1通	右事件調印の件		
J-13-4	〔付書〕	明治8. 8. 11	縦切紙	1通	浅口郡窪津義志代理浅口郡書記三宅貫一		
J-13-5	乙島村辻共有地入札記	年号未詳 10. 10. 5	縦切小切	1通	岡新開元中新聞元・水島山林林蔵等付	24.1×15.0(cm)	
J-13-6	〔元奇兵隊義士高札写〕	年末詳 4.	横切紙	1通	倉敷外役人共江・村方規律を務めるべし	下部破損	
J-13-7	〔年貢書上〕	年月日未詳	縦切紙	1通			
J-13-8	覚	年末詳 9. 10	横切紙	1通	鼻金物筭・代金1両3歩 尾屋勘助一守 屋		
J-13-9	〔三月三日幕府儀礼書付〕	年末詳 3. 3	縦紙	1通	若君元服宮位 年頭之使者 登城等こつ き書付		
J-13-10	乍恐内々奉申上候	丑 12. 12		1纏め〔3枚〕	阿賀崎村百姓一代官高山又蔵 博奕・風 紀更監の為 庄屋北十郎齋藤頼下書		
J-13-11	〔案文〕	年月日未詳	縦紙	1通	人別帳の請取の案文		
J-13-12	差入申一札之事	天保4. 8. 18	横切紙	1通	万四郎他より役人中		
J-13-13	〔冊子断簡〕	年月日未詳	縦切紙	1枚	庄屋重左衛門外百姓8名連名		
J-13-14	〔倉敷御役所宛窪屋郡浅口郡村々書付〕	申 8. 28	縦紙	1通	酒造人への申渡し件付		
◆◆◆K-1~K-3◆◆◆							
K-1	〔玉島新田村御領主様次第〕	年月日未詳	縦紙	1通		(封筒表書) 「自万代迄迄年至 元禄六酉年迄十九ケ年の間 水 谷謙御領分以下玉島新田村 御 領主様次第」	
K-2	〔増上寺大増正并出家中江御料理被下候御次第書〕	(宝曆1ヵ) 10. 17		1帖	文昭院50回忌の法事	16.0×7.3(cm) (表紙) 「十 月十七日 増上寺大増正并出家 中江御料理被下候 御次第 書 大和守 御目付三枝帯刀被差越 候候写」	
K-3	守屋家紋所こ 〔襦〕 を用ひし由緒	年月日未詳	横切紙	1通		(封筒表書) 「一九五六年九月 再調 守屋家紋所こ 〔襦〕 を用 ひし由緒」	
◆◆◆L-1~L-7◆◆◆							
L-1	備中国浅口郡乙島村流作場繪図	年月日未詳		1舗		52.6×78.0(cm)	
L-2	〔備中国浅口郡乙島村地先毎百干瀧御新開場所図〕	嘉永2. 2.		1舗		27.8×72.0(cm)	
L-3	〔乙島村繪図〕	年月日未詳		1舗		38.4×78.0(cm)	
L-4	備中国浅口郡乙島村地先御新開場所繪図	明治5. 8.	横切紙	1通	小田県守宛 「右者当村先御新開場所	81.4×154.68(cm)	

倉敷市所蔵守屋家文書（旧備中国浅口郡乙島村）

L-5	[宇水留高山地番図]	年月日未詳	1舖	御檢也二付小前一筆銀地の事 米過不足	83.6×52.2(cm)
L-6	[絵図]	年月日未詳	1舖	値段の儀等]	47.0×32.4(cm)
L-7	[乙島村絵図]	文化元 8.	1舖	付の写 片島村弥太郎外21名一倉敷役所	40.0×40.8(cm)

文書番号	標題	年代	大きさ	形態	数量	内容	備考
別1-1	[守屋家系図]	文政年間以後		横継紙	1通	初代守屋四郎右衛門重吉(康正2年正月12日没)から18代目守屋勝太郎までの系図	
別1-2	[守屋家系図]	年月日未詳		横継紙	1通	守屋五兵衛長利(実相院伊勢入道長利禪定門, 応永12年没)から19代守屋重左衛門行敏(本修院心月自照居士, 嘉永2年没)の子女までの系図	冒頭部分の紙継目が剥離
別1-3	[山岡氏代々霊]	年月日未詳		横継紙	1通	山岡氏代々の当主夫妻の戒名・没年月日を記録したもの。山岡正平貞康(捨賢院登譽嵐岳居士, 享和2年没)～山岡義三郎(梅暁童子, 寛政9年没)	
別1-4	[大島氏系図]	年月日未詳		横切紙	1通	大島勘五郎・彦十郎父子～勝内智郷までの系図。家紋情報あり。「清和天皇之後胤八幡太郎義家嫡孫新田大炊之助義重末葉大島氏系図」とある	裏に追筆あり
別1-5	[守屋家系図]	年月日未詳		横継紙	1通	守屋五兵衛長利(実相院伊勢入道長利禪定門, 応永12年没)から19代守屋重左衛門行敏(本修院心月自照居士, 嘉永2年没)の子女までの系図	継目が剥離しかけている部分あり
別1-6	[永代過去帖および関係書類]				1纏め(1冊8通)		別1-6-1に別1-6-2～別1-6-10を挟み込み一括
別1-6-1	永代過去帖	嘉永2年ごろ		半・縦	1冊	書き込み式の過去帳。守谷久左衛門豊之(文禄3年没)以降11代守屋重座衛門行敏(嘉永2年没)までの戒名・没年月日・俗名が記入されている	寛政11己未歳8月刊の版本(浪花南華堂・文金堂・栄泉堂)。中に別1-6-2～別1-6-10を挟み込み
別1-6-2	[淳譽光厭善信女忌日書付]	年月日未詳		横切紙	1通	阿曾沼茂太夫の妻(宝暦9年没)について、自家の過去帳に記載された忌日・戒名を書き示して問合せに答えたもの	別1-6-1に挟み込み
別1-6-3	[小野諸分家妻書付]	年月日未詳		横切紙	1通	小山屋小野安右衛門, 小田屋小野勢太右衛門・忠兵衛家と守屋家との婚姻関係を示したもの	
別1-6-4	[祥月忌日書付]	年月日未詳		横切紙	1通	正月2日, 16日, 20日など	
別1-6-5	[忌日書付]				1纏め(2通)		別1-6-5-1に別1-6-5-2を巻き込み一括
別1-6-5-1	[忌日書付]	年月日未詳		横継紙	1通	7月14日, 8月23日など月日のみが列挙されている	
別1-6-5-2	[忌日書付]	年月日未詳		横切紙	1通	11月7日など月日のみが列挙されている	もと別1-6-5-1と一紙か。切断分離の跡あり
別1-6-6	[年数書付]	年月日未詳		横切紙	1通	守屋家歴代当主の享年や没年からある時点までの経過年数を計算した際の覚えか	
別1-6-7	[妙珠院鶴嶽貞操大姉忌日書付]	年月日未詳		横切紙	1通	初七日正月二十二日など	
別1-6-8	[守屋重左衛門宛 臨濟寺役僧書状]	年未詳6月24日		横切紙	1通	亡悲父50回忌として香典・菓子・線香を守屋重左衛門から贈られた臨濟寺僧侶の礼状	(包紙上書)「備中玉島湊乙島村守屋重左衛門様 肥後松尾村林濟寺 厚安返書 六月廿四日認メ」
別1-6-9	[肥後国済山寺守屋眩啓墓所書付]	嘉永ごろか		横継紙	1通	肥後国秋田郡松尾村の黄檗派禅宗寺院済山寺に葬られている「浄仙院擲筆速往居士」(守屋眩啓)の墓所管理などについての書付	
別1-6-10	[文書草案]	年月日未詳		横切紙	1通	乙島村十左衛門跡粹亀之丞が幼少のため、名代庄屋役を仰せつけられた某が記した礼状の案文	
別1-7	永代過去帖(山岡家)	天保年間以降		半・縦	1冊	「戒名法名道号俗名までも系図書のごとく悉く記し置所の霊名帳なり」とある書き込み式の過去帳。宮之口住山岡久左衛門(種岳院清譽浄味菴主 貞享2年没)など	文政11年戊子歳11月刊の版本(浪華書肆南華堂・文金堂)

別1-8	永代過去帖(守屋家)	天保年間以降		半・縦	1冊	「戒名法名道号俗名までも系図書のごとく悉く記し置所の霊名帳なり」とある書き込み式の過去帳。実相院伊勢入道長利禪定門(応永12年没)など	天保12年辛丑歳11月刊の版本(浪華書肆南華堂・文金堂)
別2-1	廿日ろノ巻番一(検地帳)	年月未詳20日		美・縦	1冊	田畑一筆ごとの字と面積と所有者を記載。ろノ1番～650番まで	
別2-2	諸帳面書類仕訳目録	年月日未詳		半・横長	1冊	庄屋十左衛門昌勝 御検地帳・御検地帳写などの目録	
別2-3	享保貳拾年卯三月 河州丹南郡半田村寅年免割帳 卯五月寅年諸色入用帳 摂州有馬郡生野村	享保20年3月・5月		美・縦	1冊	河内国丹南郡半田村の年貢免定と摂津国有馬郡生野村の諸色入用割賦の写し	(表紙注記)「元文三年三月廿四日 御代官平岡彦兵衛様方御案紙帳二冊参、片島村方到来如此写し取、同日柏島村江送り遣ス」
別2-4	寛延貳年巳十二月質田地反別証文 売主乙島村政右衛門	寛延2年12月		美・縦	1冊	売主乙島村政右衛門・証人作左衛門・組頭勘兵衛→佐平治 關所となった与三左衛門所持地を落札買請し、佐平治に三年切で質地として渡し、その代銀を落札費に充てる	(奥書)「乙島村庄屋市太夫」
別2-5	寛文拾壹年寅ノ八月吉日 浅口郡之内御検地帳写 乙島村	寛文11年8月3日		美・縦	1冊	浅口郡乙島村の検地帳	
別2-6	寛政元年酉十月 村方諸帳面之儀二付太兵衛懸ヶ合文通時之留帳	寛政1年10月		半・横帳	1冊	浅口郡乙島村庄屋十左衛門→菅弥五郎様御役所 乙島村検地帳・割付皆済目録その他の書類を保持する阿賀崎新田村庄屋太兵衛に対し、十左衛門が検地帳を送ってくれるよう要請した際、やり取りされた書状の内容を書き留めたもの	
別2-7	[乙島村湊関係書類]				1括り(1括り・2纏め・2包・5冊)		別2-7-1～別2-7-10を紙綴で一括(全体をSILティッシュで包む)
別2-7-1	[乙島村栗石採取関係書類]				1括り(1纏め・4通)		紙綴に「山崎甲斐守様御領分之節 大坂方石御用之書類御手形 昌勝改」とある。2-7-1-1～2-7-1-5紙綴一括(中性紙封筒に収納)
別2-7-1-1	[乙島村庄屋守屋惣兵衛宛 成羽藩水谷氏家臣連署書状一括]				1纏め(2通)		別2-7-1-1～別2-7-1-2巻き込み一括
別2-7-1-1-1	[守屋惣兵衛宛 水谷氏家臣連署書状]	(寛永19年)4月14日		横折紙	1通	加藤久八・河合庄大夫・野沢金兵衛・有木清右衛門・佃伊左衛門→乙島村庄や惣兵衛 大坂日用衆による栗石採取を乙島村百姓衆が妨害した件につき、解決案を示し回答を求めたもの	別2-7-1-1-2を巻き込み
別2-7-1-1-2	[守屋惣兵衛宛 水谷氏家臣連署書状]	(寛永19年)4月18日		横折紙	1通	加藤久八・河合庄大夫・野沢金兵衛・有木清右衛門・佃伊左衛門→乙島村庄や惣兵衛 大坂日用衆による栗石採取を承服しない乙島村百姓の言い分を成羽陣屋へ具申した結果を回答し、採石に同意するよう命じたもの	別2-7-1-1-1に巻き込み一括
別2-7-1-2	[又三郎宛 茂左衛門書状]	元和4年12月23日		縦切紙	1通	口久右衛門内茂左衛門→備中乙島又三郎 当島の百姓衆を石出しのため雇った際の日用代支払が遅延している件について	
別2-7-1-3	[守屋宗兵衛宛 しほや太郎兵衛ほか2名連署書状]	(寛永19年)4月17日		縦紙	1通	しほや太郎兵衛・あわちや弥五兵衛・中島里右衛門→乙島宗兵衛乙島での栗石採取のため派遣した六兵衛舟が採石を拒否されたが、御奉行様から許可を得ているので石を採取させてほしい、と依頼したもの	(端裏書)「亀島方 しほや太郎兵衛 あはちや弥五兵衛 中島里右衛門 乙島宗兵衛様参」
別2-7-1-4	[銀子書付]	元和10年3月14日		横切紙	1通	六左衛門・甚兵衛→又三郎 乙島における日用関係の銀子授受に関する書付	
別2-7-1-5	[水谷氏家臣宛 某書状写]	(寛永19年)午4月14日		横折紙	1通	(差出人欠。守屋惣兵衛カ)→賀藤久八・河合庄大夫・野沢金兵衛・有木清右衛門・佃伊左衛門 乙島村の百姓が栗石採取で「くちすき」しており、他国者に石を取られると「所之百姓」が窮乏するので、他国舟に採石を許す条件として「所之者共」への保障を訴えたもの	(上書)「返事之移し」(写しの意)
別2-7-2	[元和年中寛永年中手形証文]				1纏め(15通)		別2-7-2-1～別2-7-2-15紙綴・反古紙にて一括。反古紙上書「元和年中寛永年中手形証文類数通 当時入用之ものも有之候」

別2-7-2-1	借用申麦之事	元和7年12月17日		豎切紙	1通	一郎右衛門→庄や又三郎 田を質物としえ麦を借用したもの	(端裏書)「一郎右衛門」
別2-7-2-2	借用申銀子之事	寛永4年3月22日		豎切紙	1通	中山又四郎・同源二郎→乙島村又三郎 「まつはまのはま田」1つと引換に浜役銀50目を借用	(端裏書)「源二郎」
別2-7-2-3	借用申大麦之事	元和7年1月22日		豎切紙	1通	甚一郎・宮行郎か→庄や又三郎 子供を奉公させる代わりに大麦5石を借用	(端裏書)「甚一郎」
別2-7-2-4	本銀売渡申田畠之事	寛永4年4月20日		豎切紙	1通	主四郎左衛門→乙島村庄や又三郎 年貢・浜役の未進分支払のため、田畠6ヶ所を売り渡し、丁銀115匁3分を得たもの	(端裏書)「四郎左衛門」
別2-7-2-5	借用申小麦之事	元和7年5月9日		豎切紙	1通	一郎右衛門→又三郎 小麦4斗を利息6割で借りたもの	(端裏書)「一郎右衛門」
別2-7-2-6	請取申御判鑑札之事	年未詳戌6月		豎切紙	1通	柳井原村与惣右衛門ほか6名→乙島村十左衛門 鑑札6枚の受領証	
別2-7-2-7	借用申銀子之事	寛永4年3月22日		豎切紙	1通	中山又四郎・同源次郎→乙島村又三郎 丁銀借用を願い、返済不能の場合は我が子源五郎を差し出すことを約束したもの	(端裏書)「源二郎」
別2-7-2-8	借用申大麦之事	元和7年12月17日		豎切紙	1通	七郎兵衛・一郎右衛門→乙島又三郎 大麦借用を願い、返済不能の場合は玉蔵坊に我が子を差し出すことを約束したもの	(端裏書)「城ノ七郎兵衛」
別2-7-2-9	預申大仏殿御奉加銀之事	元禄4年12月26日		豎切紙	1通	荒木六郎左衛門・大坂屋久兵衛→乙島村庄屋十左衛門 42匁5分の受領証	
別2-7-2-10	借用申麦之事	元和7年11月28日		豎切紙	1通	助衛門→又三郎 麦8斗を借用し、その返済計画(地下中の余りものを集める等)について記したもの	(端裏書)「代米」
別2-7-2-11	八蔵分田畠之事	寛永13年3月19日		豎切紙	1通	長尾三郎兵衛・五介→八蔵 八蔵が本田・新田・舟尾で所持する田畠および舟・馬・牛の預り状	
別2-7-2-12	[済口証文]	寛永19年12月12日		豎紙	1通	組頭惣右衛門ほか7名→乙島玉蔵坊・西阿知伝左衛門尉・長尾五郎右衛門尉・柏島長右衛門・同村庄九郎 乙島村庄屋守屋宗兵衛と惣百姓の相論について	
別2-7-2-13	借用申銀子之事	寛永15年12月18日		豎紙	1通	久介→庄屋宗兵衛 64匁3分の借用証文	
別2-7-2-14	[済口証文写]	寛永19年12月12日		豎紙	1通	組頭惣右衛門ほか7名→乙島玉蔵坊・西阿知伝左衛門・長尾五郎右衛門・柏島長右衛門・同村庄九郎 乙島村庄屋守屋宗兵衛と惣百姓中との相論について	別2-7-2-12の写し。同文
別2-7-2-15	御普代二進申我等子の事	寛永14年4月5日		豎切紙	1通	口入九郎右衛門・主与三右衛門→森屋宗兵衛(守屋宗兵衛) 我が子を譜代下人として守屋家に仕えさせる旨を約した証文	
別2-7-3	[当村玉島湊一使書類]				1括り(2括り)		(包紙上書)「当村玉島湊一使書類 寛政二戌ノ五月八日 昌勝集置 玉島湊之訳ハ此書類二而委細二相分り候間、後年籠末二取吸申間敷者也、外二間屋株札有之候」包紙は延宝五年巳之明勘定扣帳の反古紙を再利用したもの。別2-7-3-1～別2-7-3-2包紙一括
別2-7-3-1	[絵図類]				1括り(1纏め・3通)		別2-7-3-1-1～別2-7-3-1-4をSIL一括
別2-7-3-1-1	[絵図類]				1纏め(2通)		別2-7-3-1-1-1～別2-7-3-1-1-2巻き込み一括
別2-7-3-1-1-1	湊町屋敷ノ図	年月日未詳		横切紙	1通	長十郎7間など、全12軒の屋敷が描かれている	虫損あり。別2-7-3-1-1-2を巻き込み
別2-7-3-1-1-2	[仙右衛門宛 比気谷助書状]	年未詳7月11日		豎切紙	1通	比気谷助→乙島庄や仙右衛門 石垣堤修繕普請の際にやり取りした下行米手形について	別2-7-3-1-1-1に巻き込み

別2-7-3-1-2	指上申連判之事(雛形)	年末詳酉9月		縦紙	1通	浅口郡何村庄屋誰・年寄誰・同誰・百姓たれ・同たれ→中島左次右衛門・藤田猶右衛門・田島武左衛門・近藤覚左衛門 繰綿・実綿・干鯛・他所米・種子・茶・薪の売買についての御条目に対する請書の雛形	(端裏書)「浜松領之時 宝永弍カ享保弍酉ノ九月湊之義二付入用之書」
別2-7-3-1-3	覚(繰綿など売買に関する御条目)	年末詳9月5日		縦紙	1通	藤田猶右衛門・中島左次右衛門→(宛名欠) 当町で商う実綿・繰綿・干鯛などに9月5日より運上を課すことを伝え、問屋と在々の百姓が仲買を経由せず直接売買をすることを禁じた御条目の写し	(端裏書)「浜松領之時 宝永元カ享保元申九月五日御触口口到来 控」。別2-7-3-1-2と関連
別2-7-3-1-4	覚(汐除堤・水門等書付)	(文化9年カ)		横継紙	1通	吉浦・白銀の堤防および樋・水門・上成川などの寸法・成立年を記す	
別2-7-3-2	[問屋関係書類]				1括り(3通・2枚)		別2-7-3-2-1～別2-7-3-2-5紙綴一括
別2-7-3-2-1	定(玉島湊船宿問屋法度)	寛永20年11月2日		縦継紙	1通	(鶴見)内蔵助・(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛→惣兵衛 柏島・長尾で商人船と直接品物の売買をすることを禁じ、乙島村の内玉島湊の「御定之湊問屋」を介して売買を行うこと等を定める	
別2-7-3-2-2	手形之事(ぬけ問屋禁令)	延宝2年9月14日		縦紙	1通	玉島村庄屋平右衛門→乙島村庄屋佐平治 玉島村佐兵衛が入船と直売買に及んだことを謝罪し、村中から「ぬけ問屋」をしない旨の誓書を提出させたこと等を伝える	
別2-7-3-2-3	一札(阿賀崎村新町の問屋商売許諾につき)	元禄6年5月15日		縦継紙	1通	阿か崎村庄屋源七→乙島村庄屋重左衛門 商内渡世に行き詰まり町場存続に難渋する阿賀崎村新町住人の願いを乙島村が聞き入れ、新町住人が問屋商いをすることを条件つきで許可したものの	(奥書・証人)佐治三右衛門・小林庄之助
別2-7-3-2-4	[左平次宛 坂田伊織・氏未詳五郎兵衛連署書状]	(延宝2年)子9月12日		横折紙	1通	(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛→乙島村左平次 玉島村で「ぬけ問屋」を行う者がいたことを受け、同村庄屋平右衛門に禁令を堅く申付けたこと、平右衛門に左平次宛での詫び状を一筆書かせたことを伝える	別2-7-3-2-2に関連
別2-7-3-2-5	[乙島村村境取決絵図]	寛永20年11月2日		縦継紙	1枚	(鶴見)内蔵助・(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛 村境となる乙島瀬戸の範囲を絵図上で確定し、瀬戸の内において玉島湊以外の者が入船相手に直売買を行うことを禁じたもの	別2-7-3-2-1と一連史料
別2-7-4	[問屋株手形]				1包(13通)		別2-7-4-1～別2-7-4-13包紙入り一括。(包紙上書)「寛政二戌五月八日昌勝見口口口玉島湊船宿問屋株御手形拾弍枚 後年龜末二致間敷候也」
別2-7-4-1	[キリシタン穿鑿のこと]	寛永19年9月15日		縦紙	1通	乙島庄や惣兵衛・組頭四郎兵衛・同久兵衛・同惣右衛門・同新兵衛→(宛名欠) 乙島村の住人は皆キリシタンでないことが証明されていること、行方不明の牢人や不審者がいたら松山の宿老中へ報告することを誓約したもの	包紙の内袋として別2-7-4-2～別2-7-4-13を包み込み
別2-7-4-2	[御定湊玉島船宿問屋株手形]	寛永20年11月吉日		横折紙	1通	(鶴見)内蔵助・(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛→庄屋惣兵衛并問屋 備中国浅口郡乙島村之内玉島船宿問屋株12軒のうちであることを示す手形	
別2-7-4-3	[御定湊玉島船宿問屋株手形]	寛永20年11月吉日		横折紙	1通	(鶴見)内蔵助・(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛→庄屋惣兵衛并問屋 備中国浅口郡乙島村之内玉島船宿問屋株12軒のうちであることを示す手形	
別2-7-4-4	[御定湊玉島船宿問屋株手形]	寛永20年11月吉日		横折紙	1通	(鶴見)内蔵助・(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛→庄屋惣兵衛并問屋 備中国浅口郡乙島村之内玉島船宿問屋株12軒のうちであることを示す手形	
別2-7-4-5	[御定湊玉島船宿問屋株手形]	寛永20年11月吉日		横折紙	1通	(鶴見)内蔵助・(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛→庄屋惣兵衛并問屋 備中国浅口郡乙島村之内玉島船宿問屋株12軒のうちであることを示す手形	
別2-7-4-6	[御定湊玉島船宿問屋株手形]	寛永20年11月吉日		横折紙	1通	(鶴見)内蔵助・(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛→庄屋惣兵衛并問屋 備中国浅口郡乙島村之内玉島船宿問屋株12軒のうちであることを示す手形	

別2-7-4-7	[御定湊玉島船宿問屋株手形]	寛永20年11月吉日		横折紙	1通	(鶴見)内蔵助・(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛→庄屋惣兵衛并問屋 備中国浅口郡乙島村之内玉島船宿問屋株12軒のうちであることを示す手形	
別2-7-4-8	[御定湊玉島船宿問屋株手形]	寛永20年11月吉日		横折紙	1通	(鶴見)内蔵助・(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛→庄屋惣兵衛并問屋 備中国浅口郡乙島村之内玉島船宿問屋株12軒のうちであることを示す手形	
別2-7-4-9	[御定湊玉島船宿問屋株手形]	寛永20年11月吉日		横折紙	1通	(鶴見)内蔵助・(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛→庄屋惣兵衛并問屋 備中国浅口郡乙島村之内玉島船宿問屋株12軒のうちであることを示す手形	
別2-7-4-10	[御定湊玉島船宿問屋株手形]	寛永20年11月吉日		横折紙	1通	(鶴見)内蔵助・(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛→庄屋惣兵衛并問屋 備中国浅口郡乙島村之内玉島船宿問屋株12軒のうちであることを示す手形	
別2-7-4-11	[御定湊玉島船宿問屋株手形]	寛永20年11月吉日		横折紙	1通	(鶴見)内蔵助・(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛→庄屋惣兵衛并問屋 備中国浅口郡乙島村之内玉島船宿問屋株12軒のうちであることを示す手形	
別2-7-4-12	[御定湊玉島船宿問屋株手形]	寛永20年11月吉日		横折紙	1通	(鶴見)内蔵助・(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛→庄屋惣兵衛并問屋 備中国浅口郡乙島村之内玉島船宿問屋株12軒のうちであることを示す手形	
別2-7-4-13	[御定湊玉島船宿問屋株手形]	寛永20年11月吉日		横折紙	1通	(鶴見)内蔵助・(坂田)伊織・(氏未詳)五郎兵衛→庄屋惣兵衛并問屋 備中国浅口郡乙島村之内玉島船宿問屋株12軒のうちであることを示す手形	
別2-7-5	慶長拾三年八月吉日 乙島定高之事 庄や四郎右衛門	慶長13年8月吉日		美大・豎	1冊	庄や四郎右衛門 乙島村の名寄帳。田畠屋敷合31町7反10歩、分米都合203石3斗6升5合	
別2-7-6	慶長拾八年うしノ八月廿九日 乙島名寄帳之事 四郎右衛門	慶長18年8月29日		美・豎	1冊	所持者ごとに田畠の字・等級・斗代をまとめたもの	標題は内表紙に記載。外表紙には「北方」とある
別2-7-7	[乙島村名寄帳]				1纏め(1冊・2枚)		別2-7-7-1～別2-7-7-3挟み込み一括
別2-7-7-1	慶長拾八年うしノ八月廿九日 乙島名寄帳事 四郎右衛門	慶長18年8月29日		美・豎	1冊	別2-7-6でまとめられている所持者以外の人々が所持する田畠について、字・等級・斗代をまとめたもの	元和10年段階の貼紙あり。冊子の内側に別2-7-7-2～別2-7-7-3を挟み込み
別2-7-7-2	[持高覚]	年月日未詳		豎切紙	1枚	「百七拾壹石六斗七升貳合太郎兵衛分ハ外二有 古帳」などとある	
別2-7-7-3	麦之覚・御年貢米請取覚	年月日未詳		横折紙	1枚	「麦壹石六斗四升貳合ハ伝七より請取」「貳石之内壹石五斗請取申候」などとある	
別2-7-8	慶長十四年己酉九月吉日 乙島名寄長之事	慶長14年9月吉日		美・豎	1冊	所持者ごとに田畠の字・等級・面積・斗代をまとめたもの	付箋が大量に貼付けてあるので剥離に注意
別2-7-9	寛永拾六年卯九月吉日 備中国浅口郡乙島村開田畠并玉島湊問屋敷御検地帳 庄屋惣兵衛	寛永16年9月吉日		美・豎	1冊	田方4反8歩半、御定玉島湊町船宿問屋々敷1反5畝25歩、畠方5反2畝15歩の字・等級・間数・面積・斗代・所持者をまとめている	(奥書)伊藤三右衛門(定行)・野沢内記→乙島村庄屋惣兵衛
別2-7-10	備中国浅口郡乙島村之内 玉島湊問屋々敷御検地帳 三冊之内三 寛文拾壹年亥三月吉日 庄屋左平次	寛文11年3月吉日		美・豎	1冊	問屋屋敷分1反5畝25歩の間数・面積・斗代・所持者、各等級の田畠の面積と石高、その総計をまとめている	(奥書)野辺佐左衛門・黒川三太夫・本橋伝八・小薬万助
別2-8	記(堤防年曆取調依頼)	年未詳2月15日		豎折紙	1通	戸長猪木士郎→守屋勝太郎 前新田など五ヶ所の新田堤につき開墾年曆がわからないので、知っていれば報せてほしいと依頼したものの	異筆にて五ヶ所の地名の下部に年曆に関する回答が書入れられている
別2-9	[村政関係書類]				1括り(3括り)		別2-9-1～別2-9-3紙綴一括。紙綴に「古来方御上江差上候諸書類一切扣連印書 昌勝改集ル」とあり。もとの紙綴で括れなくなったためSILティッシュで包む

別2-9-1	[村政関係書類]				1括り(58通・3纏め)		別2-9-1-1～別2-9-1-61紙綴一括。もとの紙綴で括れなくなったためSILティッシュで包む
別2-9-1-1	小使割覚	承応2年巳11月26日			1通	切米2斗・役頭給分8斗・検見高不足分4斗など計3石3斗	
別2-9-1-2	[乙島村年貢勘定書類]				1纏め(2通)		別2-9-1-2-1に別2-9-1-2-2を巻込み一括
別2-9-1-2-1	乙島村免割之覚	正保4年寅11月24日		縦紙	1通	309石1斗5合のうち、水夫屋敷定引・渡山高引などを除く227石4斗4升7合の定米・口米を算定したもの	
別2-9-1-2-2	覚	慶安1年子11月10日		横折紙	1通	新坊・玉蔵坊・左平次分の免勘定	
別2-9-1-3	[乙島村免割之覚]	寛文4年辰		縦切紙	1通	382石4斗2升5合のうち、水夫屋敷分・土とり分などを除く343石8斗2升の定米・口米などを算定したもの	
別2-9-1-4	免目録	寛永18年巳10月15日		縦紙	1通	(鶴見)内蔵助→庄屋惣兵へ 乙島村の高211石3斗2升4合のうち、当毛日焼による引分・水夫屋敷分を除いた101石6斗7升3合にかかる定米を、12月1日までに皆済するよう定める	冒頭部分やや破損あり
別2-9-1-5	[乙島村寺方宗旨屋敷高書上]				1纏め(2通)		別2-9-1-5-1に別2-9-1-5-2を巻込み一括
別2-9-1-5-1	寺方宗旨屋敷高書上ケ申覚	承応2年巳11月22日		縦切紙	1通	乙島村庄や左平次→桶川伝吉・上田甚左衛門 玉蔵坊・新坊の宗旨と年貢賦課の対象となる屋敷高について申告したもの	
別2-9-1-5-2	乙島村寺々宗旨書上ケ申事	承応2年巳11月22日		縦切紙	1通	庄や→桶川伝吉・上田甚左衛門 安福寺・新坊の宗旨と年貢賦課の対象となる屋敷高について申告したもの	別2-9-1-5-1に巻き込み
別2-9-1-6	一札之事	明暦2年申閏4月		縦継紙	1通	庄や・くみ頭・保頭→奉行 舟尾村の惣高とわら・なわ・ぬか・まわした・保頭給分などを記した案文。未記入事項多数あり	乙島村の「書上ケ申高之覚」3通を貼り継ぎ、その裏を利用したもの。末尾に回覧して書き直すよう渡部主計・木梨平助の指示書きあり
別2-9-1-7	関助親清三郎口上之覚	正徳3年巳12月16日		縦継紙	1通	関助親清三郎・兄弟元右衛門 12月15日の夜に殺害された関助について、当日の行動と着衣の特徴、無くなった所持品などについて報告したもの	紙継目が剥がれ、2紙に分離している
別2-9-1-8	差上申証文之事	享保7年寅12月18日		縦紙	1通	浅口郡乙島村庄屋伝二郎・同村年寄与三左衛門・同惣兵衛→中島左次右衛門・藤田猶右衛門・田島武左衛門・近藤覚左衛門 当村における借家・借地・店借りについて、確かな請人を取ることなど諸々の規定を守るよう家主に申し渡したことを報告したもの	
別2-9-1-9	未ノ御物成算用目録	年未詳未12月11日		縦紙	1通	惣計164石7斗8升の内訳(真綿代米・酒屋米・庄屋給分など)を記す	
別2-9-1-10	覚(御山明細雛形)	年未詳卯7月13日		縦紙	1通	庄や誰→小巻善右衛門・清水五右衛門・癸生川カ兵右衛門 御山廻り・植生・御山番所の位置と規模・御帳付の樹木数・村中田畠高・松山よりの距離・寺社の宗旨と名称など書き出すべき項目を掲げ、この通りに明細帳を作り御山奉行衆に提出するよう指示したもの	
別2-9-1-11	乙島村庄屋保頭組頭寺隠居作高之事	明暦2年申閏4月		縦継紙	1通	庄や左平次→渡部主計・木梨平助 庄屋左平次・組頭新五郎などの作高を記載	紙背には乙島村の「御目見へ被仕候寺高之覚」(明暦2年申ノ閏4月)が玉蔵坊・新坊(氏宮社僧)について各2通づつ、計4通書かれている
別2-9-1-12	一札之事	明暦2年申閏4月13日		横継紙	1通	庄や左平次・組頭新兵衛・同与兵衛・同与二兵衛・保頭新五郎→御奉行様 「万村ノ年中出申分之覚」として庄屋左平次・保頭新五郎といった村役人それぞれに乙島村より経費などとして支給した費目(わら・なわ・ぬか・いぬ・水夫・夫役・保頭給・下倉渡り賃・松山へ庄屋罷出候砌宿賃など)を書き上げたもの。	紙背に明暦2年ごろの「書上ケ申高之覚」4通(1通は断簡)が確認できる。

別2-9-1-13	預り申御材木之覚	正保4年寅6月8日		縦紙	1通	栗の木38本・松の木200本を預かり、黒崎御舟宮御用渡・西島弥五左衛門様渡・長尾二而御舟御作り被成候御用二永島左次右衛門様ほかへ渡など、預かった材木の払い出し用途を書き上げたもの。	奥に「慶安弍年丑三月十四日永島左次右衛門様へ差上候、野沢金左衛門様へも上ル」とある。端裏書「預り御材木払勘定之覚」とある。冒頭部分破損あり。
別2-9-1-14	乙島村寺之宗旨書上ヶ申事	承応2年己11月22日		縦切紙	1通	庄や左平次(花押)→稲川伝吉・与田甚左衛門 安福寺・新坊についていずれも天台宗であることを申告したもの。	
別2-9-1-15	[村役人作高・課役等書上一括]				1纏め(2通)		別2-9-1-15-1～別2-9-1-15-2巻込み一括。
別2-9-1-15-1	書上ヶ申高之覚 乙島村	明暦2年申閏4月		縦継紙	1通	庄やたれはん→渡部主計・木梨平助 庄屋左平次・組頭与二兵衛ら村役人・社僧各人の持ち高と年貢負担のあり方、小物成・水夫・夫役負担の有無についてまとめた書類の雛形・草案。	反故紙を貼り継いで使用。紙背に「一札之事」(別2-9-1-12とほぼ同文の草案)が確認できる。
別2-9-1-15-2	栢島村庄や保頭組頭寺隠居作高之事	年月日未詳		縦紙	1通	庄屋長右衛門・同七右衛門の高を示し、わら・なわ・ぬか・いぬノ銀・松山遣・水夫・夫役などの負担や百姓役について記した書類の雛形・草案。	紙背に「乙島村庄や保頭組頭寺隠居作高之事」と題する草案が確認できる。
別2-9-1-16	覚	年月日未詳		縦紙	1通	稲川伝吉 村役人の作高および松山御用使などの必要経費、小物成の百姓への賦課の有様、庄屋が百姓を使役した際に飯米を何度づつ食わせているか、真綿の「まとい米」があるかなど、指定した項目について書上げて提出するよう指示したもの。	
別2-9-1-17	寛文六年午ノ津出米覚 乙島村	寛文6年		横折紙	1通	午の11月29日に79石8斗を228俵に詰めて中山三之介・岡田平兵衛に納付など、翌年6月7日までの米の出納について記したもの。	
別2-9-1-18	寛文拾年戌勘定二入手形写	寛文10年		横折紙	1通	戌の10月30日に10石に関する御代官様手形を渡したこと、12月13日に18石6斗分の御代官様手形を御船手に渡したことなど。	
別2-9-1-19	[給米等覚]	寛文元年丑11月		縦切紙	1通	御切米・保頭給・松山扶持方・餌差などへの支給米について記したもの。	
別2-9-1-20	免目録 浅口郡乙島村	慶安2年丑11月15日		縦紙	1通	乙島村の高309石1斗5合と引き分を示し、102石9斗4升2合を村中で免割して12月20日以前に皆済するよう伝えたもの。	破損あり。
別2-9-1-21	己ノ御定米之覚 乙島村	承応2年己12月10日		縦紙	1通	定米・口米・新田見分代・御種米元利・御借シ米利なしの計96石6斗4升7合のうち、今後納付すべき未済分を示したもの。	
別2-9-1-22	覚	年未詳10月19日		縦切紙	1通	栢島分840目の代164匁5分と乙島分310匁の代60匁5分の計224匁について支払いを求めたもの。	
別2-9-1-23	午ノ御物成算用目録	寛文6年午12月14日		縦紙	1通	御定米・御口米・御種米元利の計157石3斗4升2合とその内訳を記す。	「野沢金兵衛様・小葉万助様差出し」とある。
別2-9-1-24	[寅御物成算用目録]	年月日未詳		縦紙	1通	御定米・御口米・御種米とのその利分の計75石8斗1升1合とその支払い内訳を記す。	冒頭部分破損。
別2-9-1-25	上り米積申舟之覚	寛文7年未		縦紙	1通	平左衛門舟ほか11人の舟持ごとに運搬した石数と運賃米の額を記し総計など計算したもの。	内容は紙背まで書き継がれている。
別2-9-1-26	借用仕御種米之事	慶安5年辰2月15日		縦紙	1通	3割の利息で蔵米9石を借りた際の証文。	代官に提出したものの写し
別2-9-1-27	借用申御年貢銀子事	寛永20年12月25日		縦紙	1通	乙島村久介・証人惣右衛門→庄屋左平次 中山谷の田などを掛物にして3割の利息で年貢支払いのための銀を借用したもの。	
別2-9-1-28	借用申御年貢銀子事	寛永20年12月25日		縦紙	1通	乙島村太郎左衛門→庄屋左平次 年貢支払いのため3割の利息で銀を借用し、元利の返済ができない場合は我が子徳女を差し出すことを約束したもの。	
別2-9-1-29	指上ヶ申一筆之事	寛永21年申12月3日		縦紙	1通	乙島村源三郎→惣兵衛 数年間返済していない借用麦について、5石を5年で返済する旨を伝えたもの。	

別2-9-1-30	借用申御年貢度々未進事	寛永21年申 12月22日		縦紙	1通	乙島村城ノ惣右衛門→庄屋左平次 未返済の借銀を来る2月までに納所すること、不可能な場合は前田ほかを永代進上することを約束したもの。	
別2-9-1-31	乙島村御蔵二有米石積り俵数之覚	年月日未詳		縦紙	1通	乙島村の御蔵に収納された米・大豆36俵についての出納記録。西島二郎左衛門へ渡す大豆5俵、岸和田(きしのわた)の船頭与兵衛に渡す扶持方米など。	内容は紙背まで書き継がれている。
別2-9-1-32	浅口郡内乙島村庄や組頭肝煎石高書上事	正保4年亥4 月8日		縦紙	1通	庄屋左平次→坂田伊織・上野五郎兵衛 庄屋左平次、与頭新兵衛・与次兵衛、ほうとう彦作、渡守惣十郎の持高と、彼らに対する課役・課税の免除状況について申告した書面の控え。	紙背にも同一内容について記載あり。
別2-9-1-33	借用申御蔵入米之事	慶安4年卯3 月13日		縦切紙	1通	長尾ノ七蔵→乙島村左平次 当暮に4割の利息を条件に御蔵米を借用した際の証文。	
別2-9-1-34	戌御物成算用目録 乙島村	寛文10年戌 12月吉日		縦紙	1通	庄屋左平次→砂子金五郎・新井左伝次 蔵米として収納した物成175石余の出納状況を申告したもの。江戸廻り御扶持方へ渡し分、井手作太夫への渡し分など。	紙背にも記述あり。
別2-9-1-35	借用申御年貢未進之事	寛永21年申 12月28日		縦紙	1通	乙島村城ノ源右衛門→庄屋惣兵衛 年貢支払いのために借銀し、来る10月までに元利とも納所すること、不可能な場合は久七を進上することを約束したもの。	
別2-9-1-36	七兵衛円安指上候写	延宝2年寅4 月2日		縦継紙	1通	乙島御庄屋左平次下七兵衛→御奉行 28年前に七兵衛の父伝七が大病を煩った際に庄屋へ預けた2か所の島の返還について願い出たもの。	
別2-9-1-37	連島村十右衛門ノ請取申御扶持方米覚	寛永18年巳7 月22日		縦継紙	1通	乙島村庄屋惣兵衛(花押)→伊藤三右衛門(定行) 御扶持方米の払出し状況と残額を申告したもの。山本加兵衛・今宮喜左衛門・神原三郎左衛門・乙島村御番衆などへの支払い額・支払日を列記。	
別2-9-1-38	[人相書付]	年月日未詳		横切紙	1枚	ひたい3か所、上口びる1か所、右のはなわき3か所など、顔面の負傷の特徴を列記。	別2-9-1-42と関連か。
別2-9-1-39	乙島村舟之覚	寛永19年午4 月6日		横折紙	1通	乙島村 寛永18年巳12月～同19年午3月の間に乙島へ来航した船舶数とそれぞれの船籍地(西宮・岸和田)・船主・帆船数、帆1反につき米1升の課税を行ったことをを申告した書付の写し。	端裏書「寛永年中御判付書類」。
別2-9-1-40	田方之覚 乙島村	午6月15日		縦切紙	1通	左平次→伊藤三右衛門(定行) 旱魃による田島の不作状況について報告したもの。20日のうちに降雨があれば5反ほどは生き戻り、一兩日中に降雨があれば8～9反は治るなどある。	
別2-9-1-41	寅ノ御物成勘定目録覚	寅11月23日		縦紙	1通	(差出不明)→土屋万作・黒川権七 収納した物成155石余とその支出について報告したもの。玉島御倉入、松山御産所夫など。	
別2-9-1-42	乍恐以書付奉願候御事	(正徳3年)巳 12月19日		縦継紙	1通	浅口郡乙島村庄屋仙右衛門・年寄与三左衛門ほか8名→村田半助・加藤又右衛門 去る16日に乙島村堀貫で絞め殺された関助の死骸片付けについて願い出たもの。	別2-9-1-61と同じ事件についての史料。別2-9-1-38とも関連か。
別2-9-1-43	指上ヶ申一札之事	明暦2年申正 月21日		縦切紙	1通	乙島村庄屋左平次→御奉行 乙島村には田島の入作・出作の預け地は今まで存在しなかったこと、もしこれ以後に預け地が発生したらその時申告することを約束したもの。	
別2-9-1-44	巳ノ御物成算用目録之事 乙島村	寛文5年巳12 月8日		縦紙	1通	庄屋左平次→田口二郎兵衛・稲川市作 収納した物成52石余とその内訳(納米・酒屋米・庄屋給分など)を申告したもの。	
別2-9-1-45	寛文貳年寅歳切手写	寛文2年		横折紙	1通	竹木改・桑改・飢人改などの御用で出向した役人(山田伝兵衛・長岡百介など)に支出した米の記録。	
別2-9-1-46	覚	延宝5年巳7 月9日		縦紙	1通	新井助左衛門に提出した文書の控え。延宝5年時点の乙島村の石高を申告したもの。83石余は全性様(水谷勝隆)御代の新田、88石8斗は卯ノ6月出来の御塩浜とある。	紙背にも同内容の記述あり。

別2-9-1-47	子ノ御物成算用目録ひかへ 乙島	寛文12年子 11月26日		縦紙	1通	左平次→厚木金五郎・新井左伝次 収納した物成172石余の内訳を申告したもの。うんちん米・御奉公人御切米・御船手へ渡し分、庄屋給分など。	
別2-9-1-48	乍恐書付以申上覚	年月日未詳		縦紙	1通	上様よりの命令で備前様・出雲様浦から加子553人を出す件について。「甲斐守様未当国ニ御座候ハ、不及申上可被為下と存候」とある。	後欠か。
別2-9-1-49	[乙島村石高書上]	申12月3日		縦切紙	1通	左平次 乙島村の惣高228石余から水夫屋敷永荒分を差し引いた高を示したもの。	
別2-9-1-50	承応六年辰ノ十二月四日小使免割 乙島村	承応6年辰12 月4日		縦紙	1通	切米・保頭給・高不足分物成など。	
別2-9-1-51	以書付奉申上候覚	丑8月		縦継紙	1通	浅口郡乙島村庄屋伝次郎・年寄惣兵衛ほか5名→御役所 当年は田方木綿の夥しい虫喰い、陸田の旱損・新田地の汐出、畑方の麦作大損亡により御定免通りの年貢上納が難しいため、御検見のうえ減免を願い出たもの。耕作地の損害について詳細記述あり。	紙質劣化。
別2-9-1-52	指上申口上	宝永6年丑12 月10日		縦継紙	1通	乙島村船主甚六親長助・同村三平親五郎兵衛・同村庄屋仙右衛門ほか5名→小島儀右衛門・嶺岸茂平次 玉島村岡屋善兵衛の荷物綿実930貫目を積んだ甚六・三平の船が難破し、破船が直島に漂着したものの死骸も見つからないことを上申したもの。	紙質劣化、紙継目分離。
別2-9-1-53	浅口郡之内乙島村御借用申種米之事	寛永18年巳3 月2日		縦紙	1通	庄屋惣兵衛・同組頭新兵衛ほか4名→伊藤三右衛門(定行)・野沢内記 米6石を借用し当秋中の年貢上納以前に元利とも返済すること、甲州様(山崎家治)御代の種米の利息も当春高砂にて殿様より取替てもらった分を当秋中に必ず返済することを約束したものの。	
別2-9-1-54	請取申松葉之事	申4月27日		縦切紙	1通	乙島村庄屋左平次→田久保徳右衛門・石川弥右衛門 御役人が切り置いた乙島村御山の松葉の受取状。	
別2-9-1-55	請取申飢扶持方米之事	承応4年未3 月26日		縦切紙	1通	乙島村庄屋左平次→中山三之助・岡田平兵衛 218人分15日間の米を受け取り飢人に渡した際の証文。	
別2-9-1-56	乙島島原行之水夫之覚	丑年		縦切紙	1通	島原の乱に際し、正月27日から4月19日までの間に乙島から出した水夫の人数について。「福山ひうか殿」=水野勝成の護送船など。	
別2-9-1-57	[慶安四年乙島村物成算用目録]	慶安4年卯11 月12日		縦紙	1通	高309石1斗5升から水夫屋敷分などを引いた残額を示したもの。	
別2-9-1-58	酉ノ御物成勘定目録 乙島村	元禄7年戌2 月吉日		縦継紙	1通	乙島村庄屋十左衛門→根村勘十郎・小窪清三郎 松山御蔵入・御台所夫賃・庄屋給などの名目の収入と、御定米や阿賀崎村・玉島村へ入分などの支出の細目を記したもの。	
別2-9-1-59	酉ノ御物成勘定目録 乙島村	元禄6年酉12 月吉日		縦紙	1通	乙島村庄屋十左衛門→根村勘十郎・小窪清三郎 松山御蔵入・玉島御蔵入・庄屋給などの名目の収入と、御定米や玉島村へ入分などの支出の細目を記したもの。	
別2-9-1-60	指上ヶ申書物之事	未正月		縦紙	1通	御立山・竹藪を念を入れて維持すること、竹藪の垣を設置すること、竹の子が田島に生えたら除去すること、御山へ火を入れないことなど、藩有林の維持管理に関わる掟を定め、百姓中に申し付けるよう指示。「此書物正月廿日以前ニ相調、福島七郎右衛門所へ可被遣候」とある。	
別2-9-1-61	乙島村之内堀貫五郎兵衛口上覚	正徳3年巳12 月16日		縦紙	1通	堀貫五郎兵衛→沢村丹右衛門・鈴木■兵衛 近所の子供から人が殺されていると聞き、血まみれの砂浜で水底に沈んだ死骸を取り上げたところ、当村の関助であったと報告したもの。	別2-9-1-42と同じ事件についての史料。
別2-9-2	[塩浜・奉公人関係ほか書類一括]				1括り(16 通)		別2-9-2-1～別2-9-2-16紙綴一括。

別2-9-2-1	舟付之覚 乙島村	未11月22日		横折紙	1通	左平次(花押)→横田久太郎・上野権三郎 124石2斗5升・355俵積みの平左衛門船を含む12艘の入港について報告したもの。	
別2-9-2-2	借用申御蔵米之事	寛永10年酉3月2日		縦紙	1通	乙島村庄屋宗兵衛(花押)・賀兵衛・新兵衛・四郎兵衛→中二郎右衛門・谷七右衛門・梅原甚五左・下村平兵衛 種米3石・銀子50目を借用し、来る10月中旬に元利とも返済することを約束したもの。	
別2-9-2-3	浅口郡乙島村御借用申種米牛銀之事	寛永17年辰2月25日		縦継紙	1通	乙島村庄屋宗兵衛(花押)・組頭新兵衛・同四郎兵衛→伊藤三右衛門(定行)・野沢内記 種米代銀・牛銀・塩浜牛銀を借用し、当秋までに返済することを約束したもの。	
別2-9-2-4	指上ヶ申一札之事	寛永6年午5月15日		縦継紙	1通	乙島村庄屋左平次・組頭与兵衛ほか16人→伊藤三右衛門(定行)・山口助左衛門 キリシタン改めに関する掟。	
別2-9-2-5	米ノ方さし引メ而あつけ申銀子之事	寛永9年申10月1日		縦継紙	1通	森宗兵衛(花押)→かや(萱屋)伝左衛門 446匁余のうち受け取り済の額と差引残額の細目を示し、間違いないか算用してほしいと伝えたもの。	
別2-9-2-6	可被相渡松木之事	正保3年戌3月19日		縦切紙	1通	坂田伊織助・上野五郎兵衛→乙島村左平次 御船の綱打ち用槌の材料として、乙島村松林のうちで3本の松木を御船頭衆へ渡すよう指示したもの。	
別2-9-2-7	御請状之事	承応3年午12月24日		縦切紙	1通	乙島村庄屋左平次・組頭与兵衛・同与二兵衛・同新兵衛→賀藤市郎右衛門 惣吉を切米1石6斗で中間として奉公させる際に提出した契約書。	
別2-9-2-8	口上	元禄8年亥5月17日		縦紙	1通	三郎右衛門・与右衛門ほか9人→御庄屋十左衛門 御浜方について畑にしてほしいと願い出たもの。	料紙の上下に破れあり。
別2-9-2-9	上申こめノ覚	年月日未詳		縦切紙	1通	午6月21日に伝左衛門殿へ渡すべき米の俵数・石数を記したもの。	文面全体に取消の×が書かれている。
別2-9-2-10	覚	元禄7年戌2月15日		縦継紙	1通	浜奉行小林庄之助・同広瀬藤助→乙島村庄屋十左衛門 井之浦塩浜の面積について、検地帳の数値と実際の数値・石高を示し、塩を松山へ納入する際に生じる運上・口銭、添付すべき手形、浜手代武兵衛の役得などについて申し渡したもの。	
別2-9-2-11	[断簡]	寛永6年午7月15日		縦紙	1通	乙島村庄屋左平次・組頭与兵衛・五人組頭五兵衛ほか16人 何らかの取り決め・誓約状に村役人らが署名したもの。	本文欠損、最後の1行と年月日・署名部分のみ。
別2-9-2-12	寛永七年春米之かへ覚	寛永7年		縦紙	1通	宗兵衛(花押)「我等かり申分」と「右之払方」の細目を示し、差引した14両2分を預けたもの。	端裏に「ほうく」とあり、文面全体に取消の×が書かれている。
別2-9-2-13	未ノ御年貢米預り申覚	寛永20年12月3日		縦紙	1通	乙島村庄屋左平次(花押)・同玉蔵坊(花押)・組頭新兵衛・同治右衛門→伊藤三右衛門尉(定行) 年貢米として預かった49石6斗7升の細目を示し、銀子請合分は極月20日までに進上すると伝え、「ゆ舟請合」や蛤について納付方法を確認したもの。	端裏に「乙島寛永廿年差上候扣連印」とある。
別2-9-2-14	口上之覚	元禄8年亥正月16日		縦紙	1通	浅口郡押山塩浜庄屋与右衛門・同郡乙島村井野浦庄屋十左衛門→平岡吉左衛門・大岡喜右衛門御手代中 押山塩浜・井野浦塩浜年貢につき、水谷氏時代の年貢率、月々に塩で松山御台所に納付してきた経緯、運賃のことを上申し、戌年の年貢は銀納させてほしいと願ったもの。	端裏に「元禄八亥年両御代官様へ差上候扣 押山浜・当村浜 両庄屋方」とある。
別2-9-2-15	乙島村方在々へ奉公ニ罷出申者之事	寛永10年とり2月25日		縦継紙	1通	乙島宗兵衛(花押) 六・とく・藤十郎・小熊ほか15人について、奉公先の地名・主人名・奉公開始の時期・続柄を記録したもの。奉公先は宮之浦・柏島・連島・西阿知・片島。	紙継目が一部はがれかかっている。
別2-9-2-16	御請相申上銀子之事	万治2年亥11月28日		縦切紙	1通	乙島村庄屋左平次・与頭与兵衛・同与二兵衛・同新左衛門→渡部主計・木梨平助 極月7日までに「御かい木代銀」1貫256匁を進上することを約束したもの。	
別2-9-3	[願書・誓約書など諸書類一括]				1括り(1纏め・8通)		別2-9-3-1～別2-9-3-9紙綴一括。

別2-9-3-1	差上申一札之事	宝永5年子3月1日		縦紙	1通	赤崎村庄屋・年寄→赤崎村庄屋孫右衛門・乙島村庄屋仙右衛門・柏島村庄屋源右衛門・勇崎村庄屋又三郎・黒崎村庄屋八左衛門御法度の博奕について禁令を守ることを誓約したもの。	端裏に「宝永五子年村々連印二而差上候ひかへ」とある。
別2-9-3-2	[証書類一括]				1纏め(2通)		別2-9-3-2-1～別2-9-3-2-2巻込み一括。
別2-9-3-2-1	買上ヶ申御米之事	申2月15日		縦切紙	1通	浅口郡乙島村仙右衛門→田中猪左衛門 未年御払米のうち74石余の買上証文。	別2-9-3-2-2を巻込み一括。端裏に「差上候ひかへ」とある。
別2-9-3-2-2	覚	年月日未詳		横切紙	1通	新や善右衛門→重左衛門 「いなつま」1丁などの代金請求書。	別2-9-3-2-1の内側に巻込み。
別2-9-3-3	塩薪勘定目録覚	延宝3年卯12月27日		縦継紙	1通	乙島村左平次→本橋太郎助・藤井喜兵衛 井野浦塩田の御年貢塩のうち、松山へ上納する分と小売分、御浜人に渡す薪代などの明細を記す。延宝4年辰12月26日の出来塩に関する「塩薪算用目録 井野浦」が貼り継がれている。	端裏に「延宝年中差上候ひかへ」とある。
別2-9-3-4	亥年御検見御引過■上納覚	宝永5年子正月12日		縦紙	1通	乙島村庄屋仙右衛門→小島儀右衛門・嶺岸茂平次 神田のうち御引過銀の額を示したもの。	「上ルひかへ也」とある。
別2-9-3-5	吉浦新田石樋戸前式ヶ所寸法覚	宝永8年卯4月5日		縦紙	1通	浅口郡乙島村庄屋仙右衛門→小島儀右衛門・野島武兵衛 朽損した石樋の扉の仕替え願。石樋戸の寸法と男柱・笠木・千木の寸法、必要な釘の数量などを示す。	端裏に「宝永八卯年四月差上候ひかへ」とある。
別2-9-3-6	前新田海表石樋戸前寸法覚	宝永5年子10月20日		縦紙	1通	乙島村庄屋仙右衛門・年寄与三左衛門・同弥五郎→小島儀右衛門・嶺岸茂平次 石樋戸の寸法、男柱・千木の寸法、必要な釘の数量など間違いのないことを確認したもの。	端裏に「上ル扣 宝永五子十月」とある。
別2-9-3-7	差上申一札之事	宝永5年子9月		縦紙	1通	浅口郡乙島村庄屋仙右衛門・年寄与三左衛門・同弥五郎→和久吉左衛門 検見の役人や召し連れた末々の衆中に対し、料理のもてなしや音物などを一切行わないことを誓ったもの。	端裏に「宝永五子年御検見之衆差上候ひかへ」とある。
別2-9-3-8	覚	元禄7年戌11月		縦紙	1通	浅口郡乙島村庄屋十左衛門→本多中務大輔様御内玉井武大夫上田1ヶ所につき、以前より屋敷になっているので今度の検地でも屋敷として扱ってくれるようお願いしたもの。	端裏に「元禄七戌年本多中務大輔様御検地之節御役人様へ差上候書付之扣」とある。
別2-9-3-9	奉願上口上	元禄8年亥7月2日		縦紙	1通	乙島村庄屋十左衛門・組頭与右衛門ほか5名→平岡吉左衛門・大岡喜右衛門 天候不順による畑方麦作の焼捨分につき、検見をお願いしたもの。	端裏に「元禄八亥年畑麦作夏作不熟御見分願上候扣」とある。
別2-10	[小前証書類一括]				1括り(26通)		別2-10-1～別2-10-26紙綴一括。紙綴に付紙あり、上書「古来々小前差出候証書類 昌勝改集ル」。
別2-10-1	覚	元禄16年末2月		縦継紙	1通	安藤長門守知行所備中浅口郡玉島村家主新左衛門ほか8人→乙島村庄屋仙右衛門 御当地に所在する借屋に住ませている者たちに御法度を言い聞かせ、借家人の宗門請を相違なく行う旨を誓ったもの。	紙継目が剥離の恐れ。端裏に「元禄十六末年家主共連印請書」とある。
別2-10-2	差上申証文之事	享保7年寅12月		縦継紙	1通	浅口郡乙島村借屋主せんばた六郎兵衛ほか5名→宛名なし 当村借屋借地貸店借の者について、確かな請人なき場合は店を退去させること、借地店借の者が「買かゝり引負」を抱えて欠落・病死し跡継ぎに支払能力がない場合は請人が弁じることなど、御定法を守る旨を誓ったもの。	
別2-10-3	一札之事	元文2年巳閏11月10日		縦紙	1通	嘉欣→乙島村庄屋佐平次 乙島村の内五軒屋庵主欣入の宗判問題解決による帰庵について。	包紙あり。上書「上 五軒屋庵住 欣入帰庵之証文一通」。
別2-10-4	書物仕一札之事	寛文12年子12月16日		縦切紙	1通	玉島村市十郎・証人市右衛門・同伝兵衛→乙島村庄屋左平次 寛文5年から今年までの年貢算用について、玉島伝兵衛の扱いで問題が解決したことを伝えたもの。	

別2-10-5	指上申一札之事	寛永20年ひつじ6月29日		堅切紙	1通	百姓太郎左衛門・新兵衛・治右衛門→庄屋左平次 御普請に従事していた忰の行動につき詫言をして松山の役人に許してもらった経緯を伝え、今後百姓の欠落があったら自分の責任で探し出して連れ帰ることを誓ったもの。	
別2-10-6	差上申証文之事	享保9年卯12月		堅紙	1通	乙島村十郎右衛門・同利右衛門→年寄惣兵衛・与三左衛門 十郎右衛門の親が利右衛門の親から田畠を質物にして借りていた銀の返済が完了し、以後この件で互いに少しの申し分もないこと、以後は10年を越える長年季をしなないことを誓約したもの。	庄屋伝次郎あての年寄惣兵衛・同与三左衛門の奥書あり。
別2-10-7	覚	宝永元年甲申11月27日		堅継紙	1通	神善四郎代渡辺半右衛門→乙島村庄屋千右衛門 乙島村中の諸秤16挺を検査したところ、12挺は問題があるので取り上げ、差し押さえることを伝えたもの。	
別2-10-8	口上之覚	宝永4年亥3月13日		堅継紙	1通	川崎町楚助・五人組頭市蔵→庄屋仙右衛門・年寄中 自分の妻子は折々見舞いに訪れるが、乙島村住人でなく佐方村住人なので、乙島村の宗門改帳からは外してほしいと願い出たもの。	
別2-10-9	定	宝永元年申9月		堅継紙	1通	小島儀右衛門・田中猪左衛門 大風高潮の際は自分の家に構わず屋夜を問わず村中総出で海岸石堤へ鎌・鍬などを持って駆けつけること、火事を聞きつけたら村人足ともに手桶・嵩口を持ち村の「まとひ」を立てて御陣屋へ集まり指図を受けることなど、災害時の決め事を村中五人組へ申し渡すよう命じたもの。	決め事をたしかに承知した旨の年寄与三左衛門ほか30人の奥書・請印あり。
別2-10-10	書付を以御願申候	寛保3年亥11月		堅継紙	1通	乙島村四郎右衛門→庄屋年寄衆中 忰の定四郎は親類の意見も聞かず不埒を募らせ何を仕出かさか分からないので永く勘当し追い出したので、宗門帳から除名してくれるよう申請したもの。	端裏に「亥十一月四郎右衛門願書世忰定四郎事」とある。
別2-10-11	一札	延享元年子10月晦日		堅紙	1通	板倉周防守様御領分玉島村いつミ屋孫四郎・乙島村元助→乙島村庄屋佐平次・同村惣代和兵衛 不行跡で勘当中の弟助之丞が乙島村谷山観音堂にて首吊り自殺しているのを発見し、死骸見分の上で届け出たもの。	端裏に「延享元年子十月廿九日元玉島村之者宿なし助之丞首縊り証文」とある。
別2-10-12	覚	享保5年子2月12日		堅紙	1通	請人おけ屋又左衛門・山口屋吉三郎・■■屋平六→乙島組頭与惣左衛門・惣兵衛 ミなき屋清左衛門御公物銀のうち諸道具代を立て替え5月までに支払うことを伝えたもの。	
別2-10-13	一札	享保2年酉12月4日		堅継紙	1通	重郎右衛門ほか10名→宛名なし 田地売買にあたって公儀の命令に背き年寄庄屋の裏判を受けずに行っていたことを謝罪し、今後は決まりを守ることを誓約したもの。	端裏に「享保貳酉年小前連判」とある。
別2-10-14	[松山領残知の幕府領化について通告]	元禄9年子3月26日		堅継紙	1通	大岡喜右衛門・平岡吉左衛門 松山領残知の村々が今度御代官所所管となることが決まったので、引き渡しが行われるまでは年貢上納を続け山林竹木を刈り荒らさぬよう命じたもの。	御条目を守ることを誓った乙島村組頭と右衛門・弥五兵衛および惣百姓166人の奥書・請印あり。
別2-10-15	証文手形之事	享保12年未5月		堅紙	1通	門満寺→庄屋伝次郎 これまで松山寿覚院より宗判を受けていた上成村専郎が今度から門満寺弟子になったことを証明したもの。	端裏に「門満寺証文」とある。
別2-10-16	御請合申証文之事	寛保元年酉5月		堅継紙	1通	請合縁類当村清次郎・定平・七兵衛→御庄屋佐平治・御年寄惣兵衛・与三左衛門 備中国上房郡松山村本町の五郎兵衛夫妻が乙島村へ引っ越しする件につき、夫妻の身上に問題ないことを請け合い、乙島村住居の許可を願ったもの。	
別2-10-17	口上覚	延享3年寅7月		堅紙	1通	川崎町たはこや源七 西原村より引っ越してきた曾右衛門が死去し、家内5人は渡世のため乙島村を出るため、彼らを宗門帳から除名してくれるよう申請したもの。	源七の願出を承知したとの庄屋佐平次宛て川崎町西野屋清太夫奥書あり。
別2-10-18	指上申御手形之事	享保4年亥10月21日		堅紙	1通	川崎町忠兵衛・同市左衛門 今度の過ちについて赦免してもらったことを感謝し、今後は博奕・遊女の宿など御法度に背くことはしないと誓約したもの。	御庄屋伝次郎あての左衛門奥書あり。
別2-10-19	口上書	巳10月21日		堅紙	1通	権右衛門ほか8名→年寄惣兵衛・与三左衛門 精神錯乱している「たつ」を仕切りを作った家屋内に入れていたが、仕切りを破って外へ出てしまい扱いに困っていることを伝えたもの。	

別2-10-20	一札之事	子4月3日		縦紙	1通	五郎作・五郎兵衛・五人組頭茂左衛門→乙島村庄屋重左衛門 不覚悟にて立木伐採が禁じられている高山御立林のうちは開墾してしまい、桑目を付けてしまったことを謝罪し、林に戻すよう念入りに努力することを誓約したもの。	
別2-10-21	一札之事	正月18日		縦継紙	1通	惣浜人と右衛門ほか10名→御庄屋重左衛門 御浜奉行が見分に出てきた際、直に我侭な言い分を申ししたことについて謝罪し、今後願ひ事は庄屋まで申し上げ庄屋の指図に従うことを誓約したもの。	
別2-10-22	一札	元禄9年子2月		縦継紙	1通	川崎町五人組頭吉良右衛門ほか15人→宛名なし 遊女・かぶき子など行衛の分からぬ旅人や博奕打・盗人を宿泊させないこと、公儀の帳面に登録されていない人物を許可なく宿泊させないこと、五人組内で我侭を言う者についての扱い、借屋人には身分証明が必要なことなど、決まり事を厳守することを誓ったもの。	
別2-10-23	指上ヶ申一札之事	寛文2年子2月5日		縦紙	1通	六郎兵衛→庄屋左平次 こからしの田・たなかの前ノ島を売る件について、永代買取ではなく10年切にしてほしいことを願い出たもの。	
別2-10-24	手形	享保11年巳11月26日		縦紙	1通	新屋治兵衛→乙島御庄屋伝次郎 切畑20歩を善六に渡したので帳面の善六分に書き入れてくれるよう申告したもの。	
別2-10-25	川崎町吉兵衛口書覚	延享元年子6月		縦切紙	1通	川崎町吉兵衛 悴の権助は種々意見しても不行跡を改めず自分の心底に叶わないので勤当して追い出したから、宗門帳から除名してくれるよう申請したもの。	吉兵衛の願出を承知したとの庄屋佐平次あて川崎町清太夫の奥書あり。端裏に「子六月川ノ吉兵衛」とあり。
別2-10-26	口上書	巳10月21日		縦紙	1通	清兵衛→年寄惣兵衛・与三左衛門 姉の「たつ」が精神錯乱して夜な夜な徘徊して問題を起し、三度連れ帰ったが、以後自分はこの件に関与したくないと伝えたもの。	
別2-11	[享保六年・寛政元年高梁川洪水関係書類一括]				1箱(1冊・仮3冊・1括り・1纏め・10通・1枚)		別2-11-1～別2-11-17箱入り一括。
別2-11-1	備中国浅口郡乙島村海表二而洪水節流人助ヶ諸事覚帳	(享保6年)		美・縦	1冊	享保6年閏7月15日の洪水で被災し海上へ流された西阿知・西原・片島・中島村の住民を、乙島・勇崎・黒崎村の住民が船で救出した際の文書類をまとめたもの。漂流者の氏名・年齢・住村をまとめた記録、漂流者の身柄引取や謝礼金について住村の庄屋とやり取りした文書写しなど。	
別2-11-2	[洪水漂流物書上帳]	(寛政元年)		半・横長	仮1冊	寛政元年6月の洪水で発生した漂流物(長持・箆筒引出・蒲団・羽織・小袖・屏風・味噌樽・水門板など)をさぬき屋新平・備前屋文助ら本来の所有者ごとに目録化し、返却日時を記したもの。	
別2-11-3	[守屋十左衛門宛 羽右衛門ほか3名連署書状]	(寛政元年)6月26日		横継紙	1通	西原村名主羽右衛門・喜四郎・西阿知村忠吉→乙島村御庄屋十左衛門 当所の流失物を今日受け取りに行かせること、村役人は水尾留工事で手が明かないので役人同様の別人を行かせることを伝えたもの。	包紙あり。上書「乙島村御庄屋十左衛門様 西阿知村名主忠吉・西原村名主羽右衛門・同喜四郎」。
別2-11-4	[守屋十左衛門・同孫大夫宛 守屋平三郎書状]	(寛政元年)6月19日		横継紙	1通	守屋平三郎→守屋十左衛門・同孫大夫 御代官様が爪崎から長尾村まで急ぎの御用で出役する予定だが当役所に船が1艘もなく困っている、船と船頭を出してくれば数百人の助けになる、と依頼したもの。	端裏上書「守屋十左衛門様・同孫大夫様 ■用事 守屋平三郎」。
別2-11-5	[船頭派遣覚]	(寛政元年6月カ)		横折紙	1通	6月19日～20日ごろ養父大浜と両玉島村とを行き来した船と水夫の記録。	
別2-11-6	[守屋十左衛門あて 忠吉ほか3名連署書状]	(寛政元年)6月25日		横折紙	1通	西阿知村名主忠吉・西原村名主羽右衛門・同喜藤太→乙島村御庄屋十左衛門 前代未聞の洪水につき、両村から流出し乙島村へ漂着した帳面・衣類などを近々引取りに向かうことを伝えたもの。	包紙あり。上書「乙島村御庄屋十左衛門様 貴報 西原村名主羽右衛門・喜藤太・西阿知村忠吉」。

別2-11-7	[人名書付]	年月日未詳		横切紙	1枚	長次郎ほか9名を列記。「松田方 当村…」とあるが詳細不明。	割印のみが押された横切紙2枚が一緒に巻込まれている。
別2-11-8	[寛政元年洪水の節船調達についての礼状類一括]				1纏め(2通)		別2-11-8-1～別2-11-8-2巻込み一括。
別2-11-8-1	[守屋重左衛門宛 辻友太夫書状]	(寛政元年) 閏6月4日		横継紙	1通	辻友太夫→乙島村重左衛門 先だつての洪水の際、平三郎からの要請に応じて船を工面してくれたことに感謝し、酒と鮮鯛を進呈する旨を伝えたもの。	端裏上書「乙島村重左衛門様 辻友太夫」。別2-11-8-2を巻込。
別2-11-8-2	洪水之節	(寛政元年)		横切紙	1通	別2-11-8-1をもらった経緯を記した覚書。去る6月18日～21日、玉島村庄屋平三郎よりの依頼に応じ当村川口屋源吉の船を手配し、その御礼に代官から書状をもらったことを記す。	別2-11-8-1に巻込み。
別2-11-9	口上	年未詳6月2日		横切紙	1通	油屋治兵衛→乙島村御庄屋 洪水で流された道具の受け取りについて。	
別2-11-10	[洪水漂流道具類改帳]	(寛政元年)		美・横長	仮1冊	夜着・蒲団・座布団・堺屋卯平次道具など、洪水で流出し拾得された道具類の特徴と拾得者の名前をまとめたもの。	
別2-11-11	[守屋十左衛門宛 松田彦三郎書状]	(寛政元年) 11月29日		横継紙	1通	松田彦三郎→守屋十左衛門 洪水の際に流れ諸道具の回収で世話になった人々とは別に、当領町内へ入り込んで活動してくれた川崎町の人々へ謝礼を贈る件につき、やり取りしたもの。	包紙あり。上書「守屋十左衛門様 松田彦三郎」。
別2-11-12	[洪水流失物受領簿]	(寛政元年)		半・横長	仮1冊	西原村名主代同村為治郎直(花押)・西阿知村名主代同村甚次郎 乙島村水溜・干場田の住民が拾得し預かっていた洪水流失物を西原村・西阿知村の村役人代理が受け取り、それぞれ所有者へ返還する旨を伝えたもの。拾得物1点ごとの特徴を記す詳細な目録がまとめられている。	
別2-11-13	[守屋重左衛門宛 為次書状]	(寛政元年) 8月20日		横継紙	1通	西原村為次→乙島村御庄屋重左衛門 流失物の件で御礼に出向きたいものの延引していることを詫び、この手紙を持参した者に拾得物を渡してくれるよう伝えたもの。	端裏上書「乙島村御庄屋重左衛門様 口下用事 西原村為次 甚免キ切紙御免可被下」。
別2-11-14	[書状草案]	(寛政元年)		横切紙	1通	御村から流れてきた漂流物のうち、元文中御普請書類その他の書状・書付などを当村で拾得しており、近いうちに引き渡したいので村役人を受け取りに遣わしてほしいと伝えたもの。	別2-11-12に関連する記述あり。
別2-11-15	[洪水流失物関係書類一括]				1括り(4通)		別2-11-15-1～別2-11-15-4紙綴一括。
別2-11-15-1	[洪水流出物受渡簿]	(寛政元年)		美・横長	仮1冊	洪水で流出した中村屋・うをや弥一郎などの所持品の受け渡し記録。おけ・みせ舟・みそたる・戸板など。	
別2-11-15-2	[川崎町洪水漂流物拾得品目録]	(寛政元年)		美・横長	1纏め(6枚)	夜着・蒲団・風呂敷・木綿・銭箱など、洪水時の拾得品をまとめたもの。	
別2-11-15-3	覚	(寛政元年)		美・横長	1纏め(3枚)	渡・藪で拾得された洪水流失物の目録。品目と拾得者名の記載あり。丸太・蒲団・挟み箱・下駄など。	
別2-11-15-4	覚	(寛政元年)		美・横長	1纏め(2枚)	拾得された洪水流失物の目録。四斗樽・戸棚戸・こたつ・筆筒引出・枕など。	
別2-11-16	[守屋十左衛門宛 松田彦三郎書状]	(寛政元年) 12月26日		横切紙	1通	松田彦三郎→守屋十左衛門 当夏洪水の際に何かと御心配をおかけしたので両種(酒肴)を進上する旨伝えたもの。	端裏上書「守屋十左衛門様 松田彦三郎 如此樽肴ハもし外二川崎九人之者へ樽肴代として金貳百疋[]候得共九人之者斗へ此方方差図仕斗難相成候間其段返書ニ認メ差返し候」。
別2-11-17	[守屋十左衛門宛 松田彦三郎書状]	(寛政元年) 12月29日		横継紙	1通	松田彦三郎→守屋十左衛門 当夏洪水の際の御礼として樽肴を進上したものの、受け取りを断られた件につき、粗末な品々ではあるが御受納いただきたいと再度伝えたもの。	包紙あり。上書「守屋十左衛門様 松田彦三郎」。

別2-12	元禄七甲戌五月 備中国松山領御検地万覚書御役人付・姫路行日記 庄屋守屋重左衛門扣	元禄7年甲戌5月	美・豎	1冊	松山領の検地手法について詳細に記した「御検地御条目之写」および御検地畝並帳・御立山并百姓小林改帳・池床改帳・寺社堂宮敷地并田畑山林御除地改帳・田畑位付帳の仕様を定めた雛形、竿奉行など検地役人の人名や人数、宿所などをまとめた記録。	
別2-13	延享元年子十一月 播州多可郡的場村於御休子十一月九日 神尾若狭守様被仰渡候趣村々御請書	延享元年子11月	美・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村百姓与次兵衛ほか447名 国々を巡見した神尾若狭守から言い渡された、土地も広く豊かで作徳も多い五畿内中国筋の国々における年貢徴取のやり方を改めるようにとの指令に対する請書。	
別2-14	[新金銀流通についての触書類写]	正徳4年5月15日	美・豎	1冊	新たな貨幣発行・流通にあたって幕府が触れ渡した決まりをまとめたもの。「新金銀之事触書」「金銀通用之法御定書」「新古金銀割合次第」「諸国両替商人江申渡之書付」。	
別2-15	元禄七戌年五月 御検地御条目写 守屋又太夫	元禄7年戌5月	半・豎	1冊	備中国松山領村々の検地につき、検地案内者の選定・間竿の寸法・田畑の位付の手法などを細かく取り決めたもの。	奥に「玉島本町 守屋」の記名あり。
別2-16	[所々古手形類一括]			1袋(5括り・1包・4通)		別2-16-1～別2-16-10まで袋入り一括。袋上書「所々古手形類 追而仕訳可申物也」。
別2-16-1	[山崎・水谷氏時代成羽・松山藩関係書類等一括]			1括り(2括り・1冊・5通・1枚)		別2-16-1-1～別2-16-1-9紙綴一括。
別2-16-1-1	寛永四年う正月吉日 麦借シ日記之事 主又三郎	寛永4年う正月～寛永14年	美・横長	1冊	寛永4～14年の間、守屋氏(又三郎)が四郎左衛門・すへ四郎右衛門・かしま島少九郎などに麦を貸し付けた記録。	
別2-16-1-2	宿引付ノ覚	年月日未詳	横折紙	1通	成羽藩主山崎氏の一族山崎主馬が乙島村に宿泊した際の主馬自身とその家臣の宿割りを記したもの。「山崎主馬様宿 玉蔵坊」「梅原甚五左衛門様 庄屋」など。	
別2-16-1-3	[書状一括]			1括り(4通)		別2-16-1-3-1～別2-16-1-3-4紙綴一括。
別2-16-1-3-1	[十左衛門カ宛 某書状]	年未詳4月15日	横継紙	1通	松を送ってもらったことに満足しているが、そちらで見た時より殊の外木が延びていること、角助に切米を渡したことなどを伝えたもの。	端裏上書「乙島十左殿 参 松口□□」。切封が残存するが繊細なので取扱い注意。
別2-16-1-3-2	[森谷左平次宛 大口佐左衛門書状]	年未詳11月2日	横折紙	1通	大口佐左衛門(花押)→森谷左平次 約束の餅を送ってもらったことの御礼を述べ、浪人に関する調整につき一人大慶とねぎらったもの。	
別2-16-1-3-3	[寿福院宛 森屋仙右衛門書状]	年未詳7月16日	横折紙	1通	森屋仙右衛門口□(花押)→寿福院 当村我々一族のほかにも由緒もないのに我々の一族と偽って他所で密かに森屋氏を名乗る者がいるので、村中吟味して差し止めた、以後拙者の添状を持たない者を森屋氏と記さないように、と要請したもの。	
別2-16-1-3-4	[守屋十左衛門宛 永島持貞書状]	年未詳2月28日	横継紙	1通	永島助七持貞→乙島十左衛門 長々浪人の境遇にあり、子供兩人も成人して不足が多く難儀しており、借銀の取り扱いについて歎願したもの。	
別2-16-1-4	村々覚	寛永17年辰正月5日	横折紙	1通	伊藤三右衛門(定行)(花押)・野沢内記→下倉村・草田村・久代村・山田村・片島村・西阿知村・玉島村・乙島村右之庄屋中 江戸米渡し手形、御検見衆・鳥見衆・御鷹副衆の賄い手形、大坂への米の手形などを提出するよう指示し、年貢納入分のうち扶持方同算用した米は何石か、御蔵に残っている米は何俵何石か、報告するよう伝える。	

別2-16-1-5	[弥右衛門ほか4名宛 西島真家書状]	年未詳8月4日		横折紙	1通	西二郎左衛門→弥右衛門・孫十・宗兵衛・庄九郎・九郎兵衛 今日西ノ浦弥七殿のところへ参るはずだったが明日になったこと、山田・久代そのほか奥郡より米の初尾を持ち運ぶ人呼び寄せていること、片島・西阿知は「やき米」になって稲がなく、三ヶ島の米の調達・上進については分別に任せることなど伝える。	
別2-16-1-6	[十右衛門ほか4名宛 西島真家書状]	年未詳辰2月8日		横折紙	1通	西島二郎左衛門真(花押)→連島庄や十右衛門・同弥右衛門・おと島庄や宗兵衛・かしわ島庄や長右衛門・同庄九郎 先に長岡四郎左衛門が舟を1艘出すよう指示したにも関わらず2御も派出したのは不届きであり1艘分の加子扶持しか渡さないことを伝え、使番舟の舟ならびに加子(水夫)につき三島の算用の塚が明くようにすること、乙島・東ノ浦の舟数書付は受け取ったので西ノ浦・栢島分も送るよう伝える。	
別2-16-1-7	[守屋宗兵衛宛 西島真家書状]	年未詳4月27日		縦紙	1通	真(花押) そちらの舟が販売用の栗石を積んでいるようであれば、亀島の捨て栗石として買い入れたいと言っているの、どれほど大きな栗石でも問題ないので売ってくれるようであれば亀島にて久八殿・清右殿へことわたった上で売ってほしい、と要望したもの。	上書「(墨引) 宗兵衛殿 参 西二郎左衛門 方」。
別2-16-1-8	[守屋左平次宛 新勘左衛門書状]	年未詳12月28日		横折紙	1通	新勘左衛門高口(花押)→乙島口左平次 水谷勝宗の子・弥五郎の病氣平癒を願って守屋左平次が祈禱を実施し、去る11日に弥五郎が元気になったことを勝宗が喜び、祝儀として雉子3つを左平次に下賜する旨、家臣の勘左衛門が伝達したもの。	包紙入り。包紙上書「乙島にて 左平次殿 参 新勘左衛門 方」。同じく包紙に後筆にて「松山御代殿様 方 雉子三羽被 下置候」と記す。
別2-16-1-9	[村々古来文通]				1括り(4通)		別2-16-1-9-1～別2-16-1-9-4紙縫一括。紙縫上書「古来村々文通」。
別2-16-1-9-1	[守屋宗兵衛宛 庄九郎書状]	年未詳2月2日ノよる丑ノ刻		縦切紙	1通	庄九郎(花押)→宗兵衛 連島より舟1艘に加子(水夫)4人を乗せて明日宮浦へ廻送するようにとのことだが、今回はそちらが舟を出してほしい、加子は2人ほどこちらから出す、と伝えたもの。	
別2-16-1-9-2	[六郎右衛門ほか2名宛 善左衛門書状]	年未詳閏正月28日		横折紙	1通	善左衛門(花押)→六郎右衛門・長右衛門・左平次 若殿様来る2日に上洛するため明日「御舟おろし」を行うので、栢島より50人、乙島より25人の人足を明日未明にこちらへ寄越すよう井手作太夫様より用命があったことを伝え、油断なく実行するよう指示したもの。	
別2-16-1-9-3	[守屋左平次宛 権三郎書状]	年未詳閏正月29日		縦紙	1通	(花押) 若殿様来る2日こちらまでお出でになると「御両人様」より連絡があったことについて。	端裏上書「左平次様 権三郎 方」。別2-16-9-2に関連。
別2-16-1-9-4	[黒崎村ほか2ヶ村宛 権三郎書状]	年未詳正月16日		横折紙	1通	長尾村権三郎(花押)→黒崎村・栢島村・乙島村 殿様が今日長尾村へお出でになり「ちやうり」と「わらんじ」が必要になったので用意してほしいこと、乙島左平次に対しては「かき」などが必要との用命が出されていることを伝え、協力を求めたもの。	
別2-16-2	清右衛門跡敷之定	戌4月18日		横継紙	1通	佐々井弥市右衛門(花押)・小野四郎兵衛・森谷十左衛門(花押)・小野半十郎(花押) 清右衛門の所持地だった田島およそ140石余の分配につき、寄合相談により取り決めたもの。本家小七郎・隠居分・貞平分・吉野分・次左衛門分。	
別2-16-3	乍恐奉願口上之覚	正徳元年卯12月		縦継紙	1通	浅口郡乙島村願主仙右衛門・赤崎村庄屋銚右衛門→大庄屋伝左衛門 阿賀郡宮地村三郎太夫が所持する酒株を買い求めるにあたって許可を求めたもの。	小島儀右衛門・田島武左衛門宛の大庄屋伝左衛門奥書あり。本文に貼られた訂正貼紙が一部剥落につき取扱注意。
別2-16-4	[守屋左平次宛 伊藤定行書状]	年未詳正月28日		横折紙	1通	い三右衛門定(花押)→乙島左平次 その村の小物成免除は認めず全て納めるようにと指示があった件について。	上書「(墨引) 乙島左平次殿 御返事 い三右衛門 松山 方」。
別2-16-5	[守屋四郎右衛門・某作十郎宛 梅岡五左衛門書状]	年未詳6月4日		横折紙	1通	梅岡五左衛門■(花押)→乙島四郎右衛門・栢島作十郎 服部八郎左衛門がそちらに出向くので、乙島にて2間・栢島にて2間の宿を借用させてほしいこと、乙島の寺を八郎左衛門の暫時の宿所として手配してほしいことを依頼したもの。	端裏に「先祖四郎右衛門代文通」とある。紙縫が掛けてあり、その端に「水谷様御代 渡船ノ書類」とある。

別2-16-6	〔銀子受領証一括〕				1括り(4通)		別2-16-6-1～別2-16-6-4紙縫一括。紙縫の端書に「赤賀崎村中買町二而酒造いたし候節買入れ御上り御手形」とある。
別2-16-6-1	請取申銀子之事	年未詳戌11月8日		豎切紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→川崎屋左平次 当戌御物成買米代銀の受領証。	
別2-16-6-2	請取申銀子之事	年未詳戌12月16日		豎切紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→川崎屋左平次 銀769匁余を受領し過納分は後日返すことを伝えたもの。	
別2-16-6-3	請取申銀子之事	年未詳戌12月6日		豎切紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→川崎屋左平次 当戌御物成買米代銀の受領証。	
別2-16-6-4	請取申銀子之事	年未詳戌11月19日		豎切紙	1通	郷中へ罷出無判 近藤覚左衛門・田島武左衛門→川崎屋左平次 当戌御物成買米代銀の受領証。	
別2-16-7	〔物成・夫役関係書類一括〕				1括り(1枚・1通・1纏め)		別2-16-7-1～別2-16-7-3紙縫一括。
別2-16-7-1	〔紙縫端書〕	年月日未詳		切紙	1枚	「明暦二年申ノ四月 御触書写し柏島へ到来之に并柏島村両庄屋手紙へ■ 渡部主計・木梨平助」とある。	
別2-16-7-2	寅之御物成請取	宝永8年卯10月		横切紙	1通	柏島村庄屋与十郎 千右衛門分の物成を受領したもの。	
別2-16-7-3	〔物成・夫役関係書類一括〕				1纏め(2通)		別2-16-7-3-1～別2-16-7-3-2折込み一括。
別2-16-7-3-1	〔水谷氏家臣触状写〕	年未詳申4月		横折紙	1通	渡部主計・木梨平助 御かかり物・小物成・石高目録などの書付をよく吟味してまとめ提出するように伝えた書状など3点を料紙の表裏に書き写してある。	
別2-16-7-3-2	〔守屋左平次宛 長右衛門・十右衛門連署書状〕	年未詳閏4月14日		豎切紙	1通	長右衛門(花押)・十右衛門→左平次 各種の夫役の帳面への書き載せ方を教示したもの。	
別2-16-8	〔借銀および寺社改め関係書類一括〕				1括り(4通・1括り)		別2-16-8-1～別2-16-8-5紙縫一括。紙縫の端書に「享保二十卯年」とある。
別2-16-8-1	〔守屋仙右衛門宛 円乗院書状〕	年未詳2月2日		豎紙	1通	円乗院→守屋仙右衛門 寺内鎮守荒神社の梁行・桁行・屋根仕上について報告したもの。	
別2-16-8-2	〔借銀・宗門送り関係文書一括〕				1括り(3通)		別2-16-8-2-1～別2-16-8-2-3紙縫一括。
別2-16-8-2-1	覚	享保7年寅12月19日		横切紙	1通	玉島村又大夫→乙島村伝次郎 返済銀の受領証。	
別2-16-8-2-2	覚	年未詳未12月21日		横切紙	1通	玉島村又大夫→乙島村伝次郎 伝次郎の借銀のうち返済分を差し引いた残額を示したもの。	端裏に「玉島村又太夫」とある。
別2-16-8-2-3	送り手形之事	享保6年丑7月29日		豎継紙	1通	玉島村庄屋又大夫→乙島村庄屋伝次郎 乙島村せんば田四右衛門の伴五郎兵衛が宗門帳未登載のまま阿賀崎村へ引越したため、乙島村として送り手形の発行ができない件について。	端裏に「玉島村又太夫」とある。
別2-16-8-3	寺社御改	宝永5年戊子閏正月27日		豎継紙	1通	円乗院 備中国浅口郡乙島村玉島山安福寺円乗院について、本山・縁起・境内地・本尊・建物・山林・年貢地田畠について詳細を書き上げたもの。	端裏に「円乗院之儀書付」とある。
別2-16-8-4	預り申亥御勘定米之事	元禄9年子4月20日		豎紙	1通	勇崎村庄屋又三郎→乙島村御庄屋十左衛門 亥年の御物成のうちから六歩米を預かり、来る11月に玉島御蔵本へ返済する旨を約束したもの。	端裏に「元禄九子年勇崎村庄屋又三郎印」とある。

別2-16-8-5	[守屋仙右衛門宛 海岸寺書状]	年未詳2月3日		縦紙	1通	海岸寺→守谷仙右衛門 八幡境内・明神境内の末社(若宮・荒神社・龍王社)について、梁行・桁行などの建物寸法を報告したものの。	
別2-16-9	[乙島村採石採土関係書類一括]				1括り(1包・3通)		別2-16-9-1～別2-16-9-4紙綴一括。紙綴の端書「石土之所々方之書類 昌勝集ル」。
別2-16-9-1	[石材・土砂調達および年貢算用関係書類一括]				1包(6通)		別2-16-9-1-1～別2-16-9-1-6包紙入り一括。包紙上書「石土之書物入 松田久左衛門」。
別2-16-9-1-1	覚	年未詳3月19日		横継紙	1通	年貢算用の場に来なかつたり未進している者の名前をまとめたもの。	別2-16-9-1-8と関連。
別2-16-9-1-2	[守谷左平次宛 松田久左衛門書状]	年未詳正月28日		横継紙	1通	松田久左衛門→守谷左平次 破損部補修用の壁土がないので、五軒家新やしきの岸から土取りをさせてほしいと申し込んだもの。	端裏上書「守谷左平次様 松田久左衛門」。切封の紙帯が残存。
別2-16-9-1-3	[守谷左平次宛 松田久左衛門書状]	年未詳2月9日		横継紙	1通	松田久左衛門→守谷左平次 年貢の算用に一度も来ない百姓がいるので、明日のうちに来るように措置してほしいと伝えたもの。	端裏上書「守谷左平次様 松田久左衛門」。
別2-16-9-1-4	[守谷左平次宛 松田久左衛門書状]	年未詳閏3月20日		横継紙	1通	松田久左衛門→森谷左平次 村方普請に石材が必要だがこちらの村には石がないので、五軒家はな前で少しだけ石取りをさせてほしいと依頼したもの。	端裏上書「守谷左平次様 松田久左衛門」。切封の紙帯が残存。紙継目剥落の恐れ。
別2-16-9-1-5	[守屋佐平次宛 松田久左衛門書状]	元文3年午6月5日		横継紙	1通	松田久左衛門→守屋佐平次 当村雁木普請が始まったので、必要な土を乙島村で採取させてほしいと依頼したもの。	端裏上書「元文三午とし 守屋佐平次様 松田久左衛門」。
別2-16-9-1-6	[守屋左平次宛 松田久左衛門書状]	元文6年酉3月14日		横切紙	1通	松田久左衛門→守屋左平次 海手を少し普請するので古水門の修繕に使う栗石をもらい受けたいと依頼したもの。	端裏上書「元文六酉とし 守屋左平次様 松田久左衛門」。切封の紙帯が残存。
別2-16-9-1-7	[守谷佐平次宛 松田久左衛門書状]	元文3年3月29日		横継紙	1通	松田久左衛門→守谷佐平次 当村内での普請に必要な栗石が手に入らないので、通町はなのいつもの場所で採石をさせてほしいと依頼したもの。	端裏上書「元文三午 守谷佐平次様 松田久左衛門」。
別2-16-9-1-8	[守谷左平次宛 松田久左衛門書状]	年未詳3月19日		横継紙	1通	松田久左衛門→守谷左平次 以前からお願いしている乙島村百姓中の当領去暮年貢滞納の件について、別紙の別人委細書付を添えて再度依頼したもの。	端裏上書「守谷左平次様 松田久左衛門」。別紙は別2-16-9-1-1のことと推定。切封の紙帯が残存。
別2-16-9-2	[守屋伝次郎宛 又大夫書状]	年未詳丑12月5日		横継紙	1通	玉島村又大夫→口島村伝次郎 土取畑地子米・源介懸落にともなう当年分年貢の処理について。	端裏上書「口島村伝次郎様 玉島村又大夫」。やや痛みあり、紙継目剥落の恐れ。
別2-16-9-3	[守屋伝次郎宛 あわ■又六書状]	年未詳3月18日		横継紙	1通	(花押) 壁土の件に関する依頼を陣屋まで取り次いでもらい解決したことを感謝し、御礼に酒樽を進呈する旨を伝えたもの。	端裏上書「(墨引)守谷伝次郎様 あわ■又六」。
別2-16-9-4	[守屋伝次郎宛 菊池太兵衛書状]	年未詳閏5月21日		横切紙	1通	菊池太兵衛→守屋伝次郎 少し石材が必要になり小船を「荒神のはな」に廻送して積み込みを行いたいので、近所の者に対する心添えを依頼したもの。	端裏上書「(墨引)守屋伝次郎様 菊池太兵衛」。
別2-16-10	[乙島村山林立木採取関係書類等一括]				1括り(25通)		別2-16-10-1～別2-16-10-25紙綴一括。紙綴端書「寛文年中御小物成請取其外御役人御判付書類 昌勝改」。
別2-16-10-1	請取申小物成通之事	寛文12年子11月1日		横折紙	1通	永岡百助・大井佐右衛門→乙島村庄屋佐平次 ぬか・わら・なわの受領書。	
別2-16-10-2	覚	年未詳子9月1日		横切紙	1通	大木長右衛門→乙島御庄屋左平次 竿3本用の木をこの者に伐採させるよう指示したもの。	
別2-16-10-3	覚	年未詳7月7日		横切紙	1通	遠藤七兵衛→乙島村庄屋左平次 御普請場で使う飯籠の材料として、なよ竹40本をこの者に伐採させるよう指示したもの。	
別2-16-10-4	[守屋左平次宛 高岡金右衛門書状]	年未詳2月21日		横切紙	1通	高岡金右衛門→乙島庄屋左平次 砂入被害についての報告に対し、毎年のようにしっかり除去するよう指示したもの。	端裏上書「乙島庄屋左平次殿 御報 高岡金右衛門」。

別2-16-10-5	可被為渡竹ノ枝ノ事	年未詳寅6月24日		横切紙	1通	佐治三右衛門→乙しま左平次 箒に仕立てるための竹2本を渡すよう指示したもの。	
別2-16-10-6	可被為渡間さほノ事	年未詳辰2月9日		横切紙	1通	佐治三右衛門→乙島左平次 間竿に仕立てるための木3本を渡すよう指示したもの。	
別2-16-10-7	うけ取申銀子之事	年未詳子12月21日		堅切紙	1通	佐治三右衛門→乙島村庄屋左平次 銀37匁6分余の受領書。	
別2-16-10-8	覚	年未詳丑11月5日		堅切紙	1通	山口■兵衛・早崎安左衛門→乙島庄屋左平次 立木60本の入手について依頼したもの。	端裏に「則銭子百三拾三文夫やふり物助右衛門ニ渡ス」とある。
別2-16-10-9	可被相渡松竹之事	年未詳寅12月24日		堅切紙	1通	佐治三右衛門→乙島左平次 玉島権現様御祝に必要な松・竹16本を渡すよう指示したもの。	
別2-16-10-10	請取申麦之事	年未詳子閏6月21日		堅切紙	1通	しほ浜庄屋伝吉→乙島庄屋左平次 麦7石の受領書。	
別2-16-10-11	[守屋宗兵衛宛 正九郎書状]	年未詳6月18日		堅紙	1通	(花押) 春に連島へ来た水夫に扶持方を遣わすとの宗兵衛の意向を受け、今日にも同じ者に浜役銀を持たせて派遣する旨を伝えたもの。	上書「(墨引)乙島宗兵衛殿参 くらしきカ方 正九郎」。
別2-16-10-12	可被相渡なよ竹之事	年未詳寅6月28日		堅切紙	1通	佐治三右衛門→乙島村御庄屋左平次 なよ竹7本をこの者に渡すよう指示したもの。	
別2-16-10-13	可被相渡麦事	寛文13年丑8月1日		堅切紙	1通	厚木金五郎・安達義大夫→乙島庄屋左平次 玉島早魃による飢人に給付するための麦を渡すよう指示したもの。	
別2-16-10-14	可被相渡桶わ竹事	年未詳丑7月23日		堅切紙	1通	藤井喜兵衛・佐治三右衛門→乙島御庄屋佐平次 柏島御普請に際し宗小屋の桶のわ竹に用いる竹を渡すよう指示したもの。	
別2-16-10-15	可被相渡竹之事	年未詳卯正月14日		堅切紙	1通	佐治三右衛門→乙島村御庄屋左平次 白魚を捕獲する網竹に用いる竹10本をこの者に渡すよう指示したもの。	
別2-16-10-16	[守屋左平次宛 長谷部伝左衛門書状]	年未詳申正月13日		堅切紙	1通	長谷部伝左衛門→御庄屋左平次 御家中の大所(台所カ)・釜屋・風呂辺の御用に供する藁を今日渡すよう指示したもの。	
別2-16-10-17	覚	年未詳申正月15日		堅切紙	1通	佐治三右衛門・田久惣右衛門→乙島御庄屋佐平次 小から竹30本をそちらで伐採させるよう指示したもの。	
別2-16-10-18	覚	年未詳辰7月21日		堅切紙	1通	佐治三右衛門→乙島御庄屋佐平次 竹5本をそちらで伐採させるよう指示したもの。	
別2-16-10-19	[守屋左平次宛 堀与三右衛門書状]	年未詳巳閏12月16日		堅切紙	1通	堀与三右衛門→乙島御庄屋左平次 風で倒れた桐の木をこの者に渡すよう指示したもの。	
別2-16-10-20	可被相渡門松之事	延宝3年卯12月27日		堅切紙	1通	佐治三右衛門→乙島村御庄屋左平次 小松2本を渡すよう指示したもの。	
別2-16-10-21	[守屋左平次宛 林次左衛門書状]	年未詳未12月30日		堅切紙	1通	林次左衛門(花押)→乙島左平次 御番所御祝の松竹を例年どおり提供するよう指示したもの。	
別2-16-10-22	[守屋左平次宛 塩田六兵衛書状]	年未詳12月晦日		堅切紙	1通	塩田六兵衛(花押)→乙島■左平次 御飾り竹15本を養父にて伐採させるよう指示したもの。	
別2-16-10-23	可被相渡門松之事	年未詳卯12月20日		堅切紙	1通	佐治三右衛門→乙島村庄屋左平次 門松用の松竹を船改御番所の林次左衛門へ渡すよう指示したもの。	
別2-16-10-24	可被相渡竹之事	年未詳丑8月12日		堅切紙	1通	登土川兵右衛門→乙島村左平次 はさみ竹に使う竹5本を渡すよう指示したもの。	
別2-16-10-25	可被相渡竹枝之事	年未詳寅12月2日		堅切紙	1通	佐治三右衛門→乙島庄屋佐平次 御水門御用のための竹枝5本を渡すよう指示したもの。	

別2-17	[書状類]				1括り(1冊・43通・3枚・3纏め)	別2-17-1～別2-17-50紙綴一括。別2-17-1で別2-17-2～別2-17-50を包む。紙綴付箋上書「古来々御用二付御役人様方之御書中并村々村役人方之書中 昌勝改集ル」	
別2-17-1	[守屋惣兵衛宛 かめ山治右衛門書状]	年未詳閏5月1日		縦紙	1通	かめ山治右(花押)→乙島庄や惣兵衛 亀山家の年頃25, 6歳の「ふたい女」が明け方の卯の刻に逃げ出し、乙島へ向かったようなので、詮索してほしいと依頼したもの。	年未詳閏5月10日付けの野沢内記署判「御買麦之事」が紙背に書き写されている。2-17-2～2-17-50を包む包紙として利用。
別2-17-2	[栢島村・乙島村庄屋衆中宛 西島家正書状]	年未詳11月26日		横切紙	1通	西島弥五左衛門家正→栢島村・乙島村庄屋衆中参る 舟がなく浦舟で不足を補うので乙島村の内でのよい舟を調達してほしい、なければ栢島の内に申し付けるようにと指示したもの。	上部が1～2字分ほど欠損か。
別2-17-3	亥ノ御年貢請取	元禄9年子3月15日		横切紙	1通	阿加崎村庄や小三郎 冒頭の田高20石7斗9升9合についての記述部分以外が欠損。	本来横継紙だったものの第1紙のみ残存。
別2-17-4	[包紙断簡]	年月日未詳			1枚	「銀44匁 かす壱升 弥二兵衛」などと記す。	何らかの書付を包紙に転用したものか。中身はなし。
別2-17-5	[銀預かり手形断簡]	享保5年子5月19日		縦継紙	1通	銀預り主浅口郡乙島村庄屋伝次郎・証人加印阿賀崎村中買町川崎屋左平次・証人乙島村年寄与三左衛門→上船尾柳屋市太夫守屋伝次郎が所持の家屋敷・田地を質物として銀を借用した際の証文。本文最末尾・署名・奥書部分以外は欠損。	断簡。縦継紙の最後尾のみ残存。一部破断の恐れあり、取扱い注意。
別2-17-6	[守屋惣兵衛宛小口五郎右衛門書状一括]				1括り(3通)		別2-17-6-1～別2-17-6-3巻込み一括。
別2-17-6-1	[守屋惣兵衛宛 小口五郎右衛門書状]	年未詳2月11日		縦紙	1通	重秋(花押)「作右」なる人物のことについて惣兵衛から問い質された小口五郎右衛門が、彼のことで村中と談合するようなことはしないことなどを返答したもの。	端裏上書「(墨引)森惣兵衛様 御返事 小五郎右衛門方」。
別2-17-6-2	[守屋惣兵衛宛 小口五郎右衛門書状]	年月日未詳 即刻		縦紙	1通	重秋(花押) 作右衛門・小右衛門方に人を両度派遣して聞き取った事情と我らの申し分を使者に物語しておいたので、分別して同心してくれるようなら16日に我らが上方へ出舟する前に相談するよう伝える。また、何故我らの外間が悪くなるようなことをするのか、昨日の書状の内容は以ての外だったと惣兵衛を詰問している。	端裏上書「(墨引)森惣兵衛様 御報 五郎右衛門方」。
別2-17-6-3	[守屋惣兵衛宛 小口五郎右衛門書状]	年未詳2月13日		縦紙	1通	重秋(花押) 昨日も今日もくわしい報せを下さっているが、とにかく悪いようには取り持ったりしないので私どもにお任せしてほしい、と申し送ったもの。	端上書「(墨引)森惣兵衛様 参る 五郎右衛門方」。
別2-17-7	廻状	年未詳閏10月23日		横折紙	1通	稲門伝吉・篠田三右衛門→宛名未詳 当年の年貢銀を赦免するので、よい時期に年貢米納入を済ませ、酒米代銀も上納するよう指示したもの。	日付の横に「同廿四日拝見」とある。
別2-17-8	[守屋左平次宛 権三郎書状]	年未詳5月27日		縦紙	1通	(花押) 先日の見舞いに礼を述べ、酒樽2斗入り1つを売ってほしい、銀子は五郎右衛門に渡す、と伝えたもの。	端裏上書「森左平次様 権三郎」。
別2-17-9	[守屋左平次宛 清印書状]	年未詳9月11日		縦紙	1通	清印(花押) 今日とは定まりの吉事ということで神前にて祈念したことを伝える。	端上書「(墨引)森左平次様 参 御口口 御返事待入候新坊方」。紙背に「殿様御下向之時長尾使覚 戌ノ十一月十一日」と題する文書が書かれている。
別2-17-10	[守屋左平次宛 永島左次右衛門書状]	年未詳6月25日		横折紙	1通	永島左次右衛門(花押)→乙島御庄や左平次殿 「ほうふ」=防風の代銀を支払いたいのではいかほど必要か知らせてほしいと伝え、来月に入ったら松山へ帰るので冬秋中に来訪する用事があれば承る、と書き送ったもの。	
別2-17-11	[守屋左平次宛 坂入平蔵書状]	年未詳3月朔日		縦紙	1通	(花押) 左平次が進上した「ほうふ」=防風1升を受け取り、「御三人衆」のお目につけて、ただちに主君水谷氏(勝隆あるいは勝宗)の御前で披露したことなどを伝える。	端裏上書「乙島村庄や左平次殿参 坂入平蔵 松山方」。

別2-17-12	[守屋左平次・栢島庄屋重右衛門・黒崎庄屋善左衛門宛 二郎兵衛書状]	寛文7年閏2月4日		横折紙	1通	二郎兵衛(花押)→乙島庄や左平次・栢島庄や重右衛門・黒崎庄や善左衛門 去年殿様が下向した時の駄賃銀の支払いが延引していたが、渡すので受け取るように伝える。栢島・乙島・黒崎それぞれの支払い額を示し、乙島には明瞭取りにくるよう指示している。	
別2-17-13	[森谷十左衛門宛 大森佐左衛門書状]	年未詳5月28日		横切紙	1通	大森佐左衛門→森谷十左衛門 殊の外取込み、新助のことなど。	
別2-17-14	[山新宛 甚左衛門書状]	年月日未詳		縦紙	1通	□□□甚左衛門→山新カ 物品をたしかに受け取ったこと、明日には出向くことなど伝える。	端裏上書「(墨引)又二郎様 正左衛門」。
別2-17-15	[伊藤定行・野沢内記宛 守屋惣兵衛書状]	年未詳3月13日		横折紙	1通	惣兵衛(花押) こちらの御出米については前からお心得いただいているように先代の御種米として御用立てして頂きたい、百姓中にもよく申し付けているので分別してほしい、と願ったもの。	
別2-17-16	[萱屋伝左衛門書状一括]				1括り(3通)		別2-17-1～別2-17-3巻込み一括。
別2-17-16-1	[守屋宗兵衛宛 萱屋伝左衛門書状]	年未詳9月23日		縦紙	1通	伝左衛門(花押) 以前久吉に銀子を持って来るよう仰せ付けられていたが、持参していないので、今日久兵衛殿がこちらにお越しになった時銀子を渡す旨、伝えたもの。	端裏上書「宗兵衛様 西阿知 伝左衛門」。
別2-17-16-2	[守屋宗兵衛宛 萱屋伝左衛門書状]	年未詳6月12日		縦紙	1通	伝左衛門(花押) 久しく連絡していなかったが、事の外の日照りでこちらの作物は傷んでいることなどを伝える。	端裏上書「森 宗兵衛様 伝左衛門(破損)」。
別2-17-16-3	[守屋宗兵衛宛 萱屋伝左衛門書状]	年未詳申2月13日		縦紙	1通	伝左衛門(花押) 拙子が上方へ出向いて延引しているところ、大切な物を持ってきて下さり忝いと伝え、銀子140目を久吉に渡したので受け取るよう書き送ったもの。	端裏上書「(墨引)森宗兵衛様 かや伝左衛門 伝左衛門」。
別2-17-17	[乙島村水夫・塩浜関係書類]				1括り(2通)		別2-17-17-1に別2-17-17-2を挟み込み一括。
別2-17-17-1	乙島村かこノ件	年月日未詳		横折紙	1通	惣二郎・又一郎ら水夫30人の名前を列挙し、上方へ出張中の者にはその旨注記し、上方にいる源二郎も雇い入れるよう指示したものの。	
別2-17-17-2	乙島村塩はま之事	年月日未詳		横折紙	1通	新兵衛ほかの所持する塩浜12ヶ所を列挙し、このうち「かまや」が4間あること、荒れている釜屋が3間あることなどを記したものの。	端裏には「かつへ人之事」と題して10人の飢餓者が書き付けられている。
別2-17-18	覚	年未詳閏2月25日		横切紙	1通	菊池小三郎(花押)→森谷十左衛門 長島惣助様よりの御廻状1通・丸左衛門殿よりの書状1通をたしかに受け取ったことを報せたもの。	
別2-17-19	[守屋惣兵衛宛 正九郎書状]	年未詳5月26日		縦切紙	1通	正九郎(花押)→惣兵衛 去年の日照りの影響について記し、「両島」のことにつきこちらからも便りを出すつもりであると伝えている。	
別2-17-20	預り申御米之事	元禄9年子2月10日		縦切紙	1通	乙島村庄屋十左衛門(花押)→西阿知口次兵衛 米60石の代銀を受け取り、米もこちらで預かっているのでもいつでも渡す旨伝えたもの。	
別2-17-21	鳥越吉左衛門一家書	年月日未詳		縦継紙	1通	鳥越吉左衛門の夫婦・同人の娘や倅、隠居の鳥越宗源夫婦、姉婿など、吉左衛門の係累にあたる人々の名を列挙したもの。	虫損あり。
別2-17-22	[七郎兵衛・六郎右衛門宛 片山久右衛門書状]	(慶長14年カ)11月20日		横折紙	1通	片山久右衛門(花押)→かわしま七郎兵衛・同六郎右衛門 爪田休足から用命のあった「たわらご」を購入して来る22、3日に松山へ上納すること、乙島四郎右衛門に申し付けて置表を蔵敷(倉敷)で購入させることを指示し、「むろ宗兵衛様」の病状を見舞ったもの。	端書「自足守村 かわしま七郎兵衛殿(印)・同六郎右衛門殿(印)」。
別2-17-23	[守屋左平次宛 重作書状]	年未詳8月19日		横切紙	1通	重作(花押)→左平次 「三右様米之儀」について、こちらでは26匁に2割と25匁に1割で9月切の契約で借用していること、鴨原所左衛門や「兩人」が黒崎を見廻った後そちらへ向かうと思われることなどを伝える。	

別2-17-24	[坂田伊織・上野五郎兵衛宛 長右衛門・十右衛門・守屋左平次連署書状]	年未詳3月25日		横折紙	1通	柏島庄や長右衛門(花押)・同十右衛門(花押)・乙島庄や左平次(花押)→坂田伊織・上野五郎兵衛 飢人対策の扶持の出費がかさんでおり、そのことを郡奉行が見廻りした際に言上し、代官にも書状で申し上げたが、その後何の対策も出されないで、対処を願い出たもの。	端書「方 進上坂田伊織様・上野五郎兵衛様 人々御申上」。
別2-17-25	[宛名未詳 五郎書状]	年未詳10月10日		横切紙	1通	五郎(花押) 覚蔵様より「かき」の進上を命じられたことを伝え、明日殿様が出立する際の御鷹・鷹匠・餌差のことなどを伝え協力を求めたもの。	
別2-17-26	竹木立申一札之事	慶安3年寅4月27日		縦紙	1通	野沢金左衛門・加藤助二郎・磯半右衛門・渡部忠三郎 竹藪・林を念入りに育成すること、松などを隠し取ることをさせないこと、山へ火を入れないことを定めたもの。	写本。破損あり。
別2-17-27	[六郎右衛門ほか3名宛 守屋左平次書状]	年未詳12月27日		横折紙	1通	左平次(花押)→六郎右衛門・長右衛門・善左衛門・勝泉坊 渡船として殿様よりもらった舟が傷んだので舟板の下賜を三右衛門様へ願い出たところ、柏島・黒崎に勧進を頼んで乙島村で船の作事をするようになったため、柏島・黒崎村の庄屋六郎右衛門らに合力を頼んだもの。	
別2-17-28	以書付申上口上	年未詳2月19日		縦紙	1通	(差出欠)→乙島村庄屋伝二郎・同組頭与右衛門・弥五兵衛 如来を再興したものの草葺屋根では風雨の時に傷んで難儀なので仏殿・中門を瓦葺に改めて建てたいが諸事情で進捗しないため、成就するよう協力してほしいと願い出たもの。	紙背に守屋左平次宛中買町深江屋多二郎口上が記されている。
別2-17-29	預り申御年貢米之事	元禄10年丑12月27日		縦紙	1通	庄や・組頭→大岡長右衛門様御手代筒井重兵衛 当丑の年貢米を皆済の上、庄屋立会のもと年貢米を収納した蔵を封印したこと、御蔵番・日用など大切に行い万一火事や盗難で納米に不足が生じた時は村が弁済することを誓ったもの。	
別2-17-30	[米支払覚控]	正保2年酉7月20日		縦切紙	1通	黒崎にて渡部伝蔵に渡した8斗ほか101石1合を皆済した旨記したもの。	
別2-17-31	[守屋四郎右衛門宛 口十左衛門書状]	年未詳6月20日		横折紙	1通	口(花押) 鯛(こち)2つをもらった礼を述べ、3斗入の米を巡る問題について、又左衛門に尋ねて埒が明くようになればよい、我々もそうなるべきと思うが事実を見極めないと難しいので、有様を申し開くことが必要だ、明日早々に松山へ参上するのでこの機会に決着させたい、と伝える。	端書「おとしま四郎右衛門殿 口十左」。
別2-17-32	[守屋惣兵衛宛 淡路屋弥五兵衛書状]	年未詳4月5日		縦紙	1通	口(花押) 御代官様・御奉行様へ惣兵衛からの報せの内容を申し上げたところ、惣兵衛には理を説明してあるとのことだったので札持を派遣すること、栗石が必要と仰せられていたので他所の舟は入れないがそちらの舟5艘ほどで積んでほしいことを伝える。	端書「おとしま惣兵衛様 人々御中 亀島方 あわちや弥五兵衛」。乙島の採石関係史料。
別2-17-33	[守屋左平次宛 坂入平蔵書状]	年未詳10月10日		横切紙	1通	坂入平蔵(花押)→乙島庄や左平次 明日6つ時にこちらを出立するので、7つ時より内に「かき」1升を御膳に入れて持参するよう指示したもの。	
別2-17-34	[守屋惣兵衛宛 萱屋伝左衛門書状]	年未詳5月5日		縦紙	1通	口(花押) 今日久兵衛が参ったので両3人分の料足を受け取り切紙を進呈したことを伝え、用命の冬大豆について代価を示し、守屋四郎右衛門様にもよく伝えてほしいと書き送ったもの。尚々書に「上方へ連島方 出し可申候」とある。	上書「森宗兵衛様 参る御用 萱伝左衛門」。上部にしみあり。
別2-17-35	[萱屋伝左衛門書状・算用書立一括]				1括り(2通)		別2-17-35-1に別2-17-35-2を巻込み一括。
別2-17-35-1	[守屋宗兵衛宛 萱屋伝左衛門書状]	(寛永6年)10月6日		縦紙	1通	口(花押) 一昨日御算用立てを下さったので、こちらで書き出したものを進呈する。差引したものを下さるよう、今日か明日には上方へ荷物を送る予定だが俵数はどれほどあるのか、などのやり取りが記される。守屋四郎右衛門にも良きように伝えてほしいとある。	上書「森宗兵衛様 西阿知方 萱伝左衛門」。別2-17-35-2を巻込み。
別2-17-35-2	乙島宗兵衛殿さん用之事	寛永6年10月8日		縦紙	1通	両種3石ほかの代銀を示し、太郎右衛門分・伝左衛門分を差し引いた額を示したもの。	別2-17-35-1に巻込み。

別2-17-36	[守屋佐平次ほか2名宛 小林庄之助書状]	年末詳9月16日		横切紙	1通	小林庄之助(花押)→栢島権右衛門・庄助・乙島佐平次 釜屋諸道具を渡して済んだので、釜屋を早々に取り立てるよう指示したものの。松山御屋敷にて世話焼きすることがなかったのにこちらで延引とならないよう催促している。	虫損が料紙を横断しており、破損の恐れあり。取扱い注意。
別2-17-37	[守屋伝次郎宛 妹尾徳右衛門書状]	年末詳2月20日		横切紙	1通	妹尾徳右衛門→乙島村庄屋伝次郎 人足御扶持米手形を送るので名前の下に印形を押してもらって早々に送り返してくれるよう伝えたもの。	
別2-17-38	[守屋左平次・某平右衛門宛 口右衛門書状]	年末詳6月10日		横切紙	1通	かつゑふち目録・まわた代56匁について伝えたもの。	端裏上書「玉島 平右衛門殿 乙島 左平次殿 口与衛門カ」。
別2-17-39	[乙島四郎右衛門宛 四■三右衛門書状]	(慶長13年カ) 9月15日		折紙	1通	清(花押)→乙島四郎右衛門 小堀政一(作介様)よりの命に従い、乙島に掘立構造の蔵を建設すること、栗の木柱など建設資材を「キハ」より受取り、その他は自分で調達すること、畳表と「あまきのおもて」を調達して松山へ提出することなどを要請したもの。	端裏上書「乙島 四郎右衛門殿 御口 松山カ 四三右」。「四三右」は人名の略称。
別2-17-40	[守屋佐平次宛 明石権助書状]	年末詳12月3日		縦紙	1通	(花押) 昨日申し遣わした米について、今日舟を差し遣わすので渡してほしい、36、7俵と伝えたが40俵を渡してほしいと伝えたもの。	
別2-17-41	[年頭之覚]	(寛文年間ごろ)		横長	1冊	「年頭」「寛文十二年年頭之覚」などの表題で備中松山藩主水谷氏の家臣団名を列挙したものを年ごとに3つ作成し、綴じたもの。年頭祝儀などを送った相手を記録したものか。「本町 水野谷太郎 左衛門様」「御城下 坂田伊織様」など各人の住所が示されている。	
別2-17-42	[守屋左平次宛 西島真家書状]	年末詳申正月15日		横折紙	1通	西二郎左真(花押)→乙島村左平次 黒崎へ渡すはずの残り米6石につき、早々に井手作太夫方へ渡すよう勧告したもの。	
別2-17-43	あらいくすりの事	年月日未詳		縦切紙	1通	源右(花押)→久右衛門・又三郎 「あらい葉」の材料(せきしやうふ・わうはこ・はすのは・よもきなどに塩を少し入れる)を示し、4日間使用するよう記したもの。	
別2-17-44	[守屋左平次宛 上野五郎兵衛書状]	年末詳6月7日		横折紙	1通	上野五郎兵衛(花押)→乙島村左平次 我々が客を申し請けることになったので、瀬戸にて「すゝき」を1本でも2本でもよいので調達してほしいと依頼したもの。	
別2-17-45	[守屋佐平次宛 七郎兵衛書状]	年末詳9月4日		縦紙	1通	(花押) 「大かれい」3つの代銀1匁7分を受け取ったことを伝えたもの。	端裏上書「森佐平次様 人々参る つらしま西ノ浦カ 三七郎兵衛」。
別2-17-46	[守屋左平次宛 平右衛門書状]	年末詳12月25日		横切紙	1通	(花押) 五郎右衛門の未進米につき、田地でも米でもいので納入するよう督促しているが、埒が明かないことについて申し送ったもの。	端裏上書「乙島左平次様 玉島平右衛門」。
別2-17-47	[年貢皆済覚]	明暦2年申12月20日		横切紙	1通	渡部主計・木口平助 高1石9斗4升1合の惣十郎分の年貢額を示し、これを皆済した旨記したもの。	
別2-17-48	[守屋惣兵衛・左平次宛 伊藤定行・野沢内記連署書状断簡]	年末詳9月2日		横折紙	1通	伊藤三右衛門(花押)・野沢内記(花押)→乙島庄屋惣兵衛・左平次 三右衛門らが惣兵衛から受け取った書状の内容に驚き、案外なることを承った、と返答している。料紙欠損につき内容は不明。	書状の冒頭と末尾を残し大半が欠損。
別2-17-49	[縄舟取り締まり関係書状]	年月日未詳		横切紙	1通	乙島村明神山沖浜より3町ばかり沖合で鳥縄を張っている舟を発見し、御手舟に乗って追いかけたが縄舟を取り逃がし、この舟が使用していた「もちなわ」のみを取得した旨、報告したもの。	
別2-17-50	[守屋左平次宛 長右衛門・十右衛門連署書状]	年末詳4月28日		横折紙	1通	栢島長右衛門(花押)・十右衛門→乙島左平次 向後は何の御用も前々のとおり左平次に相談するので、そのように心得てほしいなどと伝えたもの。	
別2-18	[乙島村小物成・浜役・拝借米関係書類一括]				1箱(1括り・9通)		別2-18-1～別2-18-10箱入り一括。収納箱上書「御手形箱 備中国浅口郡乙島村」。

別2-18-1	[小物成・諸課役代銀関係書類一括]				1括り(1包・1纏め・17通)		別2-18-1-1～別2-18-1-19紙綴一括。
別2-18-1-1	[寛永年中受領書類一括]				1包(5通)		別2-18-1-1-1～別2-18-1-5包紙入り一括。包紙上書「寛永年々御手形類」。
別2-18-1-1-1	請取銀子之事	寛永20年末 12月5日		横切紙	1通	伊藤三右衛門(定行)(花押)→乙島村庄屋左平次 銀166匁余の受領書。	
別2-18-1-1-2	巳ノ御年貢米之内請取覚	寛永19年午 正月6日		縦切紙	1通	伊藤三右衛門(定行)→乙島村左平次 銀127匁余の受領書。	
別2-18-1-1-3	[守屋宗兵衛宛 二郎左衛門書状]	寛永15年12 月3日		横切紙	1通	二郎左衛門→おと島宗兵衛 口島御蔵へ入れる予定の米13俵を渡すよう指示し、給米は連島御蔵にある米から給付することを伝えたもの。	
別2-18-1-1-4	請取申米銀子之事	年末詳寅12 月28日		横切紙	1通	二郎左衛門→おと島宗兵衛 米・銀の受領書。	
別2-18-1-1-5	請取申塩事	年末詳辰2月 17日		横切紙	1通	種田久二郎・上野権三郎→乙島村庄屋左平次 塩5俵の受領書。	
別2-18-1-2	受取申郡中割銀之事	年末詳申12 月28日		横継紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 銀22匁余の受領書。	
別2-18-1-3	覚	年末詳12月 14日		横切紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 勘定違いを仕直しの上、改めて当17日に納付すべき皆済銀の額を伝えたもの。	
別2-18-1-4	覚	年末詳辰9月		縦切紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 甲州御城御請取御用に必要な御雇人馬賃銀の受領書。	
別2-18-1-5	[守屋宗兵衛宛 西島真家書状]	寛永15年11 月12日		縦切紙	1通	西島二郎左衛門→乙島ノ宗兵衛 藤左衛門分五分一銀・浜役銀を預かり置く旨伝えたもの。	
別2-18-1-6	しほ請取之手形之事	年末詳卯10 月7日		縦切紙	1通	小葉六右衛門・坂入兵蔵 塩8斗4升の受領書。	
別2-18-1-7	[守屋佐平次宛 井出作太夫書状]	年末詳8月19 日		縦切紙	1通	井出作太夫→乙島村庄屋佐平次 大坂へ御用のため御船を派遣するので水夫1人を明朝早々に出向かせるよう指示したもの。	
別2-18-1-8	請取申銀子之事	寛永15年寅 12月12日		縦切紙	1通	松井猪兵衛・塚本角兵衛→乙島村庄屋百姓中 寅年の三分一銀を大塚屋庄左衛門経由で受け取ったことを伝えた受領書。	
別2-18-1-9	[大塚屋銀子受領書関係一括]				1纏め(2通)		別2-18-1-9-1～別2-18-1-9-2巻込み一括。
別2-18-1-9-1	請取申銀子之事	寛永16年卯3 月6日		縦切紙	1通	大つか屋庄左衛門・庄三郎→高輪平左衛門 銀子52匁を乙島庄屋惣兵衛より受け取ったことを伝えたもの。	別2-18-1-9-2を巻込み。
別2-18-1-9-2	[守屋宗兵衛宛 西島真家書状]	(寛永16年) 卯4月3日		横切紙	1通	二郎左衛門→宗兵衛 受け取った銀子のうち52匁についての 大塚屋の受領手形を渡すことなどを伝えたもの。	別2-18-1-9-1に巻込み。
別2-18-1-10	請取申ぬか之事	年末詳丑4月 19日		横切紙	1通	永岡百助・大井左右衛門→乙島村庄屋左平次 ぬか3石の受領書。	
別2-18-1-11	請取申銀子之事	寛永15年12 月6日		横切紙	1通	次郎左衛門(西島真家)→おと島宗兵衛 銀80目の受領書。	
別2-18-1-12	[守屋惣兵衛宛 伊藤定行書状]	寛永16年卯 閏11月8日		横切紙	1通	伊藤三右衛門(花押)→乙島村惣兵衛 乙島村から上納された銀子のうち43匁分は銀の質が悪く柏島村の銀で立て替えたので、柏島村に43匁を支払うよう指示したもの。	

別2-18-1-13	[書付]	寛永9年		横切紙	1通	乙島村の水夫に支払う扶持方米についてやり取りしたもの。「西島二郎左衛門様御切手之口 伊藤三右衛門様へ上ル」とあるが詳細不明。	下端部欠損か。
別2-18-1-14	請取塩代銀子之事	寛永16年卯 12月26日		竖切紙	1通	田口惣兵衛(花押・印)・城田半左衛門(花押・印)→乙島村庄屋惣兵衛 塩代78匁の受領書。	
別2-18-1-15	請取申御米之事	年未詳未12 月16日		竖切紙	1通	西島二郎左衛門内浅田六左衛門→乙島村ノ左平次 御舟手へ渡す米の受領書。	
別2-18-1-16	[大豆・米銀納手形]	年未詳寅12 月1日		竖切紙	1通	堺角兵衛正■(花押)→乙島村宗兵衛 五郎兵衛殿分の大豆・米の銀納額を示したものの。	
別2-18-1-17	請取申寅年三分一銀之事	年未詳寅12 月2日		竖切紙	1通	渡辺甚右衛門・高輪平左衛門→乙島村庄屋百姓中 三分一銀の受領書。	
別2-18-1-18	請取御小物成銀之事	年未詳寅12 月22日		竖切紙	1通	中村六兵衛・小巻善右衛門→乙島村庄屋左平次 4匁7分余の受領書。	
別2-18-1-19	[寛文八年御小物成目録]	寛文8年申4 月25日		竖継紙	1通	新井助左衛門・上野五郎兵衛・坂田伊織→庄屋左平次 乙島村の御小物成を納入先の松山藩士(厚木佐左衛門・小巻善右衛門方および永岡百助・大井佐右衛門方)ごとに目録化したもの。	
別2-18-2	指口申覚 浅口郡之内乙島村	寛文7年未8 月12日		竖継紙	1通	庄屋左平次→西島二郎左衛門 村の石高(古高・新高)、水夫屋敷の石高、家数、人口、舟数、近隣他村との距離など乙島村の概況を申告したもの。	
別2-18-3	[守屋千右衛門宛 中藤三左衛門書状]	年未詳6月23 日		横継紙	1通	(花押) 仙三郎をこちらの宗門帳に登録してほしいとの依頼に応じ帳面に書き入れたこと、塩の値段が次第に高値になっていることを伝えたもの。	端裏上書「守屋千右衛門様 御報 中藤三左衛門」。
別2-18-4	請取申藁之事	年未詳子5月 19日		竖切紙	1通	山田角兵衛→乙島村庄屋仙右衛門 米藁11束の受領書。	
別2-18-5	[御用銀受領関係書類一括]				1纏め(2 通)		別2-18-5-1～別2-18-5-2巻込み一括。
別2-18-5-1	請取申銀子之事	年未詳辰10 月28日		竖切紙	1通	田島武左衛門・小島儀右衛門→川崎屋助八 当辰年の支払代銀の受領書。	別2-18-5-2を巻込み。
別2-18-5-2	[元利書付]	年未詳辰年		横切紙	1通	川崎屋 銀3貫500目の利息と元利の合計を記したメモ。	別2-18-5-1に巻込み。
別2-18-6	[拝借米証文一括]				1包(2通)		別2-18-6-1～別2-18-6-2包紙入り一括。包紙上書「乙島村子年日損拝借米書付」。
別2-18-6-1	拝借米年賦返上証文之事	年未詳子12 月		竖紙	1通	浅口郡乙島村年寄惣兵衛・同与惣左衛門・庄屋伝次郎→中島左次右衛門・藤田猶右衛門 当子年の夏秋は日照りにより田畑が損じたので、拝借米55石を受け取って年貢皆済に充当しその返済予定を伝えたもの。	端裏に「乙島村」の付箋貼付け。
別2-18-6-2	覚	年未詳子11 月		横切紙	1通	中島左次右衛門・藤田猶右衛門 当子年夏の田畑日損への対応として、御物成米のうちから米55石の抛出することとした旨を伝えたもの。	
別2-18-7	差上り申一札之事	年未詳戌11 月8日		竖紙	1通	浅口郡乙島村庄屋預り主十左衛門→本多中務大輔様御内御検地御役人島田源蔵 前領主水谷左京亮から預かっていた井野浦の御塩蔵屋敷・御蔵・御塩蔵下役人屋敷・家などの間数を報告したもの。	
別2-18-8	[夫食拝借銀返済分受領書一括]				1包(3通)		別2-18-8-1～別2-18-8-3包紙入り一括。包紙上書「巳飢扶持銀御拝借返上ノ手形入 乙島村」。
別2-18-8-1	覚	年未詳酉10 月28日		竖紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 当春夫食拝借銀の返済分受領書。	

別2-18-8-2	覚	年未詳亥10月26日		堅切紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 当春夫食拝借銀の返済分受領書。	
別2-18-8-3	請取申銀子之事	年未詳巳9月25日		堅切紙	1通	田島武左衛門・小島儀右衛門→乙島村庄屋仙右衛門 当春夫食拝借銀の返済分受領書。	
別2-18-9	請取申銀子之事	年未詳亥12月26日		堅切紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村伝次郎 当亥年の郡中割銀の受領書。	
別2-18-10	預り申銀子之事	正徳2年辰3月		堅紙	1通	田島武左衛門・小島儀右衛門・村田半介→乙島村仙右衛門 松平伯耆守殿要用銀として銀3貫500目を借用し、当辰の御物成から返済することを約束したもの。	包紙あり。上書「浜松松平伯耆守様御役人中手形」。
別2-19	[乙島村小物成・水夫役関係書類一括]				1包(1纏め・11括り)		別2-19-1～別2-19-12包紙入り紙縫一括。包紙はSILティッシュに置き換え。元の包紙上書「安永九年子年改カ□口重左衛門 大切之書物入 本家代々公儀方之書類入」(包紙は反古文書の再利用)。
別2-19-1	[備中松山藩御用船水夫役書類一括]				1纏め(1巻・1通)		別2-19-1-1-1～別2-19-1-1-2巻込み一括。整理のためSILの紐で括り。
別2-19-1-1	[備中松山藩御用船水夫役書類]	年未詳申年～酉年		横継紙	1巻	井出新八(吉寛)ほか→乙島村庄屋十左衛門 備中松山藩の水夫役負担に関わる書付19通を継ぎ合わせたもの。一部の紙継目が剥離。大坂・牛窓・下関・福山・鞆への御用船派遣、または御上使乗用のために必要な水夫の供出を乙島村庄屋十左衛門に命じたもの。	内部に別2-19-1-1-2を巻込み。
別2-19-1-2	覚	年未詳酉4月6日		横継紙	1通	井出新八(吉寛)ほか→乙島村庄屋十左衛門 御作事方御用のため大坂へ派遣する水夫を二度に分けて出立させるよう指示したもの。	別2-19-1-1-1に巻込み。綴紐が通してあり、本来別2-19-1-1-1に紐づけされていたものか。
別2-19-2	[乙島村小物成等関係書類一括]				1括り(4通・4括り)		別2-19-2-1～別2-19-2-8紙縫一括。
別2-19-2-1	[延宝年間乙島村小物成受領関係書類一括]				1括り(7通)		別2-19-2-1-1～別2-19-2-1-7紙縫一括。紙縫端書「延宝四辰ノ御小物成 左平次」。
別2-19-2-1-1	[御小物成代銀受領書]	延宝4年辰12月20日		横切紙	1通	大井佐右衛門・中山三之助→乙島左吉カ 御小物成代銀の残り分を受け取り皆済となったことを伝えたもの。	
別2-19-2-1-2	請取申御小物成銀之事	延宝4年辰12月23日		堅切紙	1通	砂小三郎。石川助兵衛→乙島村庄屋左平次 合計3匁2分1厘の受領書。	
別2-19-2-1-3	請取申草わら之事	年未詳辰12月21日		堅切紙	1通	佐治三右衛門・広■喜左衛門・四見カ惣右衛門→乙島村庄屋左平次 御塩浜・塩坪・かまや・ふきや御用としての藁の受領書。	
別2-19-2-1-4	預り申なわわら之事	延宝4年辰12月19日		堅切紙	1通	乙島村庄屋左平次→佐治三右衛門 縄・藁を確かに預かり、来春御用次第に供出する旨を伝えたもの。	
別2-19-2-1-5	なわわらぬか払覚	年未詳12月19日		横折紙	1通	大井左右衛門 納付すべき縄・藁・糠の未納分残高を計算したもの。	
別2-19-2-1-6	請取申麦わら	年未詳辰6月19日		横切紙	1通	黒崎八左衛門(花押)→乙島左平次 麦の受領額を示し後日に御奉行様の手形を進上する旨を伝えたもの。	
別2-19-2-1-7	請取申麦わら手形之事	年未詳辰6月19日		横切紙	1通	黒崎村庄屋八左衛門・組頭弥左衛門・同三郎右衛門→乙島左平次 麦藁を受領し後日算用することを伝えたもの。	
別2-19-2-2	[延宝年間乙島村小物成・水夫銀受領関係書類一括]				1括り(5通)		別2-19-2-2-1～別2-19-2-2-5紙縫一括。紙縫端書「延宝五年巳年御小物成御手形 佐平次代」。
別2-19-2-2-1	請取申銀子事	年未詳巳閏12月19日		堅切紙	1通	ふじや源右衛門(花押)→乙島村御庄屋左平次 代銀57匁5分の受領書。	

別2-19-2-2-2	請取申御小物成銀之事	延宝5年巳閏 12月19日		豎切紙	1通	石川加兵衛・砂小三郎→乙島村御庄屋左平次 小物成銀の受領書。	
別2-19-2-2-3	巳御小物成覚	延宝5年巳閏 12月19日		豎切紙	1通	大井佐右衛門・中山三之助→乙島村左平次 藁・縄の納付数およびその代銀の額を示したものの。	
別2-19-2-2-4	覚	年未詳巳2月 9日		豎紙	1通	小物成の納付状況と残額を計算したもののか。平太夫分・清瀧寺分など。	
別2-19-2-2-5	請取申水夫銀之事	年未詳4月5 日		豎切紙	1通	福田三蔵→乙島御庄屋左平次 水夫銀を干鯛御用の時に受け取り、受領書を渡したことを証明したもの。	
別2-19-2-3	[延宝年間乙島村関係受領書一括]				1括り(3 通)		別2-19-2-3-1～別2-19-2-3-3紙縫一括。紙縫端書「延宝八申年御小物成御手形通 佐平次代」。
別2-19-2-3-1	御小物成請取通	延宝8年申12 月22日		横折紙	1通	大原次左衛門・中山三之助→乙島村御庄屋左平次 納付すべき糠・藁・縄の皆済を証明したもの。	
別2-19-2-3-2	請取申御小物成銀之事	延宝8年申12 月22日		豎切紙	1通	砂小三郎・田口平七・稲葉藤右衛門→乙島村左平次 小物成銀の受領書。	
別2-19-2-3-3	請取申銀子之事	年未詳卯12 月25日		豎切紙	1通	清水五右衛門→乙島庄屋左平次 銀子160目余の受領書。	
別2-19-2-4	払申なわ通事	延宝4年辰9 月朔日		横折紙	1通	乙島村左平次→堀与惣左衛門・入江木工右衛門 8月29日に小物成の縄を誰がいくつ納付したか伝えたもの。	
別2-19-2-5	請取御小物成銀之事	延宝元年丑 12月24日		豎切紙	1通	中村六太夫・小巻善右衛門→乙島村庄屋左平次 漆と蠟の代銀受領書。	紙縫が巻かれている。紙縫端書「延宝元年御小物成御手形 佐平次」。
別2-19-2-6	延宝三年卯之御小物成通	延宝3年卯12 月吉日		横折紙	1通	大井佐右衛門・中山三之助→乙島左平次 藁・縄・糠の受領皆済証文。	紙縫が巻かれている。紙縫端書「延宝三卯年御小物成式通 左平次」。※式通とあるが現状1通のみ。
別2-19-2-7	覚	年未詳丑11 月10日		横切紙	1通	田宮吉兵衛→乙島庄屋左平次 45俵の受領書。	
別2-19-2-8	[寛永年間乙島村小物成・年貢納付関係書類一括]				1括り(1纏 め・2通)		別2-19-2-8-1～別2-19-2-8-3紙縫一括。紙縫端書「寛永廿未方同廿一申迄御小物成御手形 左平次」。
別2-19-2-8-1	[年頭八朔銀受領書一括]				1纏め(2 通)		別2-19-2-8-1-1～別2-19-2-8-1-2巻込み一括。
別2-19-2-8-1-1	請取銀子之事	寛永21年申 12月5日		豎切紙	1通	弥右衛門・半左衛門→乙島村惣兵衛 年頭八朔銀の受領書。	内側に別2-19-2-8-1-2を巻込み。
別2-19-2-8-1-2	請取銀子之事	寛永20年末 12月10日		豎切紙	1通	弥右衛門・半左衛門→乙島村惣兵衛 年頭八朔銀の受領書。	別2-19-2-8-1-1に巻込み。
別2-19-2-8-2	請取申薪之銀子	寛永21年申 12月5日		横切紙	1通	半田八兵衛→乙島村庄屋左平次 薪の代銀受領書。	
別2-19-2-8-3	未御年貢可納申	寛永20年末 11月1日		横切紙	1通	伊三右(伊藤三右衛門定行)(花押)→乙島村庄屋 年貢44石余の納付を指示したもの。	
別2-19-3	[乙島村小物成関係書類一括]				1括り(3括 り)		別2-19-3-1～別2-19-3-3紙縫一括。
別2-19-3-1	[承応年間乙島村小物成受領関係書類一括]				1括り(2 通)		別2-19-3-1-1～別2-19-3-1-2紙縫一括。紙縫端書「承応元辰ノ御小物成御手形 左平次代」。
別2-19-3-1-1	請取小物成銀事	承応元年11 月12日		横継紙	1通	稲川伝吉・尾見長二郎→庄屋左平次 去る辰年の乙島村小物成銀を全て受領したことを証するもの。	

別2-19-3-1-2	小物成請取申通之事	承応元年辰 12月12日		横切紙	1通	鶴見権助・小島孫右衛門 乙島村庄屋左平次分・長島(永島)左次右衛門・黒沢四九兵衛へ遣わす分など、受領した小物成の藁・縄の数量を記す。	
別2-19-3-2	[承応年間乙島村小物成受領関係書類一括]				1括り(4通)		別2-19-3-2-1～別2-19-3-2-4紙縫一括。紙縫端書「承応式巳御小物成御手形 左平次代」。
別2-19-3-2-1	小物成請取申事	承応2年巳12月12日		横切紙	1通	鶴見権助・小島孫右衛門→乙島村庄屋左平次 小物成の藁・縄の受領書。	
別2-19-3-2-2	小物成銀請取事	承応2年巳11月3日		横切紙	1通	稲川伝吉・尾見長二郎→庄屋左平次 乙島村の巳年分小物成銀を全て受領したことを証するもの。	
別2-19-3-2-3	請取申ぬか之事	承応2年巳11月25日		横切紙	1通	小島孫右衛門・鶴見権助→乙島村左平次 糠6石の受領書。	
別2-19-3-2-4	請取実綿ノ事	承応2年巳7月19日		横切紙	1通	尾見長次郎・稲川伝吉→乙島村左平次 綿の受領書。	
別2-19-3-3	[承応年間乙島村小物成受領書一括]				1括り(3通)		別2-19-3-3-1～別2-19-3-3-3紙縫一括。紙縫端書「承応三午御小物成御手形 左平次代」。
別2-19-3-3-1	[小物成皆済証文]	年未詳午2月16日		横切紙	1通	立野加右衛門カ・小島雅楽丞→左平次 乙島村の巳年分の糠を全て受領したことを証する手形。	
別2-19-3-3-2	請取小物成銀事	承応3年12月11日		横継紙	1通	稲川吉右衛門・尾見長二郎→庄屋左平次 午年分の乙島村小物成銀の皆済証文。	
別2-19-3-3-3	[小物成受領書]	年未詳巳3月14日		横切紙	1通	館野加右衛門・小島雅楽丞→乙島村庄屋正次郎 糠6石余の受領書。	
別2-19-4	[十ヶ年・二十ヶ年物成差引書付]	年月日未詳		横切紙	1通	享保4年～同13年の間の田方・畑方物成、宝永6年～享保13年の20年間の田方・畑方物成について計算した書付。	紙縫が巻かれている。
別2-19-5	[天和年間乙島村小物成受領書一括]				1括り(3通)		別2-19-5-1～別2-19-5-3紙縫一括。紙縫端書「天和元酉年御小物成御手形通 佐平次・十左衛門」。
別2-19-5-1	御小物成請取通	天和元年酉12月22日		横折紙	1通	大原次左衛門・中山三之助→乙島村御庄屋左平次 納付すべき糠・藁・縄の皆済を証明したもの。	
別2-19-5-2	請取申銀子之事	年未詳酉12月22日		堅切紙	1通	儀源吉内長龍→庄屋十左衛門 糠の代銀受領書。	
別2-19-5-3	請取申御小物成銀之事	天和元年酉12月22日		堅切紙	1通	砂小三郎・稲葉藤右衛門→乙島村左平次 小物成銀の受領書。	
別2-19-6	[乙島村小物成関係書類一括]				1括り(2括り)		別2-19-6-1～別2-19-6-2紙縫一括。
別2-19-6-1	[正保年間乙島村小物成受領書一括]				1括り(7通)		別2-19-6-1-1～別2-19-6-1-7紙縫一括。紙縫端書「正保式酉ノ御小物成御手形 左平次」。
別2-19-6-1-1	[小物成受領書]	年未詳申12月6日		横切紙	1通	館野加右衛門・小島雅楽丞→乙島村左平次 糠・藁・縄の受領書。	
別2-19-6-1-2	[小物成皆済証文]	年未詳申9月11日		横切紙	1通	立野加右衛門・小島雅楽丞→乙島村左平次 午年分の糠・藁・縄の皆済を証明したもの。	
別2-19-6-1-3	[小物成受領書]	年未詳申12月26日		横切紙	1通	立野加右衛門・小島雅楽丞→乙島村左平次 藁・縄の受領書。	
別2-19-6-1-4	請取申ぬかわら	正保2年11月6日		横切紙	1通	立野加右衛門・鶴見権介→乙島村左平次 藁・糠の受領書。	

別2-19-6-1-5	請取銀子之事	正保2年酉12月26日		縦切紙	1通	弥右衛門・半左衛門→乙島村左平次 年頭朔銀の受領書。	
別2-19-6-1-6	請取申なわ之事	正保2年酉10月29日		横切紙	1通	立野加右衛門・鶴見権介→乙島村左平次 縄の受領書。	
別2-19-6-1-7	請取申なわ之事	正保2年酉9月12日		横切紙	1通	鶴見権介・立野加右衛門→乙島村左平次 縄の受領書。	
別2-19-6-2	[正保年間乙島村小物成受領書一括]				1括り(6通)		別2-19-6-2-1～別2-19-6-2-6紙縫一括。紙縫端書「正保三戌方同四亥迄御小物成御手形 惣兵衛・左平次」。
別2-19-6-2-1	小物成請取之事	正保4年12月27日		横切紙	1通	鶴見権介・小島孫右衛門→乙島村左平次 藁・縄・糠の受領書。	
別2-19-6-2-2	請取真綿之事	正保3年戌7月2日		縦切紙	1通	弥右衛門・半左衛門→乙島村惣兵衛 真綿の受領書。	
別2-19-6-2-3	請取申小物成事	正保3年戌12月24日		縦切紙	1通	立野加右衛門・鶴見権介→乙島左平次 酉年の未進分の縄・糠・藁の受領書。	
別2-19-6-2-4	請取真綿之事	正保4年亥6月27日		縦切紙	1通	弥右衛門・半左衛門→乙島庄屋惣兵衛 真綿の受領書。	
別2-19-6-2-5	請取銀子之事	正保3年戌12月22日		縦切紙	1通	弥右衛門・半左衛門→乙島村左平次 鷹餌の代銀受領書。	
別2-19-6-2-6	請取銀子之事	正保4年亥12月27日		縦切紙	1通	弥右衛門・半左衛門→乙島村左平次 鷹餌の代銀受領書。	
別2-19-7	[田畠分地につき長尾村関係者書状一括]				1包(3通)		別2-19-7-1～別2-19-7-3包紙入り一括。包紙上書「森谷十左衛門様 貴報 長尾方 小野又右衛門」。
別2-19-7-1	[森谷十左衛門宛 小野又右衛門書状]	年未詳6月13日		横折紙	1通	又右衛門(花押)→森谷十左衛門 安右衛門跡田畠分地に関して、自分が証人になることは合点がゆかないと伝えたもの。	余白が足りず、内容の後尾は冒頭部の行間に書き込まれている。
別2-19-7-2	[守屋仙右衛門宛 田辺半右衛門書状]	年未詳8月6日		横継紙	1通	辰年より開発してきた畑の御改めについて対応を相談したもの。	端裏上書「守屋仙右衛門様 田辺半右衛門」。切封の帯が残存。
別2-19-7-3	[森谷重左衛門宛 小野又右衛門書状]	年未詳6月10日		横折紙	1通	長尾ノ又右衛門(花押)→森重左衛門 殊の外の日照りで畠の作物は焼け、田方の用水掛りの池水も無くなり、岡田藩領は作物の植え付けも不可能な状況であることを伝え、安右衛門分地の田地相続の件について考えを述べたもの。	
別2-19-8	[寛永年間乙島村小物成関係書類一括]				1括り(14通)		別2-19-8-1～別2-19-8-14紙縫一括。紙縫端書「寛永十六卯方同十九午迄御小物成御手形 惣兵衛・左平次」。
別2-19-8-1	高覚 乙島村	年月日未詳		縦紙	1通	辰年から未年まで4年ごとの村高と小物成の藁・縄の量を示し、未払い分の計算をしたもの。	
別2-19-8-2	請取わらなわの事	寛永19年午3月11日		縦切紙	1通	加藤久八(花押)・有木清右衛門・佃伊左衛門→乙島村庄屋惣兵衛 亀島に備蓄して上荷舟の綱などに用いる藁・縄の受領書。	
別2-19-8-3	請取銀子之事	寛永16年卯閏11月25日		縦切紙	1通	田口惣兵衛(花押)・津田半左衛門(花押)→乙島村庄屋惣兵衛 年頭八朔銀と塩浜運上の受領書。	
別2-19-8-4	こやあまりかや	寛永17年辰8月3日		縦切紙	1通	小林次右衛門・浅沼三太夫カ→左平次 萱の受領書か。	
別2-19-8-5	うけ取申藁之事	寛永18年11月16日		縦切紙	1通	三宅忠右衛門→乙島庄屋惣兵衛 藁の受領書。	

別2-19-8-6	請取申なわら手形	寛永19年午4月25日		豎切紙	1通	河合庄太夫(花押)→乙島惣兵衛 連島御小屋などに使う藁・縄の受領書。	
別2-19-8-7	請取銀子之事	寛永19年午12月27日		豎切紙	1通	四郎右衛門・半左衛門→乙島村惣兵衛 年頭八朔銀の受領書。	
別2-19-8-8	請取銀子之事	寛永17年辰12月27日		豎切紙	1通	四郎右衛門(花押)・半左衛門(花押)→乙島村惣兵衛 年頭八朔銀の受領書。	
別2-19-8-9	請取塩浜運上銀之事	寛永18年巳12月21日		豎切紙	1通	四郎右衛門・半左衛門→乙島村惣兵衛 塩浜運上銀と年頭八朔銀の受領書。	
別2-19-8-10	請取申わらなわ之事	寛永19年午8月15日		豎切紙	1通	神原三郎左衛門(花押)・渡部久兵衛(花押)→庄屋惣兵衛 藁・縄の受領書。	紙背に館野加右衛門・小島雅楽丞宛の伊藤三右衛門(定行)・野沢内記奥書あり。
別2-19-8-11	預り申松枝之事	年未詳午2月17日		豎切紙	1通	黒崎へ渡す松枝を預かり、不足のないことを確認したもの。	
別2-19-8-12	[藁・縄受領書]	年未詳巳3月23日		横切紙	1通	河合正太夫・芦沼九右衛門→乙島村庄屋惣兵衛 縄・藁を連島にて受領したことを証するもの。	
別2-19-8-13	[縄受領書]	年未詳辰5月29日		横切紙	1通	芦沼九右衛門→おとしま村惣兵衛 御茶屋御用の縄の受領書。	
別2-19-8-14	[草藁・縄受領書]	寛永19年		横切紙	1通	西島二郎左衛門(真家)→館野加右衛門・小島雅楽丞 船尾村御鷹部屋の葺替え御用に必要な草藁・縄の受領書。10月26日分と11月10日分が一紙に書かれている。	
別2-19-9	[乙島村年貢・小物成・諸経費関係書類一括]				1括り(3括り)		別2-19-9-1～別2-19-9-3紙縫一括。
別2-19-9-1	[寛文年間乙島村年貢・小物成・諸経費関係書類一括]				1括り(7通・1冊)		別2-19-9-1-1～別2-19-9-1-8紙縫一括。紙縫端書「寛文元丑方同式寅迄御小物成御手形 左平次」。
別2-19-9-1-1	[松山行経費覚]	寛文12年		横折紙	1通	御勘定や太郎左衛門様御嫁御・御前様死去の御悔みのために備中松山城下へ出張した際の諸経費をまとめたもの。馬道賃・宿銭・高瀬賃・紙代・筆代など。	
別2-19-9-1-2	寛文拾貳年子ノ十二月吉日ぬかわらなわ算用覚	寛文12年		半・横長	1冊	乙島村が負担する糠・藁・縄・漆・蠟・真綿などの小物成について支払分の数量や支出先をまとめたもの。	
別2-19-9-1-3	寛文拾叁年亥年御年貢米玉島御蔵へ津出し之覚	寛文11年		横折紙	1通	寛文11年11月から翌年閏6月にかけての乙島村年貢搬出記録と、玉島村の年貢として処理した石数の覚、備中松山城下の御蔵その他へ搬入した石数の覚をまとめたもの。	
別2-19-9-1-4	なわの通	年未詳丑5月19日		横折紙	1通	乙島庄屋左平次→堀与三左衛門・伊■清三 5月19日から12月11日までの縄の支払分を確認したもの。	
別2-19-9-1-5	小物成代銀請取事	寛文2年寅12月11日		豎切紙	1通	稲川市左衛門・尾見六兵衛→乙島村庄屋左平次 小物成代銀の受領書。	
別2-19-9-1-6	[小物成代銀支払覚]	年月日未詳		豎切紙	1通	真綿代銀などをいくら誰に渡したのかまとめたもの。御代官様へ・新町かとかや六兵衛へ・与田勘左衛門様へなど。	
別2-19-9-1-7	小物成銀請取事	寛文元年12月10日		豎切紙	1通	稲川市左衛門・尾見六兵衛→乙島村庄屋左平次 小物成代銀の受領書。	
別2-19-9-1-8	請取申御小物成事	寛文元年丑12月10日		横折紙	1通	赤木清兵衛・大井佐右衛門→乙島村佐平次 藁・縄・糠などの小物成を全て受領し皆済となったことを証する手形。	
別2-19-9-2	[寛文年間乙島村小物成関係書類一括]				1括り(3通・2纏め)		別2-19-9-2-1～別2-19-9-2-5紙縫一括。紙縫端書「寛文年中御小物成御手形通共 佐平次」。

別2-19-9-2-1	請取申御小物成通事	寛文7年未12月19日		横切紙	1通	大井左右衛門・長岡百助→乙島村庄屋左平次 藁・縄・糠の受領書。	
別2-19-9-2-2	[乙島村小物成関係書類一括]				1纏め(3通)		別2-19-9-2-2-1で別2-19-9-2-2-2～別2-19-9-2-2-3を巻いてある。
別2-19-9-2-2-1	寛文十年■戌としなわわら払の覚	寛文10年		横折紙	1通	小物成の縄・藁を誰にいくら渡したかまとめたもの。	
別2-19-9-2-2-2	寛文十一年通ひ請取之写	寛文11年亥12月23日		横折紙	1通	大井左右衛門・長岡百助 小物成の糠・藁・縄の受領に関わる書類の写し。	端裏上書「乙島左平次殿参 松山方 石川助兵衛」。別2-19-9-2-2-1に巻込み。
別2-19-9-2-2-3	請取申御小物成通之事	寛文11年亥12月23日		横折紙	1通	大井左右衛門・長岡百助→乙島村庄屋左平次 藁・縄・糠の受領書。	紙面に「新高之覚 乙島村」と題する書付が貼付されている。別2-19-9-2-2-1に巻込み。
別2-19-9-2-3	[乙島村小物成関係書類一括]				1纏め(4通)		別2-19-9-2-3-1によって別2-19-9-2-3-2～別2-19-9-2-3-4を挟み込み。
別2-19-9-2-3-1	寛文十一年いノ十二月廿一日 払方之覚	寛文11年亥12月21日		横折紙	1通	蠟漆代・糠代・真綿代などを誰にいくら渡したかまとめたもの。	
別2-19-9-2-3-2	請取申銀子之事	年未詳亥12月22日		横切紙	1通	引田七郎右衛門→乙島左平次 真綿代の受領書。	
別2-19-9-2-3-3	請取申御小物成通之事	寛文11年亥12月23日		横折紙	1通	大井左右衛門・長岡百助→乙島村庄屋左平次 糠・藁の支払い分から過上分を計算したもの。	
別2-19-9-2-3-4	請取申御小物成通之事	寛文10年戌12月11日		横折紙	1通	大井左右衛門・長岡百助→乙島村庄屋左平次 糠・藁の支払い分から過上分を計算したもの。	
別2-19-9-2-4	請取銀子之事	年未詳子12月21日		縦切紙	1通	清水五右衛門・小巻善右衛門→乙島庄屋左平次 漆・蠟代の受領書。	
別2-19-9-2-5	請取銀子之事	年未詳亥12月22日		縦切紙	1通	■川三太夫・小巻善右衛門→乙島村庄屋左平次 漆・蠟代の受領書。	
別2-19-9-3	[寛文年間乙島村小物成関係書類一括]				1括り(12通)		別2-19-9-3-1～別2-19-9-3-12紙縫一括。紙縫端書「寛文四辰年方同十戌年迄之分御小物成御手形 左平次代」。
別2-19-9-3-1	請取御小物成銀之事	寛文10年戌12月14日		縦切紙	1通	厚木佐左衛門・小巻善右衛門→乙島村庄屋左平次 漆・蠟代の受領書。	
別2-19-9-3-2	請取蠟漆銀之事	寛文9年酉12月19日		縦切紙	1通	小巻善右衛門・厚木佐左衛門→乙島村左平次 漆・蠟代の受領書。	
別2-19-9-3-3	御小物成払之覚	寛文9年		横切紙	1通	乙島村小物成の藁・縄・糠の納付すべき数量と実際の支払、差引過上分をまとめたもの。	
別2-19-9-3-4	請取蠟漆之銀事	寛文8年申12月16日		縦切紙	1通	小巻善右衛門・厚木佐左衛門→乙島村左平次 漆・蠟代の受領書。	
別2-19-9-3-5	請取銀子之事	寛文7年未12月18日		縦切紙	1通	厚木佐左衛門・小巻善右衛門→乙島村庄屋左平次 漆・蠟代の受領書。	
別2-19-9-3-6	請取申小物成通之事	寛文7年未2月12日		横切紙	1通	大井佐右衛門→乙島庄屋左平次 藁・縄の受領書。	
別2-19-9-3-7	請取御小物成銀之事	寛文6年午12月7日		縦切紙	1通	厚木佐左衛門・小巻善右衛門→乙島村庄屋左平次 漆・蠟代の受領書。	
別2-19-9-3-8	請取蠟漆之代銀之事	寛文5年巳12月12日		縦切紙	1通	余田甚左衛門・厚木佐左衛門→乙島村名主左平次 漆・蠟代の受領書。	

別2-19-9-3-9	請取小物成銀之事	寛文4年辰11月28日		豎切紙	1通	余田甚左衛門・厚木佐左衛門→乙島村名主左平次 御鷹餌犬の代銀受領書。	
別2-19-9-3-10	請取申縄之事	年未詳卯11月28日		豎切紙	1通	今板角左衛門・田村茂兵衛・上野四郎左衛門→赤木清兵衛・大井佐右衛門 乙島村から収納した玉島御普請御用に使う縄の受領書。	
別2-19-9-3-11	請取申小麦わらこも之事	年未詳卯5月22日		横切紙	1通	岡田平兵衛→乙島村左平次 御舟御用の小麦・藁・薦の受領書。	
別2-19-9-3-12	[乙島村小物成算用覚]	寛文4年		豎紙	1通	乙島村の惣高と水夫屋敷分など免除分、藁・縄・糠などの小物成をまとめたもの。	端裏書「巳のなわぬか算用」。
別2-19-10	[天和年間乙島村小物成ほか関係書類一括]				1括り(10通)		別2-19-10-1～別2-19-10-10紙綴一括。紙綴端書「天和三年亥とし御小物成手形 左平次・十左衛門」。
別2-19-10-1	請取申米之事	天和2年戌9月13日		豎切紙	1通	水谷善右衛門内吉村九右衛門→乙島村庄屋十左衛門 米1石4斗の受領書。	端裏の角に「天和三年亥ノとし御小物成御手形」とある。
別2-19-10-2	請取申なわ之事	天和3年亥2月5日		豎切紙	1通	中山三之助・大原次左衛門→乙島左平次 成年分の縄の受領書。	
別2-19-10-3	[銀受領書]	年未詳亥正月3日		横切紙	1通	目代十郎右衛門→乙島村左平次 御小物成銀の受領書。	
別2-19-10-4	覚	年未詳亥正月3日		横切紙	1通	治左衛門(花押)・庄■■■(花押)→井のうら庄屋十左衛門 惣浜割賦銀の残額取替について。	
別2-19-10-5	覚	年月日未詳		横切紙	1通	六郎兵衛→重左衛門 銀の取替について。	
別2-19-10-6	請取申御小物成銀之事	天和3年亥12月13日		豎切紙	1通	砂小三郎・稲葉藤右衛門→乙島村左平次 小物成銀の受領書。	
別2-19-10-7	請取申銀子之事	年未詳亥2月26日		豎切紙	1通	成羽屋八兵衛→十左衛門 銀の受領書。	
別2-19-10-8	[銀受領書]	年未詳12月13日		横切紙	1通	中山三之助→乙島村十左衛門 小物成代銀の受領書。	
別2-19-10-9	請取申銀子之事	年未詳戌9月10日		横切紙	1通	■■■衛門→乙島村左平次 竹木の代銀受領書。	
別2-19-10-10	うけ取申銀子事	年未詳亥12月29日		横切紙	1通	真砂屋又右衛門→乙島御庄屋十左衛門 縄代の受領書。	
別2-19-11	[明暦年間乙島村小物成関係書類一括]				1括り(2括り)		別2-19-11-1～別2-19-11-2紙綴一括。
別2-19-11-1	[明暦年間乙島村小物成受領書一括]				1括り(5通)		別2-19-11-1-1～別2-19-11-1-5紙綴一括。紙綴端書「明暦元未方同式戌迄御小物成御手形通 左平次代」。
別2-19-11-1-1	請取小物成銀事	明暦2年12月13日		豎継紙	1通	稲川市左衛門・尾見六兵衛→乙島村庄屋左平次 申年分の小物成皆済を証する受領書。	
別2-19-11-1-2	請取真綿事	明暦2年7月19日		横切紙	1通	稲川市左衛門・尾見六兵衛→庄屋左平次 乙島村の申年分真綿皆済を証する受領書。	
別2-19-11-1-3	請取申ぬかの事	明暦2年申11月18日		横切紙	1通	赤木清兵衛・鶴見権助→乙島左平次 午年・未年の未進分糠の受領書。	
別2-19-11-1-4	請取小物成銀事	明暦元年12月18日		横継紙	1通	稲川市左衛門・尾見長二郎→庄屋左平次 乙島村の未年分小物成銀皆済を証する受領書。	

別2-19-11-1-5	小物成請取申通之事	明暦2年申11月20日		横折紙	1通	赤木清兵衛・鶴見権助→庄屋左平次 糠・藁・縄の受領書。	
別2-19-11-2	[明暦年間乙島村小物成関係書類一括]				1括り(3通)		別2-19-11-2-1～別2-19-11-2-3紙綴一括。紙綴端書「明暦三酉御小物成御手形 左平次代」。
別2-19-11-2-1	高覚 乙島村	年未詳申9月9日		竖切紙	1通	午年～未年の乙島村の惣高と小物成の分量を計算し、2年分の縄・藁の負担額を示したもの。	
別2-19-11-2-2	請取小物成銀之事	明暦3年12月17日		竖切紙	1通	稲川市左衛門・尾見六兵衛→乙島村庄屋左平次 酉年分の小物成銀皆済を証する受領書。	
別2-19-11-2-3	小物成請取申通	明暦3年酉12月16日		横折紙	1通	赤木清兵衛・吉田左兵衛→乙島村庄屋左平次 糠・縄・藁の受領書。	
別2-19-12	[万治年間乙島村小物成受領書一括]				1括り(5通)		別2-19-12-1～別2-19-12-5紙綴一括。紙綴端書「万治元戌方同三子とし迄御小物成御手形 佐平次」。
別2-19-12-1	請取申小物成通之事	万治3年子12月2日		横折紙	1通	赤木清兵衛・大井佐右衛門→乙島村庄屋左平次 糠・藁・縄の受領書。	
別2-19-12-2	請取申小物成通之事	万治元年戌12月8日		横折紙	1通	赤木清兵衛・大井佐右衛門→乙島村左平次 糠・藁・縄の受領書。	
別2-19-12-3	請取申小物成通之事	万治2年亥12月10日		横折紙	1通	赤木清兵衛・大井佐右衛門→乙島村庄屋佐平次 藁・縄・糠の受領書。	
別2-19-12-4	小物成銀請取事	万治元年閏12月7日		竖切紙	1通	稲川市左衛門・尾見六兵衛→乙島村庄屋左平次 戌年分の小物成銀の皆済を証する受領書。	
別2-19-12-5	小物成銀請取事	万治2年亥12月9日		竖切紙	1通	稲川市左衛門・尾見六兵衛→乙島村庄屋左平次 亥年分の小物成銀の皆済を証する受領書。	
別2-20	宝永元年申六月吉日 万日記 守屋仙右衛門	宝永元年6月		美・横長	1冊	宝永元年～宝永6年の諸事覚書	
別2-21	庄屋共五人組被仰付指上ケ申一札之事	寛文6年4月15日		竖継紙	1通	乙島村庄や左平次外5名→御奉行 切支丹制禁や九ヶ条之御法度書の遵守などを誓い、組中で背く庄屋がいた場合、残りの庄屋も同罪に仰せられられることを申告したもの。	
別2-22	寛文元年丑七月廿九日 御新田小五人組扣	寛文元年7月29日		半・竖	1冊	乙島村庄や左平次ほか3名→渡辺主計・木梨平助 五人組の構成員を記した帳面。	
別2-23	[廻米関連文書袋入]				1袋(2袋・2纏め・1包・2冊・4通)		袋内別2-23-1～別2-23-11。もとの袋に収納しきれない為、袋ごとSILティッシュで包む。
別2-23-1	[柏島村申年廻米入用関係袋入]				1袋(1冊4通)		袋内別2-23-1-1～別2-23-1-5。(袋書)「柏島村 申年阿か崎村払 河岸場入用帳 壹冊 源七請取書壹通入 藤九郎中使入用書壹通入」
別2-23-1-1	申年御廻米諸入用仕出帳扣 浅口郡 柏島村	寛政3年6月		半・竖	1冊	百姓代政兵衛外2名→野口辰之助様御役所 天明8年阿賀崎新田村河岸場津出の際の諸入用増減差引について	
別2-23-1-2	覚(銀算用書付)	申年12月25日		横継紙	1通	太兵衛→柏島武左衛門	(端裏書)「申 柏島村」
別2-23-1-3	覚(俵数及び賃銭算用)	申年12月29日		横継紙	1通	船木屋藤七→御庄屋武左衛門	(端裏書)「申年 藤九郎」
別2-23-1-4	覚(俵数及び賃銭算用)	午年正月23日		横継紙	1通	舟木屋藤七→御庄屋友蔵	(端裏書)「柏島村 式通之内」
別2-23-1-5	覚(俵数及び賃銭算用)	午年12月29日		横継紙	1通	舟木屋藤七→御庄屋友蔵	(端裏書)「柏島村 式通之内」、奥に未年3月16日付「覚」(船木屋藤七→御庄屋友蔵)が継いである。

別2-23-2	[十左衛門宛書状類]				1包(3通)		別2-23-2-1～別2-23-2-3が包紙一括。(包紙上書)「十左衛門様 善左衛門」、(包紙裏書)「寛政四子年十左衛門江戸滞留中、河岸一件之義二付柏黒に江戸表へ到来之書状 閏二月廿八日 落手」
別2-23-2-1	[十左衛門宛善左衛門書状]	年未詳2月24日		横継紙	1通	平八殿伊勢国四日市宿にて死去の噂、その他村河岸一件、福田新田河尻一件など	(上書)「十左衛門様 善左衛門」
別2-23-2-2	[書状追伸]	年月日未詳		横切紙	1通	別紙福永様への御状は延引して指上げることとなり、日付などが延引となっていることを伝えてほしい旨	
別2-23-2-3	[守屋十左衛門宛吉田善左衛門・吉井武左衛門書状]	年未詳2月27日		横継紙	1通	吉田善左衛門・吉井武左衛門→守屋十左衛門 御廻米村河岸の儀につき	
別2-23-3	御廻米河岸替一件書類(袋)		31.0cm×14.0cm		1袋		(袋書)「御廻米河岸替一件書類」、袋の中には何も入っていない。
別2-23-4	寛(銀算用書付)	年月日未詳		横折紙	1通	天明8年及び寛政元年廻米入用増減差引	綴じ穴あり
別2-23-5	[廻米等村入用関連書状類]				1纏め(1括り・1通)		別2-23-5-1～別2-23-5-2が1纏め。散逸を防ぐためSILティッシュで包む。
別2-23-5-1	[守屋重左衛門宛西山源右衛門書状]	年未詳5月28日		横継紙	1通	西山源右衛門→守屋重左衛門 寛政年中より取米の村入用差上高の儀は未だ延引しているが、この上の延引はできないだろう。天保元年より3ヶ年分の帳面は私宅には無い旨などを伝える。	
別2-23-5-2	[廻米入用仕訳関連書状一括]				1括り(4通)		別2-23-5-2-1～別2-23-5-2-4が一括。紙縫に入らなくなったためSILティッシュで結ぶ。
別2-23-5-2-1	[十左衛門宛善左衛門書状]	年未詳7月9日		横切紙	1通	当村仕訳帳の米辻が間違いの件について承知し、仕訳下帳に付札をしたので見てほしい旨を伝えたもの。	(上書)「十左衛門様 御答 善左衛門」
別2-23-5-2-2	[十内外三名宛十左衛門廻状]	年未詳7月8日		横継紙	1通	(十左衛門)→十内・武左衛門・■三郎・善左衛門 酉年米とり書付と印判を持参し、各村より一人ずつ、この書面を見たのち、すぐに出勤すべき旨。	(上書)「片島・柏島・勇崎・黒崎 各様 大急用書 倉敷にて 十左衛門」
別2-23-5-2-3	[米割銀の儀につき某書状]	年月日未詳		横継紙	1通	村々より書き出した米割銀について、阿賀崎村から米方世話料として郡中村々より百六拾目を受け取り、他に米割入用は一切無いと書付を差し出してきたが、これが村々よりの書き出しとは大いに相違している件	
別2-23-5-2-4	[武左衛門・善左衛門宛十左衛門書状]	年未詳7月8日		横継紙	1通	柏島村分廻米入用仕訳帳直しにつき、武左衛門が出勤すべき事。黒崎村仕訳帳米辻相違につき詳しい人物が出頭すべき事。	(上書)「武左衛門様・善左衛門様 急用事 倉敷二而 十左衛門」
別2-23-6	乍恐以書付奉願上候	寛政5年2月		縦継紙	1通	浅口郡片島村庄屋十内・同半右衛門・同阿賀崎新田村庄屋源七・同柏島村庄屋武左衛門・同押山浜庄屋与右衛門・同勇崎浜庄屋治左衛門・同勇崎村庄屋又三郎・同黒崎村庄屋善左衛門→惣代乙島村庄屋十左衛門 牢守役助大夫の給銀の御用捨、牢加番賃の郡中割などの追訴について、村々が承知得心していることを惣代が連印して示す。	
別2-23-7	寛政三年亥六月 御廻米諸入用仕訳帳扣 浅口郡片島村	寛政3年6月		半・横長	1冊	両人→倉敷御役所 片島村天明8年の廻米阿賀崎新田河岸にて津出した際の諸入用ならびに寛政元年廻米居村河岸津出の際の諸入用増減差引	
別2-23-8	御廻米諸入用仕訳帳 備中国浅口郡乙島村 十左衛門組	亥年6月		美・横長	1冊	備中国浅口郡乙島村百姓代野兵衛・同年寄孫太夫・庄屋十左衛門→野口辰之助様御役所 乙島村十左衛門組天明8年の廻米阿賀崎新田村河岸にて津出した際の入用ならびに寛政元年廻米居村河岸津出の際の入用増減差引	

別2-23-9	乍恐以書付奉願上候	寛政3年4月		縦継紙	1通	浅口郡片島村百姓代佐平治・庄屋重内・同栄助・同乙島村百姓代利兵衛・年寄孫太夫・庄屋十左衛門・同郡柏島村百姓代政兵衛・年寄重右衛門・庄屋武左衛門・同郡勇崎村百姓代義兵衛・庄屋又三郎・同郡黒崎村百姓代源助・年寄孫兵衛・庄屋善左衛門→倉敷御役所 廻米の儀につき、申年まで阿賀崎新田村へ積み廻し改めをうけていたが、費用がかかるので、村々の河岸で改めをうけ、玉島湊沖合で元船へ積み入れるようお願い。	(端裏書)「此書付ハ差上不申候」
別2-23-10	指上申御請証文之事写	寛政4年5月28日		縦紙	1通	六ヶ村連判連印→野口辰之助様御役所 廻米津出の儀につき請証文	(袖書)「河岸一件御窺之上御勘定所ノ御下知相済候而被仰渡請書扣」
別2-23-11	[廻米関係書類]				1纏め(1冊・1通)		別2-23-11-1～別2-23-11-2巻込一括
別2-23-11-1	寛政三年亥六月 御廻米諸入用仕訳帳 野口辰之助様御役所へ差上候扣	寛政3年6月		美・横長	1冊	備中国浅口郡黒崎村百姓代源助・年寄七郎右衛門・年寄源兵衛・同武右衛門・同孫兵衛・同善六・庄屋善左衛門→倉敷御役所 阿賀崎新田村河岸にて津出した節の諸入用ならびに去々酉年居村河岸にて試積した節の諸入用増減差引	
別2-23-11-2	[守屋十左衛門宛吉田善左衛門書状]	(寛政4年)閏2月13日		横継紙	1通	吉田善左衛門→守屋十左衛門 村河岸の件、平八道中死去など	(包紙上書)「十左衛門様用事 備中黒崎善左衛門」、(端裏書)「閏二月廿九日披見」
別2-24	[請取証文類]				1袋(1括り・2通)		袋内別2-24-1～別2-24-3、(袋表書)「[(破損)]六年丑ノ年金銀払請取入」、(袋裏書)「右代方御上御手形、丑ノ年金銀払請取入」
別2-24-1	[請取証文類一括]				1括り(1括り・1纏め・1綴・13通)		別2-24-1-1～別2-24-1-16紙綴一括
別2-24-1-1	[借用申米之事二通]				1纏め(2通)		別2-24-1-1-1～別2-24-1-1-2巻き込み一括
別2-24-1-1-1	借用申米之事	貞享5年5月29日		縦切紙	1通	明石権之助→乙島村庄屋十左衛門 米7俵の借用	
別2-24-1-1-2	借用申米之事	貞享5年8月11日		縦切紙	1通	明石権之助→乙島村庄屋十左衛門 米1石5升(俵数3俵)の借用	
別2-24-1-2	出シ申切手之覚	年月日未詳		縦切紙	1通	大末市右衛門→乙島村御庄や重左衛門 米2石8斗7升	
別2-24-1-3	預り申御支配米之事	貞享3年12月20日		縦切紙	1通	明石権之助→土屋万作・黒川権七 米8斗4升	
別2-24-1-4	請取	辰年12月28日		縦切紙	1通	弥右衛門→乙島宗兵衛 30匁の請取	
別2-24-1-5	一、御用被申遣候事	午年4月3日		縦切紙	1通	石崎木右衛門・千原伝左衛門→十右衛門・長右衛門・左平次 毎年の通り柏島・乙島にて竹を納入につき	
別2-24-1-6	竹之銀子請取申候事	寛永19年12月23日		縦切紙	1通	米田八兵衛→乙島村庄や左平次 小竹34束の代銀34匁の請取	
別2-24-1-7	辰之御年貢米請取覚	巳年3月15日		縦切紙	1通	伊藤三右衛門・野沢内記→乙島村庄屋惣兵衛 年貢米17石4斗6升2合の請取	
別2-24-1-8	御年貢銀之事	慶安2年11月23日		縦切紙	1通	稲川伝吉・篠田三右衛門→乙島村庄や左平次 年貢銀300目の請取	(端裏書)「慶安貳丑年稲川伝吉様御手形」
別2-24-1-9	御年貢代銀之事	慶安2年11月20日		縦切紙	1通	稲川伝吉・篠田三右衛門→乙島村庄屋左平次 年貢代銀の丁銀400目の請取	

別2-24-1-10	可被伐出材木之事	元禄10年3月		豎切紙	1通	東方三左衛門・田井藤九郎→乙島村十左衛門・立合阿賀崎村伝兵衛 松1本(長2間半・末口8寸)伐出につき	(端裏書)「乙島村」
別2-24-1-11	可被相渡松竹之事	延宝4年12月20日		豎切紙	1通	佐渡三衛門→乙島庄や左平次 松10本・竹10本	
別2-24-1-12	請取申銀子之事	寅年12月6日		豎切紙	1通	内田孫六→乙島村伝次郎 新銀31匁5分の請取	
別2-24-1-13	請取申水夫銀之事	年未詳5月14日		豎切紙	1通	福田三蔵→乙しま左平次 水夫の代銀15匁4分の請取	
別2-24-1-14	預り申御年貢米之事	延宝2年12月5日		豎切紙	1綴	高渡徳左衛門→安達茂兵衛・林市右衛門	他に延宝2年11月27日付「預り申御年貢米之事」、12月3日付「御切米相渡申候米之事」、12月12日付「御切手米之事」、延宝2年12月25日付「預り申御年貢米之事」を綴る
別2-24-1-15	[年貢米書付]	寛永20年6月5日		豎紙	1通	伊藤三右衛門・野沢内記→乙島村庄屋宗兵衛 合39石6斗3升 払、皆済目録	(端裏書)「入用ノ物印」
別2-24-1-16	[請取証書類一括]				1括り(13通)		別2-24-1-16-1～別2-24-1-16-13紙綴一括
別2-24-1-16-1	[左平次他2名宛井出作太夫書状]	年未詳5月9日		横切紙	1通	井出作太夫→黒崎庄や善左衛門・柏島庄や十右衛門・乙島庄や左平次 黒崎への水夫の催促につき	(端裏書)「酉ノ下刻」
別2-24-1-16-2	御船手衆中村々次方之事	延宝4年11月19日		横切紙	1通	井出作太夫→加藤与左衛門・土屋万作 村継について、切米の内にて指継を指示したもの	
別2-24-1-16-3	請取申御年貢米之事	寛文元年11月24日		横切紙	1通	井出作太夫→渡辺主計・木梨平助 3石5斗4升	
別2-24-1-16-4	可被相渡米之事	慶安元年12月18日		横切紙	1通	伊三右衛門・野内記→乙島村庄屋左平次 合27石2斗	
別2-24-1-16-5	覚(槓の返還につき)	年未詳12月13日		横切紙	1通	山田彦兵衛→乙島御庄や重左衛門 槓三本	
別2-24-1-16-6	請[(取)]之事(請取証文)	慶安5年2月11日		横切紙	1通	西島二郎左衛門・井出作太夫→加藤助十郎・磯半右衛門・野沢金左衛門 松木3本	裏書あり
別2-24-1-16-7	請取申候もめん之事	酉7月7日		横切紙	1通	坂入竺兵衛・竹田彦右衛門→おと島村左平次 木綿14反	
別2-24-1-16-8	子ノ御年貢銀請取覚	慶安元年12月4日		横切紙	1通	伊藤三右衛門→乙島村庄屋左平次 年貢銀607匁	
別2-24-1-16-9	[左平次宛野沢内記書状]	年未詳7月16日		横切紙	1通	野沢内記→乙島村左平次 蔵米の残り[(破損)]石4斗7升を急ぎ長尾へ送るよう指示	
別2-24-1-16-10	御支配米之内大豆請取之事	寛永18年12月20日		横切紙	1通	西二郎左衛門→おと島宗兵衛 1石3斗3升3号分、大豆納2石	
別2-24-1-16-11	覚	年未詳6月2日		横切紙	1通	山田角衛門→乙島村仙右衛門 小麦藁15束・大麦藁38束(ノ53束)の請取	
別2-24-1-16-12	請取申米之事	慶安元年12月11日		横切紙	1通	大橋六右衛門→乙島庄や左平次 合5石2斗	
別2-24-1-16-13	請取銀子之事	寛永20年12月25日		横切紙	1通	伊藤三右衛門→乙島村庄屋左平次 銀子342匁6分の請取	
別2-24-2	借用申御年貢未進事	寛永21年12月24日		豎切紙	1通	乙島村六右衛門→庄や左平次 合7斗6合当未進・45匁4分7厘古未進の2口借用	

別2-24-3	預り申銀子之事	貞享5年正月25日		堅切紙	1通	勇崎庄や預り主次左衛門・同庄兵衛→乙島庄や重左衛門 銀子702匁の借用	
別2-25	[蔵米借用証書類一括]				1括り(3纏め・5通)		別2-25-1～別2-25-8紙縫一括
別2-25-1	預り申御蔵米之事	延宝2年12月10日		堅切紙	1通	玉島村庄や平右衛門→玉島村庄や佐平次 合1石	
別2-25-2	借用申御勘定米之事	貞享5年4月4日		堅切紙	1通	柏島村庄や七三郎・同与十郎→乙島村御庄や重左衛門 [(破損)]5升の借用	
別2-25-3	預り申御蔵米之事	年未詳11月8日		堅切紙	1通	乙島村庄や平右衛門→乙島村庄や佐平次 5斗6升8合	
別2-25-4	[預り申米之事二通]				1纏め(2通)		別2-25-4-1～別2-25-4-2一括
別2-25-4-1	預り申米之事	寅12月29日		堅切紙	1通	玉島庄や平右衛門→左平次 5石6斗2升4合	
別2-25-4-2	預り申御蔵米之事	寅12月28日		堅切紙	1通	玉島庄や平右衛門→左平次 〆5石2斗6升4合	
別2-25-5	[預り申御蔵米之事三通]				1纏め(3通)		別2-25-5-1～別2-25-5-3一括
別2-25-5-1	預り申御蔵米之事	延宝2年12月10日		堅切紙	1通	玉島村庄や平右衛門→[(破損)]村庄屋佐平次 5斗5升	
別2-25-5-2	預り申米之事	年未詳12月5日		堅切紙	1通	玉島平右衛門→乙島村佐平次 1石4升	
別2-25-5-3	預り申御蔵米之事	延宝2年12月14日		堅切紙	1通	玉島村庄や平右衛門→乙島村御庄や佐平次 8升	
別2-25-6	[預り申御蔵米之事三通]				1纏め(3通)		別2-25-6-1～別2-25-6-3一括
別2-25-6-1	預り申御蔵米之事	延宝2年12月5日		堅切紙	1通	玉島村庄や平右衛門→乙島村御庄や佐平次 合20石3斗3升6合	
別2-25-6-2	預り申米之事	寅年12月27日		堅切紙	1通	玉島平右衛門→左平次 2石	
別2-25-6-3	預り申御蔵米之事	延宝2年12月7日		堅切紙	1通	玉島村庄や平右衛門→乙島村御庄や佐平次 10石3斗3升5合	
別2-25-7	預り申御蔵米之事	卯年11月11日		堅切紙	1通	玉島村平右衛門→乙島村御庄や佐平次 1石3升	(端裏書)「玉島村庄屋平右衛門印」
別2-25-8	預り申米之事	寅年12月晦日		堅切紙	1通	玉島庄や平右衛門→乙島左平次 〆4斗5升7合	
別2-26	[証書類]				1括り(2括り・1包)		別2-26-1～別2-26-5紙縫一括、SILティッシュでつつむ。
別2-26-1	[年貢勘定目録一括]				1括り(1纏め・11通)		別2-26-1-1～別2-26-1-12紙縫一括、(包紙上書)「改見申候、御年貢勘定目録ひかへ」
別2-26-1-1	亥ノ御物成御算用目録(乙島村)	万治2年11月28日		堅切紙	1通	庄や左平次→渡辺主計・木梨平助 御定米・御口米・御種米とのその利分の計75石8斗1升1合とその内訳を記す。	(端裏書)「乙島村」

別2-26-1-2	丑ノ御物成算用目録(乙島村)	寛文2年4月		豎継紙	1通	庄や左平次→渡辺主計・木梨平助 御定米・御口米・御種米とその利分の計367石6斗3升2合とその内訳を記す。	継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている。付箋あり。
別2-26-1-3	申ノ御物成御算用目録(乙島村)	寛文8年11月吉日		豎継紙	1通	庄や左平次→奥野仁兵衛・新井左伝次 御定米・御口米・御種米とその利分の計46石6斗1升1合とその内訳を記す。	継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている。
別2-26-1-4	子ノ御物成御算用目録(乙島村)	万治3年12月15日		豎紙	1通	(差出人名なし)→御代官 御定米・口米・御種米とその利分の計75石3斗9升9合とその内訳を記す。	
別2-26-1-5	亥御年貢勘定目録覚	年月日未詳		豎切紙	1通	御定米・口米・種米元利の計215石4升3合とその内訳を記す。	
別2-26-1-6	丑ノ御物成算用目録(乙島村)	寛文2年寅		豎継紙	1通	庄や左平次→渡辺主計・木梨平助 御定米・御口米・御種米とその利分の計367石6斗1升5合2勺とその内訳を記す。	継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている。
別2-26-1-7	申ノ御物成算用目録覚	年未詳11月20日		豎継紙	1通	乙島村左平次→野中基吉・上野基三郎 御定米・御口米・御種米元利の計220石2斗3升5合とその内訳を記す。	継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている。
別2-26-1-8	申ノ御物成御算用目録(乙島村)	寛文9年6月		豎継紙	1通	庄や左平次→奥野仁兵衛・新井左伝次 御定米・御口米・御種米とその利分の計46石6斗1升6合とその内訳を記す。	継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている。
別2-26-1-9	申ノ御物成御算用目録(乙島村)	明暦3年7月19日		豎継紙	1通	(差出人名なし)→渡辺主計・木梨平助 御定米・口米・御種米とその利分の計188石8斗4升5合とその内訳を記す。	継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている。
別2-26-1-10	辰ノ御物成算用目録	寛文4年11月26日		豎切紙	1通	(差出人名なし)→御代官 御定米・御口米・御種米元利の計160石4斗3升7合とその内訳を記す。	
別2-26-1-11	亥ノ御物成御算用目録(乙島村)	万治2年11月28日		豎紙	1通	(差出人名なし)→御代官 御定米・御口米・御種米とその利分の計75石8斗1升1合とその内訳を記す。	
別2-26-1-12	[物成算用目録二通]				1纏め(2通)		別2-26-1-12-1～別2-26-1-12-2巻き込み一括
別2-26-1-12-1	戌御物成算用目録之事(乙島村)	万治2年2月18日		豎紙	1通	庄や左平次→渡辺主計・木梨平助 御定米・御口米・御種米とその利分の計151石3斗8升3合とその内訳を記す。	(端裏書)「万治元年戌とし」
別2-26-1-12-2	[物成算用目録(乙島村)]	年月日未詳		豎紙	1通	御定米・口米・御種米利分の計142石3斗8升3合とその内訳を記す。	
別2-26-2	[物成算用目録類一括]				1括め(1括り・1纏め)		別2-26-2-1～別2-26-2-2紙縫一括
別2-26-2-1	[書付類]				1纏め(2通)		別2-26-2-1-1～別2-26-2-1-2巻き込み一括
別2-26-2-1-1	指出之事(浅口郡之内乙島村)	寛永15年5月吉日		豎継紙	1通	乙島庄屋宗兵衛・与頭新兵衛→山田五郎兵衛・小川藤左衛門・猪飼次郎兵衛 山崎甲斐守様御代御納所につき算用目録	継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている。
別2-26-2-1-2	覚(乙島村)	年月日未詳		豎継紙	1通	算用目録	継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている。
別2-26-2-2	[証書類]				1括り(2纏め・7通・1枚)		別2-26-2-2-1～別2-26-2-2-10紙縫一括
別2-26-2-2-1	未ノ御物成之事	明暦元年12月7日		豎紙	1通	(差出人名なし)→御代官 〆10石2斗6升6合	
別2-26-2-2-2	[左平次宛小六右衛門書状]	年月日未詳		豎紙	1通	米の手形の勘定が明日に延びることについて	(上書)「森左平次様 小六右衛門」
別2-26-2-2-3	[算用目録]	年月日未詳		豎紙	1通	〆36石3斗8升5合	

別2-26-2-2-4	未ノ御年貢御物成之事	明暦2年		豎切紙	1通	乙島村庄や左平次→渡辺主計・木梨平助 免状米・種米利分の計10石2斗6升6合とその内訳	
別2-26-2-2-5	未御物成算用目録	年月日未詳		豎継紙	1通	御定米・御口米・御種米元利の計164石7斗8升とその内訳を記す。	継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている。
別2-26-2-2-6	[物成算用目録類]				1纏め(4通)		別2-26-2-2-6-1～別2-26-2-2-6-4一括
別2-26-2-2-6-1	覚(乙島村)	慶安4年11月10日		豎継紙	1通	庄や左平次→稲川伝吉・与田甚左衛門	継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている。
別2-26-2-2-6-2	[左平次宛善左衛門書状]	年未詳5月17日		豎切紙	1通	黒崎善左衛門→乙島左平次 2斗6升5合7勺を乙島へ払上につき	(上書)「乙島左平次様まいる」
別2-26-2-2-6-3	請取真綿ノ事	明暦3年8月17日		豎切紙	1通	尾見六兵衛・稲川市左衛門→庄屋左平次 250目	
別2-26-2-2-6-4	[算用目録]	慶安3年12月20日		豎紙	1通	乙島村の村高309石1斗5合と引高を記したもの。	(袖書)「慶安三年寅ノ十二月廿日」、後欠カ
別2-26-2-2-7	御免割(乙島村)	慶安3年11月20日		豎紙	1通	乙島村の村高309石1斗5合と引高を記したもの。	
別2-26-2-2-8	[物成算用目録二通]				1纏め(2通)		別2-26-2-2-8-1～別2-26-2-2-8-2巻き込み一括
別2-26-2-2-8-1	酉御年貢御算用目録	年月日未詳		豎紙	1通	御定米・御口米・御種米とその利分の計36石3斗8升5合とその内訳を記す。	(端裏書)「冬目録」
別2-26-2-2-8-2	巳ノ御物成算用目録之事	寛文5年12月8日		豎紙	1通	(差出人名なし)→御代官 御定米・御口米・御種米利分の計52石6斗8升5合とその内訳を記す。	付箋あり
別2-26-2-2-9	卯ノ御物成算用目録(乙島村)	寛文3年12月6日		豎紙	1通	(差出人名なし)→勘定御代官 御定米・御口米・種米などの計36石9斗2升3合とその内訳を記す。	
別2-26-2-2-10	御物成之覚(浅口郡之内乙島村)	午年2月27日		豎紙	1通	定米・口米・御種米元利などの計96石7斗6升9合とその内訳を記す。	付箋あり
別2-26-3	[物成勘定三通]				1纏め(3通)		別2-26-3-1～別2-26-3-3巻き込み一括、(包紙上書)「改見申候」
別2-26-3-1	午御物成勘定	年月日未詳		豎継紙	1通	〆4貫865匁4分5厘	別2-26-3-3とほぼ同文
別2-26-3-2	覚	元禄15年12月12日		豎紙	1通	永井源次郎→乙島村庄屋中 御年貢金銀のうち請取の銀を記す	奥に元禄15年10月29日付「覚」、元禄15年閏8月12日付「覚」を記す
別2-26-3-3	午御物成勘定	年月日未詳		豎紙	1通	〆4貫865匁4分5厘	別2-26-3-1とほぼ同文
別2-26-4	指上申百姓申一札之事	寛永16年9月15日		豎紙	1通	乙島村百姓中 →庄屋惣兵衛外5名	(端裏書)「寛永十六年卯年御検地入候節、小前差出候証文」
別2-26-5	[物成勘定]				1纏め(2通)		別2-26-5-1～別2-26-5-2巻き込み一括
別2-26-5-1	午御物成勘定	年月日未詳		豎紙	1通	物成銀合5貫657匁2厘とその払方の内訳	
別2-26-5-2	午御物成米方勘定	年月日未詳		豎切紙	1通	米〆64石2斗2合とその払方の内訳	

別2-27	親類書	延享3年11月		縦紙	1通	粟生久右衛門娘そての親類書。父・叔父・伯母・兄・弟・従妹、計7名書き上げ。	(包紙上書)「宗旨并寺所付書付 粟生久右衛門娘 そて」
別2-28	[御物成算用目録]	元禄6年3月20日まで		縦継紙	1通	宇兵衛→伊藤三右衛門・野沢内記 御定米合39石6斗7升1合とその私方内訳を記す。(寛永20年6月18日付、先頭の文書)	寛永20年6月18日～元禄6年3月20日まで56通貼り継ぎ
別2-29	[村送り手形一包]				1包(8通)		別2-29-1～別2-29-8包紙一札。(包紙上書)「松山領庄屋次左衛門手形有 送り手形四通入」
別2-29-1	送り手形之事(馬飼村五兵衛引越につき)	享保10年4月		縦切紙	1通	小田郡馬飼村庄屋孫太郎→浅口郡乙島村庄屋伝次郎 小田郡馬飼村五兵衛の馬飼村から乙島村への引越	
別2-29-2	送り手形之事(玉島村助六引越につき)	享保10年2月		縦切紙	1通	浅口郡玉島村年寄伝右衛門→浅口郡乙島村庄屋伝次郎 浅口郡玉島村助六妻子合わせて4人の玉島村から乙島村への引越	
別2-29-3	送り手形之事(玉島村徳兵衛引越につき)	享保10年2月		縦切紙	1通	玉島村庄屋左衛門→乙島村御庄屋伝次郎 浅口郡玉島村徳兵衛妻子合わせて7人の玉島村から乙島村への引越	
別2-29-4	覚(三郎兵衛引越につき)	宝永5年12月		縦切紙	1通	田辺次左衛門→森谷千右衛門 三郎兵衛妻子合わせて5人の乙島村への引越	
別2-29-5	一札(九郎右衛門引越につき)	享保10年2月11日		縦切紙	1通	塩飽江之浦庄屋伝六→乙島村庄屋伝治郎 九郎右衛門家内合わせて4人の乙島村への引越	
別2-29-6	送手形之事(新五兵衛引越につき)	正徳6年3月		縦切紙	1通	玉島村次左衛門→乙島村伝次郎 新五兵衛の玉島村から乙島村への引越	(上書)「正徳六申年松山領玉島村庄屋次左衛門印付」
別2-29-7	送り手形之事(与七郎引越につき)	享保4年7月		縦切紙	1通	玉島村庄屋治左衛門→乙島村庄屋伝次郎 与三郎妻子合わせて6人の玉島村から乙島村への引越	
別2-29-8	送り手形事(長兵衛引越につき)	巳年閏5月		縦切紙	1通	玉島村庄屋次左衛門→乙島村庄屋仙右衛門 長兵衛の玉島村から乙島村への引越	
別2-30	[書付類]				1括り(1括り・1包・3通)		別2-30-1～別2-30-5紙縫一括
別2-30-1	[書状・書付類]				1括り(1括り・1包)		別2-30-1-1～別2-30-1-2紙縫一括
別2-30-1-1	[四郎右衛門書状一括]				1括り(2通)		別2-30-1-1-1～別2-30-1-1-2紙縫一括。SILティッシュで括る。
別2-30-1-1-1	[森谷仙右衛門宛四郎右衛門書状]	年未詳11月17日		横継紙	1通	当年夏に金川屋へ渡した銀について	(上書)「森谷仙右衛門殿 御返事 四郎右衛門」
別2-30-1-1-2	[森谷仙右衛門宛四郎右衛門書状]	年月日未詳		横切紙	1通	灸を据えたいが延期している旨	(上書)「森谷仙右衛門殿 御返事 同四郎右衛門」
別2-30-1-2	[書付類]				1包(1纏め・4通)		別2-30-1-2-1～別2-30-1-2-5包紙一括
別2-30-1-2-1	下行米手形之事	酉年4月21日		横切紙	1通	比氣平助→乙島村庄や仙右衛門 2斗7升	
別2-30-1-2-2	[米書付]	年月日未詳		横切紙	1通	ㄨ3石6斗	
別2-30-1-2-3	下行米覚	年月日未詳		横切紙	1通	ㄨ4斗2升5合	

別2-30-1-2-4	[書付]	酉年11月		横切紙	1通	和助の仕置きについて	
別2-30-1-2-5	[畑書上二通]				1纏め(2通)		別2-30-1-2-5-1～別2-30-1-2-5-2巻き込み一括
別2-30-1-2-5-1	[畑書上]	年月日未詳		横切紙	1通	伝治郎の畑の段別・等級・石高を記す	安永4年以降
別2-30-1-2-5-2	[畑書上]	年月日未詳		横切紙	1通	畑の段別・等級・石高を記す	
別2-30-2	[証書類]				1包(2枚)		別2-30-2-1～別2-30-2-2包紙一括。(包紙上書)「証文口通」
別2-30-2-1	預り申銀子之事	文政9年11月5日		縦紙	1通	預り主彦右衛門・請人徳三郎・同千之助・同作左衛門・同与五兵衛→百姓惣代長蔵 文銀2貫目の預り証文	
別2-30-2-2	乍恐書付奉願上候	年月日未詳		縦紙	1通	租税引請役・年寄役に仰せ付け下さるよう願上につき	
別2-30-3	明和三戌年と安永元辰迄 三組并両組差引帳 乙島村	安永2年7月		美・横半	1冊	民右衛門・太兵衛・三太夫・久右衛門・惣左衛門・長次郎 明和3年から安永元年までの7年間分の小入用・人足掛・小役米	
別2-30-4	道法東西南北	年月日未詳		美・横半	1冊	舟尾村・水江村・柳井原村・長尾村・玉島村・阿賀崎村・乙島村・柏崎村・勇崎村・黒崎村について村明細	
別2-30-5	宝暦十式午年と御免割并差引帳 乙島村	明和3年6月		美・横半	1冊	民左衛門・太兵衛・三太夫・惣左衛門・長次郎 宝暦12年から明和2年まで4年間分の免割について	
別2-31	はノ一番 五月廿九日(検地帳)	年未詳5月29日		美・縦	1冊		
別2-32	[名寄帳]	年月日未詳		美・縦	1冊		
別2-33	[書状類]				1括り(1括り・1包)		別2-33-1～別2-33-2紙縫一括
別2-33-1	[書状・証書類]				1包(3括り・1纏め・1袋・1包・5通・1枚)		別2-33-1-1～別2-33-1-12包紙一括
別2-33-1-1	当座之覚	年月日未詳		小・横長	1冊	酉2月29日から5月4日までの覚書	
別2-33-1-2	[付箋カ]	年月日未詳		横切紙	1枚	播州青原新田願主忠蔵・大坂宿鈴木町和泉屋吉右衛門	延享2年8月3日以降
別2-33-1-3	口上書(土地訴訟につき)	元文5年閏7月12日		縦切紙	1通	乙島村惣兵衛・阿賀崎村半兵衛→平岡彦兵衛様御役所 乙島村宇右衛門後家の儀につき	(端裏書)「申閏七月十二日惣兵衛・半兵衛訴状写」。奥に申年閏7月12日付乙島村弥次兵衛・長次郎・同村庄屋佐平治・年寄宛差紙が継がれている。
別2-33-1-4	[浅口郡乙島村年寄宛倉敷御役所差紙]	年未詳10月20日		横継紙	1通	倉敷御役所→浅口郡乙島村年寄惣左衛門・繁八 差紙が到着次第、差紙を持参して罷出るべき事を命じる	(包紙上書)「差紙 倉敷御役所 浅口郡乙島村年寄」
別2-33-1-5	[口上御吟味書一括]				1括り(2括り)		別2-33-1-5-1～別2-33-1-5-2紙縫一括
別2-33-1-5-1	[元文四年池水盗落一件]				1括り(3通)		別2-33-1-5-1-1～別2-33-5-1-3紙縫一括

別2-33-1-5-1-1	一札	元文4年6月		縦継紙	1通	当人四郎兵衛・同平助・惣百姓代助七・惣百姓代助七・年寄惣兵衛・同与三左衛門→佐平治 田方根付の節、溜池水を盗んだ件につき	(端裏書)「元文四年未六月百姓四郎兵衛誤り証文書通」
別2-33-1-5-1-2	指上申口上	未5月20日		縦切紙	1通	いつみや大池数右衛門→御庄屋佐平次 大池水を落とし取り田方根付をした四郎兵衛・平助・清左衛門を召し呼び、吟味なさるべき旨口上	(端裏書)「未五月 いつみや池番 数右衛門」
別2-33-1-5-1-3	一札	未5月20日		縦紙	1通	四郎兵衛・平助・清左衛門→御庄屋佐平次・御年寄中 いつみや大池水番人数右衛門により四郎兵衛らが根付水を盗み、露見した件につき、各人が村方に過料米を指し出すこと	(端裏書)「未五月 池水ぬすみ落し 写し平助・清左衛門」
別2-33-1-5-2	[御役所御吟味関係書類一件]				1括り(2通)		別2-33-1-5-2-1～別2-33-1-5-2-2紙綴一括
別2-33-1-5-2-1	一札	寛保3年11月14日		縦継紙	1通	乙島村半平・次郎七外26名→佐平治・惣兵衛・与三左衛門 次郎七・半平の第一留宿の注進不埒について御用捨の願上	(端裏書)「亥十一月次郎七・半平第一留之宿致候付、致吟味証文取」
別2-33-1-5-2-2	一札	元文3年12月7日		縦継紙	1通	百姓惣代助七子丹助・長百姓四郎兵衛子勘平→御庄屋佐平治・年寄惣兵衛・同与三左衛門 御廻米130俵津出しにつき舟確保に手違いあり役所御吟味	(端裏書)「元文三年午十二月七日 百姓代助七子丹助、長百姓四郎兵衛子勘平御事」
別2-33-1-6	[書状類]				1包(1括り・2冊・5通)		別2-33-1-6-1～別2-33-1-6-8一包、(包紙上書)「小三郎様 佐平治」
別2-33-1-6-1	[高持・水呑・無高百姓書上]	年月日未詳		横折紙	1通	×197人ほか8人の人名(うち40人)の書付	
別2-33-1-6-2	[左平次宛市兵衛書状]	年未詳9月29日		横切紙	1通	明日御本陣に呼び寄せの際の書面の件について	(上書)「佐平次様 市兵衛」
別2-33-1-6-3	延享貳年七月 丑夏木綿作改并洪水損毛改帳 印形相滞百姓書上帳 浅口郡乙島村	延享2年7月21日		美・横長	1冊	浅口郡乙島村佐平次→倉敷御役所 人名書上	
別2-33-1-6-4	[守屋平次宛十左衛門書状]	年未詳9月25日		横切紙	1通	連判方のうち何人落判となったのか問い合わせ、去年より落判となった者の名前前の書付を送るよう伝える	(上書)「守屋佐平治様 十右衛門」
別2-33-1-6-5	連判百姓五人組頭并組内共子年持高覚	年月日未詳		美・横長	1冊		
別2-33-1-6-6	[書状類一括]				1括り(5通)		別2-33-1-6-6-1～別2-33-1-6-6-2紙綴一括
別2-33-1-6-6-1	[佐平次宛太兵衛書状]	丑年7月6日		横切紙	1通	小前の名請が違っており、改まらなければ印形を成し難い	(上書)「佐平次様 朝五つ前出 太兵衛」、(端裏書)「丑七月六日」
別2-33-1-6-6-2	[佐平次宛太兵衛書状]	丑年7月7日		横継紙	1通	判方五人を今夕呼び申すこと	(上書)「佐平次様 太兵衛」、(端裏書)「丑七月七日」
別2-33-1-6-6-3	[守屋佐平治宛勘兵衛書状]	丑年7月7日		横切紙	1通	小前帳面の作成について	(上書)「守屋佐平治様 くまかや勘兵衛」、(端裏書)「丑七月七日昼」
別2-33-1-6-6-4	[佐平治宛勘兵衛書状]	年未詳6月19日		横継紙	1通	廻状一通・書付一通を御役所へ差出につき	(上書)「御庄屋佐平治様御状 くまかや勘兵衛」
別2-33-1-6-6-5	[佐平次宛小太郎書状]	丑年7月8日		横切紙	1通	明日常照院へ参るにつき	(上書)「佐平次様 小太郎」、(端裏書)「丑七月八日夜」
別2-33-1-6-7	以書付奉申上候御事	(寛保2年)10月(19日)		縦紙	1通	備中国浅口郡乙島村庄屋佐平治→千種清右衛門様御役所 本家を伝次郎方に明け戻したく、来春夏のうち居宅が調い次第明け渡す旨	(端裏書)「戌十月十九日佐平次方差上候扣」
別2-33-1-6-8	乍恐以書付奉願上候	延享2年7月		縦紙	1通	浅口郡乙島村百姓四郎兵衛・同和兵衛 乙島村去年年貢納所の儀、皆済不埒につき	

別2-33-1-7	覚	宝永2年2月		縦継紙	1通	乙島村与三左衛門・同村弥五兵衛・同村長十郎・同村伝吉・同村六蔵・同村作左衛門・玉島村甚左衛門・同村新左衛門・赤崎村利兵衛・玉島村七郎兵衛・楚助→乙島村庄屋仙右衛門 新たに借屋をするものは出所を確かめ、申し上げ、寺請状請人手形を取るなど、借屋に関する規定を守ることを誓約するもの。	
別2-33-1-8	[書状類一括]				1括り(2通)		別2-33-1-8-1～別2-33-1-8-2紙綴一括
別2-33-1-8-1	[守屋五太夫宛書状]	年未詳9月20日		横継紙	1通	乙島村一件につき	(上書)「口屋五太夫様 ■■■」
別2-33-1-8-2	[某書状]	年月日未詳		横折紙	1通	明神様御山の松に関する一件	
別2-33-1-9	[書状類一括]				1括り(1括り・8通)		別2-33-1-9-1～別2-33-1-9紙綴一括
別2-33-1-9-1	[佐平治宛与三左衛門書状]	年未詳5月9日		横継紙	1通	借銀の印形を取り揃えることを心得たと報告	(上書)「御庄屋佐平治様御報 与三左衛門」
別2-33-1-9-2	[佐平治宛与三左衛門書状]	年未詳5月16日		横切紙	1通	昨日中銀子を工面し倉敷へ持参することを承知し、昨夜に入るまで工面し、今朝庄屋久兵衛に持参した	(上書)「庄や佐平治様 与三左衛門」
別2-33-1-9-3	[佐平治宛与三左衛門書状]	年月未詳12日		横切紙	1通	増米代銀割付の取り立てにつき	(上書)「佐平治様 与三左衛門」
別2-33-1-9-4	[佐平治宛与三左衛門書状]	子年5月12日		横継紙	1通	銀について証文印形が出来せず、村入用銀の分は百姓より出した件につき	(端裏書)「子五月十二日」
別2-33-1-9-5	[佐平次宛与三左衛門書状]	年未詳5月16日		横継紙	1通	増米代銀ならびに先割銀について、入用掛り銀は村方より差し出すが増米銀は差し出さない旨を申す	(上書)「御庄や佐平次様 与三左衛門」
別2-33-1-9-6	[書状・書付類一括]				1括り(3通)		別2-33-1-9-6-1～別2-33-1-9-6-3紙綴一括
別2-33-1-9-6-1	[佐平治宛十左衛門書状]	年未詳5月16日		横継紙	1通	中島出入事の落着につき	(上書)「佐平治様御返事 十左衛門」
別2-33-1-9-6-2	[佐平治宛十左衛門書状]	年未詳5月15日		横継紙	1通	小三郎、惣代に郡割銀・皆済銀を持参。今朝銀を取りに参る。	(上書)「佐平治様 十左衛門」
別2-33-1-9-6-3	覚	年未詳6月10日		横切紙	1通	乙島村庄や左平次 乙島村百姓召手形の書付	
別2-33-1-9-7	[某書状]	年月日未詳		横折紙	1通	忠兵衛の借入銀の返済の埒が明かない状況を説明する	
別2-33-1-9-8	[守屋佐平治宛西国屋次七郎書状]	年未詳6月15日		横継紙	1通	西国屋次七郎→守屋佐平治 差紙付訴状1通、済口一札1通×2通をおくるので受け取るよう伝える	(包紙上書)「守屋佐平治様 西国屋次七郎」、(包紙裏書)「従玉島」
別2-33-1-9-9	[人名書付]	年月日未詳		横継紙	1通	久太郎外155名(計165名)の人名書付	
別2-33-1-10	[証書類一括]				1纏め(6通)		別2-33-1-10-1～別2-33-1-10-6一括
別2-33-1-10-1	覚	享保8年12月		縦紙	1通	川崎屋佐平次→伝次郎 銀2貫500目の請取につき	(端裏書)「享保八卯年十二月伝次郎殿へ渡す下書惣兵衛殿・伝蔵殿・吉郎右衛門殿 三人方請取 扣へ」
別2-33-1-10-2	一札	享保8年12月		縦切紙	1通	浅口郡乙島村伝次郎・同阿賀崎村伝蔵・同乙島村惣兵衛・同村吉郎右衛門→浅口郡阿賀崎村川崎屋左平次 差引算用合銀を相違なく渡し、佐平治に分地・家を添え分けること内済につき	
別2-33-1-10-3	[左平次宛又大夫書状]	寅年10月15日		横切紙	1通	又大夫→川崎屋左平次 ×3貫783匁2厘4毛を来月中ごろまで、内500目を20日ごろに遣わすよう伝える。	

別2-33-1-10-4	[佐平次宛伝蔵書状]	年未詳11月4日		横切紙	1通	今日立ち寄る予定だったが内用で行けなくなった。相談したいことがあるため来訪を請う。吉郎兵衛・惣兵衛にも同様に伝えること。	(端裏書)「佐平次様 伝蔵」
別2-33-1-10-5	覚	寛保元年11月		縦継紙	1通	浅口郡勇崎村十左衛門・同郡長尾村小野忠兵衛・同郡玉島村守屋又大夫・同郡乙島村市大夫・同弥次兵衛・同蓮成印→千種清右衛門御役所 千右衛門の儀につき評議一決の上、千右衛門へ伝えたが承知しなかったことについての届出	
別2-33-1-10-6	[左平次宛又大夫書状]	年未詳11月4日		横継紙	1通	先日上納銀手支えにつき返済銀のうち500目を申し遣わしたことにつき	(上書)「川崎屋左平次殿 玉島村又大夫」、(包紙上書)「川崎屋左平次様 玉島又大夫」
別2-33-1-11	進上	正徳4年11月6日		横折紙	1通	同仙右衛門→守屋佐平治 仙右衛門吉方が名を佐平治に改めるにつき	白紙の折紙あり
別2-33-1-12	[証書類一袋]				1袋(5冊・11通)		袋内別2-33-1-12-1～別2-33-1-12-16。(袋書)「証書類入」
別2-33-1-12-1	口上覚	戌年10月		縦継紙	1通	浅口郡乙島村伝次郎世倅繁八→千種清右衛門様御役所 千右衛門が伝次郎の所持していた屋敷を請け取り、伝次郎の妻子を養う旨願上について	(包紙上書)「上 乙島村伝次郎世倅 繁八」
別2-33-1-12-2	一札	延享2年10月		縦継紙	1通	浅口郡乙島村庄屋佐平次→千種清右衛門様御役所 伝次郎私分地の儀につき	(端裏書)「丑十月廿一日 扣」。前半部分に享保8年12月付「一札」(別2-33-1-10-2と同文)あり。
別2-33-1-12-3	乍恐書付を以奉申上候	寛保3年12月		縦紙	1通	浅口郡乙島村庄屋佐平治・同村伝次郎代倅繁八→千種清右衛門様御役所 兄・伝次郎より預る本家を伝次郎倅の繁八に明け渡し、佐平治は新宅へ引き移る旨の注進	(端裏書)「亥十二月廿六日差上候扣 年寄惣兵衛代平吉持参 伝次郎代繁八兩人持参 病氣二付不参」
別2-33-1-12-4	乍恐書付を以奉申上候	寛保3年12月		縦継紙	1通	浅口郡乙島村庄屋佐平治・同村伝次郎代倅繁八→千種清右衛門様御役所 兄・伝次郎より預る本家を伝次郎倅の繁八に明け渡し、佐平治は新宅へ引き移る旨の注進	(端裏書)「下書扣」、別2-33-1-12-3と同文
別2-33-1-12-5	[倉敷代官所宛繁八嘆願書]	子年7月20日		横継紙	1通	乙島村百姓伝次郎倅繁八→倉敷御役所 母の看病につき、当25日の召し出しの用捨願	
別2-33-1-12-6	御尋二付申上候覚	丑年10月2日		縦紙	1通	守屋□□□(又太夫カ)→千種清右衛門様御役所 乙島村千右衛門分地出入の儀につき	
別2-33-1-12-7	[守屋佐平治宛中藤又三郎書状]	年未詳10月29日		横継紙	1通	24日に玉島筋に用事があるので、佐平治宅へ参る予定であること。千右衛門の儀一件について。	(上書)「守屋佐平治様貴報 中藤又三郎」、(包紙上書)「守屋佐平治様貴報 中藤又三郎」
別2-33-1-12-8	乍恐書付を以奉申上候	寛保3年12月		縦紙	1通	浅口郡乙島村庄屋佐平治・同村伝次郎世倅繁八→千種清右衛門様御役所 伝次郎病気につき世倅繁八に本家田地畝高年貢帳など移すこと	(端裏書)「寛保3年亥12月千種清右衛門様へ差上候下書扣」
別2-33-1-12-9	御尋二付申上候口上覚	丑年10月朔日		縦紙	1通	玉島村庄屋守屋又大夫→千種清右衛門様御役所 乙島村千右衛門跡敷出入の儀につき	(端裏書)「丑十月朔日千右衛門出入二付又大夫カ書上扣之写」
別2-33-1-12-10	覚	寛保2年10月23日		縦継紙	1通	備中国浅口郡乙島村庄屋佐平治→千種清右衛門様御役所 伝次郎・佐平治甥分千右衛門の儀、正徳2年7月14日妾腹に出生について	(端裏書)「妾腹之甥千右衛門出入申掛戌十月返答書差上候 扣 子正月廿三日 繁八二写為取候」、(異筆・端裏書)「戌十月十」
別2-33-1-12-11	乍恐口上覚	寛保2年10月18日		美・横長	1冊	備中国浅口郡乙島村庄屋佐平治→千種清右衛門様御役所	
別2-33-1-12-12	一札	延享2年7月17日		縦紙	1通	四郎兵衛→佐平次 木綿作小前四郎兵の連判組離脱につき証文	(端裏書)「丑七月四郎兵衛連判相はなれ候証文」
別2-33-1-12-13	寛保元酉年十一月 出入当座覚書 惣兵衛・半兵衛・虎太夫	寛保元年11月		半・縦	1冊		(裏書)「酉十月六日七日之頃千右衛門、倉敷御役所へ罷出由、十月八日二与三左衛門参承之」
別2-33-1-12-14	元文五申二月 万留覚	元文5年2月		小・横半	1冊		

別2-33-1-12-15	乍恐以書付奉申上候	延享2年10月		半・竪	1冊	備中国浅口郡乙島村庄屋佐平次→千種清右衛門様御役所	竪紙を折らずに右(袖)を綴じる。別2-33-1-12-16と同文
別2-33-1-12-16	[本家相続につき御吟味申上口上案]	年月日未詳		半・竪	1冊	伝次郎隠居に伴う家督相続につき委細及び株分け等口上案	竪紙を折らずに右(袖)を綴じる。別2-33-1-12-15と同文
別2-33-2	[書状・書付類]				1括り(3括り・1包・2通)		別2-33-2-1～別2-33-2-6紙縫一括
別2-33-2-1	[書状類]				1包(5通)		別2-33-2-1-1～別2-33-2-1-5包紙一括。(包紙上書)「戌二月廿六日二参、同廿八日二出、四月十八日二参、同十九日迄二済、廿日二宮内へ参詣、廿一日二帰ル」
別2-33-2-1-1	[惣兵衛・与三左衛門宛太兵衛書状]	年未詳4月29日		横継紙	1通	阿賀崎村太兵衛→惣兵衛・与三左衛門 仙右衛門の一件につき庄屋らの文通	奥に[左平次宛与三左衛門書状]と[与三左衛門宛佐平次書状]が継がれている
別2-33-2-1-2	[守屋左平次宛小野忠兵衛書状]	年未詳10月28日		横継紙	1通	守屋伝次郎が願の通り役儀の御免を受ける件	(上書)「守屋左平次様 小野忠兵衛」
別2-33-2-1-3	[佐平次宛小野勢太右衛門書状]	年未詳10月28日		横継紙	1通	伝次郎跡役儀、願の通り佐平治が仰せ付けられたことを承った。明後の朝飯後早速参ることを伝える。	(上書)「守屋左平次様貴報 小野勢太右衛門」
別2-33-2-1-4	[守屋佐平次宛小野勢太右衛門書状]	年未詳11月9日		横切紙	1通	引越の儀につき	(上書)「守屋佐平次様 小野勢太右衛門」
別2-33-2-1-5	[中藤又三郎宛小野忠兵衛・中藤十左衛門書状]	年未詳2月24日		横継紙	1通	小野忠兵衛・中藤十左衛門→中藤又三郎 乙島村千右衛門訴状差出一件につき	
別2-33-2-2	[書状・書付類一括]				1括り(1包・10通)		別2-33-2-2-1～別2-33-2-2-11紙縫一括
別2-33-2-2-1	[守佐平治宛吉嘉兵衛書状他]				1包(2通)		別2-33-2-2-1-1～別2-33-2-2-1-2包紙一括。(包紙上書)「守佐平次様御報 吉嘉兵衛」
別2-33-2-2-1-1	[守佐平治宛吉嘉兵衛書状]	年未詳正月12日		横継紙	1通	野々屋への御状、早速持参の件	(上書)「守佐平次様貴報 吉嘉兵衛」
別2-33-2-2-1-2	[書付]	年未詳正月12日		横切紙	1通	祐七郎→左平二 書付請取	(上書)「用事」
別2-33-2-2-2	[願書]	戌年10月		竪紙	1通	備中国浅口郡乙島村庄屋佐平治→千種清右衛門様御役所 裁許の願	前欠
別2-33-2-2-3	[左平次宛伝次郎書状]	年未詳正月12日		横切紙	1通	預け年貢不足につき	(上書)「左平次殿 伝次郎」
別2-33-2-2-4	[左平次宛勢太右衛門書状]	年未詳8月7日		横折紙	1通	ご機嫌うかがい	(包紙上書)「乙島之庄や 左平次殿 勢太右衛門 長尾 5」
別2-33-2-2-5	口上	卯年4月8日		横切紙	1通	伝次郎→左平次 銭50目の支払を求めらるにつき	
別2-33-2-2-6	[口(佐カ)平次宛伝次郎書状]	年未詳12月15日		横切紙	1通	岡山病人の様子を承りたい旨、小役銀について	(上書)「口(佐カ)平次殿 伝次郎」
別2-33-2-2-7	[守屋佐平次宛大橋与三左衛門書状]	年未詳4月2日		横切紙	1通	平野屋の私田地手作につき	(上書)「守屋佐平次様 大橋与三左衛門」
別2-33-2-2-8	[守屋佐平治宛大橋与三左衛門書状]	年未詳3月11日		横切紙	1通	五兵衛と相談の由承知の旨	(上書)「御庄や守屋佐平治様 参人々御中 大橋与三左衛門」
別2-33-2-2-9	[佐平治宛与三左衛門書状]	年未詳11月16日		横継紙	1通	久右衛門私方へ呼び寄せのこと	(上書)「御庄や佐平治様 御返報 与三左衛門」

別2-33-2-2-10	[佐平治宛与三左衛門書状]	年未詳3月17日		横切紙	1通	伝次郎田地手作の件	(上書)「御庄屋 佐平治様参人々御中 与三左衛門」
別2-33-2-2-11	口上	年月日未詳		横切紙	1通	年寄与三左衛門→御庄屋佐平治 又次郎借用手形へ印形をもとめる	
別2-33-2-3	乍恐奉願上候口上	戌年10月17日		縦紙	1通	(浅口郡乙島村)庄屋佐平次外4名→倉敷御役所 風邪病氣・持病につき参上できない旨	印部分を破り取られている(佐平次を除く)。別2-33-2-4とほぼ同文
別2-33-2-4	乍恐奉願上候口上	戌年10月17日		縦紙	1通	浅口郡乙島村年寄惣兵衛・同与三左衛門・庄屋佐平次→倉敷御役所 病氣につき参上できない旨	印部分を破り取られている。別2-33-2-3とほぼ同文
別2-33-2-5	[守屋佐平次宛書状二通]				1纏め(2通)		別2-33-5-1～別2-33-5-2巻込一括。
別2-33-2-5-1	[守屋佐平次宛吉田嘉兵衛書状]	年未詳正月27日		横折紙	1通	吉田嘉兵衛→(守屋佐平次) 蛤のお礼など	(上書)「守屋佐平次様 尊報」
別2-33-2-5-2	[守屋佐平次宛吉田嘉兵衛書状]	年未詳正月26日		横継紙	1通	先日の馳走のお礼など	(上書)「守佐平次様 吉嘉兵衛」
別2-33-2-6	[覚類一括]				1括り(2冊・3通)		別2-33-2-6-1～別2-33-2-6-5紙縫一括
別2-33-2-6-1	添証文之事	寅年12月27日		横切紙	1通	預り主乙島村伝次郎・同惣兵衛・証人久右衛門→福島屋弥惣兵衛 当暮の銀子返済について延引するため、来年(卯年)5月までに返済する旨	
別2-33-2-6-2	覚	丑年12月10日		横切紙	1通	庄屋又兵衛→乙島村久右衛門 錢68匁8分8厘の夫食銀請取につき	
別2-33-2-6-3	覚	丑年12月		横切紙	1通	庄屋又兵衛→乙島村久右衛門 夫食銀の元利を記す、 \times 368匁8分8厘	
別2-33-2-6-4	[寛保二年十月諸事覚書]	寛保2年10月		美・横長	1冊	御代官千種清右衛門様御下りの節ほか	
別2-33-2-6-5	浅口郡乙島村百姓久右衛門 高掛り御年貢去ル寅方申迄七ヶ年分算用帳写シ覚	元文5年以降		美・横長	1冊	享保19年(寅)～元文5年(申)の算用帳	
別2-34	[水谷落去之節御役人各文通]				1包(3通)		別2-34-1～別2-34-3包紙一括、(包紙上書)「水谷落去之節、御役人各文通」
別2-34-1	[藤兵衛・次兵衛・助左衛門書状]	年未詳正月15日		横折紙	1通	藤兵衛・次兵衛・助左衛門→(宛名なし) 村々山林竹林など切荒らさないよう御目付衆より書付があり、村中へ申し付けるよう伝える。仕置を守り諸事実体に勤めること、御代官衆御蔵御勘定について	
別2-34-2	[長島藤九郎宛十左衛門書状]	年未詳2月4日		縦紙	1通	11日に屋敷を明け渡し、すぐにそちらへ参る旨を伝える	(上書)「乙島村十左衛門方御返報 長島藤九郎」
別2-34-3	[十左衛門宛小林庄助書状]	年未詳2月5日		横折紙	1通	小林庄助→乙島十左衛門 勘定の件につき皆済のはずのこと	(包紙上書)「乙島十左衛門御報 小林庄助方」
別2-35	[乙島村八十八ヶ所書類]				1袋(2通)		袋内別2-35-1～別2-35-2、(袋書)「寛政三亥年十月十日成就致候、当村八十八ヶ所書類」
別2-35-1	[八十八ヶ所書付]	年月日未詳		縦継紙	1通	八十八ヶ所(土州16ヶ所・予州26ヶ所・讃州23ヶ所・阿州23ヶ所)の書付	縦継紙の料紙に横折紙の形態で記載されている。
別2-35-2	[乙島村庄屋書状]	子年6月		横切紙	1通	乙島村庄屋→(宛名なし) 乙島村八十八ヶ所勤化人は他所へ一人も出していないこと	

別2-36	御裏書之写	宝永7年2月4日		縦継紙	1通	大大隅・御用二付無加印 平若狭・遠国御用二付無加印 中出雲・萩近江・坪能登・松壱岐・丹遠江・本弾正・御用二付 三備前・鳥伊賀・安右京→(宛名なし) 西川に砂が埋まり用水が不足したことによる争論について、以後砂で埋まったら西川東川ともに水下の村々が人夫を出し砂を浚うこと	(包紙上書)「■股論所御裁許 御裏書之写 一通 但本紙絵図ハ別箱ニ有之」、(包紙裏書)「宝永七年庚寅二月四日御裁許書」、(端裏貼紙)「御裏書之写」
別2-37	[村東西里数書上扣]				1括り(2通)		別2-37-1～別2-37-2紙縫一括。(紙縫付箋)「村東西里数書上ひかへ」
別2-37-1	指上ケ申所書之事	正保2年3月15日		縦継紙	1通	乙島村の寺院や町について概要、他所との距離について書付	裏面にも同様の記載あり
別2-37-2	浅口郡之内乙島村(村高家数書立)	正保4年7月2日		縦継紙	1通	庄や左平次→高岡平左衛門 乙島村高・範圍・家数など書付	
別2-38	[年貢銀・郡割銀関係書類一括]				1袋(4括り・2包)		袋内別2-38-1～別2-38-6
別2-38-1	[郡割銀に関する書状類一括]				1括り(1纏め・2冊・12通)		別2-38-1-1～別2-38-1-15紙縫一括
別2-38-1-1	[佐平次宛市兵衛書状]	年未詳12月20日		横切紙	1通	郡割銀算用につき、間違いがあり藤兵衛御立腹の紙面が届いた旨	(上書)「佐平次様 市兵衛」
別2-38-1-2	[菊池藤兵衛宛守屋佐平次書状]	亥年12月26日		横継紙	1通	郡割銀の支払い催促	(上書)「菊池藤兵衛様 守屋佐平次」(端裏書)「北いつミ与四兵衛もたせ遣ス、寅十二月廿六日書状遣ス扣」
別2-38-1-3	[藤兵衛宛佐平次書状]	安永6年12月		横継紙	1通	乙島村佐平次→阿賀崎村御庄屋藤兵衛 郡割銀取込分、98匁917匁8分6厘の支払催促	(端裏書)「酉暮 扣」
別2-38-1-4	覚	安永8年12月		横継紙	1通	乙島村佐平次→阿賀崎村御庄屋藤兵衛 郡中入用取替の分、銀142貫441匁7分2厘の催促	(端裏書)「安永八亥十二月書状致シ込遣ス扣」
別2-38-1-5	赤崎村太兵衛郡わり過銀取込年々元り算用覚	天明2年以降		半・横長	1冊	延享3年～天明2年の元利算用帳	付箋あり
別2-38-1-6	[書状類]				1纏め(3通)		別2-38-1-6-1～別2-38-1-6-3巻込一括
別2-38-1-6-1	[某書状]	天明5年8月18日		横折紙	1通	算用合の儀につき、支払の督促	(袖書)「天明五巳八月十八日遣ス扣」
別2-38-1-6-2	[菊池太兵衛宛守屋佐平次書状]	天明5年8月16日		横切紙	1通	守屋佐平次→菊池太兵衛 取替銀の催促	
別2-38-1-6-3	[銀算用書付]	天明5年以降		横切紙	1通		付箋カ
別2-38-1-7	[源七宛佐平次書状]	安永9年12月17日		横継紙	1通	乙島村佐平次→阿賀崎村御庄屋源七 取替銀、170貫930匁6厘の催促	(端裏書)「子十二月十七日扣 阿賀崎村庄屋源七殿へ遣ス書状 算用書付北いつミ与四兵衛二持せ遣候扣 源七継目初而遣ス書状算用付共」
別2-38-1-8	[佐平次宛太兵衛書状]	年未詳12月20日		横継紙	1通	証文の返上について、証文を喜三右衛門に渡す旨	(端裏書)「佐平次様 太兵衛」
別2-38-1-9	覚	安永8年12月27日		横継紙	1通	乙島村庄屋佐平次→阿賀崎村御庄屋藤兵衛 郡割銀取込分、銀142貫441匁7分2厘の催促	(端裏書)「亥十二月廿七日遣ス 扣」
別2-38-1-10	[源七宛佐平次書状]	天明3年12月		横継紙	1通	佐平次→阿賀崎村御庄や源七 取替銀295貫367匁1分4厘の催促	(端裏書)「天明三卯十二月扣」
別2-38-1-11	覚	安永5年12月20日		横継紙	1通	乙島村佐平次→阿賀崎村御庄屋藤兵衛 延享2年12月立会の郡割銀のうち、太兵衛取込分の宝暦13年までの算用詰(ノ82貫431匁5分5厘)と支払い催促	(上書)「申暮 扣」、(袖書)「安永五年申十二月手紙ニ添遣候扣」

別2-38-1-12	[太兵衛宛佐平次書状]	天明4年12月27日		横継紙	1通	乙島村佐平次→阿賀崎村御庄屋太兵衛 郡割銀取替分、354貫440匁5分7厘の支払い催促	(上書)「天明四辰十二月廿七日遣ス扣 昌勝」
別2-38-1-13	藤兵衛殿江取かへ覚	安永6年12月		美・横長	1冊	明暦11年～安永5年の銀算用書付と安永5年12月・安永6年12月の藤兵衛宛佐平次書状の覚書	
別2-38-1-14	[銀算用書付]	年月日未詳		横切紙	1通	天明元～三年の銀算用詰	天明3年以降
別2-38-1-15	[銀算用書付]	天明3年以降		横折紙	1通	安永2年の年貢未進分、13貫787匁5分5厘の安永3年～天明2年の利息書付	
別2-38-2	[阿賀崎村御年貢算用目録并手形類]				1括り(8纏め・1綴・15通)		別2-38-2-1～別2-38-2-24紙綴一括。(包紙上書)「阿賀崎村御年貢算用目録并手形類」
別2-38-2-1	享保元申御年貢受取	享保元年以降		横切紙	1通	川崎や三左衛門 ㄨ29匁3分9厘	
別2-38-2-2	享保六丑御年貢請取	享保6年以降		横切紙	1通	川崎や佐平次 ㄨ48匁9厘	
別2-38-2-3	[年貢請取書類]			横継紙	1綴(3通)	太兵衛→佐平次 享保10年～享保12年の年貢請取書	
別2-38-2-4	享保十三申御年貢請取	享保14年3月		横継紙	1通	庄や太兵衛→佐平次 ㄨ17石1斗7升6勺請取皆済のこと	
別2-38-2-5	[年貢米代銀請取につき覚四通]				1纏め(4通)		別2-38-2-5-1～別2-38-2-5-4巻込一括
別2-38-2-5-1	覚(年貢米代銀請取につき)	卯年12月20日		横切紙	1通	庄や太兵衛→左平次 銀108匁2分2厘、年貢米代銀の請取	
別2-38-2-5-2	覚(年貢米代銀請取につき)	卯年12月3日		横切紙	1通	庄や太兵衛→左平次 銀190匁1分、年貢米代銀の請取	
別2-38-2-5-3	覚(年貢米代銀請取につき)	卯年10月9日		横切紙	1通	庄や太兵衛→佐平次 銀100目、年貢米代銀の請取	
別2-38-2-5-4	覚(年貢米代銀請取につき)	卯年10月17日		横切紙	1通	庄や太兵衛→左平次 銀100目、年貢米代銀の請取	
別2-38-2-6	[銀の支払・請取につき覚二通]				1纏め(2通)		別2-38-2-6-1～別2-38-2-6-2巻込一括
別2-38-2-6-1	覚(銀請取につき)	卯年3月18日		横切紙	1通	太兵衛→左平次 銀102匁7分の請取	
別2-38-2-6-2	覚(銀請取につき)	年未詳3月晦日		横切紙	1通	太兵衛→佐平次 銀146匁6分8厘のうち112匁7厘請取、残ㄨ34匁6分1厘の支払い請求	
別2-38-2-7	[銀算用につき覚二通]				1纏め(2通)		別2-38-2-7-1～別2-38-2-7-2巻込一括
別2-38-2-7-1	覚(年貢銀算用につき)	年月日未詳		横継紙	1通	年貢銀221匁2分3厘、うち153匁7分1厘を納め、ㄨ67匁5分2厘不足	
別2-38-2-7-2	覚(銀算用につき)	年月日未詳		横継紙	1通	佐平次 小入用銀266匁1分3厘、うち112匁5厘を納め、残り144匁8厘不足	
別2-38-2-8	享保八卯御年貢受取	享保9年3月		横継紙	1通	庄や太兵衛→左平次 年貢米17石1斗8升7合8勺、指引5厘過分	
別2-38-2-9	[年貢に関する書類]				1纏め(4通)		別2-38-2-9-1～別2-38-2-9-4巻込一括
別2-38-2-9-1	卯ノ御為替米請取	卯年10月10日		横継紙	1通	七右衛門→乙島ノ本助 御納米3斗5升・同3斗5升	

別2-38-2-9-2	享保五年子御年貢請取	子年3月		横継紙	1通	太兵衛→佐平次 年貢米26石6斗5升6合9勺、差引71匁6分9厘未進	
別2-38-2-9-3	覚(銀算用につき)	年月日未詳		横継紙	1通	×10匁4分6厘取替分	
別2-38-2-9-4	(銀算用書付)	年月日未詳		横継紙	1通	子年の年貢ならびに小入用割銀納不足銀について	
別2-38-2-10	享保九辰御年貢請取	享保10年3月		横継紙	1通	庄や太兵衛→左平次 年貢米14石8斗4升5合8勺、差引1斗2升7合1勺(銀5匁3分8厘)未進	
別2-38-2-11	享保三年戌御年貢請取	享保4年3月		横継紙	1通	庄屋太兵衛→佐平次 年貢米26石6斗2升9合9勺、差引3石3斗2升1合6勺(銀450匁6分)未進	
別2-38-2-12	[銀算用書類]				1纏め(3通)		別2-38-2-12-1~別2-38-2-12-4巻込一括
別2-38-2-12-1	覚(納銀書付)	年月日未詳		横切紙	1通	106匁6分6厘上納	
別2-38-2-12-2	覚(年貢米代銀請取につき)	寅年12月20日		横継紙	1通	太兵衛→佐平次 銀106匁6分6厘、年貢米代銀の請取	
別2-38-2-12-3	覚(年貢米代銀請取につき)	寅年12月20日		横切紙	1通	太兵衛→佐平次 銀50目、年貢米代銀の請取	
別2-38-2-13	[年貢米代銀請取につき覚二通]				1纏め(2通)		別2-38-2-13-1~別2-38-2-13-2巻込一括
別2-38-2-13-1	覚(年貢米代銀請取につき)	寅年11月20日		横切紙	1通	庄屋太兵衛→佐平次 銀2匁6分1厘、年貢米代銀の請取	
別2-38-2-13-2	覚(年貢米代銀請取につき)	寅年11月20日		横切紙	1通	庄屋太兵衛→佐平次 銀51匁4分6厘、年貢米代銀の請取	
別2-38-2-14	覚(上納銀請取につき)	酉年11月18日		横切紙	1通	年寄政右衛門→左平次 銀29匁5分・同64匁2分二口の上納銀の請取	
別2-38-2-15	覚(年貢納不足請取につき)	子年2月18日		横切紙	1通	太兵衛→左平次 銀300目、年貢納不足分の請取	書付1通巻込
別2-38-2-16	口上	年未詳2月17日		横切紙	1通	左平次→太兵衛 銀109匁4分の支払い	太兵衛請取の奥書あり
別2-38-2-17	享保十四酉御年貢請取	享保15年3月		横切紙	1通	庄や太兵衛→佐平次 年貢銀166匁3分、差引3分6厘未進	
別2-38-2-18	享保十五戌御年貢請取	享保16年3月		横継紙	1通	庄屋太兵衛→佐平次 年貢銀492匁4分4厘、差引109匁8厘未進	
別2-38-2-19	覚(年貢米代銀請取につき)	年未詳12月28日		横切紙	1通	太兵衛→左平次 銀22匁4分、年貢米代銀不足分の請取	
別2-38-2-20	[年貢米代銀請取二通]				1纏め(2通)		別2-38-2-20-1~別2-38-2-20-2巻込一括
別2-38-2-20-1	享保七年寅御年貢請取	享保8年3月		横継紙	1通	庄や太兵衛→佐平次 年貢米12石3斗2升6合9勺、差引133匁3分4厘未進	
別2-38-2-20-2	享保六年丑御年貢請取	享保7年3月		横継紙	1通	庄屋太兵衛→佐平治 年貢米2石1斗1升3合4勺、差引67匁5分2厘未進	
別2-38-2-21	覚(銀算用につき)	年月日未詳		横切紙	1通	赤崎年寄小左衛門→乙島千右衛門	

別2-38-2-22	[米年貢代銀請取につき覚二通]				1纏め(2通)		別2-38-2-22-1～別2-38-2-22-2巻込一括
別2-38-2-22-1	覚(年貢米代銀請取につき)	寅年12月6日		横切紙	1通	庄屋太兵衛→左平次 銀7匁5分、年貢米代銀の請取	
別2-38-2-22-2	覚(年貢米代銀請取につき)	寅年12月6日		横切紙	1通	庄屋太兵衛→左平次 銀89匁2分、年貢米代銀の請取	
別2-38-2-23	享保二年酉御年貢	享保3年3月		横継紙	1通	庄屋太兵衛→左平次 年貢米22石6斗7升2合7勺、差引281匁2分未進	
別2-38-2-24	享保四年亥御年貢請取	享保5年8月		横継紙	1通	庄屋太兵衛→佐平次 年貢米26石9斗5升1合1勺、差引87匁1分2厘未進	
別2-38-3	[守屋佐平次宛菊池藤兵衛書状一括]				1括り(5通)		別2-38-3-1～別2-38-3-5紙縫一括
別2-38-3-1	[佐平次宛藤兵衛書状]	年未詳12月26日		横継紙	1通	先年の郡割銀について、村方困窮につき当年暮はご容赦くださるよう断り	(上書)「佐平次様 藤兵衛」
別2-38-3-2	[守屋佐平次宛菊池藤兵衛書状]	未年7月12日		横継紙	1通	郡割不足銀元利の催促に対する断り	(上書)「守屋佐平次様 菊池藤兵衛 未七月十二日返書」
別2-38-3-3	[佐平次宛藤兵衛書状]	年未詳12月29日		横継紙	1通	借金返済の断り	(上書)「佐平次様 藤兵衛」
別2-38-3-4	[佐平次宛藤兵衛書状]	年未詳12月晦日		横継紙	1通	藤兵衛→佐平次 年貢銀郡割銀の年明けまでの延引を願う	(上書)「佐平次様 藤兵衛」、奥に寛延2年12月返書の写しを継いでいる。
別2-38-3-5	[守屋佐平次宛菊池藤兵衛書状]	年未詳12月晦日		横継紙	1通	借金の返済をめぐるやり取り	(上書)「守屋佐平次様 菊池藤兵衛」、奥に覚書を継いでいる。
別2-38-4	[守屋佐平次宛菊池太兵衛書状類一括]				1括り(1纏め・3通)		別2-38-4-1～別2-38-4-4紙縫一括
別2-38-4-1	[佐平次宛太兵衛書状]	年未詳12月25日		横切紙	1通	去丑年郡割銀・銀150目伊予屋家賃・片島分郡割銀について	(上書)「佐平次様 太兵衛」
別2-38-4-2	覚	寅年12月19日		横切紙	1通	太兵衛→佐平次 取替銀271匁3分、差引354匁7分6厘過分	
別2-38-4-3	[佐平次宛太兵衛書状]	年未詳12月27日		横継紙	1通	年頭入用銀の取替について	(上書)「佐平次様 太兵衛」
別2-38-4-4	[守屋佐平次宛菊池太兵衛書状類]				1纏め(2通)		別2-38-4-4-1～別2-38-4-4-2巻込一括
別2-38-4-4-1	[守屋佐平次宛菊池太兵衛書状]	年未詳12月27日		横切紙	1通	年頭入用300目余の郡中入用割の依頼、大坂屋権右衛門殿娘子の縁談ほか	(上書)「守屋佐平次様 菊池太兵衛」、(端裏書)「酒かめ式ツ用立て候式石入又兵衛へ申遣渡す」
別2-38-4-4-2	[書状追伸]	年月日未詳		横切紙	1通	夜までに返事を知りたい旨	
別2-38-5	[守屋佐平次宛菊池太兵衛書状類]				1包(1纏め・1冊・2通)		別2-38-5-1～別2-38-5-4包紙一括
別2-38-5-1	[守屋佐平次宛菊池太兵衛書状類]				1纏め(2通)		別2-38-5-1-1～別2-38-5-1-2巻込一括
別2-38-5-1-1	[守屋佐平次宛菊池太兵衛書状]	年未詳12月28日		横継紙	1通	郡割取引の帳面の写しと銀300匁を送る	(上書)「守屋佐平次様 菊池太兵衛」
別2-38-5-1-2	[守屋佐平次宛菊池太兵衛書状追而書]	年月未詳28日		横切紙	1通	太兵衛→佐平次 出作百姓のうち為替立について	

別2-38-5-2	[守屋佐平次宛菊池太兵衛書状]	年未詳12月29日		横継紙	1通	歳末祝儀として鱈一尾もらったことのお礼。算用書について、いずれが算用違いか承りたい	(上書)「守屋佐平次様 菊池太兵衛」
別2-38-5-3	覚	申年12月28日		横継紙	1通	阿賀崎村太兵衛→乙島村佐平次 銀725匁8分4厘郡割算用詰のうち、残423匁6分不足、支払要求	(上書)「乙島村」
別2-38-5-4	享保十八丑 元文三年迄御年貢差引書	元文3年以降		美・横長	1冊	享保18年～元文3年の年貢算用	
別2-38-6	[年貢請取関係書類]				1包(8綴・3通)		別2-38-6-1～別2-38-6-11包紙一括
別2-38-6-1	[寛保年間年貢請取綴]	寛保2年3月		横継紙	1綴(3通)	庄屋太兵衛→佐平次 「寛保元酉御年貢請取」・「寛保二戌御年貢請取」・「寛保三亥御年貢請取」を綴る	
別2-38-6-2	[延享年間年貢請取綴]	延享2年3月		横継紙	1綴(4通)	庄屋太兵衛→佐平次 「延享元子御年貢請取」・「延享二丑御年貢請取」・「延享三寅御年貢請取」・「延享四卯御年貢請取」を綴る	
別2-38-6-3	[明和年間年貢請取綴]	明和2年3月		横継紙	1綴(4通)	庄屋藤兵衛→佐平次 「明和元申御年貢請取」・「明和貳年申御年貢請取」・「明和七寅御年貢請取」・「明和八卯御年貢請取」を綴る	
別2-38-6-4	[安永年間年貢算用綴]	安永2年3月		横継紙	1綴(2通)	庄屋太兵衛→佐平次 「安永元辰御年貢算用」・「安永貳巳御年貢算用」を綴る	
別2-38-6-5	[寛延年間年貢請取綴]	寛延2年3月		横継紙	1綴(3通)	庄屋太兵衛→佐平次 庄屋藤兵衛→佐平次 「寛延元辰御年貢請取」・「寛延二巳御年貢請取」・「寛延三午御年貢請取」を綴る	
別2-38-6-6	[宝暦年間年貢請取綴]	宝暦2年3月		横継紙	1綴(10通)	庄屋藤兵衛→佐平次 「宝暦元未御年貢請取」・「宝暦三酉御年貢請取」・「宝暦四戌御年貢請取」・「宝暦五亥御年貢請取」・「宝暦六子御年貢請取」・「宝暦九卯御年貢請取」・「宝暦十辰御年貢請取」・「宝暦十一巳御年貢請取」・「宝暦十貳午御年貢請取」・「宝暦十三未御年貢請取」を綴る	
別2-38-6-7	[享保年間年貢請取綴]	享保20年3月		横継紙	1綴(2通)	庄屋太兵衛→佐平次 「享保十九寅御年貢請取」・「享保貳十卯御年貢請取」を綴る	
別2-38-6-8	天明貳寅御年貢算用	天明3年2月		横継紙	1通	庄屋源七→佐平次 畑高3斗7升3合4勺の年貢銀算用	
別2-38-6-9	天明三卯御年貢算用	天明4年3月		横切紙	1通	庄屋源七→佐平次 畑高3斗7升3合4勺の年貢銀算用	
別2-38-6-10	享保元年申御年貢	享保2年3月		横継紙	1通	庄屋太兵衛→左平次 年貢米22石8合8勺、差引1石5升5合9勺(銀23匁2分)未進	
別2-38-6-11	[元文年間年貢請取綴]	元文2年3月		横継紙	1通	庄屋太兵衛→佐平次 「元文元辰御年貢請取」・「元文二巳御年貢請取」・「元文三午御年貢請取」・「元文四未御年貢請取」・「元文五申御年貢請取」を綴る	
別2-39	[支配関係書状類]				1括り(1纏め・3通)		別2-39-1～別2-39-4紙縫一括、(紙縫付紙)「水谷御代御意二付御役人衆御判付書物 昌勝改」
別2-39-1	[舟尾村・長尾村・乙島村庄屋衆中宛西島弥五左衛門家正書状]	子年11月25日		横折紙	1通	西島弥五左衛門家■→舟尾村・長尾村・乙島村庄屋衆中 上方銀運送のため、長尾にて小舟一艘の申しつけ。水夫舟尾村一人・乙島村一人の申しつけ。	
別2-39-2	廻状之移し	年未詳11月11日		横折紙	1通	三右衛門→庄や中 かきをとってはならない旨の指示	村々庄や中宛伊三右衛門「覚」の紙背文書あり

別2-39-3	[庄や衆中宛野中甚吉・上野甚三郎書状]	年末詳3月18日		横折紙	1通	野中甚吉・上野甚三郎→御庄や衆中 夏に国廻衆がお越しになるので、その旨村中へよく読み聞かせること	
別2-39-4	[諸伝達関係書状類]				1纏め(4通)		別2-39-4-1～別2-39-4-4巻込一括
別2-39-4-1	[左平次宛伝右衛門・五郎兵衛書状]	年末詳4月4日		横折紙	1通	伝右衛門・五郎兵衛→左平次 新田石樋の寸法についての指示	
別2-39-4-2	[左平次宛伝右衛門・五郎兵衛書状]	年末詳正月15日		横折紙	1通	伝右衛門・五郎兵衛→乙島村左平次 ほうふう(防風カ)を取り持参してほしい旨	
別2-39-4-3	[左平次宛伝右衛門・五郎兵衛書状]	年末詳3月3日		横折紙	1通	伝右衛門・五郎兵衛→口(乙)島村口(左)平二 ほうふう(防風カ)を欲しい旨	
別2-39-4-4	[乙島村・柏崎村・柳井原村宛稲川市左衛門書状]	年末詳8月13日		横折紙	1通	稲川市左衛門→乙島村・柏崎村・柳井原村 真綿の催促	
別2-40	[書状・覚類]				1包(1冊・13通)		別2-40-1～別2-40-14包紙一括。SILティッシュで包む。
別2-40-1	廻状	年末詳3月27日		横折紙	1通	今藤兵衛・鶴次兵衛→下道郡・浅口郡右村々庄や中 去四年の御物成の庭帳・代官衆へ出した勘定目録ひかえなどを持参すること	(包紙上書)「廻状 鶴次兵衛・今藤兵衛 預村方早々廻し可被下候」
別2-40-2	覚	子年4月19日		横折紙	1通	さくらや太郎右衛門→守屋仙右衛門 二口×187匁5分9厘の代銀請取	奥に付紙あり
別2-40-3	廻状	年末詳10月8日		横折紙	1通	次兵衛・助左衛門→下道郡・浅口郡右村々庄や中 免状札の催促	(包紙上書)「廻状 助左衛門・次兵衛 陰村方早々廻し可被下候」
別2-40-4	[十左衛門宛次兵衛・助右衛門書状]	年末詳3月8日		美・横長	1冊	次兵衛・助左衛門→乙島村十左衛門 御法事・松露・濱松御用につき調達指示	
別2-40-5	[本橋太郎助・稲葉藤右衛門宛書状案]	年末詳3月9日		横折紙	1通	(差出人名なし)→本橋太郎助・稲葉藤右衛門 防風・濱松・松露は10日の昼頃参着するよう玉島の倉へ入れる予定であること。浜松は柏島・勇崎・黒崎村へ申し遣わし徐々に書付の通り上げる予定であること、など	
別2-40-6	[十左衛門宛忠兵衛書状]	年末詳3月10日		縦紙	1通	防風の事につき	(上書)「乙島村十左衛門殿 渡ス忠兵衛」
別2-40-7	[十左衛門宛石川助兵衛書状]	年末詳3月11日		縦紙	1通	はま松を出すことについて	(上書)「乙島十左衛門 石川助兵衛」
別2-40-8	[十左衛門宛七左衛門書状]	年末詳3月9日		縦紙	1通	人足20人に松露を取らせたが、当村の山にはなかった。かろうじて5つあったので持たせ遣わした。	(上書)「乙島村十左衛門様人々御中 船尾村七左衛門」
別2-40-9	[八助外5名宛十左衛門書状]	年末詳3月8日		横折紙	1通	乙島村十左衛門→下長尾村八助・上長尾村半七・下舟尾村七左衛門・上舟尾村久左衛門・水江村市右衛門・柳井原村与惣左衛門 御屋敷より松露を命じられたが、ここには少ないので、あれば玉島の御倉へ御状をそえ遣わすこと	
別2-40-10	[老中奉書写]	年末詳3月11日		横折紙	1通	阿部対馬守・松平伊豆守→水谷伊勢守 異国船が渡海につき領内油断なく申し付けること	(上書)「水谷伊勢守殿」
別2-40-11	[重左衛門宛与十郎・七三郎書状]	年末詳3月8日		横切紙	1通	松露・濱松を玉島御倉へ持参した。もはや松露は無い旨を伝える。	(上書)「乙島村庄や重左衛門様御報 柏島村方庄や与十郎・同七三郎」
別2-40-12	[老中奉書写]	年末詳2月12日		横折紙	1通	阿部対馬守・阿部豊後守・松平伊豆守→水谷伊勢守 異国船が領内の浦々へ来た際の処理について、事を荒立てず、長崎へ回送し、拒む場合はその趣を大坂定番・大坂町奉行・長崎町奉行・高力撰津守に注進するようという旨	

別2-40-13	[左平次宛左近書状]	年未詳3月20日		横折紙	1通	左近→左平次 鯛の贈答に対する礼状	
別2-40-14	[十左衛門宛本橋太之助書状]	年未詳3月11日		縦紙	1通	本橋太之助→乙島十左衛門 防風・濱松の請取	(上書)「乙島十左衛門殿 本橋太之助」
別2-41	[書状類]				1括		別2-41-1～別2-41-24紙綴一括、(包紙表書)「玉島湊証 抛 松平豊後守様 御領地之節 御代官并御手代衆方 御用状数通 外二阿カ崎大庄屋伝左衛門殿 手紙」
別2-41-1	[伝次郎宛和兵衛書状]	年未詳閏7月20日		横継紙	1通	高瀬通し普請について、船1艘の人足召出	(上書)「乙島村伝次郎様 高和兵衛」
別2-41-2	[伝次郎宛近藤覚左衛門・田島武左衛門書状]	年未詳2月19日		横継紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎殿 杉桐を高瀬場から御陣屋まで取り渡すため、明朝人足20人を高瀬場へ差し出すこと、まさかり4丁持参のこと	
別2-41-3	覚(残銀催促につき)	年未詳12月18日		横継紙	1通	月番近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎殿・年寄中 残銀を今日中に納めるよう指示	
別2-41-4	覚(人足催促につき)	年未詳5月26日		縦切紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 人足30人の催促	
別2-41-5	[守屋伝次郎宛田島武左衛門・近藤覚左衛門書状]	年未詳7月18日		横継紙	1通	乙島村百姓ののうち伊勢参宮や大峰山まで到着者がいるかについて	(上書)「村庄や守屋伝次郎殿 田島武左衛門・近藤覚左衛門」
別2-41-6	[伝次郎宛田島武左衛門・近藤覚左衛門書状]	年未詳6月7日		横継紙	1通	御用の竹120束・大竹40本を筏で運搬し乙島村葭場に着了、猟船2・3艘にて御陣屋まで運搬すること	(上書)「[]村庄屋伝次郎殿 田島武左衛門・近藤覚左衛門」
別2-41-7	[仙右衛門宛伝次郎書状]	年未詳8月10日		横継紙	1通	人足差出の件について	
別2-41-8	[伝次郎宛近藤覚左衛門・田島武左衛門書状]	年未詳10月19日		横切紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 御免定を見たいので、差し越すべき旨	
別2-41-9	[仙右衛門宛伝左衛門書状]	年未詳7月13日		横切紙	1通	船尾村千手院の旦那が乙島村から船尾村に戻ったか知らせてほしい旨	(上書)「乙島村仙右衛門 大庄屋伝左衛門」
別2-41-10	覚	寛文9年3月10日		縦紙	1通	井出作大夫→乙島庄や佐平次 船頭の名前に相違があった場合は手形を出さないようにする旨	(包紙上書)「玉島湊証抛御書物 寛文九年子ノ御書付」
別2-41-11	[書状類]				1括り(1綴・1纏め・4通)		別2-41-11-1～別2-41-11-6紙綴一括
別2-41-11-1	[書状類]				1綴(2通)		別2-41-11-1-1～別2-41-11-1-2紐綴
別2-41-11-1-1	[平右衛門宛左平次・平三郎書状]	延宝6年5月23日		横折紙	1通	乙島村庄や左平次・柏島村庄や平三郎→玉島御庄や平右衛門 商船の間屋に関する訴訟について	
別2-41-11-1-2	[平三郎・左平次宛平右衛門書状]	延宝6年5月28日		横折紙	1通	玉島庄や平右衛門→柏島御庄や平三郎・乙島御庄や左平次 商船の間屋の訴訟について、赤崎に新町ができて玉島の障りになっているので公儀に訴えた件につき	
別2-41-11-2	[宗兵衛・九郎兵衛・少九郎宛下村平兵衛書状]	年未詳10月晦日		横折紙	1通	下村平兵衛→乙島村庄や宗兵衛・柏崎村庄や九郎兵衛・同少九郎 瀬戸あみかけ場の訴訟について	
別2-41-11-3	[九郎兵衛・加九郎宛下村平兵衛書状]	年未詳11月1日		縦紙	1通	瀬戸あみかけ場所の出入りについて両方申し分のない様に話し合っって網をかけるようにすること	(上書)「九郎兵衛殿 少九郎殿 下平兵衛」
別2-41-11-4	[宗兵衛宛下村平兵衛書状]	年未詳3月21日		縦紙	1通	瀬戸あみかけ場の見分について	(上書)「宗兵衛殿 下村平兵衛」
別2-41-11-5	[惣兵衛宛十右衛門・七兵衛書状]	寛永19年2月20日		縦紙	1通	庄や十右衛門・七兵衛→惣兵衛 網かけ場の訴訟について	

別2-41-11-6	[あみかけ場相論に関する書状]				1纏め(2通)		別2-41-11-6-1～別2-41-6-2巻込一括
別2-41-11-6-1	[左平次宛■■■五郎・新井■■■書状]	年未詳9月15日		横折紙	1通	■■■五郎・新井■■■→乙島村庄屋左平次 あみかけ場相論について	
別2-41-11-6-2	[書付]	寛文12年9月15日		横切紙	1通	あみかけ場相論につき	
別2-41-12	覚	年未詳閏7月11日		横切紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→(乙島村) 御陣屋垣垣竹として竹5束を明朝までに納めるよう指示	
別2-41-13	覚	年未詳12月5日		横継紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 御用銀として18日までに新銀400目を納めるよう指示	
別2-41-14	覚	年未詳閏7月20日		横継紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 赤崎村高瀬通の堤の普請のため、人足・道具・猟船の供出を指示	
別2-41-15	覚	年未詳閏7月19日		横切紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村伝次郎 俵詰縄9束6房を納めるよう指示	
別2-41-16	[書付]	亥年7月16日		横継紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄や伝次郎 明朝、人足15人を御陣屋御用に差し出すこと	
別2-41-17	[伝次郎宛近藤覚左衛門・田島武左衛門書状]	年未詳9月14日		横継紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄や伝次郎 早損田方下見の儀につき、出向くよう指示	(包紙上書)「乙島村庄や伝次郎殿 田島武左衛門・近藤覚左衛門」
別2-41-18	[伝次郎宛近藤覚左衛門・田島武左衛門書状]	年未詳10月10日		横切紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村伝次郎 小舟3艘・かこの差出につき	(包紙上書)「乙島村庄や伝次郎殿 近藤覚左衛門・田島武左衛門」
別2-41-19	覚	年未詳6月7日		横切紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 竹15本を御陣屋御用として差出につき	
別2-41-20	[伝次郎宛田島武左衛門・近藤覚左衛門書状]	年未詳10月1日		横切紙	1通	帳面持参するべきことにつき	(上書)「急御用 伝次郎殿 田島武左衛門・近藤覚左衛門」
別2-41-21	[伝次郎宛近藤覚左衛門・近藤覚左衛門書状]	年未詳閏7月16日		横切紙	1通	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋や伝次郎 漂流人を助けたことにつき、助けた漂流人の領主・名前を銘々書付持参するよう指示	
別2-41-22	[伝次郎宛覚左衛門・武左衛門書状]	年未詳閏7月20日		横継紙	1通	覚左衛門・武左衛門→伝次郎 猟船5艘を阿弥陀山水門扉より四ツ前に廻させるように指示	
別2-41-23	覚	年未詳9月1日		横継紙	1通	田島武左衛門・小島儀右衛門→赤崎村・乙島村庄や中 小麦・大麦を明日納めるよう指示	(包紙上書)「阿カ崎村・乙島村 小島儀右衛門・田島武左衛門」
別2-41-24	指上ケ申手形之事	明暦2年5月		縦紙	1通	庄屋佐平次 外二年寄・五人組・船宿→伊藤三右衛門・野沢内記 博打・遊女の抱置き等の厳禁の遵守を誓う旨	
別2-42	[備中松山藩水谷氏時代法度類一包]				1括り(1括り・16通)		(包紙上書)「寛永年中出羽守様御意之趣宗兵衛佐平治へ内蔵助様方御書付御印形物 玉島湊証拠書物有」、SILティッシュでくるむ
別2-42-1	今度筑前国大島にて捕之南蛮伴天連いるまん同宿白状之覚	未年9月8日		縦継紙	1通		継ぎ目がはがれ、現状は3枚になっている。
別2-42-2	掟	寛永17年6月1日		縦紙	1通	内蔵助→乙島村庄屋惣兵衛 一、郡奉行・代官・山奉行・河よけ奉行・その外にがさつなことや人馬をかりて使うこと等があれば、内蔵助まで申し出ること、など	
別2-42-3	法度	承応3年正月		縦継紙	1通	内蔵助→乙島村左平次 他所よりの鷹師餌指一切入れないこと、鉄砲網等を隠し鳥を捕る者の注進、餌指衆にも雁・鴨・鷺・青鷺・雉子・鶉・雲雀を捕らせないこと、など	

別2-42-4	定	寛永16年10月27日		縦継紙	1通	内蔵助→庄屋惣兵衛 百姓と牛馬を遣わさないこと、百姓前から何も請けないこと、百姓等に依怙最良しないこと、など定の通り書付を村々百姓共に写させるべきこと	
別2-42-5	指上ケ申一札之事(鳥類捕獲禁止につき、雛形)	正徳4年6月3日		縦紙	1通	何村庄や何右衛門・くみかしら何[]→御代官伊藤三右衛門・野沢内記 雁・鴨・鶉を捕るものは注進すること	
別2-42-6	條々(乙島村)	寛永20年2月10日		縦継紙	1通	内蔵助→惣兵衛・百姓中 キリシタンの報告・欠落者及び牢人への宿賃禁止・博奕等の禁止・小百姓が庄屋を軽んずる事の禁止、など	
別2-42-7	覚	卯年8月14日		横切紙	1通	内蔵助→乙島村左平次 在々にて人宿禁止など	
別2-42-8	[法度など一括]				1括り(4通)		別2-42-8-1～別2-42-8-4紙縫一括、SILティッシュでくるむ
別2-42-8-1	定(乙島村)	明暦2年閏4月晦日		縦紙	1通	内蔵助→庄屋左平次 たばこ売買は庄屋が帳を作り、売り手買い手に判をさせ売買すべきこと、他領より買入れたたばこを領内で売する場合も庄屋の帳に売り手買い手に判をさせること、など	
別2-42-8-2	指上ケ申舟切手之事	年月日未詳		縦紙	1通	三艘御上り米積大坂へ参候	
別2-42-8-3	指上ケ申宿切手之事・指上ケ申舟切手之事	年月日未詳		縦紙	1通	雛形	(端裏書)「未ノ十九石三斗九升貳合五勺うんちん」
別2-42-8-4	御法度之條々	寛永20年2月11日		縦紙	1通	田母神十太夫・小島空助→(宛名なし) 諸公事申上は3月6月10月の3ヶ月に極める、など	
別2-42-9	條々	寛永16年7月5日		縦紙	1通	対馬守・壱岐守・伊豆守→(宛名なし)「かれうた船」の着岸停止・不審船を入念に改め長崎に廻送する事、など	
別2-42-10	定	明暦2年閏4月21日		縦紙	1通	内蔵助→庄屋左平次・惣百姓中 村高382石1斗7合、小物成、保頭、組頭	
別2-42-11	被仰出趣申渡覚	寛文元年7月晦日		縦紙	1通	吉利支丹宗門改について	
別2-42-12	覚	正保5年2月18日		縦紙	1通	所々駄賃を定め、駄賃にて通行のこと、兩人判なしには伝馬を出さないこと	
別2-42-13	條々	慶安4年4月15日		縦継紙	1通	内蔵助→乙島左平次・百姓中 吉利支丹や不審な者を見つけたら申し出ること、欠落者及び牢人への宿賃禁止など	継ぎ目がはがれ、現状は4枚になっている。
別2-42-14	書上ケ申一札之事	寛永20年5月19日		縦紙	1通	庄や→伊藤三右衛門・野沢内記 小百姓・家来に漆・桑仕を植え立てるよう申し付けること	
別2-42-15	覚	承応3年3月11日		縦紙	1通	内蔵助→乙島村左平次 庄屋松山に出向につき注意箇条	
別2-42-16	御法度条々(浅口郡乙島村)	寛永17年2月11日		縦継紙	1通	田母神十太夫・小島空助→庄屋宗大夫・百姓中 公事納め方、欠落人をかかえないこと、いたづら者を郷中へ立ち入らせないことなど	
別2-42-17	掟	寛永17年11月27日		縦紙	1通	伊藤三右衛門→乙島村庄屋惣兵衛 吉利支丹禁止、牢人への宿賃禁止	
別2-43	[勘定目録類]				1括り(3通)		別2-43-1～別2-43-3紙縫一括
別2-43-1	卯ノ御物成勘定目録口(覚カ)	卯年11月29日		縦紙	1通	(差出人不明)→土屋万作・猪川武右衛門 御定米・口米・御種米など合わせて146石2斗5升6合とその内訳を示す	裏書あり

別2-43-2	忒間二三間半ノ御蔵繕材木之〔 〕	貞享5年4月3日		豎紙	1通	乙島村〔 〕→(宛名なし) 蔵破損につき遣わすべき材木の目録	
別2-43-3	辰ノ春勘定目録覚	年月日未詳		横折紙	1通		
別2-44	〔慶安年間小物成手形〕				1括り(13通)		別2-44-1～別2-44-13紙縫一括。(付札書)「慶安元子年 五辰年迄御小物成御手形 左平次」
別2-44-1	請取真綿之事	慶安2年7月25日		豎切紙	1通	弥右衛門・甚右衛門→乙島村庄や左平次 150目皆済	
別2-44-2	請取小物成銀之事	慶安3年閏10月23日		豎切紙	1通	稲川伝吉・尾見長次郎→乙島村庄や左平次 銀6匁1分8厘	
別2-44-3	請取真綿之事	慶安元年7月11日		豎切紙	1通	弥右衛門・甚右衛門→乙島村左平次 125匁皆済	
別2-44-4	請取小物成銀之事	慶安元年12月4日		豎切紙	1通	弥右衛門・甚右衛門→乙島村庄や左平次 銀6匁1分8厘	
別2-44-5	請取申小物成之事	慶安元年12月4日		横切紙	1通	小島総右衛門・鶴見権助→乙島村左平次 ぬか8石・わら62束・なわ62束の請取	
別2-44-6	小物成銀請取候事	慶安2年11月8日		横切紙	1通	稲川伝吉・尾見長次郎→庄や左平次 6匁1分8厘皆済	
別2-44-7	小物成請取申事	慶安2年12月20日		横切紙	1通	鶴見権助・小島総右衛門→乙島村庄や左平次 ぬか8石・わら62束・縄62束の請取	
別2-44-8	請取まわた事	慶安3年7月11日		横切紙	1通	稲川伝吉・尾見長次郎→庄や左平次 150目皆済	
別2-44-9	小物成請取申事	慶安3年12月10日		横切紙	1通	鶴見権助・小島総右衛門→乙島村庄や左平次 ぬか8石・わら62束・縄62束の請取	
別2-44-10	小物成請取申事	慶安4年11月28日		横切紙	1通	鶴見権助・小島総右衛門→乙島村庄や左平次 わら58束・なわ61束・ぬか8石の請取	
別2-44-11	請取真綿之事	慶安4年9月22日		横継紙	1通	稲川伝吉・尾見長次郎→乙島村庄や左平次 上綿150目(代銀13匁5分)	
別2-44-12	請取小物成銀事	慶安4年11月28日		横継紙	1通	稲川伝吉・尾見長次郎→庄や左平次 6匁1分8厘	
別2-44-13	請取真綿事	慶安5年8月19日		横切紙	1通	稲川伝吉・尾見長次郎→庄や左平次 150目	
別2-45	〔宮田又兵衛・■角右衛門書状〕	卯年8月16日		横折紙	1通	御番衆宮田又兵衛・■角右衛門 乙島御普請場の出先に家を作り、御切米衆2人を鳥番として派遣したことを伝える	
別2-46	〔物成目録・書状類〕				1括り(1纏め・5通)		別2-46-1～別2-46-6紙縫一括
別2-46-1	預り申御材木之覚	慶安元年10月26日		豎切紙	1通	乙島庄や左平次→永島左次右衛門 238本	
別2-46-2	請取申御材木之事	慶安元年10月15日		豎切紙	1通	田村義兵衛→乙島村庄や佐平次 〆170本請取	
別2-46-3	〔四郎右衛門宛藤井高吉書状〕	年未詳2月吉日		豎紙	1通	藤井高吉→四郎右衛門 年賀の挨拶	

別2-46-4	寛文十一年亥ノ御物成算用目録(乙島村)	寛文11年カ12月10日		縦紙	1通	御定米・御口米・御種米元利など175石1斗7升6合とその内訳を示す。	
別2-46-5	[物成関係書類]				1纏め(2通)		別2-46-5-1～別2-46-5-2巻込一括
別2-46-5-1	酉ノ御物成算用目録(乙島村)	寛文9年11月27日		縦紙	1通	庄や左平次→石■金五・新井左伝次 御定米・御口米・御種米元利の都合163石2斗5合とその内訳を示す	
別2-46-5-2	[算用書立]	年月日未詳		横切紙	1通	159石2斗2升9合8勺払ほか	
別2-46-6	[惣七書状]	年未詳11月17日		縦紙	1通	銀子2匁5分を喜三郎へ渡してほしい旨	
別2-47	[短冊]	年月日未詳	35.0×6.3cm		1枚	笠・籠・鎌の挿絵	
別2-48	[寛永二年乙島村年貢米・かこ関係書類]				1括り(2通)		別2-48-1～別2-48-2紙縫一括
別2-48-1	寛永貳年乙島村かこ書かた	年月日未詳		横継紙	1通	平兵衛→又三郎	
別2-48-2	納乙島村御年貢米事 寛永貳年分	寛永2年以降		横折紙	1通	年貢米書立	
別2-49	[延宝年間小物成請取]				1括り(15通)		別2-49-1～別2-49-15紙縫一括、(付札書)「延宝年中御小物成御請取、昌勝改 其外御役人中御判付書物」
別2-49-1	請取申麦代銀事	延宝5年7月11日		縦切紙	1通	野中甚吉→乙島村佐平次 51匁8分1厘(麦1石5斗7升、1石につき33匁)の請取	
別2-49-2	借用申銀子之事	酉年11月22日		縦切紙	1通	佐治三右衛門→乙島村庄や十左衛門 50目の借用	
別2-49-3	請取申麦代銀事	延宝4年7月8日		縦切紙	1通	北藤与左衛門・土屋万作→乙島村左平次 42匁1分2厘(麦1石2斗7升6合2勺、1石につき33匁)の請取	
別2-49-4	請取申御小物成銀之事	延宝6年12月18日		縦切紙	1通	石川助兵衛・磯小三郎・田口三之助→乙島村御庄屋左平次 4匁3分7厘の請取	
別2-49-5	請取申御小物成銀之事	延宝3年12月13日		縦切紙	1通	磯小三郎・石川助兵衛→乙島村与右衛門 3匁2分1厘の請取	
別2-49-6	請取申御小物成銀之事	延宝7年12月23日		縦切紙	1通	磯小三郎・田口三之助・稲葉藤右衛門→乙島村庄や左平次 4匁3分7厘の請取	
別2-49-7	可被相渡松竹之事	延宝3年12月20日		縦切紙	1通	佐治三右衛門→乙島庄や佐平次 松10本・竹10本	
別2-49-8	請取申御小物成之事	延宝元年12月26日		横折紙	1通	大井左右衛門・長岡百助→乙島村庄や左平次 なわ・わら・ぬか	
別2-49-9	相渡申松葉之事	延宝2年2月26日		横折紙	1通	堀十右衛門→乙島村庄や左平次 1230束おろし枝、代銀159匁9分	
別2-49-10	請取申御小物成通事	延宝2年7月4日		横折紙	1通	中山三之助・太■右衛門→乙島村御庄屋や左平次 なわ・ぬか・わら	
別2-49-11	御小物成請取通	延宝7年11月17日		横折紙	1通	大原次左衛門・中山三之助→乙島村庄屋左平次 なわ・ぬか・わら	
別2-49-12	[左平次宛井出新八書状]	酉年11月29日		横切紙	1通	井出新八→乙島御庄や左平次 水夫1人の催促	

別2-49-13	請取覚	未年12月24日		横切紙	1通	清水五右衛門→乙島組頭太右衛門	
別2-49-14	御小物成御納所通	延宝6年12月18日		横折紙	1通	大原次左衛門・中山三之助→乙島村庄や左平次 なわ・ぬか・わら	
別2-49-15	請取上ヶ申松枝代之事	年未詳12月22日		竖切紙	1通	桂山甚■→乙島村庄や左平次 159匁9分の請取	
別2-50	[左平次宛野村平蔵・根村惣左衛門書状]	年未詳10月18日		横折紙	1通	野村平蔵・根村惣左衛門→乙島庄や左平次 船を来春造作する予定	
別2-51	御物成生高卯ノとし方覚	年月日未詳		竖継紙	1通		
別2-52	[浅口郡乙島村口上]				1包(6通)		別2-52-1～別2-52-6包紙一括、(包紙上書)「御上使御通り之時差上候ひかへ」
別2-52-1	口上(備中国浅口郡)	延宝9年9月4日		竖継紙	1通	庄屋重左衛門 乙島村子細書上	(包紙上書)「上 乙島村」
別2-52-2	口上(備中国浅口郡)	延宝9年9月4日		竖継紙	1通	庄屋重左衛門 乙島村子細書上	(包紙上書)「上 乙島村」
別2-52-3	口上(備中国浅口郡)	延宝9年9月3日		竖継紙	1通	庄屋重左衛門 乙島村子細書上	(包紙上書)「上 乙島村」
別2-52-4	口上(備中国浅口郡)	延宝9年9月3日		竖継紙	1通	庄屋重左衛門 乙島村子細書上	(包紙上書)「上 乙島村」
別2-52-5	口上(備中国浅口郡)	延宝9年9月3日		竖継紙	1通	庄屋重左衛門 乙島村子細書上	(包紙上書)「上 乙島村」
別2-52-6	口上(備中国浅口郡)	延宝9年9月3日		竖継紙	1通	庄屋重左衛門 乙島村子細書上	(包紙上書)「上 乙島村」
別2-53	[加子関係書類・書状類]				1括り(1纏め・8通)		別2-53-1～別2-53-9紙綴一括
別2-53-1	[書状]	年未詳10月28日		横折紙	1通		
別2-53-2	唐津へ参候御浦加子覚	子年閏正月13日		横切紙	1通	大橋六右衛門→左平次外5名	
別2-53-3	[幸之介宛左平次書状]	卯年閏11月10日		竖紙	1通	成羽へ参ることにに関して満足のこと	(端裏書)「守左平次様 安十右衛門」
別2-53-4	[左平次宛十右衛門書状]	年未詳2月27日		竖紙	1通	西尾新蔵さまがさい胡麻を所望しているとの伺い	
別2-53-5	乙島分水夫はん米之おほへ	年月日未詳		竖紙	1通		
別2-53-6	[加子関係書類]				1纏め(2通)		別2-53-6-1～別2-53-6-2巻込一括
別2-53-6-1	唐津へ参候浦加子覚	正保5年閏正月13日		横切紙	1通	乙島村[]→大[]	
別2-53-6-2	唐津下り水[]	年月日未詳		横切紙	1通	口(六カ)[]→おと島左平次	
別2-53-7	[左平次宛六郎右衛門書状]	年月日未詳		竖切紙	1通	六郎右衛門→左平次	
別2-53-8	[某書状]	年月日未詳		竖切紙	1通	依頼されたたみについて断りの旨	

別2-53-9	卯ノとし乙島村御定米之覚	年月日未詳		縦切紙	1通		
別2-54	[送り手形・物成勘定目録・神社関係など]				1括り(1括り・5通)		別2-54-1～別2-54-6紙綴一括、SILティッシュでくるむ
別2-54-1	[送り手形・物成勘定目録など]				1括り(1括り・6通)		別2-54-1-1～別2-54-1-7紙綴一括、SILティッシュでくるむ
別2-54-1-1	送り手形之事(黒崎村伝吉引越につき)	享保9年3月		縦切紙	1通	黒崎村庄屋八左衛門→乙島村庄屋伝次郎 黒崎村久右衛門悴伝吉が乙島村へ引越	(端裏書)「黒崎村庄屋八左衛門印付」
別2-54-1-2	[送り手形・物成勘定目録など]				1括り(3通)		別2-54-2-1～別2-54-2-3紙綴一括、SILティッシュでくるむ
別2-54-1-2-1	一札	寅年12月25日		横切紙	1通	吉浦武右衛門・証人玉島村多兵衛→乙島村庄や伝次郎 この度畑貰取につき、高落世落があれば当年中に世高極め指引なさるべきこと	(端裏書)「吉浦武右衛門印付」
別2-54-1-2-2	送り手形覚	戌年3月19日		縦切紙	1通	黒崎村庄や八左衛門→乙島村庄屋伝次郎 黒崎村南浦佐平次の村送りにつき	(端裏書)「黒崎村庄屋八左衛門」
別2-54-1-2-3	卯ノ御物成勘定目録(黒崎村)	寛文4年4月25日		縦継紙	1通	庄や善左衛門→田口四郎兵衛・稲川市作 御定米・御口米・御種子米など都合151石3斗3升2合とその内訳を示す	継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている。
別2-54-1-3	覚	元禄8年以降		縦継紙	1通	村の田畑の種類と分米の書立	
別2-54-1-4	卯ノ御物成御銀方勘定覚(乙島村)	元禄15年以降		縦継紙	1通		
別2-54-1-5	井野浦惣高之覚	年月日未詳		縦切紙	1通		
別2-54-1-6	午年可納御年貢割付之事	元禄15年10月27日		縦切紙	1通	大草太郎左衛門→乙島村庄屋惣兵衛	(端裏書)「元禄十五年御割付写シ」
別2-54-1-7	万治貳年亥ノ歳方申ノ歳迄拾年御免状写	年月日未詳		縦継紙	1通		
別2-54-2	覚	宝永4年4月16日		縦継紙	1通	守屋仙右衛門吉方→龍太夫 出銀書立	(端裏書)「伊勢龍太夫請取」
別2-54-3	乙島村差出シ覚	天和元年8月吉日		縦継紙	1通	(差出人名なし)→御奉行 乙島村子細	(端裏書)「天和元酉年扣」
別2-54-4	記	戌年10月		縦紙	1通	大社神官長谷川但見→御庄屋衆中・御旦那衆中 寄附について	
別2-54-5	覚	子年11月22日		横継紙	1通	水口村清左衛門→乙島村仙右衛門 銀を伊勢白髪清兵衛へ渡したことを伝える	
別2-54-6	[森谷左平次宛藤井忠兵衛外七名書状]	年未詳8月19日		横折紙	1通	当社御奉加銀寄進の帳面を当秋中に取り立てるよう依頼	
別2-55	[元禄年間小物成関係書付類]				1括り(6括り)		別2-55-1～別2-55-6紙綴一括
別2-55-1	[元禄五年小物成関係書付類]				1括り(3通)	別2-55-1-1～別2-55-1-3紙綴一括、(付札書)「元禄四未とし御小物成御手形通共、平左衛門代」	
別2-55-1-1	請取申銀子之事	未年12月21日		縦切紙	1通	坂本宮三郎→乙島村十左衛門 竹木代33匁5分の請取	
別2-55-1-2	元禄四年未之暮御小物成	(元禄5年カ)3月吉日		横折紙	1通	岡田平十郎・厚木文四郎→乙島村重左衛門 12匁3分5厘皆済	

別2-55-1-3	請取申御小物成銀之事	元禄4年12月22日		堅切紙	1通	石川助兵衛・磯小三郎・稲葉藤右衛門→乙島村庄や重左衛門 3匁8分	
別2-55-2	[元禄五年小物成関係書付類]				1括り(6通)		別2-55-2-1～別2-55-2-6紙縫一括、(付札書)「元禄五申とし御小物成御手形并通、十左衛門代」
別2-55-2-1	村方小吏覚	申年12月28日		横折紙	1通	組頭与左衛門・同権兵衛・助吉→御庄や十左衛門 30目5厘の請取	
別2-55-2-2	申ノ暮御小物成払覚	元禄5年12月29日		横折紙	1通	組頭与左衛門・同権兵衛→御庄や十左衛門 276匁4分5厘の請取	
別2-55-2-3	元禄五年申之御御(ママ)小物成通	(元禄6年カ)3月吉日		横折紙	1通	厚木文四郎・岡田平十郎→乙島村十左衛門 82匁9分皆済	
別2-55-2-4	請取申御小物成銀之事	元禄5年12月22日		堅切紙	1通	磯小三郎・稲葉藤右衛門→乙島村十左衛門 3匁8分	
別2-55-2-5	請取申銀子之事	申年12月21日		堅切紙	1通	坂本宮三郎→乙島村庄や十左衛門 竹木代14匁3分の請取	
別2-55-2-6	[代銀請取書付]	申年12月26日		堅切紙	1通	八兵衛→乙しま十左衛門 〆91匁の請取	
別2-55-3	[元禄六年小物成関係書付類]				1括り(2通)		別2-55-3-1～別2-55-3-2紙縫一括、(付札書)「元禄六酉とし御小物成御手形并通、十左衛門代」
別2-55-3-1	請取申御小物成之通	元禄6年12月23日		横折紙	1通	小倉加之助・岡田平十郎→乙島村庄や重左衛門 89匁4分8厘皆済	
別2-55-3-2	請取申御小物成銀之事	元禄6年12月		堅切紙	1通	磯小三郎・稲葉藤右衛門→乙島村十左衛門 3匁8分	
別2-55-4	[元禄二年小物成関係書付類]				1括り(7通)		別2-55-4-1～別2-55-4-7紙縫一括、(付札書)「元禄三年巳年御小物成御手形通、十左衛門代」
別2-55-4-1	覚	年月日未詳		横折紙	1通		
別2-55-4-2	巳ノ暮御小物成払覚	巳年12月28日		横折紙	1通	組頭与左衛門・同権兵衛→(宛名なし) 254匁8厘	
別2-55-4-3	覚	年月日未詳		横折紙	1通		(端裏書)「巳ノ暮小物成払 添書有」
別2-55-4-4	巳ノ暮御小物成通	元禄2年11月吉日		横折紙	1通	厚木文四郎・岡田平十郎→乙島村庄や十左衛門 75匁1分5厘皆済	
別2-55-4-5	覚	巳年12月26日		横継紙	1通	成羽や八兵衛→乙しま十左衛門 なわ100束(代100目)・ぬか20俵(代20匁)、〆120目の請取	
別2-55-4-6	請取申銀子事	元禄2年12月19日		堅切紙	1通	神原長十郎→乙島村組頭与右衛門 竹木代2匁9分2厘の請取	
別2-55-4-7	請取申御小物成銀之事	元禄2年12月19日		堅切紙	1通	磯小三郎・稲葉藤右衛門・石川助兵衛→乙島村十左衛門 3匁8分の請取	
別2-55-5	[元禄元年小物成関係書付類]				1括り(4通)		別2-55-5-1～別2-55-5-4紙縫一括、(付札書)「元禄元年御小物成御手形通共、十左衛門代」
別2-55-5-1	辰之暮御小物成請取申通	貞享5年9月吉日		横折紙	1通	厚木文四郎・岡田平十郎→乙島村庄や重左衛門 〆63匁8分5厘皆済	
別2-55-5-2	請取申御小物成銀之事	元禄元年12月21日		堅切紙	1通	石川助兵衛・磯小三郎・稲葉藤右衛門→乙島村重左衛門 3匁8分	

別2-55-5-3	[代銀請取書付類]	辰年12月21日		横切紙	1通	大与右衛門→乙島村庄や十左衛門 竹木代銀26匁6分5厘の請取	
別2-55-5-4	辰ノ暮御小物成払覚	辰年12月23日		横折紙	1通	与右衛門・権兵衛→十左衛門	
別2-55-6	[元禄3年小物成関係書付類]				1括り(6通)		別2-55-6-1～別2-55-6-6紙縫一括、(付札書)「元禄三年御小物成御手形通共、十左衛門代」
別2-55-6-1	午ノ暮御小物成之通	元禄3年12月吉日		横折紙	1通	岡田平十郎・厚木文四郎→乙島村庄や重左衛門 82匁8分2厘皆済	
別2-55-6-2	請取払申御小物成銀子事	午年12月23日		横折紙	1通	組頭与右衛門→庄や十左衛門 ㄨ224匁4分5厘の請取	
別2-55-6-3	覚	年月日未詳		横切紙	1通	縄わら代・ろううるし代など算用	
別2-55-6-4	請取申胡麻代銀事	午年12月25日		横切紙	1通	根村勘兵衛内喜兵衛→乙島村庄や十左衛門 17匁(胡麻1斗7升代)の請取	
別2-55-6-5	請取申銀子之事	午年12月25日		横切紙	1通	成羽や八兵衛→乙しま十左衛門 112匁(なわぬか代)の請取	
別2-55-6-6	請取申御小物成銀之事	元禄3年12月21日		縦切紙	1通	石川助兵衛・磯小三郎・稲葉藤右衛門→乙島村十左衛門 3匁8分	
別2-56	[水谷御代御触書]				1括り(1冊・17通)		別2-56-1～別2-56-18紙縫一括。(付札書)「水谷御代御触書 昌勝改」。SILティッシュで包む
別2-56-1	[柏島村・乙島村庄屋宛伊藤三右衛門書状]	年末詳5月11日		横折紙	1通	伊藤三右衛門・内記→柏島村・乙島村庄屋中 種油の納入の件など	
別2-56-2	廻状移し	年末詳8月1日		横折紙	1通	伊藤三右衛門・野沢内記→庄や衆中 銀子返済の延引はあるまじきこと	
別2-56-3	[左平次宛西島二郎左衛門書状]	年末詳7月7日		横折紙	1通	西島二郎左衛門→乙島左平次 笠岡へ遣わず加子については五人扶持は禁止	
別2-56-4	[左平次宛西島二郎左衛門書状]	年末詳7月17日		横折紙	1通	西島二郎左衛門→乙島左平次 造船の世話願ひ	(上書)「乙島ノ左平次殿 まいる」
別2-56-5	[乙島左平次宛佐治勘兵衛書状]	年末詳11月晦日		横切紙	1通	佐治勘兵衛→乙島佐平次 かき・蛤の注文	
別2-56-6	[申し触れ写]	年月日未詳		美・横長	1冊	年貢の上納についての触と下札の写など	
別2-56-7	[和歌書上]	年月日未詳		縦切紙	1通	「松風乃…」	
別2-56-8	[宗兵衛宛西島二郎左書状]	年末詳7月17日		横折紙	1通	西島二郎左→乙島村庄屋宗兵衛、三十石舟と加子4人の差出指示	
別2-56-9	[柳井原村外六村庄屋宛伊藤三右衛門・野沢内記書状]	年末詳11月20日		横折紙	1通	伊藤三右衛門・野沢内記→柳井原村・水江村・舟尾森・長尾村・乙島村・柏島村・黒崎村右之庄屋中 浦米の値段を1石30目に定め、百姓たちに算用し取り立てること。酒屋衆への米の貸付のこと。	
別2-56-10	[野沢内記書状]	年末詳正月7日		縦切紙	1通	御種米銀子の請取、銀の良し悪しについて	
別2-56-11	[宗兵衛宛永島左次右衛門書状]	年末詳6月15日		縦紙	1通	石場日用衆への納入品についての指示	(上書)「乙島庄や宗兵衛殿 永島左次右衛門」
別2-56-12	[惣兵衛外二名宛伊藤三右衛門書状]	年末詳7月12日		横折紙	1通	伊藤三右衛門→乙島村惣兵衛・柏島庄九郎・長右衛門 こむぎ・わらを連島へ送るよう指示	

別2-56-13	[宗兵衛宛西島二郎左衛門書状]	年未詳6月3日		横折紙	1通	西島二郎左衛門→おと島庄や宗兵衛 石場での採石についての指示と依頼	
別2-56-14	[乙島村外十ヶ村庄屋中宛伊藤三右衛門・野沢内記書状]	年未詳4月15日		横折紙	1通	伊藤三右衛門・野沢内記→中尾村・新村・下倉村・京田村・山田村・久代村・片島村・西阿知村・連島村・乙島村・柏島村右之庄屋中 小物成の茶と紙を急ぎ納めること	
別2-56-15	西二郎左様触状覚	午年閏9月28日		横折紙	1通	ぬか・なわ・わらの割付の指示	
別2-56-16	[惣兵衛宛伊藤三右衛門・野沢内記書状]	年未詳4月5日		横折紙	1通	5ヶ村のぬか・わら・なわの上納について	
別2-56-17	[左平次宛伊三右衛門書状]	年未詳3月11日		横折紙	1通	伊三右衛門→乙島左平次 払切手・目録の請取と払い方の指示	
別2-56-18	[伊藤三右衛門書状写]	亥年6月3日		横折紙	1通	雁鴨鶉の法度について、村中の人々をよびよせ申し付けるべきこと。	
別2-57	[享保年間年貢米銀皆済手形一括]				1括り(13冊)		別2-57-1～別2-57-13紙縫一括。(包紙上書)「享保元申年方同十三申年迄十三ヶ年分 御年貢米銀皆済御手形十三冊」、(包紙裏書)「昌勝改出置」
別2-57-1	申御物成米銀納請取通	享保13年9月		美・横長	1冊	近藤覚左衛門・田島武左衛門→浅口郡乙島村庄屋佐次郎 米合203石7斗6升3合9勺、銀65匁3分1厘	(袋上書)「享保十三申九月、田島武左衛門・近藤覚左衛門、申年御物成米銀納請取通、浅口郡乙島村庄屋伝次郎殿」
別2-57-2	未御物成米銀納請取通	享保12年9月		美・横長	1冊	田島武左衛門・近藤覚左衛門→乙島村庄屋伝次郎 米合100石4斗1升9合9勺、銀65匁3分1厘	(袋上書)「享保十二丁未年九月、近藤覚左衛門・田島武左衛門、未歳御物成米銀納請取通、乙島村庄屋伝次郎殿」
別2-57-3	巳歳御物成米銀納請取通	享保10年9月		美・横長	1冊	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 米合123石5斗3升9勺、銀65匁3分1厘	(袋上書)「享保十年巳九月、田島武左衛門・近藤覚左衛門、巳歳御物成米銀納請取通、乙島村庄屋伝次郎殿」
別2-57-4	午歳御物成米銀納請取通	享保11年9月		美・横長	1冊	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 米合127石6斗6升9合9勺、銀65匁3分1厘	(袋上書)「享保十一年九月、田島武左衛門・近藤覚左衛門、午歳御物成米銀納通、浅口郡乙島村庄屋伝次郎殿」
別2-57-5	辰歳御物成米銀納請取通	享保9年9月		美・横長	1冊	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 米合187石9合9勺、銀65匁31厘	(袋上書)「享保九年九月、田島武左衛門・近藤覚左衛門、辰歳御物成米銀納通、乙島村庄屋伝次郎」
別2-57-6	享保八卯歳御物成米銀納通	享保8年9月		美・横長	1冊	近藤覚左衛門・田島武左衛門→浅口郡乙島村庄屋伝次郎 米合187石9斗5升2合9勺、銀65匁3分1厘	(袋上書)「享保八年九月、田島武左衛門・近藤覚左衛門、卯歳御物成米銀納通、浅口郡乙島村庄屋伝次郎殿」
別2-57-7	寅御物成米銀納請取通	享保7年9月		美・横長	1冊	近藤覚左衛門・田島武左衛門→浅口郡乙島村庄屋伝次郎 米合184石9斗3合9勺、銀65匁3分1厘	(袋上書)「享保七年寅九月、田島武左衛門・近藤覚左衛門、寅歳御物成米銀納請取通、浅口郡乙島村庄屋伝次郎殿」
別2-57-8	丑御物成米銀納通	享保6年8月		美・横長	1冊	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 米合176石1升8合9勺、銀65匁3分1厘	(袋上書)「享保六年丑八月、田島武左衛門・近藤覚左衛門、丑歳御物成米銀納請取通、乙島村庄屋伝次郎殿」
別2-57-9	子歳御物成米銀納通	享保5年9月		美・横長	1冊	近藤覚左衛門・田島武左衛門→浅口郡乙島村庄屋伝次郎 納米合185石8斗3升1合9勺、銀261匁2分4厘	(袋上書)「享保五年子九月、田島武左衛門・近藤覚左衛門、子歳御物成米銀納通、浅口郡乙島村庄屋伝次郎」
別2-57-10	亥歳御物成米銀納通	享保4年9月		美・横長	1冊	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村庄屋伝次郎 米合185石8斗3升1合9勺、銀261匁2分4厘	(袋上書)「享保四年、近藤覚左衛門・田島武左衛門、亥歳御物成米銀納通、浅口郡乙島村庄屋伝次郎殿」
別2-57-11	戌歳御物成米銀納通	享保3年9月		美・横長	1冊	近藤覚左衛門・田島武左衛門→浅口郡乙島村庄屋伝次郎 米合113石7斗7升1合9勺、銀65匁3分1厘	(袋上書)「享保三年、近藤覚左衛門・田島武左衛門、戌歳御物成米銀納通、浅口郡乙島村庄屋伝次郎殿」
別2-57-12	酉年御物成米銀納通帳	享保2年9月		美・横長	1冊	近藤覚左衛門・田島武左衛門→乙島村伝次郎 米合130石1斗3升4合、銀65匁3分1厘	(袋上書)「享保二年、酉歳御物成米銀納通、近藤覚左衛門・田島武左衛門、乙島村庄屋伝次郎殿」
別2-57-13	享保元申年御物成米銀納請取通帳	享保元年9月		美・横長	1冊	近藤甚五郎・田島武左衛門→浅口郡乙島村庄屋伝次郎 米合185石1斗3升8合9勺、銀65匁3分1厘	(袋上書)「享保元年、田島武左衛門・近藤甚五郎、申年御物成米銀通、乙島村」

別2-58	〔洪水関係書類〕				1括り(2冊・2括り・14通)		別2-58-1～別2-58-18紙縫一括。SILティッシュで包む。(付札)「前々々洪水一件書類、昌勝改集ル」
別2-58-1	承応三年午ノ七月廿四日 乙島村 諸道具ひろい物覚	承応3年7月25日		美・横長	1冊		
別2-58-2	享保六丑ノ閏七月二十五日ノ水流人助人人数覚	享保6年閏7月15日		美・横長	1冊		
別2-58-3	〔洪水関係書類〕				1括り(1括り・1包・1冊)		別2-58-3-1～別2-58-3-3紙縫一括
別2-58-3-1	〔流物関係覚書等〕				1括り(5通)		別2-58-3-1-1～別2-58-3-1-5紙縫一括。紙縫はSILティッシュで包む。
別2-58-3-1-1	〔覚書〕	年月日未詳		横継紙	1通	宿致候覚、助舟之舟頭覚、銘々助候覚、礼金割符覚、など	継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている。
別2-58-3-1-2	〔八右衛門・太郎右衛門宛伝次郎書状〕	年未詳10月		横切紙	1通	浜松領乙島村庄や伝次郎→新見御領分西阿知村御庄や八右衛門・太郎右衛門 洪水の際、西阿知村の百姓衆が乙島村沖へ流されてきたので乙島村が救出したこと、その礼として御着代を目録の通り受け取ったこと。	
別2-58-3-1-3	〔覚書〕	年月日未詳		横切紙	1通	割符覚、請取申手形之事、など	
別2-58-3-1-4	割符覚	年月日未詳		横継紙	1通	割新銀41匁2分4厘9毛	
別2-58-3-1-5	宿致候覚	年月日未詳		横継紙	1通		
別2-58-3-2	〔流物関係書付〕				1包(1纏め・6通)		別2-58-3-2-1～別2-58-3-2-7包紙一括
別2-58-3-2-1	請取申着物之事	享保6年9月26日		縦切紙	1通	西原村宝珠院→乙島村惣兵衛	
別2-58-3-2-2	着類請取覚	年未詳9月4日		横切紙	1通	西原村半左衛門→乙島村惣兵衛 利兵衛分7つ、仁大夫分7つ請取	
別2-58-3-2-3	〔流物関係書付〕				1纏め(2通)		別2-58-3-2-3-1～別2-58-3-2-3-2巻込一括
別2-58-3-2-3-1	請取申流物之事	享保6年		横切紙	1通	伝次郎→惣兵衛 洪水により流れた物を受け取ったことを記す文書の雛形	
別2-58-3-2-3-2	〔加兵衛宛八右衛門・太郎右衛門書状〕	年未詳閏7月29日		横切紙	1通	西阿知村庄や八右衛門・同太郎右衛門→御名字不存乙島村加兵衛 洪水の際流された西阿知村清九郎の諸道具について、引き渡しの願	
別2-58-3-2-4	〔請取証文〕	年未詳8月1日		横切紙	1通	にし原村八三郎→乙島村ノ惣兵衛 ふとん・ひろ袖ぬのこなど五色請取	
別2-58-3-2-5	水流物請取証文	丑年閏7月26日		横切紙	1通	玉島村長十郎・証人乙島弥兵衛→同(乙島)村年寄与三左衛門・同惣兵衛 ふとん・ぬのこなど請取	
別2-58-3-2-6	請取申流物之事	享保6年閏7月29日		横継紙	1通	請取主清九郎→乙島村清次郎・同村九兵衛 〆式拾色請取	(奥書)西阿知村庄屋八右衛門・同村庄屋太郎右衛門→乙島村庄や伝次郎
別2-58-3-2-7	覚(着物請取につき)	丑年8月1日		横継紙	1通	西原村八三郎→乙島村惣兵衛 ふとん・ぬのこなど〆八色請取	(奥書)西原名主半左衛門

別2-58-3-3	[物品書上帳]	年月日未詳		半・横長	1冊		
別2-58-4	[仙右衛門宛曾右衛門・次兵衛書状]	年末詳6月23日		横折紙	1通	下式万村庄や曾右衛門・有井村庄や次兵衛→乙島村御庄や仙右衛門 洪水で水樋が流され乙島村の北で百姓衆に取り留められたことについて	(包紙上書)「有井村庄や石川次兵衛・下式万村庄や鳥羽曾右衛門状入 右ハ下式万村水樋流当村■■左衛門伊六角へ取揚■参候状也」
別2-58-5	[伝次郎宛八右衛門・太郎右衛門]	年末詳10月3日		横折紙	1通	西阿知村庄屋八右衛門・同太郎右衛門→乙島村御庄屋伝次郎 洪水で西阿知村の百姓が流難の際、乙島浦において助けられたことへの礼	(包紙上書)「乙島村御庄屋伝次郎様 西阿知村庄屋八右衛門・同太郎右衛門」
別2-58-6	[伝次郎宛半左衛門書状]	年末詳閏7月29日		横切紙	1通	洪水で西原村の者が流された際、乙島村で助けられたことへのお礼	(上書)「乙島村御庄や伝次郎様 西原村名主半左衛門」
別2-58-7	[伝次郎宛孫市郎・清左衛門書状]	年末詳3月25日		横折紙	1通	中島村庄屋孫市郎・同清右衛門→乙島村御庄屋伝次郎 洪水の際中島村の者が助けられたことに対する礼を行くべきところ、取り込みのため行けないことを断る	
別2-58-8	[伝次郎宛八右衛門書状]	年末詳閏7月21日		横折紙	1通	西阿知村庄屋八右衛門→乙島村御庄や伝次郎 洪水の際流されたものを助けられた事に対する礼と漂流物の返還依頼	
別2-58-9	[羽右衛門宛伝次郎書状]	年末詳9月		横折紙	1通	浜松領内乙島村庄屋伝次郎→備前御領西原村大庄屋羽右衛門 洪水の際、西阿知村・西原村の百姓衆が乙島村沖へ流れてきたので乙島村・黒崎村が助舟を出し助けたことについて	
別2-58-10	[左平次・六郎右衛門宛伝左衛門書状]	年末詳8月23日		横折紙	1通	庄や伝左衛門→乙島庄や左平次・柏島庄や六郎右衛門 大水で流された材木について	
別2-58-11	[森谷左平次宛清瀧寺書状]	年末詳6月6日		縦切紙	1通	水流奉行・普請奉行が来ないことについて	(上書)「森谷左平次様御報 清瀧寺」
別2-58-12	[羽右衛門宛伝次郎春吉書状]	年末詳9月22日		横折紙	1通	浜松御領内乙島村庄屋伝次郎春吉→備前御領西原村大庄屋羽右衛門 洪水の際、西阿知村・西原村の百姓衆が乙島村沖へ流されてきたので乙島村・黒崎村で救出したこと、その礼として御着代を目録の通り受け取ったこと。	
別2-58-13	[守屋伝次郎宛妙任寺書状]	年末詳7月19日		横切紙	1通	大洪水により何事も難儀のこと	
別2-58-14	[洪水関係書類]				1括り(7通)		別2-58-14-1～別2-58-14-7紙綴一括
別2-58-14-1	覚	年末詳9月20日		縦紙	1通	乙島村・勇崎村庄屋・年寄衆へ(新金200疋)、同所宿々へ(同1000疋)渡すべき新金の目録	(包紙上書)「乙島村御庄屋伝次郎様・勇崎村御庄屋又三郎様 大庄屋西原村羽右衛門」
別2-58-14-2	[伝次郎・又三郎宛羽右衛門書状]	年末詳9月20日		横折紙	1通	岡山領備中ノ大庄屋西原村羽右衛門→浜松御領乙島村御庄屋伝次郎・御同領勇崎村御庄屋又三郎 洪水の際、西阿知村・西原村から流れた者を乙島村・黒崎村が保護したことに対するお礼について	(包紙上書)「乙島村御庄屋伝次郎様 中島村庄屋孫市郎・清左衛門」(もとは別2-58-14-3の包紙カ)
別2-58-14-3	[伝次郎宛孫市郎・清左衛門書状]	年末詳12月24日		横折紙	1通	中島村庄や孫市郎・同清左衛門→乙島村御庄屋伝次郎	
別2-58-14-4	[乙島村御庄屋宛石井次郎右衛門書状]	年末詳閏7月27日		横切紙	1通	石井次郎右衛門→乙島村御庄屋 洪水のため流出した矢掛帳の制札について	(包紙上書)「乙島村御庄屋様 矢掛町庄や次郎右衛門」
別2-58-14-5	[乙島村御庄屋宛半左衛門書状]	年末詳閏7月24日		横継紙	1通	名主西原村半左衛門→乙島御庄屋・御村方各々 西原村宝珠寺堂など洪水被害	
別2-58-14-6	[乙島村御庄屋宛半左衛門書状]	年末詳閏7月24日		横切紙	1通	西原村名主半左衛門→乙島村御庄屋 洪水につき漂流物引き渡しの願い	
別2-58-14-7	口上	年末詳閏7月20日		横切紙	1通	西阿知村平山幸右衛門→乙島村御庄屋守谷伝次郎 洪水の際流れた西阿知村新見領庄屋八右衛門の荷物の引き渡しの願い	

別2-58-15	[乙島村庄屋・年寄中宛藤田権右衛門・中島左次右衛門書状]	年未詳11月29日		横継紙	1通	洪水の際助けた他領の百姓62人(男36人・女26人)について、吟味し書付を差し出すこと	
別2-58-16	口上	丑年閏7月17日		横切紙	1通	片島村庄屋与左衛門→乙島村御庄屋伝次郎 片島村の百姓が洪水によって押し流され、助船によって11人が送る届けられたこと	
別2-58-17	仕進候書物之事	年未詳5月28日		縦継紙	1通	乙島村五人組頭久次郎他13名→庄や佐平次・組頭与次兵衛・同与兵衛 洪水での拾得物を隠さず申し出ることを連判で誓約する	
別2-58-18	指上ケ申一札之事	承応3年7月24日		縦紙	1通	乙島村喜右衛門外49名→庄屋左平次・与頭与次兵衛・同与兵衛・同新兵衛 洪水で流れたものを隠さず申し出ることを誓約する	
別2-59	[松山藩触書等一括]				1括り(2纏め・8通)		別2-59-1～別2-59-10紙縫一括。(付札書)「自然可見合旧記類、松山御代御触書等入」
別2-59-1	[左平次宛伊藤三右衛門書状]	年未詳10月9日		横切紙	1通	伊藤三右衛門→乙島村左平次 麦種借用依頼への応答。麦も銀子も無いので米を組頭へ渡す旨伝達。	
別2-59-2	[左平次宛書状二通]				1纏め(2通)		別2-59-2-1～別2-59-2-2巻込一括
別2-59-2-1	[左平次宛伊藤三右衛門書状]	年未詳9月朔日		横折紙	1通	伊藤三右衛門→乙島村左平次 中島村百姓の牛が大水の時に流され、乙島村の庄右衛門が取置いていた牛の返却について	
別2-59-2-2	[左平次宛木根平助・渡辺主計書状]	午年8月晦日		横折紙	1通	木根平助・渡辺主計→乙島村庄や左平次 中島村よりの流れ牛返却の件、喜七郎の台所奉公の件、麦種銀の件について	
別2-59-3	[松山藩触書等]				1纏め(2纏め)		別2-59-3-1～別2-59-3-2一括
別2-59-3-1	[松山藩触書等]				1纏め(4通)		別2-59-3-1-1～別2-59-3-1-4一括、SILティッシュでくるむ
別2-59-3-1-1	[左平次外3名宛井出作太夫書状]	年未詳5月9日		横折紙	1通	井出作大夫→善左衛門・長右衛門・■右衛門・左平次 若殿様明屋長尾へ出られることになったので、舟と浦水夫が入用の件	
別2-59-3-1-2	[代官衆中宛坂田伊織・上林五郎兵衛書状]	申年2月28日		横折紙	1通	坂田伊織・上林五郎兵衛→御代官衆中 くいふちより外は家来共両人うら判なくては渡さないこと	
別2-59-3-1-3	[乙島村庄屋左平次外10名宛木梨平助・渡辺主計書状]	午年10月19日		横折紙	1通	木梨平助・渡辺主計→乙島村庄屋左平次外10名 人足拾人御用について一村から一人ずつ出すこと	
別2-59-3-1-4	[乙島左平次宛伊藤三右衛門書状]	年未詳8月晦日		横折紙	1通	伊藤三右衛門→乙島左平次 乙島村普請について	
別2-59-3-2	[書状類]				1纏め(4通)		別2-59-3-2-1～別2-59-3-2-4一括、SILティッシュでくるむ
別2-59-3-2-1	[左平次宛高岡金兵衛書状]	年未詳5月3日		横折紙	1通	高岡金兵衛→左平次 砂入用のこと	
別2-59-3-2-2	[乙島左平次宛伊藤三右衛門書状]	年未詳8月5日		横折紙	1通	伊藤三右衛門→乙島左平次 石樋の件、塩鯖の代金を遣わずこと他	
別2-59-3-2-3	[乙島村庄屋左平次宛伊藤三右衛門書状]	年未詳8月5日		横切紙	1通	伊藤三右衛門→乙島庄屋左平次 石樋、新田の塩入りについて	
別2-59-3-2-4	[乙島村庄屋左平次宛木梨平助・渡辺主計書状]	年未詳8月2日		横折紙	1通	木梨平助・渡辺主計→乙島村庄や左平次 石樋について	

別2-59-4	[中尾村庄屋久右衛門外15名宛木梨平助・渡辺主計書状]	申年2月14日		横折紙	1通	木梨平助・渡辺主計→中尾村庄や久右衛門外15名 村々請取渡候手形のこと、粃を残さず米にして松山の蔵へ納めるよう仰せ付けられたことについて	
別2-59-5	廻状	慶安2年12月23日		横切紙	1通	稲川伝吉・篠田三右衛門→村々庄や衆中 在々寺方移り替わりについて、老僧と旦那が相対して弟子に寺を渡すこと、弟子がない場合は旦那が寺を相続することなど	
別2-59-6	[乙島庄屋左平次外2名宛築瀬四郎右衛門・佐治勘兵衛書状]	年未詳11月29日		横継紙	1通	築瀬四郎右衛門・佐治勘兵衛→乙島庄や左平次・柏島庄や六郎兵衛・同長右衛門 御家中米上りに使用するため、乙島・柏島の舟について、つな・いかり・道具を改め回送するよう命じ、船数・石積り・船主などを書付けて提出するよう求めたもの。	継ぎ目がはがれ、現状は2枚に分かれている。
別2-59-7	[乙島村庄屋左平次外4名木梨平助・渡辺主計書状]	年未詳8月29日		横折紙	1通	木梨平助・渡辺主計→乙島村庄や左平次外4名 先度廻状、先年算用切手について	
別2-59-8	[伊藤三右衛門書状]	年未詳11月20日		横折紙	1通	伊三右衛門→(宛名なし) 御掛銀について	
別2-59-9	[伊藤三右衛門書状]	年未詳2月7日		横折紙	1通	伊藤三右衛門→(宛名なし) かき御用について、この書状が参着次第、2升づつ急いでかきを送ること、はりまかきは無用なので地元のかきのよいものを献上すること、村送りで献上することを命じている。	
別2-59-10	[左平次宛伊藤三右衛門書状]	年未詳3月6日		縦紙	1通	伊藤三右衛門→乙島左平次 絵図の作成について	(上書)「乙島左平次殿 御返事 伊藤三右衛門 松山方」
別2-60	[左平次・重右衛門・長右衛門・善左衛門宛石川助兵衛書状]	年未詳8月25日		横折紙	1通	石川助兵衛→乙島左平次・柏島重右衛門・長右衛門・黒崎善左衛門 池々堀筋の水溜まりの状況・鴨の数について通知のこと	
別2-61	[乙島村関係書類]				1括り(1括り・1纏め・18通)		別2-61-1～別2-61-20紙綴一括
別2-61-1	[左平次宛伊藤三右衛門書状]	年未詳4月7日		横折紙	1通	伊藤三右衛門→乙島庄屋左平次 算用目録の通り銀子76匁6分を請取につき	
別2-61-2	[新田関係書類]				1括り(1冊・1通)		別2-61-2-1～別2-61-2-2紙綴一括
別2-61-2-1	寛文貳年寅ノ三月吉日 御新田御百姓田数書出帳乙島村	寛文2年3月吉日		美・横長	1冊		
別2-61-2-2	[権三郎・次郎右衛門・左平次宛坂田伊織・上野五郎兵衛書状]	年未詳3月21日		横折紙	1通	坂田伊織・上野五郎兵衛→長尾村権三郎・舟尾次郎右衛門・乙島左平次 御新田御百姓衆へ渡す3ヶ村分の書付について	(包紙上書)「長尾権三郎様・舟尾次郎右衛門様・乙島左平次様 松山方 坂田伊織・上野五郎兵衛」
別2-61-3	[乙島村外五ヶ村庄屋宛上野五郎兵衛・坂田伊織書状]	年未詳6月11日		横折紙	1通	上野五郎兵衛・坂田伊織→乙島・柏島・黒崎・玉島・長尾・舟尾村々庄や衆中 黒崎村渡舟につき大工作料を割符することにつき	
別2-61-4	[左平次宛伊織・五郎兵衛書状]	年未詳2月9日		横折紙	1通	伊織・五郎兵衛→乙島村庄や左平次	(包紙上書)「乙島村左平次とのまいる 伊織・五郎兵衛」
別2-61-5	子ノ御年貢[]覚	丑年6月8日		縦切紙	1通	伊藤三左衛門・野沢内記→乙島庄屋左平次 定米・口米・新田見取米、合84石[]9升8合	上下で切れて、現状は2枚に分かれている。
別2-61-6	[書付類]				1纏め(3通)		別2-61-6-1～別2-61-6-3巻込一括
別2-61-6-1	御舟并二御蔵かさり松之覚	正保3年12月27日		縦切紙	1通	加藤久八・野沢全左衛門→かしわ崎村庄や小九郎・同村長右衛門・乙島村庄や左平次・黒崎村庄や善左衛門 合64本	

別2-61-6-2	乙島村小物成	正保4年8月7日		豎切紙	1通	坂田伊織・上野五郎兵衛→庄や左平次 銀6匁1分8厘	
別2-61-6-3	飢飯米御借シノ覚(乙島村)	承応2年4月3日		豎切紙	1通	≈5石	
別2-61-7	[乙島村石高につき書付]	正保4年7月1日		横切紙	1通	坂田伊織・上野五郎兵衛→乙島村庄や左平次	
別2-61-8	[十左衛門・左平次宛井出作兵衛書状]	年未詳11月15日		横折紙	1通	井出作太夫→柏崎庄や十左衛門・乙島庄や左平次 黒崎への人足派遣について	
別2-61-9	[左平次宛坂田伊織・上野五郎兵衛書状]	午年7月18日		横折紙	1通	坂田伊織・上野五郎兵衛→乙島村庄や左平次 日やけのため牛馬の草がないことにつき	
別2-61-10	[伊藤三右衛門・野沢内記書状]	亥年12月27日		横折紙	1通	伊藤三右衛門・野沢内記→(宛名なし) 掛銀御宥免につき	
別2-61-11	[賀陽郡・浅口郡・下道郡庄屋中宛坂田伊織・上野五郎兵衛書状]	酉年6月12日		横折紙	1通	坂田伊織・上野五郎兵衛→賀陽郡・浅口郡・下道郡庄屋中 川除御普請人足について	
別2-61-12	[左平次外五名宛坂田伊織・上五郎兵衛・新助左衛門書状]	年未詳2月12日		横折紙	1通	坂田伊織・上五郎兵衛・新助左衛門→乙島左平次外5名 左平次の作事について	
別2-61-13	乙島御普請御用人足	明暦4年7月19日		横切紙	1通	上野四郎左衛門・亀井市太夫→乙島庄屋左平次 合171人出人本役につき	
別2-61-14	卯ノ御年貢銀請取覚	寛永17年1月11日		横切紙	1通	伊藤三右衛門・野沢内記→乙島村庄屋惣兵衛 銀子493匁6分の請取	
別2-61-15	正保四年亥御物成納之事	慶安元年6月1日		豎切紙	1通	伊藤三右衛門・野沢内記→浅口郡乙島村庄や左平次 定米・口米・新田見取・御種米元利の計83石3斗2升4合の皆済	
別2-61-16	[善左衛門・十右衛門・左平次宛井出作大夫書状]	年未詳6月25日		横折紙	1通	井出作大夫→善左衛門・十右衛門・左平次 黒崎村2人・柏崎村2人・乙島村1人の水夫の派遣について	
別2-61-17	[惣兵衛宛伊藤三右衛門・野沢内記書付]	寛永19年2月1日		豎切紙	1通	伊藤三右衛門・野沢内記→乙島庄屋惣兵衛 乙島村の蔵にある米2石を三郎左衛門へ渡すよう指示	
別2-61-18	可被相渡麦之事	子年6月6日		豎切紙	1通	田村嘉兵衛→乙島村庄や十左衛門 2石を渡すべきこと	
別2-61-19	請取申銀子之事	寛文4年12月17日		豎切紙	1通	上野五郎兵衛・坂田伊織→乙島左平次 560目の請取	
別2-61-20	浅口郡乙島村戌御年貢米請取之事	正保4年8月11日		豎切紙	1通	伊藤三右衛門・野沢内記→乙島村庄や左平次 定米・口米など計72石2斗1升8合の皆済	
別2-62	[書状類]				1括り(13通)		別2-62-1～別2-62-13紙縫一括。(包紙上書)「前々御代御小物成請取、其外御書留御判付書類、昌勝改」
別2-62-1	[左平次宛大洲九郎兵衛書状]	年未詳12月26日		横継紙	1通	水谷太郎左衛門内大洲九郎兵衛→乙島左平次 明朝高瀬舟が上るので、今晚のうちに7俵のうち5俵でも送るよう指示	(上書)「乙島左平次様まいる 水谷太郎左衛門内九郎兵衛」。継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている。
別2-62-2	[吉田善次宛上野五郎右衛門書状]	年未詳7月11日		横折紙	1通	上野五郎右衛門→黒崎庄や吉田善次 松山へ真綿が届いておらず、その旨を柏島と乙島へ知らせる	(奥書) 柏崎六郎右衛門→乙島左平次
別2-62-3	[左平次宛伊藤三右衛門書状]	年未詳12月20日		横折紙	1通	伊藤三右衛門→乙島庄屋左平次 御かけ銀342匁6分、代米8石5斗6升5合を蔵より請取ること	
別2-62-4	[坂田伊織・上野五郎兵衛書状]	子年6月25日		横折紙	1通	坂田伊織・上野五郎兵衛→(宛名なし) 木わた・もめんについて、坂入重蔵・竹田左二右衛門へ渡し、悪しき木綿は返却のこと	

別2-62-5	[伊三右衛門・野内記書状]	亥年7月17日		横折紙	1通	伊三右衛門・野内記→(宛名なし) 村への法度について	
別2-62-6	[伊藤三右衛門宛宗兵衛書状]	年未詳11月8日		横折紙	1通	宗兵衛→伊藤三右衛門 郡奉行就任の祝儀として久年母3本・鳥1羽進上のこと	
別2-62-7	[西島二郎左衛門書状]	亥年7月19日		横折紙	1通	西島二郎左衛門→(宛名なし) かこならびに舟のことについて	亥年7月24日付西島二郎左衛門書状がつづく
別2-62-8	廻状	年未詳11月8日		横切紙	1通	稲川伝吉→守谷 寺方宗旨について	
別2-62-9	[覚書]	巳年12月14日		横継紙	1通	(差出人名なし)→三右衛門「連島十右衛門に請取申扶持方米之覚」4石7斗9升6合9勺、「乙島村御定番衆へ弘方之覚」4石6斗3升	
別2-62-10	[伊藤三右衛門書状]	亥年8月15日		横折紙	1通	伊藤三右衛門→(宛名なし) 茶坪を京より江戸へ運ぶための人足について	
別2-62-11	[伊藤三右衛門宛左平次書状]	年未詳12月10日		横折紙	1通	左平次→伊藤三右衛門 借し銀の返済を指し延ばしにするよう頼む	
別2-62-12	[左平次外三名宛西島二郎左衛門書状]	年未詳8月17日		横折紙	1通	西島二郎左衛門→くろ崎庄や善左衛門・かしわ島庄や六郎右衛門・長右衛門・おと島庄や左平次 讃岐国亀へ御用にて船を遣わすことについて	
別2-62-13	[左平次宛島厚所左衛門書状]	年未詳8月23日		横折紙	1通	島厚所左衛門→乙島庄屋左平次 元新田樋の儀、黒崎の御普請について	
別2-63	[覚書類]				1括り(1纏め・11通)		
別2-63-1	被仰渡異国舟之様子御請仕書物事	正保3年4月25日		縦折紙	1通	乙島村庄や・組頭・同→藤田新五左衛門・西島二郎左衛門 異国舟渡海の時分について	
別2-63-2	寛文十年戌御物成算用目録(乙島村)	寛文10年以降		縦紙	1通	御定米・御口米・御種米元利の計175石5斗3升2合とその内訳を示す。	
別2-63-3	寛文拾壹年亥ノ御物成算用目録(乙島村)	寛文11年以降		縦紙	1通	御定米・御口米・御見取米・御種米元利の計175石1斗7升6合とその内訳を示す。	
別2-63-4	[寛文拾壹年年貢関係書付]				1纏め(2通)		別2-63-4-1～別2-63-4-2巻込一括
別2-63-4-1	寛文拾壹年亥ノ御年貢弘方米切米覚	寛文11年以降		横折紙	1通		
別2-63-4-2	寛文拾壹年亥ノ御年貢玉島平右衛門へ入米	寛文11年以降		横折紙	1通		
別2-63-5	玉島御年貢二入米之覚	寛文12年閏6月27日		横切紙	1通	乙島村左平次→玉島庄や平右衛門	
別2-63-6	覚	寛文11年12月27日		横折紙	1通	安右衛門→佐平治 借銀の覚	
別2-63-7	覚	年未詳12月26日		横切紙	1通	安右衛門→佐平治	
別2-63-8	玉島に入米之覚	年月日未詳		横継紙	1通	≈29石1斗8升4合	
別2-63-9	[覚書]	年月日未詳		横折紙	1通	「玉島へ入米之覚」「平右衛門へ渡米之覚」「亥とし御年貢米二松山に入分」など	
別2-63-10	[年貢覚]	寛文11年		横切紙	1綴	年貢についての覚	

別2-63-11	覚	酉年7月		横切紙	1通	出米屋源太郎→乙島村庄屋伝次郎 合12匁3分	
別2-63-12	申とし不生高覚	年月日未詳		横折紙	1通	定米・口米など	
別2-64	[覚書類]				1括り(2括り・2通)		別2-64-1～別2-64-4紙縫一括
別2-64-1	[請取証書類]				1括り(1括り・6通)		別2-64-1-1～別2-64-1-7紙縫一括。(付札書)「宝曆十二年同十三未年御公儀と御判付書物御手形、庄屋重左衛門」
別2-64-1-1	覚	申年6月21日		縦切紙	1通	浅口郡御手代酒井儀助→乙島村十左衛門 銀63匁4分8厘の受取	
別2-64-1-2	覚	申年2月22日		縦切紙	1通	掛屋孫大夫→乙島村重左衛門 銀21匁3分2厘の請取	
別2-64-1-3	覚	申年2月22日		縦切紙	1通	掛屋孫大夫→乙島村重左衛門 銀14匁の請取	
別2-64-1-4	覚	未年4月25日		縦切紙	1通	酒井儀助→乙島村重左衛門 銀14匁5分の請取	
別2-64-1-5	覚	申年5月9日		縦切紙	1通	酒井儀助→乙島村重左衛門 銀140目2分の請取	
別2-64-1-6	[請取証書類]				1括り(7通)		別2-64-1-6-1～別2-64-1-6-7紙縫一括
別2-64-1-6-1	[民右衛門宛重左衛門書状]	申年5月12日		横切紙	1通	米の預かりについて	(上書)「下、民右衛門 上、重左衛門」
別2-64-1-6-2	覚	年未詳7月12日		横切紙	1通	藤九郎→十左衛門 4匁5分3厘の請取	
別2-64-1-6-3	覚	未年11月3日		横継紙	1通	浜屋七郎兵衛→乙島村重左衛門 銀36匁の請取	
別2-64-1-6-4	覚	年未詳5月21日		横切紙	1通	民右衛門→十左衛門 掛屋孫大夫へ納める銀について	
別2-64-1-6-5	覚	申年7月9日		横切紙	1通	舟木屋藤九郎→十左衛門	
別2-64-1-6-6	覚	申年7月10日		横切紙	1通	藤九郎→十左衛門 5匁2分4厘	
別2-64-1-6-7	覚	未年3月8日		横切紙	1通	清兵衛→乙島村武左衛門 銀40匁1分の請取	
別2-64-1-7	覚	亥年12月17日		横切紙	1通	縦平町久七→乙島村重左衛門 銀160匁の請取	
別2-64-2	覚	明和3年11月		縦継紙	1通	乙島村民右衛門・同年寄三大夫→重左衛門 年貢銀について	紙縫あり。(付書)「御代官浅井作右衛門様御支配ノ時御手形類御引替二付、庄屋民右衛門・年寄三大夫様へ御切手相渡し候二付、兩人方請取証文也、十左衛門」。継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている。
別2-64-3	[書付類]				1括り(3通)		別2-64-3-1～別2-64-3-3紙縫一括
別2-64-3-1	享保十七子年御物成銀御通	享保17年以降		横切紙	1通	乙島仙右衛門・柏島村庄屋与右衛門	
別2-64-3-2	口上覚	宝暦元年12月18日		縦切紙	1通	三郎右衛門→武兵衛 量について佐平次方へ取りに行ったが、渡してもらえなかった件について	
別2-64-3-3	鑑申一札	宝暦2年1月		縦切紙	1通	三郎右衛門→武兵衛 佐平次本家家番について	(端裏書)「三郎右衛門、鑑申証文」
別2-64-4	口上書	未年6月		縦継紙	1通	松山御領分浅口郡玉島村百姓磯右衛門外39名→重左衛門殿組本百姓衆中 重左衛門組への組入り願	

別2-65	[法度・年貢関係書類]				1括り(1括り・1纏め・10通)		別2-65-1～別2-65-12紙綴一括
別2-65-1	今度被仰出御法度起請文前書之事	正保4年4月25日		縦継紙	1通	何村庄や何右衛門・組頭何右衛門・百姓何右衛門→伊藤三右衛門・野沢内記 村役人に提出する起請文前書の雛形	
別2-65-2	[田畑面積書付]	正保3年4月吉日		縦紙	1通	大塚基右衛門・尾見半蔵・野沢五郎介・野沢金兵衛→(宛名なし)田畑・屋敷の面積と石高について、都合45町5反8畝21歩半、合309石1斗5合	
別2-65-3	御請状之事	正保3年正月晦日		縦紙	1通	乙島村庄や左平次・組頭治右衛門・同新兵衛→伊藤三右衛門・野沢内記 切支丹改め、他国出入、牢人について	(端裏書)「正保三年上ル引へ」
別2-65-4	[乙島村免割之覚二通]				1纏め(2通)		別2-65-4-1～別2-65-4-2巻込一括
別2-65-4-1	乙島村御免割之覚	正保元年以降		縦紙	1通		
別2-65-4-2	乙島村免割之覚	寛永19年12月5日		縦紙	1通		
別2-65-5	[田畑高・定米覚]	年月日未詳		縦紙	1通	各年の田畑高と定米の覚	
別2-65-6	申御年貢納之覚	正保2年5月25日		縦紙	1通	定米・口米・種米元利の計101石1合とその内訳を示す。	
別2-65-7	正保弍年酉ノ免割之覚	正保2年以降		縦紙	1通		
別2-65-8	免割 乙島村	年月日未詳		縦紙	1通		
別2-65-9	指上ケ申一札之事	正保3年2月8日		縦切紙	1通	乙島村庄や左平次・与頭治右衛門・同新兵衛→伊藤三右衛門・野沢内記 他所へ参籠の者早々に引き返すべしとの仰せにつき	(端裏書)「正保三戌二月八日 伊藤三右衛門殿・野沢内記殿 上ル引へ」
別2-65-10	借入申御年貢度々ノ未進之事	正保2年12月29日		縦切紙	1通	喜右衛門→乙島村庄屋左平次 82匁2分9厘の借用	
別2-65-11	被仰渡異国舟之様子御請仕書物之事	正保3年4月25日		縦切紙	1通	(差出人名無し)→藤田新五左衛門・西島二郎左衛門 異国舟渡海の時の注意について	
別2-65-12	[法度類]				1括り(8通)		別2-65-12-1～別2-65-12-8紙綴一括
別2-65-12-1	寅とし奉公人之覚	慶安4年正月25日		縦紙	1通	庄や左平次→御代官 男7人女2人計9人の奉公先を記す	(端裏書)「慶安年中上ル扣」
別2-65-12-2	御請状之事	慶安2年9月18日		縦紙	1通	乙島村[]・<ニ頭与次[]・同[]→安平長左衛門	
別2-65-12-3	[法度]	年月日未詳		縦紙	1通	吉利支丹宗門改について、牢人の抱置について	
別2-65-12-4	御法度之條々	寛永20年2月10日		縦紙	1通	田母神太夫・小島松助→(宛名なし) 公事についての法度を賀陽郡・浅口郡の村々が写したもの	
別2-65-12-5	御請状之事	慶安5年正月晦日		縦紙	1通	乙島庄や左平次・組頭与次兵衛・同与兵衛・同新兵衛→稲川伝吉・与田甚左衛門 吉利支丹改について、不審なる者・牢人について	別2-65-12-7とほぼ同文
別2-65-12-6	子ノ御年貢覚(乙島村)	慶安元年12月17日		縦紙	1通	(差出人名無し)→伊藤三右衛門・野沢内記 定米・口米・新田見取・種米元利の計93石4斗9升8合とその内訳を記す。	
別2-65-12-7	御請状之事	年月日未詳		縦切紙	1通	吉利支丹改について、不審なる者・牢人について	後欠(モト縦継紙)カ、別2-65-12-5とほぼ同文

別2-65-12-8	[伊藤三右衛門書状]	年未詳3月11日		横折紙	1通	代官伊藤三右衛門→(宛名なし) 幕府からの法度を固く守るべき旨	
別2-66	[覚書類]				1括り(8通)		別2-66-1~別2-66-8紙縫一括、(紙縫付箋)「先重左衛門・佐平次代古書物、秀国改」
別2-66-1	宝永4年亥御年貢仮算用割	宝永4年以降		縦継紙	1通	収穫高・引高・取米の年貢算用	
別2-66-2	浅口郡之内乙島村高之事	正保3年3月7日		縦紙	1通	乙島村庄屋左平治→野坂八右衛門様御小姓衆 高203石3斗6升6合、残高200石6升6合、田高141石4斗5升4合、畠高58石6斗1升2合	
別2-66-3	売申大東木数覚	戌年9月15日		縦紙	1通	武兵衛→御庄や重左衛門 一、1万860本、庄兵衛分、代505匁1分、他四筆、惣銀961匁3分	
別2-66-4	使申水夫覚	酉年10月21日		縦切紙	1通	清水三郎兵衛→乙島御庄屋十左衛門 甚蔵・秋右衛門・長太郎・七兵衛の4人、大坂御用の外、伏見に使いに行った増し賃3匁ずつ遣わすための手形	
別2-66-5	借用申米之事	元禄3年5月3日		縦切紙	1通	明石権之助→乙島村御庄屋十左衛門 2石1斗(但6俵)の借用、利足2割半	
別2-66-6	覚	延宝9年3月17日		縦継紙	1通	野中甚吉・上野甚三郎→(宛名なし) 御国廻衆に偽りを申すことは曲事でことを村中へ通知の事	
別2-66-7	差上申一札之事	元禄8年9月		縦紙	1通	浅口郡乙島村庄や・同村組頭・誰・百姓→平岡吉郎右衛門・大岡喜右衛門 乙島村林の管理について	
別2-66-8	覚	年未詳7月6日		縦切紙	1通	しまや平右衛門→左平次 豆板7匁3分・金2分など京都返銀の請取について	
別2-67	[御法度書類・請書類]				1括り(2冊・15通)		別2-67-1~別2-67-17紙縫一括、(下げ札)「古来方被仰出御法度書類并請書連印物共 昌勝改集ル」 SILティッシュで包む
別2-67-1	[窪島作右衛門御触出シ之写]	子年12月		縦継紙	1通	窪島作右衛門→(宛名なし) 西国・中国・五畿内辺虫付損亡には夫食米を飢人に合力、庄屋・名主らは飢人に施し、餓死者を出さぬようにすること	(端裏書)「窪島作右衛門御触出シ之写」、継ぎ目がはがれ現状は2枚になっている。
別2-67-2	[小田郡・都宇郡・阿賀郡各村庄屋宛中島左次右衛門廻状]	申年4月		横継紙	1通	中島左次右衛門→小田郡高皆村外20ヶ村庄屋 横田備中守より土井甲斐守へ渡された御書付の写	継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている
別2-67-3	指上ケ申一札之事	寛文5年正月24日		縦継紙	1通	乙島村庄や左平次外12名→伊藤三右衛門・山口助左衛門 吉利支丹禁制の各条目を守り、油断しないことを誓う	
別2-67-4	[申触]	年月日未詳		縦継紙	1通	他領への移住・縁組などについての禁制の条々	継ぎ目がはがれ、現状は2枚になっている
別2-67-5	今度筑前国大島にて捕之南蛮伴天連いるまん同宿白状之事	未年9月8日		縦継紙	1通		
別2-67-6	一札	元禄9年2月		縦継紙	1通	乙島村組頭与右衛門外152名→(宛名なし) 行衛知らずの者等へ宿を貸すこと、博打の禁止、借家家貸しの際請状確認のこと等、五ヶ条の申渡の請状五人組が連印	継ぎ目がはがれ、現状は3枚になっている
別2-67-7	飢人預申覚	享保18年正月		縦継紙	1通	小寺甚助→庄屋・年寄中 与七郎外17名の飢人を預けおくので、一人も飢死者を出さないよう庄屋・年寄へ申付のこと	乙島村庄屋伝次郎外4名の奥書あり
別2-67-8	[浦触]	正徳4年2月		縦継紙	1通	奉行→宛名なし ぬけ荷を買い取った者など捕らえて申し出た際ほうびを取らせる事など、高札の文面	前欠。継ぎ目がはがれ、現状は3枚になっている。
別2-67-9	指上ケ申百姓中一札之事	寛永20年6月28日		縦継紙	1通	乙島村組頭新兵衛・同治右衛門・五人組→庄屋左平次 庄屋の指示に背かないことなど百姓中が守るべき条々の書立	継ぎ目がはがれ、現状は3枚になっている。

別2-67-10	指上ケ申村中五人組之事	寛永15年6月23日		縦継紙	1通	乙島村惣兵衛・くミ頭四郎兵衛・同新兵衛→山田五郎兵衛・小川藤左衛門・猪飼二郎兵衛 乙島村に切支丹がいないこと等の届出	奥に三通の文書が繋がれている。継ぎ目がはがれ現状は3枚になっている。
別2-67-11	指上ケ申一札之事	年月日未詳		縦継紙	1通	吉利支丹の禁止、勸進乞食非人などに一夜の宿を貸すことの禁止など法度の条々の書立	
別2-67-12	定	申年正月3日		縦紙	1通	切支丹の発見、金銀米銭の借用利息の事、旅人への貸宿の事などに関する定の書立	
別2-67-13	指上ケ申一札之事	年月日未詳		縦紙	1通	竹木に関する条々の書立	
別2-67-14	御請状之事	慶安3年2月晦日		縦紙	1通	(差出人名なし)→稲川伝吉・篠田三右衛門 吉利支丹御改についてなど三条	
別2-67-15	承応三年午ノ五月吉日 吉利支丹御請状之事	承応3年5月吉日		半・縦	1冊		
別2-67-16	差上申一札之事	延宝3年2月15日		縦継紙	1通	左平次・与兵衛・与二兵衛→安達茂兵衛・林市右衛門 他領の者を召し抱えることについて	
別2-67-17	寛文五年巳ノ五月吉日 毎月組頭五人組頭保頭寄合連判帳 乙島村	寛文5年5月		半・縦	1冊		
別2-68	[普請関係書類]				1括り(1括り・1纏め)		
別2-68-1	[普請関係書類]				1括り(4通)		別68-1-1～別68-1-4紙縫一括、(下げ札)「水谷様御新開御普請二付書類」
別2-68-1-1	[長尾村庄屋宛上舟尾村・下舟尾村庄屋書状]	年未詳10月7日		縦紙	1通	西之浦表大川筋御新田について	(端裏書)「長尾御庄や忠兵衛様・同八介様まいる 上舟尾庄や二郎左衛門・下舟尾庄や惣兵衛」
別2-68-1-2	[佐治三右衛門・口生兵左衛門・藤井喜兵衛書状]	年未詳9月3日		縦切紙	1通	佐治三右衛門・口生兵左衛門・藤井喜兵衛→(宛名なし) 柏島新大土手塩留御用について	
別2-68-1-3	日用御ふち方賃米之事	年月日未詳		縦切紙	1通	43石8斗9升7勺、玉島御普請日用御ふち方賃米共に請取を証する	
別2-68-1-4	請取申日用御扶持方賃米之事	寛文3年12月5日		縦紙	1通	(差出人名なし)→田口四郎兵衛・稲川吉作 26石3斗5升4合7勺、玉島御普請日用御ふち方賃米共に請取を証する	
別2-68-2	[普請関係書類]				1纏め(10通)		別2-68-2-1～別2-68-2-10
別2-68-2-1	[人名・米書付]	年月日未詳		横折紙	1通	長二郎外17名分の名前・米の書付	(端裏書)「寛永年中、長尾新田御普請書類・玉島新田御普請書類、御役人中御判付書付」
別2-68-2-2	[長尾村外10ヶ村庄屋宛坂田伊織・鶴見金弥書状]	未年10月22日		横折紙	1通	坂田伊織・鶴見金弥→長尾村外10ヶ村庄屋中 長尾新田普請のため人足を一日三人ずつ出すことについて	
別2-68-2-3	切石数之覚	辰年5月5日		縦紙	1通	乙島村庄屋宗兵衛→永島佐次右衛門 長石・大石・小石、三口合2372の預かりを証する	
別2-68-2-4	乙島村切石付帳之移覚	寛永17年5月5日		横折紙	1通	(差出人名なし)→永島左次右衛門 長石×102、大石×1090、小石×1150の書付	
別2-68-2-5	捨石之日記 乙島村分	戌年10月25日		横折紙	1通	西尾新蔵・亀井市郎太夫→乙島村庄や左平次 坪数・代米の書付	
別2-68-2-6	切石数之覚	年月日未詳		縦紙	1通	長石102・大石1090・小石1680の書付	
別2-68-2-7	乙島村日用二参人数覚	年月日未詳		横折紙	1通	新七外7名の名前の書付	

別2-68-2-8	[西尾与惣右衛門・本橋伝八書状]	年未詳4月21日		横折紙	1通	西尾与惣右衛門・本橋伝吉→玉島ノ平右衛門・乙島ノ左平次・柏島ノ平三郎 捨石について七島より南の土手に明日から捨石を申し渡すよう指示	
別2-68-2-9	戌ノ才栗石坪数 乙島村分	戌年11月21日		横継紙	1通	亀井市郎太夫→乙島村庄や左平次 栗石坪数書付	継ぎ目がはがれ、現状は3枚になっている
別2-68-2-10	[乙島村庄屋左平次宛稲葉久兵衛書状]	年未詳2月21日		縦紙	1通		
別2-69	[元禄年間請取証文]				1包(3通)		別2-69-1～別2-69-3、(包紙上書)「御運定上り申手形有亥ノ正月分上り之手形有」
別2-69-1	預申塩御運上銀之事	元禄8年正月晦日		縦切紙	1通	良屋善兵衛→乙島村重左衛門 52匁の請取証文	
別2-69-2	請取申塩御運上御銀之事	元禄7年5月晦日		縦継紙	1通	良屋善兵衛→乙島村重左衛門 238匁4分の請取証文	奥に元禄7年6月2日付「請取申塩御運上御銀之事」、元禄7年9月3日付「請取申塩御運上御銀之事」、元禄7年10月3日付「預り申塩御運上銀之事」、元禄8年正月15日付「請取申塩濱御運上銀之事」が継がれている。
別2-69-3	元禄六年酉ノ暮御残り銀勘定目録	元禄7年正月28日		縦紙	1通	小林庄助・広瀬藤助→庄や十左衛門	裏に墨線抹消文書あり
別2-70	[請取証文類]				1括り(4括り)		別2-70-1～別2-70-4紙縫一括
別2-70-1	[金銭請取書類]				1括り(4通)		別2-70-1-1～別2-70-1-4紙縫一括。(付札書)「貞享四卯年 御小物成銀御手形并通 重左衛門■(代カ)」
別2-70-1-1	卯之御小物成御蔵通	貞享4年10月6日		横折紙	1通	中山十兵衛・厚木文四郎→乙島村庄や十左衛門 40目8分の皆済	
別2-70-1-2	覚(金銭請取につき)	卯年12月22日		横切紙	1通	大関四右衛門→乙島村庄屋十左衛門 竹木代10匁7分7厘の請取	
別2-70-1-3	請取申なわ代之事	卯年12月26日		横切紙	1通	成羽屋八兵衛→御庄や十左衛門 107匁5分(107束5分の代)の請取	
別2-70-1-4	請取申御小物成銀之事	貞享4年12月22日		縦切紙	1通	石川助兵衛・磯小三郎・稲葉藤右衛門→乙島村重左衛門 合3匁8分の請取	
別2-70-2	[御小物成類請取書類]				1括り(4通)		別2-70-2-1～別2-70-2-4紙縫一括。(付札書)「貞享元子年御小物成銀御手形通 十左衛門代」
別2-70-2-1	貞享元年子之御小物成通	(貞享元年)12月23日		横折紙	1通	中山三之助・厚木文四郎→乙島村庄や十左衛門 56匁8分皆済	
別2-70-2-2	請取申なわノ代	子年12月28日		縦切紙	1通	まさごや又七右衛門→乙島御庄や十左衛門 合113匁6分(113束6分)の請取	
別2-70-2-3	請取申銀子之事	年未詳12月28日		縦切紙	1通	鉄屋市郎右衛門→乙島御庄や十左衛門 30目の請取	
別2-70-2-4	請取申御小物成銀之事	貞享元年12月28日		縦切紙	1通	磯小三郎・稲葉藤右衛門→乙島村十左衛門 合3匁8分の請取	
別2-70-3	[御小物成書付類]				1括り(1冊・3通)		別2-70-3-1～別2-70-3-3紙縫一括。(付札書)「貞享三寅御小物成御手形并払帳 重左衛門」
別2-70-3-1	寅御小物成通	貞享3年12月6日		横折紙	1通	中山十兵衛・厚木文四郎→乙島村庄や左平次 45匁3分皆済	

別2-70-3-2	御小物成銀払覚	貞享3年12月28日		半・横長	1冊	与次兵衛→(宛名なし) ㄨ214匁7分	
別2-70-3-3	請取申御小物成銀之事	貞享3年12月18日		堅切紙	1通	磯小三郎・稲葉藤右衛門→乙島村十左衛門 合3匁8分の請取	
別2-70-4	[請取証書類]				1括り(3通)		別2-70-4-1～別2-70-4-3紙縫一括。(付札書)「貞享式丑御小物成御手形類 重左衛門代」
別2-70-4-1	松山使覚	年月日未詳		横切紙	1通	与左衛門→(宛名なし) ㄨ105匁1分	
別2-70-4-2	請取申御小物成銀之事	貞享2年12月16日		堅切紙	1通	磯小三郎・稲葉藤右衛門→乙島村庄屋「代(追筆)」与左衛門 合3匁8分の請取	
別2-70-4-3	丑年御小物成入方覚	貞享2年12月16日		堅紙	1通	中山三之助・厚木文四郎→乙島村十左衛門 銀子合75匁1分の請取	
別2-71	[乙島村関係書付・書状類]				1括り(2包・3通)		別2-71-1～別2-71-5紙縫一括
別2-71-1	[坂田伊織等書状類]				1包(5通)		別2-71-1-1～別2-71-1-5包紙一括。(包紙上書)「乙島左平次殿 松山 上野五郎兵衛・坂田伊織」
別2-71-1-1	[乙島村左平次宛伊織・五郎兵衛書状]	年未詳2月2日		横折紙	1通	伊織・五郎兵衛→乙島村左平次 ぼうふうの取り寄せについて	
別2-71-1-2	[賀陽郡・下道郡・浅口郡村々庄屋中宛場次兵衛・新助左衛門・坂伊織書状]	年未詳4月8日		横折紙	1通	場次兵衛・新助左衛門・坂伊織→加陽郡・下道郡・浅口郡村々庄や中 御餌差衆へ村々の塩噌を食べさせないこと	
別2-71-1-3	[乙島村左平次宛坂伊織・上五郎兵衛書状]	年未詳4月18日		横折紙	1通	坂伊織・上五郎兵衛→乙島村左平次 ぼうふうの取り寄せについて	
別2-71-1-4	[浅口郡乙島村庄屋惣兵衛宛坂田伊織・鶴見金弥書状]	寛永19年10月朔日		横折紙	1通	坂田伊織・鶴見金弥→浅口郡乙島村庄屋惣兵衛 塩浜が近年荒れたことについて村中穿鑿するよう指示	
別2-71-1-5	[乙島村庄屋宗兵衛宛坂田伊織・鶴見金弥書状]	年未詳4月16日		横折紙	1通	坂田伊織・鶴見金弥→乙島村庄屋宗兵衛 乙島の栗石の調達依頼	
別2-71-2	[乙島村仙右衛門宛森脇平次兵衛書状]	年未詳9月28日		横折紙	1通	森脇平次兵衛→乙島村仙右衛門 先日頼んだあみを期日までに調べてもらえなかったことについて	
別2-71-3	浅口郡乙島村御金拝借之覚	申年2月13日		堅切紙	1通	乙島村庄屋仙右衛門→田中伊左衛門 金75両2分2朱・銀6匁7分3厘	
別2-71-4	[年貢納入・普請に関する書付・書状三通]				1包(3通)		別2-71-4-1～別2-71-4-3包紙一括。(包紙上書)「乙島村庄屋仙右衛門殿 森脇平次兵衛」
別2-71-4-1	[乙島村仙右衛門宛田中猪右衛門・小島儀右衛門書付]	年未詳9月11日		横切紙	1通	切畑の儀につき	(上書)「乙島村仙右衛門 田中猪右衛門・小島儀右衛門」
別2-71-4-2	書付二而申遣候	年未詳9月15日		横切紙	1通	御陣屋普請につき、栗石のこと	(上書)「乙島村庄屋中 猪瀬嘉右衛門」
別2-71-4-3	[乙島村庄屋仙右衛門宛書状]	年未詳10月18日		横切紙	1通	19日乙島村年貢米納入のこと、人足・縄俵について	(上書)「乙島村庄屋仙右衛門殿 赤崎村 方」
別2-71-5	預り申寅御勘定米之事	元禄12年3月20日		堅紙	1通	勇崎村庄屋又三郎→乙島村御庄屋十左衛門 合12石	
別2-72	[乙島左平次宛伊織・助左衛門・五郎兵衛書状]	年未詳4月25日		横折紙	1通	伊織・助左衛門・五郎兵衛→乙島左平次 来二日より御吊の御用につき	(包紙上書)「乙島村左平次殿 伊織・五郎兵衛・助左衛門」

別2-73	[乙島村庄屋宛領主役人書状]				1括り(3通)		別2-73-1～別2-73-3紙綴一括。(付札書)「御領主御役人様方答簡」
別2-73-1	[乙島村左平次宛坂田伊織・上野五郎兵衛]	年未詳3月25日		横折紙	1通	坂田伊織・上野五郎兵衛→乙島村左平次 ほうふの取り寄せについて	(包紙上書)「乙島村左平次殿 松山方(カ) 上野五郎兵衛・坂田伊織」
別2-73-2	[左平次宛野沢内記書状]	年未詳10月23日		横折紙	1通	野沢内記→左平次 そこもの百姓がことの外くたびれ、不憫に思っていること、船尾村六兵衛について	
別2-73-3	[村々庄屋中宛伊藤三右衛門・野沢内記書状]	丑年10月12日		横折紙	1通	伊藤三右衛門・野沢内記→村々庄や中 定米を三つに分けて納めること、米のこしらえ・縄・俵を念をいれること、百姓に申し付けること	
別2-74	[書状・覚類]				1括り(1冊・4通)		別2-74-1～別2-74-5紙綴一括。(付札書)「玉島御新田二付御普請書類」
別2-74-1	請取申日用御扶持方賃米之事	年月日未詳		縦切紙	1通	1857人、納合44石8斗1升9合、玉島御普請日用御扶持方賃米の請取	
別2-74-2	玉島井取場屋敷下書出之覚	年月日未詳		半・横長	1冊	田畑の面積及び石高	
別2-74-3	[乙島左平次宛臼井平蔵書状]	年未詳3月16日		縦紙	1通	矢掛より来た六太夫について、他領の者には新田を渡さない旨	(上書)「乙島左平次様 臼井平蔵方」
別2-74-4	[乙島村左平次宛二郎兵衛書状]	年未詳正月10日		縦切紙	1通	二郎兵衛→乙島左平次 御普請場へ荷物を運ぶための船の調達について	
別2-74-5	請取申日用米之事	寛文6年10月20日		縦切紙	1通	乙島村庄屋や左平次→田村角太夫・田村茂兵衛 2石2斗9升2合5勺 玉島石樋の破損普請の日用米の請取	
別2-75	[年貢関係書類]				1括り(4通)		別2-75-1～別2-75-4紙綴一括。(包紙上書)「前々御代御判付書類并御書簡 正保年中 昌勝改」
別2-75-1	午ノ御年貢免目録ひかへうつし(乙島村)	寛永19年11月29日		縦切紙	1通	伊藤三右衛門→乙島村庄屋惣兵衛 39石4斗4升1合皆済	(端裏書)「寛永十九年ノ御物成請取、伊藤三右衛門様」
別2-75-2	亥ノ御物成算用目録(乙島村)	年月日未詳		縦紙	1通	御定米・御口米・御見取米・種米元利の合175石1斗7升6合とその払方内訳を記す。	
別2-75-3	亥ノ御物成代算用目録(乙島村)	年月日未詳		縦紙	1通	御定米・御口米・御見取米・種米元利の合175石1斗7升6合とその払方内訳を記す。	
別2-75-4	浅口郡之内水谷伊勢守知行分	正保3年3月7日		横折紙	1通	庄や→野坂八右衛門 黒崎・長尾・舟尾・柳井原・水江・乙島・柏島村の田畑の石高の書付	
別2-76	[乙島村庄屋佐平次宛井出作太夫書状]	年未詳7月23日		横切紙	1通	井出作太夫→乙島村庄や佐平次 岡山へ御用で船を遣わすので、水夫2人をこちらへ派遣するよう指示	
別2-77	[書状・覚類]				1括り(3通)		別2-77-1～別2-77-3紙綴一括
別2-77-1	[赤法宛佐介書状]	年月日未詳		縦切紙	1通	手本2つを手習いとして書いて送るが、他人には見せないでほしい旨	
別2-77-2	[夕除石垣堤成立年・寸法書付]	年月日未詳		横切紙	1通	前新田・古渡・井浦・吉浦・吉浦白銀の石垣堤の成立年と寸法の書付	
別2-77-3	[賀陽郡・下道郡・浅口郡村々庄屋中宛伊織・五郎兵衛書状]	年未詳8月19日		横折紙	1通	伊折・五郎兵衛→賀陽郡・下道郡・浅口郡村々庄や中 御中間召し抱え御用のため男ふりよきものを選んで今月23から4日の両日までに松山へ出向させるよう伝える	
別2-78	[方位図]	年月日未詳	18cm × 27cm		1枚	干支に基づく方位盤が2つ印刷されている	

別3	[手習類]				1纏め(1括 り・4纏め・ 36冊・19 通・8枚・54 帖)		
別3-1	腰越状(手習本)	年月日未詳		折本	1帖	「源義経乍恐申上意趣者…」、守屋勝太郎	
別3-2	実語教(手習本)	年月日未詳		折本	1帖	「山高故不貴以有樹為貴…」	
別3-3	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「小蝶の藤の…」	
別3-4	商売往来(手習本)	年月日未詳		折本	1帖	「几高売持扱文字員数取遣之日記…」	
別3-5	[手習本(商売往来)]	年月日未詳		折本	1帖	「香大戟枳殻白芷石斛…」	「四」
別3-6	[手習本(商売往来)]	年月日未詳		折本	1帖	「立浪雪折笹水車御所車…」	「二」(別3-4の続きカ)
別3-7	[手習本(庭訓往来)]	年月日未詳		折本	1帖	「被仰下之旨畏拝見仕候訖…」、志保屋里吉	継ぎ目がはがれ、現状は2つに分かれている。
別3-8	大阪与力内山氏為惣作之芦改往来(手習本)	年月日未詳		折本	1帖	「公方様若君様益御機嫌能…」	紙縫一括、「一」～「十六」に分割されている。
別3-9	庭訓往来(手習本)	年月日未詳		折本	1帖	「春始御悦向貴方先程申候畢…」	「(一)」～「廿一」、「三月十三日一」～「三月十三日七終」、 「卯月五日一」～「卯月五日二」に分割されている。
別3-10	農業往来(手習本)	年月日未詳		折本	1帖	「抑農家耕作之事…」	紙縫一括、「一」～「五」に分割されている。
別3-11	[手習本(庭訓往来)]	年月日未詳		折本	1帖	「超過四条五條之辻…」、志保屋里吉	別3-7の続きカ
別3-12	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「一筆致啓上候薄暑之節…」	紙縫一括、継ぎ目がはがれ、現状は4つに分かれている。
別3-13	[手習本(商売往来)]	年月日未詳		折本	1帖	「可応国所時之風俗也…」、志保屋里吉	継ぎ目がはがれ、現状は2つに分かれている。
別3-14	[引札]	年月日未詳	25.5cm × 37cm		1枚	「乾物青物卸小売」、柚木勝太郎	
別3-15	[引札]	年月日未詳	26cm × 36.5cm		1枚	「清酒味淋焼酎卸小売」、高見酒舗	
別3-16	[引札]	年月日未詳	37cm × 26cm		1枚	「伊丹灘上酒売捌処」、池田仙蔵	
別3-17	[引札]	年月日未詳	26cm × 37cm		1枚	「乾物青物卸小売」、柚木勝太郎	
別3-18	[手習本(商売往来)]	年月日未詳		折本	1帖	「費金錢事無益之至…」	「五」(別3-5の続きカ)
別3-19	[書跡]	年月日未詳			1枚	「存以甘棠」「守屋亀之丞十三歳書」	
別3-20	[手習本]	年月日未詳			1帖	「連雨徒然之至候…」	
別3-21	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「風從昨夜聲怨…」	包紙あり
別3-22	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「憶得少年長乞巧…」	
別3-23	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「御書中拝見依年来御無心申置候…」	
別3-24	[手習一纏め]				1纏め(1纏 め・10枚)		別3-24-1～別3-24-2一纏め

別3-24-1	[手習書跡四枚]				1纏め(4枚)		別3-24-1-1～別3-24-1-4—纏め
別3-24-1-1	[手習書跡]	年月日未詳		縦紙	1枚	「鳳曆賀慶御代…」	
別3-24-1-2	[手習書跡]	年月日未詳		縦紙	1枚	「商売繁昌富貴…」	
別3-24-1-3	[手習書跡]	年月日未詳		縦紙	1枚	「父母隠居譲與…」	
別3-24-1-4	[手習書跡]	年月日未詳		縦紙	1枚	「恒例格式朋友…」	
別3-24-2	[漢文手習(孝経)]	年月日未詳		縦紙	1枚	「管子辟席云参…」	「二」
別3-24-3	[漢文手習(孝経)]	年月日未詳		縦紙	1枚	「身體髮膚受之…」	「三」(別3-24-2の続き)
別3-24-4	[漢文手習(孝経)]	年月日未詳		縦紙	1枚	「夫孝始於事親…」	「四」(別3-24-3の続き)
別3-24-5	[漢文手習(孝経)]	年月日未詳		縦紙	1枚	「子曰愛親者不敢惡於人…」	「五」(別3-24-4の続き)
別3-24-6	[漢文手習(孝経)]	年月日未詳		縦紙	1枚	「子曰在上不驕高而不危…」	「六」(別3-24-5の続き)
別3-24-7	[漢文手習(孝経)]	年月日未詳		縦紙	1枚	「富貴不離其身然後…」	「七」(別3-24-6の続き)
別3-24-8	[漢文手習(孝経)]	年月日未詳		縦紙	1枚	「子曰非先王之法服不敢服…」	「八」(別3-24-7の続き)
別3-24-9	[漢文手習(孝経)]	年月日未詳		縦紙	1枚	「身亡擇行言滿天下亡口過…」	「九」(別3-24-8の続き)
別3-24-10	[漢文手習(孝経)]	年月日未詳		縦紙	1枚	「詩云夙匪解以事一人…」	「十」(別3-24-9の続き)
別3-24-11	[漢文手習(孝経)]	年月日未詳		縦紙	1枚	「兼之者父也故以孝事君則忠…」	「十一」(別3-24-10の続き)
別3-25	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	引越の祝い状	
別3-26	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	訪問の礼状	
別3-27	[手習書跡]	年月日未詳		横折紙	1枚	「春來遍是桃花水…」	
別3-28	[書状手本等]				1纏め(2纏め・3通)		別3-28-1～別3-28-5
別3-28-1	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	先般滞留の節の礼状(加納遠江守書状)	
別3-28-2	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	書物拝借願、	
別3-28-3	[書状手本等]				1纏め(3通)		別3-28-3-1～別3-28-3-3—纏め
別3-28-3-1	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	春陽の祝い状、改年の祝い状に対する礼状	
別3-28-3-2	借用申銀子之事(借用証文手本)	年月日未詳		縦紙	1通	銀100目の借用を記す	
別3-28-3-3	[覚書]	年月日未詳		横切紙	1通	かたなについての覚書	
別3-28-4	[書状手本等]				1纏め(2通)		別3-28-4-1～別3-28-4-2—纏め
別3-28-4-1	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	隠居についての挨拶、京都御用について	
別3-28-4-2	借用申銀子之事(借用証文手本)	年月日未詳		横折紙	1通	借用証文の雛形	
別3-28-5	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	京都御用について(安藤下総守書状)	

別3-29	水谷代々新開地記 幕府城主藩知行高記 十八神社在所記	年月日未詳		半・縦	1冊		
別3-30	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	頼んだ一件を先方へ伝えてくれたことへの礼状、噂について	
別3-31	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	書物筆写の手伝依頼、算術の稽古について	
別3-32	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	朝鮮通信使に関する書状	
別3-33	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	即位の祝い状、御機嫌伺い	
別3-34	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	相州本国寺住職就任の祝い状	
別3-35	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	先般滞留の節の礼状	
別3-36	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	池黙之丞・村藤七郎宛守屋十左衛門書状写、守頭重左衛門宛松主膳正書状写	
別3-37	[手習書跡]	年月日未詳	35.6cm × 48.8cm		1枚	「存以甘棠」「守屋亀之丞十三歳書」	
別3-38	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	中元の祝儀の贈答に対する礼状	
別3-39	[書跡五枚]				1纏め(5枚)		別3-39-1～別3-39-5
別3-39-1	[書跡]	年月日未詳	49cm × 35cm		1枚	「天満宮」「守屋勝太郎」	
別3-39-2	[書跡]	年月日未詳	49.2cm × 35cm		1枚	「天満宮」「守屋勝太郎」	
別3-39-3	[書跡]	年月日未詳	48.6cm × 35.8cm		1枚	「天満宮」「守屋勝太郎」	
別3-39-4	[書跡]	年月日未詳	48.9cm × 35.3cm		1枚	「天満宮」「守屋勝太郎」	
別3-39-5	[書跡]	年月日未詳	47.3cm × 35.3cm		1枚	「天満宮」「守屋勝太郎」	
別3-40	[書跡]	年月日未詳	29cm × 47.7cm		2枚	「知過必改」「守屋亀之丞十三歳書」	
別3-41	[願書控帳]	年月日未詳		半・縦	1冊	倉敷代官所への願書の控え	
別3-42	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	公方様東叡山御宮参詣・還御の旨を承ったこと	
別3-43	[和歌詠草]	年月日未詳		横折紙	1通		
別3-44	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	菖蒲の祝儀の贈答に対する礼状	
別3-45	延宝八年申ノ六月吉日 御堀貫下成田地引帳	延宝8年6月吉日		美・縦	1冊	佐治三右衛門・関惣右衛門→乙島村庄屋佐平次	
別3-46	元禄七年戌 備中浅口郡乙島村池床改帳 庄屋十左衛門・組頭与右衛門・同弥五兵衛	元禄7年		美・縦	1冊	浅口郡乙島村庄や十左衛門・同組頭与右衛門・同弥五兵衛	
別3-47	第拾番 文久元辛酉年九月廿九日ヨリハジマル 岡本様御旅宿日記 篠屋詰番留右衛門	文久元年9月29日		半・縦	1冊		
別3-48	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	逗留中の尋問に対する礼状、隠居についての挨拶	

別3-49	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	花器の借用の願い出	
別3-50	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	伺いについて了承に対する礼状	
別3-51	[書状手本]	年月日未詳		横折紙	1通	寒中見舞い状、寒中見舞いに対する礼状	
別3-52	天明九年酉正月 寺社改帳 差上候扣 浅口郡乙島村	天明9年正月		半・竖	1冊	浅口郡乙島村年寄久右衛門・孫太夫・同断庄屋十左衛門・太兵衛→菅谷弥五郎様御役所	
別3-53	天保十二丑年十一月 石盛書上帳扣 備中国浅口郡乙島村	天保12年11月		半・竖	1冊	備中国浅口郡乙島村百姓代長蔵・年寄四郎兵衛・庄屋見習勝太郎・庄屋重左衛門→倉敷御役所	
別3-54	[書状手本]	年月日未詳		横継紙	1通	「鳳曆之御慶…」	継ぎ目がはがれ、現状は8枚に分かれている。
別3-55	[手習い一括]				1括り(16帖・2通)		別3-55-1～別3-55-18紙縫一括
別3-55-1	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「歳さむく志て凋む…」	
別3-55-2	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「一翰致呈上候寒氣之節…」	
別3-55-3	[手習い]	年月日未詳		竖紙	1通	「瑩日瑩風高低、(朱字)「潭心月泛交岸口風来交葉蘋 青柳乃糸よりかくるはるしもそみたれてはなハほころひにけり」	
別3-55-4	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「夫日用取遣消息文牋要用…」、守屋勝太郎	「一」
別3-55-5	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「当方之■者爰許拙者…」、守屋勝太郎	
別3-55-6	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「気霽風梳新柳髪…」	
別3-55-7	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「露夜別涙殊空雲是残…」	
別3-55-8	[手習い]	年月日未詳		竖紙	1通	「二星適逢未叙別緒依々之恨…」	
別3-55-9	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「竹亭之紅梅鶴亀…」	
別3-55-10	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「む免にたはむれ…」	
別3-55-11	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「一天安泰之春…」	
別3-55-12	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「仲尼間居曾子侍座…」	
別3-55-13	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「くらはし乃やまのかひより春かすミとしをつミてやたちわたるらむ」	
別3-55-14	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「如来諭之甚…」	
別3-55-15	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「立春 柳無氣力條先動…」	
別3-55-16	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「みよしのをくなる西上…」	
別3-55-17	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「一筆啓上仕候…」	
別3-55-18	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「先方尊卑尊公貴躰貴君…」、守屋勝太郎	「二」(別3-55-4の続きカ)
別3-56	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「先刻治部卿江之一札委令披見候…」	
別3-57	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「長生殿裏春秋富不老門前日月遅…」	(上書)「書始 守谷氏」
別3-58	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「信州河中島村合戦之屏風…」	

別3-59	〔手習い類〕				1纏め(2通)		別3-59-1～別3-59-2巻込一括
別3-59-1	〔手習い〕	年月日未詳		縦紙	1通	「さくらのことは さくらのけしきのうつりかはる…」	
別3-59-2	〔手習い〕	年月日未詳		縦紙	1通	「惟茂紅葉持乃画の賛 春のよの夢はかりなる…」	
別3-60	〔手習い〕	年月日未詳		折本	1帖	「二星適逢未叙別緒依々之恨…」	
別3-61	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「普請切組建直之節先日雇手伝之面々…」	「世」
別3-62	〔手習本一括〕				1括り(24帖)		別3-62-1～別3-62-24紙縫一括
別3-62-1	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「万字文 夫日用取遣消息文躰要用之文字…」	「一」
別3-62-2	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「尤也御機嫌能安泰勇健安康…」	「二」
別3-62-3	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「楮愚札呈上啓上啓達也貴翰…」	「三」
別3-62-4	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「上巳端午七夕八朔重陽両方季者…」	「四」
別3-62-5	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「伝言伝聞二啓二白時々見合…」	「五」
別3-62-6	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「駕来臨入来御越為指無風情…」	「六」
別3-62-7	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「即刻返翰遮而音問預音信条奉畏追付罷越…」	「七」
別3-62-8	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「婚礼聳嫁舅姑入首尾好整…」	「八」
別3-62-9	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「診察調剤服薬療治の中…」	「九」
別3-62-10	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「湯治灸治相応彼地之土産夥求之…」	「十」
別3-62-11	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「師匠随心発明螢雪鑽仰不洩講釈…」	「十一」
別3-62-12	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「勤非番休息催佳遊宴活計歓楽…」	「十二」
別3-62-13	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「訪尋或旅行出立発駕出帆乗船之節…」	「十三」
別3-62-14	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「覚而物冷敷致干澗暫憩…」	「十四」
別3-62-15	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「龍鐘之鉢杯皆詳認通達故郷者世之風俗也…」	「十五」
別3-62-16	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「集類以初心之童象為覚易任思出…」	「十六」
別3-62-17	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「獵場御上覧不過一矢射中蒙拔群之尊命…」	「十七」
別3-62-18	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「庖従之侍時破却敵楯籠誠伐仇…」	「十八」
別3-62-19	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「及騒動者或企一揆惱民其外放火…」	「十九」
別3-62-20	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「誠刑罰者磔獄門刎首火罪流刑遠島…」	「廿」
別3-62-21	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「鋤形龍頭筋金鉢附板上板…」	「廿一」
別3-62-22	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「鋸切羽筭小柄下緒鋸刃者鋒鏑…」	「廿二」
別3-62-23	〔手習本〕	年月日未詳		折本	1帖	「螺鐘太鼓簇幟幡竿午旄竹刀…」	「廿三」

別3-62-24	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「■(馬前・つましろ)雪踏等也相副圍人■(有龍・くちとり)人飼肥之…」	「廿四」
別3-63	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「裁判無油断麴…」	「四十八」
別3-64	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「雌黄朋砂大赭石硫黄焰硝…」	「四十七」
別3-65	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「紫苑統断天門冬杏仁五味子…」	「四十六」
別3-66	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「茯苓白木椿芥沢瀉車前子木通…」	「四十五」
別3-67	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「石膏升麻犀角一角羚羊角大戟…」	「四十四」
別3-68	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「不能尽其品藥肆者桂名劑奇藥之大看板…」	「四十三」
別3-69	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「以藍汁為根元絹糊洪形紙張板等用意之…」	「四十二」
別3-70	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「縮緬綸子羽二重繻子繻玢緞子…」	「四十一」
別3-71	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「佛之諸書和漢之軍書真名假名梵字…」	「四十」
別3-72	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「葺師者葺萱葺椽皮柿葺…」	「卅一」
別3-73	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「雲絹縁琉球縁取蘭等床締第一也…」	「卅二」
別3-74	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「呂場浴室廊下庇廁雪隠等也…」	「卅三」
別3-75	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「塀重門長屋檉練塀惣困ハ可守要害也…」	「三十四」
別3-76	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「山泉水反橋欄干疑宝珠磴立石置石…」	「三十五」
別3-77	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「先鍛冶者以韃鍍刻鉄砧合挺…」	「三十六」
別3-78	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「箱類内外矩圓物纏之寸尺随注文…」	「三十七」
別3-79	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「驚燕之好夥敷傘張日傘…」	「三十八」
別3-80	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「裾外襟袖袂帖綿或穎等針目糸筋…」	「三十九」
別3-81	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「常々可心得佃作物者粳糯早稻晚稻等也…」	「廿六」
別3-82	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「工夫自其家開基…」	「廿五」
別3-83	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「肝要也繫牛馬倩牧童…」	「廿七」
別3-84	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「手ならひ■のうた…」	
別3-85	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「納涼 桂月清明夏迎一霄之秋…」	
別3-86	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「梅 半染秋毫淳…」	
別3-87	[手習本]	年月日未詳		折本	1括り(7帖)	「書札方心得之事 人ハ其身分乃分限を知へき事第一なり…」	紙縫一括、「一」～「七」の7帖からなる。
別3-88	[手習本]	年月日未詳		折本	1括り(23帖)	「鳳曆賀慶御代…」	紙縫一括
別3-89	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「天乃川とをきわたりにあらねとも…」	
別3-90	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「鶯磴搗春磨臼■槌杵…」	「廿八」

別3-91	[手習本]	年月日未詳		折本	1帖	「高草返修鍵算水柵塵芥為肥随分…」	「廿九」
別3-92	第七番 文久元辛酉年七月廿三日ヨリノコンダテコ ンダテ 岡本様御旅宿詰番日記 篠屋詰番富太郎	文久元年7月 23日		半・豎	1冊		
別3-93	享保十八年丑三月 備中国浅口郡乙島村宗門改 帳	享保18年3月		美・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村庄屋伝次郎・年寄惣兵衛・同与三左衛門→ 窪島作右衛門様御役所	
別3-94	江戸往来(手習本)	年月日未詳		美・豎	1冊		
別3-95	書札(手習本)	年月日未詳		美・豎	1冊		
別3-96	庭訓往来(手習本)	年月日未詳		美・豎	1冊		
別3-97	義経腰越状(手習本)	年月日未詳		美・豎	1冊		
別3-98	延享元年子三月 備中国浅口郡乙島村宗門改帳 浅口郡乙島村	延享元年3月		美・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村庄屋佐平治・年寄与三左衛門→千種清右衛 門様御役所	
別3-99	文化元年子三月 天台宗・真言宗・日蓮宗・浄土 宗・一向宗 宗門帳 備中国浅口郡乙島村亀之丞 組	文化元年3月		美・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村年寄孫太夫・庄屋亀之丞・後見三助→倉敷 御役所	
別3-100	天保九歳戌二月 天台宗・真言宗・禅宗・浄土宗・ 日蓮宗・一向宗 宗門人別帳 備中国浅口郡乙島 村	天保9年2月		美・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村年寄四郎兵衛・庄屋見習勝太郎・庄屋重左 衛門→倉敷御役所	
別3-101	文政十年亥三月 天台宗・真言宗・禅宗・浄土宗・ 日蓮宗・一向宗 宗門帳 備中国浅口郡乙島村	文政10年3月		美・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村年寄四郎兵衛・庄屋熊太郎・同彦右衛門→ 倉敷御役所	
別3-102	寛政元年酉三月 備中国浅口郡乙島村宗門改 帳	寛政元年3月		美・豎	1冊	備中国浅口郡乙島村庄屋十左衛門・年寄孫太夫→倉敷御役所	
別3-103	[手習い]	年月日未詳		折本	1帖	「就御用之儀明日大坂江…」	
別3-104	弘化四未御年貢銀差引過銀渡帳 庄屋重左衛門・ 同勝太郎	弘化4年		半・横長	1冊		
別3-105	[手習い]	年月日未詳		豎紙	1通	「守屋氏 長生殿裏富春秋…」	
別3-106	明治十四辛巳歳請作蒔附時候一覽	明治		小・豎	1冊	印刷本	
別3-107	明治十年太陽略歴	明治		小・豎	1冊	印刷本、東京大阪頒曆商社、大阪・弘曆者・松浦善右衛門、備中 玉島西通町・弘通所中原利平、定価三錢三厘	
別3-108	明治十二年太陽略本曆	明治		小・豎	1冊	印刷本、東京大阪頒曆商社、社長・林立守、大阪・弘曆者松浦善 右衛門、備中玉島西通町・弘通所中原利平、定価三錢六厘	
別3-109	明治七年甲戌太陽略曆	明治		小・豎	1冊	印刷本、大阪頒曆商社中弘曆者、同松浦善左衛門、弘通所備中 倉敷笹山弘次郎	
別3-110	明治十三年諸作蒔附時候早繰日記	明治		小・豎	1冊	印刷本、弘者・土州禎浦伝右衛門	
別3-111	明治十四年略本曆	明治		小・豎	1冊	印刷本、東京大阪頒曆商社、社長・林立守、社員・弘曆者・大阪・ 松浦善右衛門、備中玉島西通町・弘通所中原利平、定価三錢八 厘	
別3-112	明治十五年略本曆	明治		小・豎	1冊	印刷本、頒曆社、社長・林立守、社員・大阪・松浦善左衛門、備中 玉島西通町・弘通所中原利平、定価三錢八厘	
別3-113	明治六年癸酉頒曆 文部省天文局	明治5年		小・豎	1冊	印刷本、大阪・松浦善左衛門、取次所・笠岡・三金	

別3-114	明治五年壬申頒曆 大学星学局	明治4年		小・豎	1冊	印刷本、大阪・松浦善左衛門	
別3-115	画本年中農業種蒔扣	明治16年11月24日		小・豎	1冊	印刷本、岡山県下備中国阿賀崎村字西町貳百九拾六番地・平民・著佃石松、定価四銭	
別3-116	農業要用九星日取便覧	明治15年11月10日		小・豎	1冊	印刷本、編輯者・山川九一郎、原版人・大炊平兵衛、翻刻人・山下善助	
別3-117	紀元二千五百三十六年 明治九年 太陽曆	明治		半・豎	1冊	印刷本、大阪頒曆商社、大阪・弘曆者・松浦善左衛門、弘通所備中倉敷・笹山広次郎	
別3-118	下元乙巳歳吉凶方 全	明治		半・豎	1冊	印刷本	
別3-119	紀元二千五百三十五年 明治八年乙亥 太陽曆	明治		半・豎	1冊	印刷本、大阪頒曆商社、大阪・弘曆者・松浦善左衛門、弘通所備中倉敷・笹山広次郎	
別3-120	明治六年太陽曆	明治		半・豎	1冊	印刷本	
別3-121	紀元二千五百三十四年 明治七年甲戌 太陽曆	明治		半・豎	1冊	印刷本、大阪頒曆商社、大阪・弘曆者・松浦善左衛門、弘通所備中倉敷・笹山広次郎	
別3-122	明治六年太陽略曆	明治		半・豎	1冊	印刷本、活版摺立所・備中笠岡西本町・森田佐平	